

昭和十五年十二月

會

報

第一一回

浦和中學校同窓會

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

各回會員數

一五二名	三七回	八四名	二五回	五九名	一三回	二八名	一回	
一七四名	三八回	八三名	三六回	四九名	一四回	三二名	二回	
一七九名	三九回	八一	二七回	五八名	一五回	四三名	三回	
一七三名	四〇回	八〇名	二八回	四五名	二六回	四〇名	四回	
一六五名	四一回	七九名	二九回	四〇名	二七回	四九名	五回	
合計 三、六一八名								六回
								七回
								八回
								九回
								一〇回
								一一回
								一二回
								一三回
								一四回
								一五回

會

報

第一一回

目次

會則	(二)
役員	(三)
特別會員	(六)
正會員	(三)
在校學生	(一〇五)
總會記事	(二六)
會計報告	(二六)
補選	(二六)
戰死會員出	(一)
索引	(一)

(昭和十四年十一月改正)

- 第一條 本會ハ浦和中學校同窓會ト稱ス
- 第二條 本會ハ會員相互ノ情誼ヲ温メ併セテ提携ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第三條 本會々員ハ左ノ二種トス 特別會員(本校現職員及舊職員) 正會員(本校卒業生) 但シ會テ本校ニ籍ヲ置キタルモノハ之ヲ正會員トナスコトヲ得
- 第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク 幹事 若干名 評議員 若干名 但シ各回ノ卒業生ヨリ二名以上
- 第五條 役員ノ職務ハ左ノ如シ 幹事中ノ學校職員ヲ常任幹事トナシ本會ノ事務ヲ統括處理ス 幹事評議員ハ本會ノ重要ナル事項ヲ議定ス
- 第六條 幹事及評議員ハ會員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選舉ス 其任期ハ各四ヶ年トス
- 第七條 本會ハ本校々長ヲ顧問ニ推戴ス
- 第八條 本會ハ毎年一回十一月三日ニ總會ヲ開ク 但シ臨時會ヲ開クコトヲ得
- 第九條 本會ハ毎年一回會員ノ狀況ニ關スル會報ヲ頒ツ
- 第十條 會員ハ職業住所及主ナル動靜ニ關シ異動アリタル時ハ事務所ニ報告スルモノトス
- 第十一條 正會員ハ維持費トシテ金五圓ヲ本會ニ納付スル義務アルモノトス
- 第十二條 本會事務所ハ浦和中學校内ニ置ク
- 第十三條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ 一、會員名簿 一、會計簿 一、總會議事録
- 第十四條 本規則ハ總會出席員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

役 員

顧問 校長 今井 精一	現職員 大橋 亘	井上 堅太郎	濱野 元介	第一六回 田中 榮三郎	仲田 一信	渡邊 榮太郎
第一回 伊藤 二郎	石田 政藏	松永 信敬	第一七回 丸山 信次	矢部 七郎		
第二回 鈴木 春江	稻見 起城	金子 文左衛門	第一八回 岩本 銻一	武笠 敏		
第三回 高田 源八	高橋 泰雄	名古屋 長藏	第一九回 飯島 彰	永堀 文司		
第四回 石塚 茂則	山本 厚		第二〇回 深谷 昌	安川 喜一郎		
第五回 鈴木 榮太郎	宮崎 一		第二一回 淺井 博	五十嵐 忠之助		
第六回 野口 茂樹	山本 厚		第二二回 星野 康	湊見 啓成		
第七回 大島 卓爾	山本 厚		第二三回 伊藤 喜一	杉山 亂太郎		
第八回 清宮 多一	山本 厚		第二四回 岩本 武雄	尾崎 太郎		
第九回 鈴木 康太郎	山本 厚		第二五回 石川 恕隆	小沼 十寸齋		
第一〇回 辻村 鑒	山本 厚		第二六回 大畑 正男	堀 杉良一		
第一一回 池上 隆一	山本 厚		第二七回 飯野 富雄	小林 正雄		
第一二回 吉野 武明	山本 厚		第二八回 關根 三郎	持田 庄三郎		
第一三回 青山 好藏	山本 厚		第二九回 木場 尚次	鈴木 方一		
第一四回 横山 榮次郎	山本 厚		第三〇回 野村 春雄	星野 靜二		
第一五回 井原 誠一	山本 厚		第三一回 稻葉 彌之助	森永 俊夫		
	石井 勝一	石川 清隆	第三二回 井上 良正	千代倉 俊夫		
			第三三回 柳本 正雄	松澤 正次		
			第三四回 清宮 榮一	桑原 辰夫		
				野崎 幸久		

役員

第三五回	磯山通太郎	石井亨	中原英典
第三六回	湯澤啓次		
第三七回	遠藤健吉	太田原宏	邊見悦一郎
第三八回	今井武成	小西勇	本莊篤二
第三九回	勝正一	桑原通夫	手島篤二
第四〇回	早乙女敏雄	松村茂	桃木弘三
第四一回	河合勳	栗原秀二	
第四二回	小西忠正	下山映二	
評議員			
第一回	井原義助	大塚鷗五	大野榮三
第二回	辻村鑑	中川重政	山本知太郎
第三回	田中庫三	塚原伊勢松	土屋其治
第四回	仁羅山政治郎	林友平	村本猶太郎
第五回	矢部俊治	岡田元茂	加藤信一
第六回	大庭淳一	出井淳三	永田二郎
第七回	田口貞之助	林龜治	正木良一
第八回	西川市太郎	川羽田隆	木原元三
第九回	萩野榮藏	林次左衛門	岡田徳輔
第十回	柴崎啓藏	大谷木六郎	村山惣平
第十一回	厚川清治	熊木辰太郎	
第十二回	金井塚善助		
第十三回	本橋政光		

四

第六回	石井保	高澤俊助	富澤英一
第七回	若山徳	柳下重治	
第八回	石田信之助	奥富孝祐	須田壬三
第九回	成田明治	柳田忠三	持田誠
第十回	田中育之	如田正治	
第十一回	本郷一郎	吉田三史	永瀬寅吉
第十二回	飯島悦	岩田三史	
第十三回	松本濱治		
第十四回	宇尾野宗尊	阪田勝	芳野武治
第十五回	塚本喜久司	中島明	永瀬四郎
第十六回	長谷川喜一	濱田熊次郎	早船忠次郎
第十七回	矢部省吾	萩島辰之助	
第十八回	稻垣甲子郎		
第十九回	中村平藏	金杉松次	松澤英太郎
第二十回	猪野正紀	植野賢次郎	神崎勳
第二一回	秋谷實	林野彙	
第二二回	蓮見宏	石村英藏	齊藤厚久
第二三回	天野頼義	蓮見四郎	
第二四回	鈴木榮三郎	高石幸三郎	永瀬光吉
第二五回	田中重之	深井奎一	
第二六回	夏井清亮	武井武	
第二七回	高橋精一郎		
第二八回	吉田貢		
第二九回	尾熊滋三郎	大熊一雄	大畑正男

第三三回	玉井利吉	中村桂太郎	橋本安太郎
第三四回	濱野秀作	飯野榮一	中島精
第三五回	秋葉保廣		
第三六回	岡田武	關田保男	古橋才次郎
第三七回	小泉正男	長澤民治	川面隆三
第三八回	町田俊一	池田新一	小高武雄
第三九回	飯塚孝司	田中敏三	辻治雄
第四〇回	小泉勝治	三宅第三郎	
第四一回	保坂喜八	野本正雄	堀内藤武
第四二回	加藤次郎		
第四三回	井本台吉	畑晉	
第四四回	細井敏夫	鳥田通男	田口英雄
第四五回	兒玉幸太郎	永瀬利雄	眞木昌夫
第四六回	高師康	清永正三郎	永堀善作
第四七回	岡田章雄	細田正三郎	
第四八回	新島迪夫	内木英二	平柳誠
第四九回	赤松則英		
第五〇回	熊木重雄	塚本韓治	
第五一回	加藤勝藏	小沼好四郎	福田正雄
第五二回	小川勇司	澁見啓雄	大作茂
第五三回	内田一郎		
第五四回	西川武吉郎		
第五五回	田島良平	辻邦彦	宮本勳

第三三回	後藤泰治	藤本憲司	柳田昌彦
第三四回	萩島傳一郎	小林健志	永井常雄
第三五回	石井克己	藤堂良知	友部正伸
第三六回	青木泰	神戶禎一	小島晋一
第三七回	齋藤博文	中里久夫	南澤茂樹
第三八回	宇治達郎	植野晴一	
第三九回	川島恂二	山田俊一郎	笠原剛三
第四〇回	比田井七郎	別府正夫	
第四一回	林修	松橋直	

現職員

特別會員

現職員

- 姓名 受持學科 現住所
- アの部**
 阿武 實 (歴史、英語) 浦和市岸町七ノ二五
 阿部 大三郎 (英語) 東京市世田谷區上北澤ノ三セノ七
 荒井 四十一 (書 記) 北足立郡與野町下落合一〇六一
- イの部**
 井上 聖太郎 (國語、漢文) 大宮市高鼻三七二五
 今井 精一 (修身) 浦和市仲町四ノ一五
 今淵 藏人 (歴史、劍道) 浦和市岸町四ノ六三
- ウの部**
 宇津木 只平 (音樂、工作) 入間郡入西村北淺羽一三一
 内田 義春 (教 練) 浦和市針ヶ谷一〇五一
- オの部**
 尾崎 筆五郎 (國語、漢文) 東京市王子區上十條町三丁目九ノ二
 大橋 巨 (數 學) 浦和市常盤町四ノ九〇
 奥田 芳太郎 (劍 道) 北足立郡蕨町上郷一七七六
- カの部**
 加藤 久平 (教 練) 浦和市針ヶ谷三八一ノ三
 角澤 良男 (數 學) 浦和市仲町四ノ一〇八

六

- 金子直一 (英語) 浦和市本太四二八六
 クの部
 久保寺 慶二 (化學) 浦和市常盤町九ノ一九〇
 久保 誠一郎 (書 記) 浦和市高砂町二ノ一八六
- コの部**
 五味 達男 (英語) 東京市淀橋區戸塚町一ノ四六八
- サの部**
 佐藤 峻 (國語) 浦和市常盤町五ノ一一一
 櫻井 靜 (地 理) 浦和市本太寺前六四八
- シの部**
 新藤 龜三郎 (柔道、體操) 浦和市常盤町五ノ一〇八
 新堀 榮 (配屬將校) 浦和市常盤町、都アパート
- スの部**
 鈴木 三郎 (數 學) 東京市大森區入新井町一ノ一七七
- タの部**
 高田 源八 (校醫、内科) 浦和市常盤町一ノ八〇
 高塚 武夫 (國語、漢文) 浦和市岸町四ノ一八一
 瀧田 元吉 (教 練) 東京市世田谷區玉川與澤町一ノ四二
 瀧 武之 (教 練) 浦和市仲町二ノ七六
- トの部**
 土肥 政勝 (英語) 浦和市仲町二ノ一四一
- ヌの部**
 沼田 義雄 (公民、英語) 浦和市常盤町七ノ四四
- ハの部**
 濱野 元介 (作 業) 大宮市盆裁村

舊職員

- 原田 隣造 (休 操) 浦和市常盤町四ノ三七
- ヒの部**
 平尾 康造 (數 學) 浦和市常盤町五ノ一一四
 平田 忠彦 (漢 文) 浦和市常盤町五ノ一二八
 平野 巖 (英 語) 浦和市原山新田一四ノ二
- フの部**
 福宿 光雄 (圖 畫) 浦和市常盤町五ノ一三八
 藤井 武夫 (漢 文) 浦和市岸町三ノ五七
 藤 中 博 (數 學) 北足立郡與野町大月三五一
- ホの部**
 堀 保 (物 理) 浦和市常盤町三ノ六二
 堀井 信義 (劍道、作業) 千葉縣香取郡小御門村名古屋六四
- マの部**
 増田 周三 (書 記) 東京市王子區赤羽町四ノ二一四九
- ミの部**
 三浦 佳文 (博 物) 浦和市常盤町五ノ四二
 三田 弘 (校醫、眼科) 浦和市岸町七ノ五五
 水田 巖 (英 語) 北足立郡六辻町別所三三三 福田方
 水庭 勉 (物 理) 山梨縣南都留郡東桂村十日市場六〇
 水野 辰男 (校醫、齒科) 浦和市仲町二ノ七四
 宮崎 惇 (校醫、耳鼻喉科) 浦和市仲町三ノ七三
- ヤの部**
 八尾 春一 (歴 史) 浦和市常盤町五ノ四四、至誠寮
 矢野 忠次郎 (博 物) 東京市淀橋區上落合二ノ六二八

現職員 舊職員

七

- 姓名 現住所 職業
- アの部**
 阿部 鶴二 東京市杉並區和田本町二 陸軍豫科士官學校
 赤城 謙一 福島縣耶麻郡豊川村
- イの部**
 井上 忠義 廣島縣觀學官
 井出 清身 東舞鶴市六條朝日南入 海軍技術部、舞鶴海軍工廠造船兵部
 井倉 健治 京城市大和町二丁目第一 朝鮮總督府視學官
 伊田 義廣 新宮市與亞街治安部住宅 新宮陸軍軍官學校教官
 伊東 荒雄 東京市世田谷區羽根木町 順天中學校
 飯塚 吉之助 北葛飾郡幸松村小淵三五 北葛飾郡堤郷村助役
 池田 俊司 浦和市仲町四ノ一四四
 石田 利一 滋賀縣愛知川町沓掛 愛知高等女學校長
 石塚 茂則 浦和市本太町八七五 眼科醫
 石野 彌 名古屋市東區東片端町二 愛知縣第一高等女學校
 市川 得成 愛知縣藤原郡勝岡田村中一六一四
 稻垣 盈太郎 北足立郡美谷木村美女木一〇農 滿洲國女子留學生會館
 稻見 起城 浦和市岸町二ノ一二九 主事

舊職員

稻村 松雄 静岡市北安東町三八 静岡高等學校
 岩屋口 淳 鹿兒島縣川邊郡川邊町平 川邊中學校
 ウの部
 宇田川 菊次郎 北足立郡六辻町白幡一九九
 上原 菊之助 岐阜縣吉城郡古川町七四五
 碓井 武爾 川口市横曾根町二本木三三六五 富國徴兵保險勸誘員
 内堀 八郎 高松市宮脇町四〇三 高松高等商業學校
 オの部
 大島 正喜 第五高等學校
 大塚 喜久治 静岡市立中學校長
 大塚 龍夫 東京市中野區神明町六〇 東京高等學校
 大野 四四次郎 東京市世田谷區上北澤町三ノ八九九
 大野 三千右衛門 福島縣伊達郡川俣町
 大場 喜嘉治 東京市豊島區西巢鴨町二ノ二五七〇 第二東京市立中學校
 大日方 秋男 滿洲國熱河省烏丹縣副縣長 副縣長
 長公館
 太田 一 浦和市常盤町七ノ二三 東京府立第一商業學校
 カの部
 加藤 旺作 浦和市仲町四ノ九七 市立浦相高等女學校校長
 加藤 幸重郎 東京市澁谷區羽澤町三八 慶應大學豫科
 加藤 松吉 東京市小石川區久堅町六
 掛札 猛三郎 茨城縣猿島郡境町住吉町 境中學校
 柏木 實 東京市目黒區柿ノ木坂町二九一 立正大學、實踐女子專門學校

釜田 喜信 千葉市富士見町一ノ七七
 金 森 外見男 桐生市宮本町一四二一
 河村 幸造 東京市板橋區小竹町二四 高輪工業學校
 川島 猛男 北葛飾郡新村松永五
 川出 藤須美 鹿兒島市長田町一〇〇 第七高等學校造士館
 簡野 音三 奈良縣丹波市町三島 天理中學校
 キの部
 木内 辰三郎 東京市龜野川區瀧野 木内學園(海外學生「學寮」)「鳩の家」(幼稚園)經營
 木藤 重徳 慶尚南道釜山府南富民町 釜山公立女子高等普通學校長
 木原 元三 川越市通町一三〇二 川越中學校長
 清宮 四郎 京城府東崇洞一九號官舎 京城帝國大學法文學部
 桐山 純景 神戸市林田區進宮通ノ三 第三神戸中學校
 クの部
 草川 宣雄 東京市目黒區自由ヶ丘三元 女子學院教員
 栗本 富太郎 浦和市常盤町一ノ二七〇 筆研、寫字、謄寫版、速記業
 黒住 豊太 岡山市津島九六七 岡山高等女學校長
 コの部
 小林 隆助 東京市杉並區荻窪町三ノ五 外務省囑託
 紅露 五郎 浦和市仲町四丁目 山形縣酒田日滿技術員養成所長
 桐生高等工業學校
 サの部
 佐治 秀壽 仙臺市角五郎丁六六 第二高等學校

佐藤 林藏 豊中市相生通一丁目 兵庫縣立中外商業學校校長
 磯根 辰彦 福岡市島本町一三二 福岡縣女子師範學校
 齋藤 二郎 浦和市常盤町五ノ四九
 齋藤 忠利 浦和市仲町四ノ一三九 川口市第三小學校長
 齋藤 直貞 鳥取市西町一三二
 シの部
 清水 綱 東京市板橋區中新井町四 東京市視學
 島根 一郎 浦和市三室四一一
 下郷 寛二郎 愛知縣愛知郡鳴海町相原町一三
 白井 襄次 東京市世田谷區上馬町一ノ五二八
 白川 庸市 長崎市西中町三三 長崎市海星中學校
 新藤 光五郎 北足立郡六辻町辻九八三
 スの部
 須賀原 又雄 前橋市清王寺町二六三
 須藤 新吉 東京市世田谷區世田谷三ノ二七七 第一高等學校
 菅谷 仁助 千葉縣印旛郡佐倉町並木町二〇七
 杉原 政二郎 佐賀縣杵島郡武雄町西浦 武雄中學校
 杉本 孝橋 名古屋市東區船附町一ノ二
 鈴木 重敏 浦和市常盤町五ノ一二三 巢鴨中學校
 鈴木 祐之丞 浦和市島砂町四ノ二〇〇 劍道教士
 セの部
 關山 勉 南埼玉郡篠津村高岩 法政中學校
 一八〇四

世良田 勇 東京市澁谷區上落合六七 陸軍中佐
 ソの部
 曾田 文甫 京都市上京區相國寺東門前町通北詰六八四入五 學生寄宿舎監督、著述出版業
 東京市世田谷區玉川泉澤町二ノ六五〇 早稻田大學、第一高等學校
 タの部
 田代 淳 北足立郡六辻町別所二〇 巢鴨中學校
 二九ノ二
 田尻 長共衛 福井縣速原郡小濱町堀屋敷四號二三
 田中 元輔 南埼玉郡太田村四四三〇 久喜郵便局長代理
 高柴 金一郎 福岡市島岡町三丁目 福岡高等學校
 高野 佐三郎 浦和市岸町六ノ七六 東京高等師範學校
 高野 茂義 大連市楓町二三 劍道教士
 高橋 伊次郎 東京市中野區昭和田三三 東京府立第五中學校
 高橋 健二郎 東京市豊島區巢鴨町六ノ一二五〇 濱松第一中學校
 高橋 末治 濱松市廣澤町九八 東京陸軍航空學校
 高橋 武夫 八王子市臺町五五五 東京府立高等家政女學校
 高橋 俊人 三重縣三重郡富田町西町二六一 富田中學校
 高橋 壽 東京市中野區鷺宮一ノ五 靖國神社權宮司
 高原 正作 富山高等商業學校
 高光 兼重 富山市西四十物町四五 富山高等商業學校
 立石 秀三 千葉縣千葉郡陸村桑橋七〇八 農

舊職員

舊職員

子の部

長南直次 東京市王子區赤羽町四ノ二〇七一

ツの部

土橋 清 鶴岡市若葉町一九 鶴岡中學校

辻村 鑑 東京市目黒區柿ノ木坂町七四二 實踐女子專門學校校長

筒井六一郎 (北足立郡六辻町東ノ臺) 會社員

テの部

出生 福藏 浦和市常盤町五ノ兜ノ一 集鴨中學校

寺内 淳二郎 東京市瀧野川區西ヶ原町八〇二 中央大學、立正大學

寺門 孝徳 水戸高等學校

寺澤 保之 (岡山縣淺口郡玉島町) 鞍山中學校 (鞍山市南大宮通)

トの部

富岡 永馬 東京市世田谷區世田谷四ノ六六五

富山 一郎 上海法租界祁齊路三〇〇號 上海自然科學研究所

ナの部

中根 研三 浦和市常盤町三ノ一〇九 千葉中學校

中村 三藏 釜山府大橋通二ノ二〇 船具商

中村 周治 千葉市榮町二〇 辯護士

長尾 義明 大阪府廳權度課

長根 禪提 東京市板橋區小竹町二五〇四

長谷 伊八 浦和市前地二五〇

ニの部

西岡 曳一 東京市本郷區森川町七三 東京帝國大學理學部

西川 五市 静岡市安東町三ノ一三 静岡高等學校

西野 巖三 京都市上京區上賀茂前秋 大禮記念京都市美術館

西山 隼人 岡山縣上房郡高梁町間之 岡山縣順正高等女學校

仁科 義昭 南埼玉郡篠津村篠津 久喜高等女學校

野崎 幸香 北埼玉郡笠原村安養寺 農

ノの部

羽柴 正市 北埼玉郡笠原村安養寺 農

橋本 勝三 函館市白鳥町二 松本高等學校

進 吾野 北埼玉郡三俣村上三俣三三 函館師範學校

早野 鶴 滿洲國牡丹江省牡丹江陸軍特務機關

林 和比古 浦和市本太松原 東京府立第四商業學校

林 鈺藏 東京市中野區大和町三八三

原 八郎 兵庫縣加西郡北條町東町 北條高等女學校

原 平十郎 静岡縣大宮町傳馬町 静岡縣大宮高等女學校校長

ヒの部

平岡 忠次 人間郡元加治村佛子 三省堂

平田 武彦 名古屋市中區區百人町二二 名古屋陸軍幼年學校

平沼 一 東京市世田谷區世田谷 東京府立第一商業學校

平山 昇二 浦和市仲町四ノ五九 大宮農商學校

平山 正 京都市上京區寺町通廣小路上ル西人ル

フの部

布施 俊 弘前市在府町六八 弘前高等學校

福島 四郎 東京市中野區宮前二四 婦女新聞社長

福島 勝 宇都本市琴芝通一丁目 宇都高等工業學校

福田 斌 浦和市常盤町七ノ四二 文部省學術振興會

福永 純 大阪府東區小橋元町七五 明星商業學校

福岡 俊次郎 島根縣大社町宮内 大社中學校長

藤井 基五郎 東京市小石川區大原町三 東京府立第五中學校

二川 道次 大阪府中河内郡三野郷村玉井三六

船山 孝一 川崎市渡田町九八五

ホの部

星野 辰雄 桐生市宮本町三九八ノ一 桐生中學校

堀 重里 福岡市地行西町七六 福岡高等學校校長

堀江 信二郎 東京市小石川區大塚窪町三四 成女高等女學校

本多 貞彦 東京市世田谷區成城町三一 成城高等學校

マの部

前田 宗男 鹿兒島市長田町四七 鹿兒島第一中學校

横島 勇 浦和市前地三五四 東京市財務局主計課

松井 計郎 浦和市常盤町六ノ二五 浦和商業學校校長

舊職員

舊職員

安田 潤三郎 浦和市岸町二六四八 文化女學校、東京物理學校
柳川 清 水戸市櫻小路二〇〇二 長岡高等工業學校
柳田 加藤次 佐賀市松原町 官舎 地方視學官、佐賀縣學務部
山下 英雄 福井高等工業學校、福井中學校
山田 賢三郎 東京市小石川區音羽町六 關東高等補習學校長
山本 政喜 東京市下谷區谷中眞島町 明治大學、專修商業學校
日ノ部
横越 庄作 北足立郡六辻町別所東野 浦和高等女學校
吉崎 吳 仙臺市水ノ下町七 東北帝國大學金屬材料研究所
吉田 一路 和歌山縣西牟婁郡田邊町 田邊中學校
上屋敷
ワノ部
渡邊 英吉 宇都宮高等農林學校 官舎 宇都宮高等農林學校
渡邊 英海 盛岡市志家松尾前九三 陸軍中佐、盛岡陸軍豫備士官學校副官
渡邊 延作 北海道空知郡岩見澤町四 札幌鐵道局
渡邊 政吉 東京市杉並區上高井戸五 曉星中學校
波部 鑄 東京市澁野川區田端町一 工學院
不明會員
朝見 晴一 井上 龜一 池田 初雄 石川竹三郎

石野 久壽 市川辰次郎 ウイリヤムスマー卜
上野 直一 江口 立節 大亦 昇 大山 謙吉
岡村三四郎 川口 馨 河野成太郎 木船 金雄
黒須徳之丞 佐分利 進 三枝 政吉 澤野千之助
清水肅三郎 鈴木源次郎 鈴木初三郎 鈴木 正己
内匠 吉次 出口 米吉 寺澤 精一 中島 初次
成富 正義 野村 春光 早川斗一郎 平田庚午郎
藤戸 達吉 堀松和三郎 森田八十治 森山 信規
八島新次郎 矢野 道雄 山口 鶴治 内田 英男
高橋巳之吉 野崎三四郎 福田 久雄
赤松 定郷 淺野 鶴吉 淺山 於菟 安藤辰次郎
伊豆丸 亮 伊藤 泰輔 石井 了一 石川 一
石田道三郎 稻見 克己 大丸 貞吉 岩田 福松
内田 平吉 木村 亮吉 大塚 惠 岡野 章太
加藤龍次郎 小室 定治 水和田淺吉 岸田 久雄
小早川克己 小室 眞咲 小谷野喜藏 佐々 忠雄
酒井五千太郎 櫻井 節雄 鎮目 一郎 霜田 守三
新莊 吉生 末安 眞治 高野泰四郎 中西 保人
西岡 三郎 羽生庚午郎 鈴木 一 高橋 重藏
土屋善太郎 寺田 永松 床次 惠哉 所 清吉
中村 外吉 馬場 勝彌 原 勝郎 平野 勝明
藤井 宣正 星野時二郎 宮坂 賢郎 春木 逸朗
武笠 三 村上 海藏 山内 之徳 人見寺之丞

正會員

◎第一回 (明治三十三年三月) 二八名

姓名 現住所 職業 備考
伊藤 二郎 浦和市高砂町二ノ一七六 醫師 (金澤醫專卒)
井原 義助 北足立郡與野町四七 農
飯島 光 名古屋千種區吹上本町 日本麥酒株式會社名古屋工場 (東大法卒)
石川 政藏 浦和市高砂町二ノ一七九 辯護士、市會議員 (東大法卒)
稻垣 盈太郎 北足立郡美谷本村美女木一〇 辯護士 (東大法卒)
大塚 鷗五 東京市芝區三田小山町一 辯護士 (東大法卒)
大野 榮三 北足立郡六辻町別所一三 日本勸業銀行監査役 (東大法卒)
辻村 鑑 東京市目黒區柿ノ木坂町 實踐女子專門學校校長 (東大法卒)
中川 重政 東京市神田區須田町二ノ六 (早大史英卒)
萩原 藤七郎 北足立郡新倉村三五六一 農 (東大法卒)
橋本 佑造 京都市上京區紫竹下芝本町四五 (東高工卒)

第一回 第二回

死亡會員

天野 一磨 網野 一壽 飯田新三郎 漆原愛三郎
大熊 正長 大島貞七郎 鹿山 壽作 告森 喬
榎崎 辰久 古川 常吉 星野 直一

◎第二回 (明治三十四年三月) 三二名

池内 一郎 小樽市緑町一、官舎 小樽區裁判所判事(東大法卒)
石塚 邦器 東京市杉並區下高井戸町二ノ五四 (東高商卒)
今井 清次郎 東京市大森區大森一ノ二
佐々木 兵太郎 川越市久保町七五一 寫真師
柴 吾 比企郡伊草村伊草二一 村助役
新藤 光五郎 北足立郡六辻町九八三 (早大高師卒)
鈴木 源一 入間郡松井村下新井一三 農 (早大專法卒)
鈴木 春江 浦和市岸町三ノ四 日本ヤムローラー商會代表社員
岡口 春吉 茨城縣茨城郡下中妻村 日本國民高等學校補導員
(滿蒙開拓青少年義勇軍訓練所補導(東大農卒))

一三

田中 庫三 北足立郡白子村一八〇二 醫師 (千葉醫專卒)
 高田 善次郎 東京市目黒區平町六五 第百銀行検査役(東高商卒)
 高橋 俊平 蕨灣瀨湖馬公街馬公三 酒類賣捌人(盛協專卒)
 塚原 伊勢松 東京市本所區堅川 宮内省待醫、日本大學醫學科
 教授、醫學博士(東大醫卒)
 土屋 其治 東京市淀橋區百人町二〇三七 (東大法卒)
 仁藤山 政治郎 北足立郡六辻町文藏二〇 文化學院教授
 (東大文卒)
 林 友平 川越市麻田猪鼻町一〇 肥料商
 松崎 平朔 比企郡小見野村虫塚六一 農
 松村 勝 北埼玉郡志多見村一二六 農 (二高修)
 村木 猶太郎 入間郡毛呂山町大谷木 農 (早大高師卒)
 矢部 俊治 北足立郡片柳村南中丸丸充農 (慶大法卒)
 横山 朝雄 全羅南道光州府大和町 全羅南道漁業組合聯合會
 理事長 (早大政經卒)
 不明會員
 金子 長衛 塚本 金治
 死亡會員
 新井 峰 柿沼 邦司 佐野 政 僧崎 主計
 平田 文藏 峰岸徳太郎 富川 之雄 村田 武雄
 安田 藤作

◎第三回 (明治三十五年三月) 四三名

石井 清 浦和市本太一五六六〇一 (千葉醫專卒)
 江原 善雄 南埼玉郡大山付荒井新田二二二

榎本 忠 浦和市大牧三三三
 大野 弘 上海狄恩威路七二三號 漢治洋行會計顧問部
 員 (東亞同文卒)
 大庭 淳一 東京市杉並區高 日本齒科醫學專門學校理事教授
 岡田 元茂 東京市目黒區自由ヶ丘 わかもと健康菓子第二工
 場常盤取締役(東高商卒)
 加藤 信一 東京市世田谷區松原 醫師、廣須賀海軍共濟組
 町四ノ二九一 合野比病院(東大醫卒)
 金子 子作 南埼玉郡百間村山崎三〇五 農、村會議員
 金子 柳藏 東京市淺草區駒形町一五 (早大專政經卒)
 木村 安五郎 熊本市横手町三三三 縣社北岡神社々司(廣高師卒)
 岸野 興賞 入間郡水富村上廣瀬 商
 柴原 外男 神戸市兵庫區北仲町四六 眼科醫(金澤醫專卒)
 島村 盛助 山形市香澄町八〇 山形高等學校
 關根 章 南埼玉郡百間村逆井三三三 農 (東大農實卒)
 田口 貞之助 東京市杉並區天沼二〇四 農 (東大理財卒)
 田島 濟 野馬縣邑藥郡大富野村飯 農、村會議員
 田中 豊三 東京市世田谷區玉川奥澤 合資會社田中電機製作
 町一ノ二九七 所相談役(東大法卒)
 高田 源八 浦和市常盤町一ノ八〇 醫師、浦和産婆學校長、
 縣會議員(千葉醫專卒)
 出井 淳三 東京市目黒區駒場町六一 陸軍々醫中將(東大醫卒)
 中村 彌六 比企郡伊草村上伊草一四四六 農 (東美術卒)
 永田 二郎 北足立郡馬宮村土屋五

西川 市太郎 北足立郡志木町六五〇一 肥料商
 羽鳥 幾之助 東京市豊島區西巢 神戸塗料株式會社取締役、合
 鴨町四ノ三二〇 資會社中清組代表(海兵卒)
 林 龜治 大宮市並木一九九八 農
 平野 一 廣島市皆賀町三ノ毛 陸軍軍醫大佐(醫師)(允大醫卒)
 平山 庫治 入間郡毛呂山町一五七八 農、町長(京大法卒)
 細田 仙太郎 入間郡宗岡村三二二五 農
 正木 良一 東京市中野區高根町一九 三菱電機株式會社取締
 役 (東大工卒)
 矢島 平次 旭川市一條通西三丁目 農
 不明會員
 朝倉 省三 石野 好彦 瀧 貫次郎
 死亡會員
 古暮 專藏 小島 正之 小谷野喜藏 關井龜之輔
 田中千代松 野原琳次郎 福島 守一 福田 勇
 船津貢之助 山崎 敬三 横溝 平吉

◎第四回 (明治三十六年三月) 四〇名

石上 米壽 東京市豊島區長崎仲町一 東京府立第九中學校書
 石下 稻吉 北足立郡片山村五三七六 農 記 (日本體操卒)
 石塚 茂則 浦和市本太一〇四一 眼科醫(千葉醫專卒)
 稻見 越城 浦和市岸町二ノ一二九 陸軍大佐 (陸士卒)
 内田 繁山 京城府本町五ノ六二 京城東大門金融組合理
 事長 (舊協專卒)

岡田 光吉 東京市小石川區指 技師、東京電燈株式會社芝浦
 分室(カリフォルニア工卒)
 荻野 榮藏 南埼玉郡三箇村三箇一二 縣會議員(早大貯組合長)
 金子 文左衛門 浦和市常盤町五ノ一一五 (東商船卒)
 川羽田 隆 南埼玉郡鷲宮町久本寺六 農、町長
 木原 元三 川越市通町一三〇二 川越中學校長(早大高師卒)
 倉持 峯吉 茨城縣猿島郡古河町登毛 醫師 (千葉醫專卒)
 齋藤 莊司 東京市板橋區大泉學園 綿糸元賣商(日本橋區小
 舟町二ノ四) (明大法卒)
 清水 彌太郎 北足立郡馬宮村飯田新田二五〇一 農
 柴崎 啓藏 東京市大森區田園調布三 西脇銀行取締役
 須田 嘉三 入間郡東吾野村 (東高商卒)
 鈴木 福三郎 浦和市岸町七ノ二五
 野島 仲次郎 北足立郡内間木村上内間木三一 農
 畑 義三 浦和市仲町一ノ七〇 辯護士 (東大法卒)
 畑 高三 北足立郡上平村岩谷崗九 花卉園藝業(明大法卒)
 林 次左衛門 北足立郡上尾町二七五 織物商
 船津 頌二 東京市牛込區津久戸町五 醫師 (東大醫卒)
 山口 胤一 静岡市下魚町二四 土木建築請負業
 不明會員
 鈴木 豊藏 前田 環

淺子 薰 井原 正作 池田 直矢 大熊 正一
 菊池 徹 北田 豊 小峯彌三郎 高橋 敏三
 永島秀之助 長谷川松男 橋本喜代治 本多阿久吉
 松本徳太郎 三橋庄九郎 宮 寛 山口 一郎

◎第五回 (明治三十七年三月) 四九名

淺子 嶺三 大宮市三〇一七 中部實業學校
 厚川 清治 北足立郡戸塚村戸塚一七 醫師 (千葉醫專卒)
 天野 美都造 北足立郡新倉村元九〇ノ二 農
 伊藤 嘉一郎 北足立郡内間木村下内間木七九 農
 井上 英 新潟市西大畑町 市長 (東大法卒)
 池内 弟二 東京市王子區上十條町一 岩倉鐵道學校、泰東商業
 内田 忠次郎 北足立郡川田谷村二五八 川田谷信用利用購買販
 小川 菅吉 大宮市大宮四〇五三 時計商
 大貫 清藏 北足立郡内間木村下内間木七九 農
 大谷木 六郎 入間郡毛呂山町大谷木五九 醫師 (慈惠醫專卒)
 岡田 徳輔 北足立郡蔵町七一 ヘルント共販株式會社
 笠原 廣次 東京市豊島區巢鴨町七二五 醫師 (仙臺醫專卒)
 金井塚 善助 南埼玉郡蓮田町九六六 醫師、醫學博士 (千葉醫專卒)
 木下周 太二 東京市澁橋區西大久保町 農林省技師、農事試驗場
 昆虫部主任、陸軍科學研
 究所囑託 (東大理卒)

熊木 辰太郎 北足立郡戸田村上戸田三 材木商
 小崎 安藏 福岡市築研町三 九州鐵道株式會社理事東高商卒
 小山 景三 北足立郡戸田村新曾屋三 織物製造業
 佐藤 愛造 東京市王子區王子町三三三 王子區役所會計課長
 澁谷 南陽 大阪市住吉區阿倍野二ノ 住友銀行取締役、本店
 支那人 (東高商卒)
 鈴木 榮太郎 浦和市岸町二八九八 農 (東大農卒)
 強矢 貢 秩父郡高篠村一二九八 農
 田中 保 秩父郡高篠村一二九八 農
 高橋 泰雄 浦和市高砂町二ノ一六二 辯護士、衆議院議員
 名古屋 長藏 浦和市高砂町一ノ五 醫師、醫學博士、ドクトル、
 マチチーネ (仙臺醫專卒)
 中野 岩吉 東京市澁谷區代々木富ヶ谷一五七三 (陸士卒)
 長島 郷助 宇都宮市壽町一四 農 (東大法卒)
 双木 康 東京市豊島區雜司ヶ谷町一ノ四二一 (北大農卒)
 野口 茂樹 浦和市前地二四五 陸軍主計中佐、神戸製
 鋼所囑託 (陸經卒)
 松島 義勝 北埼玉郡東村新川通一〇三七 (早大專政經卒)
 宮崎 一 浦和市高砂町一ノ一二八 辯護士、衆議院議員
 村山 惣平 東京市目黒區下目黒四ノ 帝國生命保險株式會社
 員 (東大法卒)
 本橋 政光 東京市世田谷區代田一ノ 關西製鋼株式會社顧問
 六五二ノ七 (海兵卒)

湯澤 謙次 東京市澁橋區柏木二ノ三六 醫師 (九大醫卒)
 武井 昇 南埼玉郡江面村 農

不明會員

荒井平三郎 江本繁三郎 梶 清一

死亡會員

會田莊次郎 櫻庭郁之助 國谷 男也 佐野民次郎
 志村 忠次 島村 利平 白子 彰平 關根 敏雄
 田中 忠興 原 作藏 布施勝之助 渡邊 武彦

◎第六回 (明治三十八年三月) 五〇名

淺井 長康 臺灣臺中州沙鹿街 日糖社宅 大日本製糖株式會
 社技師 (東高工卒)
 安藤 因治 神戸市灘區深田町五ノ五 中島組
 池内 茂 北葛飾郡月ヶ崎村三〇六 會社員 (大高工卒)
 石井 保三 東京市荏原區中延町一〇 鶴見瓦斯株式會社技師
 (東大法卒)
 石村 善助 門司市丸山長谷一丁目 日本冶金株式會社門司
 工場技師長 (京大工卒)
 白倉 房太郎 北足立郡片柳村東新井三六〇 商
 遠藤 主計 北葛飾郡豊田村中里二一 農
 大野 綠一郎 (東京市外吉祥寺町三三) 朝鮮總督府政務總監
 京城府大和町 官舎 (東大法卒)
 大村 寛造 宇都宮市塙田町五九四 宇都宮郵便局長保險課長
 大室 新吉 北足立郡與野町鈴谷一三 農
 金子 晴信 北足立郡朝霞町溝沼一七 醫師 (慈惠醫專卒)

寛 千城夫 屏東市竹園町歸來八七三 臺灣製糖株式會社取締
 役 (東大法卒)
 北村 晴雄 山口市後河原水ノ上一 山口商業學校
 草刈 轍 京都市左京區下鴨藪倉町 杉本精練場第一工場長
 三九 (京高工藝卒)
 小林 昇作 北埼玉郡龜造川村一話 農 (東大法卒)
 小林 隆祐 川口市芝伊刈二七 農
 腰塚 長三郎 北埼玉郡三田ヶ谷村一三三 農 (早大政卒)
 關根 基四郎 茨城縣西茨城郡尖戸町一 茨城縣種畜場長、地方
 七七八 官舎 技師 (東大農實卒)
 高澤 俊助 東京市下谷區中根岸町一 辯護士、辦理士
 五 (東大法卒)
 高橋 吉三郎 北足立郡片柳村染谷八四 農
 富澤 英一 北足立郡白子村白子二六六 村長 (早大專政經卒)
 中川 大介 東京市瀧野川區中里町三 日本大學齒科教授
 四四 (東京齒科卒、ノース
 中島 一康 大宮市七〇五 神職
 中村 和 東京市日本橋區通三ノ五 商業用繪圖案所經營
 東京市大森區馬込町東三 (東高工卒)
 永田 四郎 東京市大森區馬込町東三 東京商品通信社主
 五八八 (四高修)
 原 恭一郎 浦和市本太一一 東京電燈株式會社社員
 林 聚岩 東京市杉並區清水町六五 支社浦和出張所社員
 武笠 龍太郎 浦和市原山新田三六 陸軍大佐、川口市青年
 學校 市役所書記

山本 厚 浦和市常盤町一ノ一〇八 川口市産業課長 (明大商修)
 柳下 重治 八三 東京市杉並區西秋窪一ノ 陸軍中將、參謀本部附 (陸大卒)
 吉岡 長四郎 (横濱市鶴見區東寺尾町) 日本郵船株式會社シソ
 若山 德 東京市神田區駿河臺三ノ五 辯護士 (東大法卒)

死亡會員

清水 直 星野 義三
 阿武 二郎 秋山 英一 厚澤 冬吉 伊藤 儀作
 伊藤 綏治 飯尾 政夫 石田福太郎 稻見 頼雄
 氏原市之助 尾熊彦太郎 川島 誠一 國谷 助七
 小泉七郎右衛門 關口利多利 關根 健男 細淵 東一

◎第七回 (明治三十九年三月) 四十七名

青木 誠壽 北葛飾郡豊田村狐塚六交 農 技師、臺北市動物園長 (盛高農卒)
 赤松 稔 臺北市圓山町二二一 天理教々導師、本越宣
 淺野 信一 川越市小仙波四三三 敬所長(國大高脚卒)
 伊藤 薫 旭川市四條通三丁目左號 金融及保險代理業
 石井 良筋 一 尼崎市難波新町一ノ一一 宇治川電氣株式會社社員
 石田 友彦 川口市鳩ヶ谷町辻一一四 農 [大阪市北區梅ヶ枝]
 石田 信之助 川口市鳩ヶ谷町一八〇六 東京株式取引所一般取
 引員

山崎 台作 北足立郡大石村小泉五〇 農
 柳下 泰吉 北足立郡白子村下新倉三三 農
 柳下 道政 北足立郡白子村後久保八六 農 (六高修)

不明會員

飯野 融 鈴木 開一 本田 恩朗 松本 勝敏

死亡會員

五十嵐作之助 木村 成一 小山 利一 向野 顯一
 駒崎 昌藏 四關 善輔 白子 義彰 鈴木 泰壽
 瀬田 英作 中村 宗門 萩原 善造 丸山 泰進
 森 宗吉 矢作鶴太郎 吉野 隆一

◎第八回 (明治四十年三月) 四九名

池田 康之助 東京市芝區西久保巴町四 横濱市神奈川郵便局
 今泉 陸一 豊中市新免三六 日本農業株式會社企畫
 笠原 彦八 川口市鳩ヶ谷町一八二八 農 部長(鹿兒島高農卒)
 片倉 伊八 東京市四谷區荒木町二七 齒科醫(東京齒科卒)
 清宮 多一 浦和市高砂町二ノ一五五 恩賜財團養育會研究所
 黒須 義松 北海道阿寒郡吾妻村太線三 醫師(慈惠醫專卒) (日本體操卒)
 黒田 誠二 東京市大森區久ヶ原六四 東洋拓殖株式會社勤務
 小島 鼎五 北足立郡植水村植田谷本五交 公吏 (東大法卒)

石塚 邦俊 東京市杉並區天沼二ノ四 第一銀行吳服橋支店員 (早大文修)
 大島 卓爾 浦和市高砂町一ノ六七 日東拓殖農林株式會社
 奥 富孝 祐二六 東京市豊島區巢鴨町三ノ 醫師、醫學博士
 金子 義行 東京市江戸川區小岩町一七五 富真業 (京大醫卒)
 木下 官一 群馬縣邑樂郡館林町三三 銀行業(慶大理財卒)
 栗原 覺太郎 靜岡縣田方郡宇佐美村五五 飲食業
 齊藤 次郎 堺市春日通一ノ六 大阪府立勞保健所
 須田 壬三 比企郡松山町四五八九 醫師 (慈惠醫專卒)
 竹越 大三郎 熊谷市石原一七七 醫師 (金澤醫專卒)
 成田 明治 東京市品川區大井南濱川 齒科醫、區會議員
 西川 武三郎 北足立郡志木町一五九六 富士身延鐵道株式會社
 長谷川 德藏 秩父郡秩父町一三九二 酒造業 取締役
 服部 英一郎 東京市淺草區藤屋橋町二五 輸出金屬器加工業
 原 貞治 東京市杉並區松庵北町三 醫師 (千葉醫專卒)
 古川 鏡一郎 東京市小石川區大塚坂下 大審院判事 (東大法卒)
 星野 文郎 北足立郡大宮町大宮五七 醫師(大宮診療所勤務)
 三井 貞春美 P.O. Box 40, Port 農
 茂木 信一 千葉縣東葛飾郡野田町町五 醸造業
 肥塚 明智 福岡縣糟屋郡勢門村津波 明治鑛業株式會社高田
 志村 甚一 東京市杉並區馬橋町一ノ 三發合資會社經理課助
 島崎 平五郎 川口市金山町一一五 務 (日大政卒)
 田代三郎右衛門 北埼玉郡荒木村五一二四 鑄物販賣業
 田島 正一 北足立郡七里村一九五 農
 田中 育之 北足立郡小室村二三三七 農 (東大農卒)
 田中 忠次 大宮市土手宿三九〇 大宮市三橋小學校長
 竹内 岩尾 北足立郡鴻巣町一〇一 大宮市西小學校 (講師二部卒)
 畑 忠三 東京市小石川區小日向盛 東京帝國大學助教、
 平野 利友 川口市飯塚町一九七 東大醫學部附屬醫務局
 福島 傳 岩手縣岩手郡界石村界石 局長、醫學博士
 船津 英治 横須賀市中里町三〇 醫師 (千葉醫專卒) 局長
 星野 源六 名古屋市外鳴海莊片坂八 名古屋第二商業學校 醫師 (神宮皇卒)
 本多 忠孝 大連市淺間町二三 大連取引所信託株式會
 馬杉 暹 東京市板橋區上板橋六ノ 東北興業株式會社技術
 四九八五 課長 (東大理卒)

水野 哲之 見聞縣濱名郡雄踏町字布 齒科醫(日本齒科卒)
 武笠 敬介 名古屋昭和區北原町一ノ 愛知國學院主事
 持田 誠 東京市牛込區戸山町三〇 三井物産株式會社東京
 森 藤太郎 川口市神根二四〇七 織物製造業
 山崎 近一 大里郡本郷村針ヶ谷八 農(埤師二部卒)
 吉野 長治 比企郡野本村四六七 農、村長

不明會員

萩島 良三 杉山 章造、林 盛次 筒井 清彦

死亡會員

秋元 富三 伊丹 寅雄 池内 三郎 池上 長吉
 市川 太郎 内木 憲次 荻島與志藏 今野 元德
 島田 武男 竹内 隆吉 富田 嘉作 星野 鐵吾
 牧中 健 松澤利左衛門 守屋 次亮

◎第九回 (明治四十一年三月) 四八名

相原 憲三 東京市板橋區板橋町一ノ 板橋合同運送株式會社
 青木 昇吉 北足立郡植水村中野林六一三 (埤師二部卒)
 淺子 昇吉 北足立郡片柳村御藏四 農 (埤師二部卒)
 新井 濱翁 北埼玉郡新郷村上新 地方農林技師、北埼玉郡農
 池上 寛一 北足立郡笹目村下笹目一四六二 農
 石田 政之丞 北足立郡戸田村新會三一六六 農

本郷 一郎 東京市豊島區目白町一丁 學習院職員
 峰岸 豊之助 北足立郡美谷本村美女園三二 農
 守屋 武右衛門 北足立郡片柳村片柳一七〇五 農
 山口 清三郎 南埼玉郡須賀村須賀三ノ一 農
 山田 仁 桐生市本町六ノ三八三 醫師(千葉醫專卒)
 吉田 正治 北足立郡七里村大谷四九 村長、(縣會議員)
 不明會員 九 (埤師二部卒)

不明會員

新井 文策 田中 章 八重野松男

死亡會員

淺海寛太郎 荒居 益藏 石川 誠 日暮次郎作
 關 孔季 谷口 謙一 永井 榮一 羽島甲斐雄
 原 芳雄 府川 弘平 福田徳太郎 星野 魚藏
 水澤 弘 岸原良三郎

◎第一〇回 (明治四十二年三月) 四二名

厚澤 八郎 北足立郡野田村代山二三 浦和市三宮小學校長
 新井 清衛 北葛飾郡豊田村狐塚三番 農
 安藤 嘉一郎 浦和市常盤町一ノ一四三 商
 飯島 悦 北足立郡蕨町四四五〇 醫師(千葉醫專卒)
 今村里 廣 東京市牛込區山吹町二五 醫師(慈惠醫專卒)
 岩田 三史 川口市本町一ノ一一一 醫學博士、地主、貴族
 院議員(九大醫卒)

大澤 龍雄 東京市板橋區成増一四七 醫師(東京醫專卒)
 大澤 慶廣 北足立郡石月村六六六 農
 大室 綱重 北足立郡土合村榮和三光 味噌醸造業
 金子 武雄 北足立郡戸田村下戸田二六七 農(東外醫卒)
 木原 三郎 浦和市常盤町七ノ五 (慶大理財卒)
 久保 結雄 兒玉郡旭村小島一六五九 農、村長
 小林 章之 石川縣鳳至郡宇出津町 地方農林技師、宇出津
 水産學校校長、石川縣水
 産試驗場場長(水産講卒)
 小林 芳雄 東京市下谷區竹町三ノ六號 薪炭商
 鈴木 秀三 東京市大森區新井宿六ノ
 六三〇 農
 鈴木 康太郎 浦和市尾間水一八八九 農
 關根 宏 靜岡市春日町二二 靜岡工業學校(東高工卒)
 田畑 平吉 朝鮮大邱府幸町一 醫師、(東大醫卒)
 高橋 治平 浦和中尾四二六 農
 高橋 茂太郎 群馬縣多野郡日野村下日野五六七 蠶種業
 永井 長三 東京市板橋區板橋町六ノ
 三二一七 法書士
 並木 英太郎 川口市伊刈五二〇ノ一 神職
 野口 三郎 東京市品川區西品川三ノ八九 大崎明電舎社員
 野口 賢三郎 東京府大島差木地村 地方農林技師、東京府水産
 試驗場大島分場(水産講卒)
 藤本 福藏 尼崎市昭和北通六ノ一表 原料レイキ工業藥品製
 造所經營(大高工卒)
 星野 隆作 大宮市二九〇三 東京鐵道局書記

宇田川 半五郎 北葛飾郡成村上彦成二 精米業
 大川 明 神奈川縣鎌倉郡大船 地方農林技師、神奈川縣農
 事試驗場(東大農實卒)
 大熊 宗作 浦和市廣谷戸九五 農
 大畑 廣吉 北足立郡朝霞町藤折一〇七一 農
 岡田 義夫 名古屋市西區光音寺三七 大日本染織株式會社專
 務取締役(東高工卒)
 加藤 清治 川口市鳩ヶ谷町字前 江北小學校訓導(東京市足
 立區江北町)埤師二部卒
 小寺 平太郎 北足立郡内間木村濱崎三 農
 霜田 靜志 東京市杉並區井荻町 井荻子供の家兒童研究所長
 二ノ六五 主婦之友社顧問(東美術卒)
 武淵 五一 南埼玉郡三箇村三箇九七六 村長
 津川 辰政 小倉市篠崎町 鐵道官會
 辻村 鑿 熊谷市熊谷區三四五 門司鐵道局小倉工場事
 務係長(專大經卒)
 辻村 鑿 熊谷市熊谷區三四五 地方農林技師、埼玉縣
 礦檢定所所長(東高醫卒)
 奈瓦 武一 北埼玉郡東村一二二一 (東大法卒)
 中島 大助 東京市四谷區左門町九八 日イマモロ社
 永瀨 寅吉 川口市本町一ノ三三 錫物業、川口市商工會議所會頭
 早船 龜雄 北足立郡安行村 信用組合事務員
 細淵 昌治 浦和市高砂町二ノ一六七 實業
 牧 武雄 浦和市常盤町四ノ一〇一 東京市產藥局
 (慶大理財卒)
 松本 濱治 大宮市並木一六七八 北足立郡第一馬宮小學
 校長(明大法修)
 宮崎 惇 浦和市仲町三ノ七三 醫師(新潟醫專卒)

村田 孝平 横濱市神奈川區入江町一
 本橋 正三 大宮市土手宿三六三
 山川 鑑 (市川市市川町三二二)
 山本 恭平 長崎縣大村町 陸軍官舎
 吉澤 虎之助 北足立郡桶川町
 吉田 三市 入間郡普野村北川九四三
 大熊 竹次郎 川口市本町二ノ一〇一
 瀧 深豊作 川口市本町二ノ七八

不明會員

稻垣龜五郎 今川 義雄 宇津木定義 福原 千治

死亡會員

岩井 仁 門屋 秀雄 指田 敬 田口 武夫
 貫井新五郎 早川 貫一 針ヶ谷健治

◎第一二回 (明治四十三年三月) 五六名

井上 啓太郎 東京市澁谷區代々木新町 醫師、醫學博士
 伊丹 進 千葉市稻毛町五ノ六五 第一生命保險相互會社
 伊藤 治三郎 新潟市白山浦一ノ二四四 新潟中學校
 飯野 良佐 八戶市飯町下手代森四 地方農林技師、青森縣
 水産試驗場(水産講堂)

飯村 三郎 茨城縣結城郡石下町 町收人役、商
 池上 隆一 浦和市岸町七ノ一 蒲洲招徠株式會社副參事(東京
 池田 四郎 北足立郡内間木村濱崎一 北足立郡片山小學校長
 石川 光三郎 東京市世田谷區經堂町三 安田銀行三田支店長
 今泉 利政 神奈川縣中郡大磯町山王 海軍囑託、平塚海軍火
 宇尾野 宗尊 東京市世田谷區經堂町三 日本大學教授
 尾熊 金太郎 大宮市四〇八五 (日大附卒、伯林大修)
 川鍋 卯平二 北葛飾郡三輪野江村 三輪野江小學校長
 小林 邦明 大里郡深谷町一六〇 齒科醫(日本齒科卒)
 佐々木 雄雄 東京市小石川區原町一三 陸軍技師、陸軍省兵務
 阪 勝 北足立郡與野町七七三 醫師(慈惠醫專卒)
 須田 邦太郎 北足立郡鴻巣町二六七六 醫師(慈惠醫專卒)
 土肥 政勝 浦和市仲町二ノ一四一 浦和中學校(早大文卒)
 中村 禮 東京市澁谷區戸塚町四ノ 東京電燈株式會社副込
 橋崎 敏夫 靜岡縣志太郡燒津町七六〇 營業所
 根岸 矩夫 豊橋市花田町後田三ノ一 名古屋地方專賣局豊橋
 野村 勝 東京市四谷區鹽町三 千葉市技手、市水産會
 萩原 隆 奉天市大和區奏町三五ノ 瀧葉組合囑託(北大農卒)
 南蒲洲鐵道株式會社

◎第一二回 (明治四十四年三月) 五十四名

赤尾 豊秋 北足立郡歲町四一ノ二ノ一 醫師(東醫專卒)
 伊藤 軍治 川口市金山町六八 鑄物製造業
 石井 治三郎 北足立郡大門村北原四三 農
 石田 榮太郎 北足立郡六辻町沼影二〇 農務
 大熊 貫二 郡山市赤木町一六一 安田銀行郡山支店長
 岡田 長藏 栃木縣安蘇郡佐野町三三三 佐野高等女學校
 北川 宇吉 北足立郡野田村代山一〇 野田小學校長
 清宮 一郎 東京市澁谷區西大久保町 常盤石炭鑛業會事務
 小茂島 豊三郎 東京市目黒區洗足町一二 日本氣化器製作所
 小森 寛一 東京市淺草區榮久町二五 新潟鐵工所技師
 齋藤 幹男 大宮市大宮 新橋倉庫株式會社取締役支那人
 指田 律 市川市八幡町北八幡一七 伊藤染工場
 斯波 秀就 東京市蒲田區蒲田 東京電燈株式會社社員(川崎市
 杉谷 隆成 神戶市須磨區菊池町一ノ五屋敷 三菱神戶造船所員
 杉山 茂樹 北足立郡志木町一〇八〇 北足立郡大和田第二小
 學校長(塙師二部卒)

死亡會員

青柳 包吉 有住誠十郎 稻見 克巳 内山平一郎
 榎本 力藏 尾崎 金時 織田 正治 大熊 丈夫
 大崎 忠一 川島 光爾 鈴木 齊 濱野 春男
 濱田龜右衛門 原 武治 松永 信吉 牟田 雄一
 山下 一郎

第一三回

關 應陽 名古屋市中區松元町三ノ 中部觀光協會會長
觀光タイムス社長
曾根 不二丸 北埼玉郡原道村六〇二 農 (明大法卒)
高瀬 松太郎 大宮市三六一〇 鑄造業
塚本 喜久司 北足立郡廣町一六〇 酒類商
德永 文雄 釧路市黒金町一三ノ一九 釧路壽小學校
中島 明 北足立郡戸田村下戸田一 醫師、醫學博士
(京醫專卒)
永瀬 四郎 川口市本町一ノ二〇 市主事 (東大法卒)
貫井 昌治 北足立郡六辻町別所一八七九 農
長谷川 喜一 東京市大森區田園調布 海軍大佐、海軍航空本部
技術部第二課長(海兵卒)
長谷川 富藏 名古屋市中區千種町高見 名古屋商業會議所觀光
課
橋本 七良 秋田市檜山古川新町二〇 秋田製鋼株式會社取締役
(東大工卒)
濱田 熊次郎 川口市本町一ノ一六 荒物商、市收入役
早船 忠次郎 北足立郡戸塚村西立野五元 花卉園藝(埼玉二部卒)
平澤 信二 北埼玉郡樋道川村町屋新田三 農
福田 德藏 東京市王子區志茂町三ノ一二九
馬淵 吉太郎 北足立郡上尾町一六二 良藥留易公司内
松澤 惣左衛門 北足立郡野田村八八二 農
松島 良雄 北埼玉郡原道村彌兵衛堂 醫師(慈惠醫專卒)
本橋 禮三 南埼玉郡河合村馬込元七 製瓦業
矢部省吾 大宮市三七七二 醫師(東大醫卒)

二四

山崎 巖 神戸市湊區千島町三ノ一 合資會社大濱組代表社員
(早大商卒)
吉澤 照次 北埼玉郡井泉村北袋五七七 農
吉野 武明 浦和市本太一五九〇 農
不明會員
上木 義雄 白倉 靜造 遠藤 盛策 鈴木 清光
波田野 繁 橋本 健
死亡會員
加藤 寅雄 白田忠太郎 關根 泰三 田代 芳夫
武川宗之助 永瀬 勇藏 貫井實三郎 船江善次郎
森田 秋雄

◎第一三回 (明治四十五年三月) 五九名

青山 好藏 北足立郡六辻町別所一六二八 農
厚川 周藏 北足立郡内間木村上内間木三 農
新井 清之 盛岡市上田山脇町五〇 第九十銀行調査課長
(日大卒)
飯塚 吉司 川口市根岸二七九一 繡織物製造
稻垣 甲子郎 川口市鳩ヶ谷町三三 農 (埼玉二部卒)
榎本 幸之助 大宮市大和田四七四 農、村會議員
萩島 辰之助 川口市榮町三ノ四〇 醫師(千葉醫專卒)
加藤 登一 北足立郡小針村五二 農
金森 勝三 浦和市仲町二ノ一五一 東京電燈株式會社川越
支社 浦和出張所工務
主任

金子 作太郎 入間郡宗岡村三九一五 農
川井 重次 東京市牛込區水道町五三 田端驛助役
北西 隆藏 北足立郡上尾町三九〇 酒造業
久保 忠夫 浦和市三六〇七 浴場業
久米 小三郎 兒玉郡兒玉町兒玉一七 日本郵船株式會社橫濱
支店 (早大商卒)
越沼 茂利衛 横濱市神奈川區旭ヶ丘二 雜貨商
駒崎 七三 浦和市一八 藥劑師(千葉醫專卒)
佐藤 英三 東京市本所區東駒形町四 齒科醫(明大法卒)
齊藤 英 南埼玉郡三箇村三箇〇三 齒科醫(日本齒科卒)
坂本 清次郎 北足立郡内間木村宮戸一 東京鐵道局經理部購田
川用品庫(日大法文卒)
篠 晴篤 東京市瀧野川區瀧野川町三五〇 商 (早大高師卒)
島田 俊一 浦和市本太八八三 青森縣三戸郡五戸町 地方農林技師、青森縣立五
島田 保男 上新井田九官舎 戶農事試驗場長(東大農卒)
高山 貞藏 8331 Santa Monica Blvd. Boyer od, U.S.A. 園藝 (千葉高園卒)
土屋 祐紀 北足立郡片柳村一五八 農
戸田 三郎 浦和市高砂町二ノ五九 商店員
中村 平藏 川口市鳩ヶ谷町 醫學博士、東京高等齒科
醫學學校教授(新潟醫專卒)
船津 徳右衛門 川口市鳩ヶ谷町一八六六 農
星野 銀五 岡山市萬町二一 消防用ホース並附屬品
商 (早大商卒)

第一四回

堀江 近吉 北足立郡野田村南郷領辻三〇二八 農
眞々田 義男 南埼玉郡新和村尾ヶ崎一七六四 農
増田 清三郎 群馬縣群馬郡澁川町一七 關東水力電氣株式會社
技師 (仙高工卒)
増永 貞三 北足立郡指扇村一二二二 農
松澤 量平 東京市本郷區駒込窪窪 齒科醫(日本齒科卒、北
大五七) セントルイス大齒科卒)
松本 金重 東京市蒲田區 株式會社折込廣告事務取締役(東
女塚町三〇四 京市京橋區六ノ三)(慶大法卒)
宮下 彌之助 比企郡東吉見村久保田新田一一 農
守 大八 東京市本所區石原町四ノ二 紙製造販賣業
森 三樹 東京市芝區高輪台町四二 ツルヤ裁縫店主
(明大商卒)
山口 榮太郎 浦和市高砂町一ノ一三九 鐵道車輛用材協議會
横田 卯吉 東京市王子區稻付西町五 東京鐵道局總務部賠償
課 (中大法卒)
不明會員
沖 猛正 矢田 銀三 山下 卓
死亡會員
新井 菊二 飯野 道 市ヶ谷正三 岩田 三郎
尾熊 設雄 岡崎 三郎 笠原孝次郎 篠田 省三
清水 末生 澁谷 吉郎 須田 正治 都築 眞一
床次 正美 中村 政造 肥留間正男 船津 正三

◎第一四回 (大正二年三月) 四九名

青木 覺三 愛媛縣温泉郡釣島燈臺 官舎 燈臺局標識技手

厚澤 茂吉 北足立郡野田村代山二七 農
 猪野 正紀 川口市榮町一ノ四八 鈴木發動機製作所
 石井 紋次郎 浦和市本太二一九〇 (早大商修)
 石川 幸三郎 北足立郡與野町大戸一〇〇 浦和アパート經營
 岩崎 米治 浦和市本太二二三 大同生命保險株式會社
 岩田 憲雄 三 東京市目黒區原町一三五 三井物産株式會社總務
 大久保 浩伸 六ノ六六五 部外國課(東高商卒)
 大島 正七郎 橫濱市神奈川區泉町一八 三井物産株式會社
 金杉 松次 大宮市二五三〇 農 (早大高師卒)
 金森 豊三 浦和市三室一五 農 (琦師二部卒)
 篠 章 東京市足立區千住町二ノ 中外商業新報記者
 清水 萬吉 南埼玉郡越ヶ谷町本町二 北足立郡草加小學校訓
 鈴木 繁次郎 福島市福島町江沼一三 導(琦師二部卒)
 戸賀崎 義泉 橫濱市中區蓬萊町二ノ二九 鐵道局書記、福島運輸
 島田 友三 南埼玉郡八幡村大曾根二〇一 農(東農大卒) 事務所
 直江 晋一郎 尼崎市湖江アセンジ一七 田能汽機製造株式會社
 長谷川 義助 名古屋市中千種區田代町北 大阪朝日新聞社名古屋
 早船 康之助 大阪府泉北郡濱寺町船尾 支社營業部(早大商卒)
 六二〇 大阪府立今宮職工學校 (東高工卒)

船戶 俊徳 東京市杉並區松庵南町六 昭和銀行本店員
 細洲 耕作 北足立郡六辻町沼影三四一 農 (慶大理財卒)
 松澤 英太郎 大宮市櫻木町南二區 鐵道省官吏
 柳下 千代松 東京市板橋區成増町一六五 成増合同運送代表者
 山口 甲子男 千葉市新田一四四 陸軍中佐、陸軍砲工學
 山崎 升彦 橫濱市鶴見區東寺尾町一 校教官(陸士卒)
 六六一 東京芝浦電氣株式會社
 山野 井 豊 北葛飾郡靜村高柳一五五 農 (東高工卒)
 横山 榮次郎 浦和市高砂町三ノ四 醫師(愛知醫專卒)
 不明會員
 淺香利喜太郎 黒須後右衛門 安東徳次郎
 死亡會員
 有住庄之助 伊藤 政吉 上田 守 榎本 新平
 坂井 一義 白石章之助 杉山庫三郎 鈴木清太郎
 中村徳三郎 林 源之助 林 四郎 林 聚博
 船津隆之助 船津良之助 星野 榮吉 星野 重英
 山崎 仁治 山本 敬事 横溝好三郎

石井 榮左衛門 北足立郡大門村北原五五五 農
 石井 勝一 浦和市常盤町二ノ九五 保險代理業
 石川 清隆 浦和高砂町四ノ一七 醫師(千葉醫專卒)
 石田 義淨 北足立郡片柳村中川一七 僧侶
 石原 佐代吉 千葉縣東葛飾郡柏町鐵道官舎 柏驛長
 植野 賢次郎 北足立郡戸田村下戸田三四〇〇ノ三 材木商
 白倉 文次郎 川口市新井宿二二 農
 小野 毅 名古屋市中區大曾根町南 橫濱正金銀行名古屋支
 四ノ一八八 店(東外語卒)
 大野 泰三 北足立郡美谷本村内谷六ノ一 埼玉縣農林技手
 押田 太郎 千葉縣東葛飾郡松戸町 鐵道官舎 松戸驛長
 金森 有吉 浦和市岸町七ノ九三 (陸士卒)
 金子 恒治 茨城縣結城郡水海道町二 內務省土木出張所
 六二二
 川島 亨 大宮市土呂一〇八三 農
 神崎 勳 三 東京市麻布區三河臺町一 醫師、醫學博士
 (慈惠醫專卒)
 簡野 義明 東京市杉並區下高井戸町 明治大學豫科教授
 一ノ二七 (東大文卒)
 北澤 正巳 東京市杉並區阿佐ヶ谷ノ二二 齒科醫日本齒科卒
 清宮 三郎 東京市淀橋區西大久保町ノ四七 三和石炭商會
 黒田 澄雄 平塚市新宿一五二五 鐵道省官吏
 鐵道省官吏
 小島 覺道 北足立郡朝霞町勝折五五 智山派一乘院住職
 四 (智山門門卒)
 藤 實一 新潟市松波町三ノ四三 三井生命保險株式會社
 新潟支店長(東大法卒)

齊藤 麟六 浦和中尾三六 農 (東農大卒)
 酒井 八郎 東京市本郷區駒込神明町 法律書籍出版發賣業
 四三二
 四關 三郎 札幌市南九條西四十四丁一 安田銀行札幌支店長代
 二二四 理(早大商卒)
 宿谷 好介 富岡火災海上保險株式會
 社社長支店(早大商卒)
 戶口 萬次郎 秩父郡秩父町下郷 製糖業
 島海 修平 千葉市寒川二一八 醫師(慈惠醫專卒)
 中島 美光 旭川市第二區五條通一二 部隊 (陸士卒)
 長島 一夫 東京市澁谷區幡ヶ谷本町二ノ三五四 造花工業
 永富 元春 東京市王子區稻付町梅水二〇元 地下鐵會社員
 野口 晃夫 哈爾濱早川部隊 陸軍少佐 (陸經卒)
 長谷川 登美太郎 東京市王子區赤羽町二ノ五八〇
 見 宏 大宮市四〇八九 齒科醫(日本齒科卒)
 服部 三四 栃木縣下都賀郡小山町御 鐵道省官吏(鐵教習卒)
 殿町
 林 謹吾 北京華北交通會社倉庫課(日大法卒)
 林 彙 橫須賀市鎮守府官舎 海軍大佐、橫須賀鎮守
 府參謀 (海大卒)
 原田 光一 北海道空知郡歌志内 北海道炭礦汽船株式會社空
 村鐵道勤務(日大理工卒)
 福田 喜之助 南埼玉郡大山村芝山一一二七 吳服物雜貨商
 本橋 正良 旭川市九條十七丁 地方農林技師、北海道農産物
 日石八號 檢査所旭川支所(北大農卒)
 守富 浩三 北足立郡野田村上野田六三二 農(慶大理財卒)

矢部 愛之助 大阪市住吉區田邊西ノ町 住友銀行(東高商卒)
 六ノ二一
 渡邊 文平 東京市北多摩郡保谷村下 安田貯蓄銀行惠比壽支店長 (東大經卒)
 保谷一〇〇

不明會員

金野 泰一郎

死亡會員

石井 昇 内田 奎朔 上床 篤雄 大野 郁三
 富永 四郎 泰 弘三 三上 俊雄 三宅 第一郎
 矢崎 壽衛雄 矢作 和一 吉岡 精彦 吉田 庸夫

◎第一六回 (大正四年三月) 四五名

遊馬 降治 北足立郡與野町鈴谷四八八 農 (東農大卒)
 天野 賴義 東京市荒川區日暮里町三 辯護士(府會議員、市會議員) (日大法卒)
 天野 隆一 北足立郡六辻町三九〇 一 町書記
 石神 平八郎 南埼玉郡岩槻町二二六八 商
 石村 英藏 北足立郡殿町三九九〇 米穀商
 稻垣 要 芦屋市大僧一五九六 東京紡績株式會社本社員 (京高工藝卒)
 木原 信和 東京市中野區上高田町一 日本郵船株式會社貨物課勤務 (早大商卒)
 鴻田 縣 東京鐵道局技手、高崎機關庫勤務
 齋藤 厚久 北足立郡六辻町別所西三 農、浦和商業學校囑託
 清水 甲子 川口市鳩ヶ谷町一三三三 醫師 (日大醫卒)
 鈴木 榮三郎 東京市本郷區本郷三ノ三 質商

鈴木 島吉 北足立郡六辻町別所二〇 北足立郡醫師會進修保險部勤務(東高商修) 日本發送電株式會社工務部 (東大工卒)
 瀬戸 千秋 東京市牛込區南根町五七 扶養紙業株式會社山梨工場
 田中 關藏 山梨縣東山梨郡加納岩町 酒類販賣業
 田中 榮三郎 浦和市岸町四ノ九二 合同運送株式會社監査役
 田中 義知 北足立郡上尾町上尾宿三 滿洲國通信社大連支社 (拓大卒)
 竹内 悅郎 大連市高砂町一七 日本乾樣裝置商會員 (東高醫卒)
 照林 繁 大宮市二四八 醫師、醫學博士
 仲田 一信 浦和市大開木八八四 醫師、醫學博士 (千葉醫卒)
 仲田 實驗所 (六) 仲田實驗所
 中村 富一 平糶府竹園町一 醫師、平糶鐵道病院(東大醫卒) 株式會社兼松商店 (東高醫卒)
 西川 健三 神戸市兵庫區北逆瀬川町 株式會社兼松商店 (東高醫卒)
 蓮見 四郎 大宮市大門町三六五〇 醫師、醫學博士 (九大醫卒)
 原口 眞 大宮市四〇二三 商 (慶大經卒)
 原田 寛 臺灣高雄市壽町二八 臺灣不動產株式會社
 福田 松藏 浦和市綱ヶ窪五三〇 東京株式取引所吉田商店員
 藤卷 欣四郎 東京市淀橋區西大久保町 雨龍電力株式會社技師 (仙高工卒)
 船津 敬之助 川口市鳩ヶ谷町一九〇三 藥劑師 (東藥專卒)
 松島 正 北埼玉郡東村新川通九〇五

松本 知彦 静岡市大岩宮下町五七 地方農林技師、静岡縣爾檢定所長(東高農卒)
 武藤 嘉吉 東京市荒川區三河島町六 鐵道技手、田端機關區助役
 茂木 亮策 大連市楠町三 鐵道工業株式會社技師(九大工卒)
 森田 延作 兵庫縣武庫郡甲東村神呪(早大政經卒) (早大政經卒)
 守屋 重藏 北足立郡片柳村一四一九 荒物雜貨物品販賣
 柳井 喜平 北足立郡中丸村北本宿五七四 共榮運送店員
 渡邊 榮太郎 浦和市高砂町五ノ一九六 浦和信用組合專務理事
 關口 倉吉 川口市本町一ノ一一八 鑄物業
 增田 良助 川口市本町一ノ二五 荒物業
 田中 徳太郎 川口市十二月田町四五 味噌醸造業

不明會員 福井 勉 吉田 惠
 死亡會員 新井 欣治 石川 信友 小泉長六郎 鈴木萬龜雄
 田中 秀三 瀧島千代雄 狹間 定 八角 幸三

◎第一七回 (大正五年三月) 四〇名

秋元 勝一郎 東京市瀧野川區西夕原町 出版印刷株式會社勤務 (東商大卒)
 秋谷 良男 横濱市中區本牧三ノ谷 醫學博士、橫濱市立十全醫院外科部長(東大醫卒)
 飯野 義太郎 東京市豊島區西巢鴨町四 齋藤久事務所勤務 (早大商卒)

池内 政一 入間郡宗岡村六三一 農
 一ノ瀬 雅雄 北足立郡土合村田島九 埼玉縣書記、浦和土木事務所
 内田 晃 水戸市元山町五九五四 茨城縣技手、縣農會技師 (東大農實卒)
 尾崎 武 北埼玉郡忍町一五七 株式會社清水機械製作所 (慶大法卒)
 大澤 禎耶 神戸市須磨區稻葉町二ノ六九(浦和市仲町三) 大阪鐵道局神戶用品試驗場 (米高工卒)
 大野 坦治 北足立郡美谷本村内谷二三 生命保險代理店
 笠原 久 北足立郡六辻町一五七六 日本水產株式會社 (水産講卒)
 門屋 守二 東京市淀橋區下落合三ノ一 鳥取縣技手、商工課 (水産講卒)
 金子 圓藏 鳥取市吉方町三三六ノ一 鐵道省經理局(吳法卒)
 金子 菊次郎 大宮市土手宿四二五 鐵道省經理局(吳法卒)
 鳴田 秀次 北足立郡上平村南三九六 農 (天理教卒)
 川島 武 北埼玉郡忍町忍三 醫師(本醫專卒、東大醫選卒)
 小森 三郎 大宮市三七七六 貨物自動車營業
 齊藤 富一郎 札幌市北一條四十三丁目 北海道拓殖銀行 (東大經卒)
 澤野 小太郎 宮城縣登米郡佐沼町五六 佐沼中學校教諭 (廣高師卒)
 四關 浦雄 浦和市岸町四ノ四七 安田銀行本店員 (安田養成卒)
 鈴木 近徳 大宮市 鐵道省大宮工場技手 (早大工卒)
 田中 重之 東京市麴町區平河町ノ三 文部省社會教育局長 (東大法卒)

高石 幸三郎 川口市本町四ノ一五 鑄物卸及鋳鐵商(中大經卒)
 永瀨 光吉 東京市王子區中十條二ノ三 川口市永瀨鐵工所
 永山 芳男 東京市神田區神保町一ノ〇 藥劑師(千葉醫專卒)
 夏井 清亮 大宮市六三二 書籍商
 坂東 貞一 北足立郡片柳村片柳三六 農
 深井 奎一 北足立郡土合村田島一五 長 (塙師二部卒)
 本間 太郎 橫須賀市安浦町一ノ四 齒科醫(東京齒科卒)
 丸山 信次 浦和市仲町三ノ三五 第一生命保險相互會社本
 矢部 七郎 浦和市高砂町二ノ二 日本晝夜銀行目黒支店
 柳井 正光 大宮市三七八五 洋紙販賣業 (早大商卒)
 山口 正躬 豊中市錦通三ノ四二五 大阪市中大卸賣市場
 山田 茂 仙臺市北一番一八 日本油脂株式會社東北水
 產出張所(早大商卒)
 不明會員 上床 雄二 高野 勝治
 死亡會員 石田 太郎 國分 忠造 齋藤 庸三 塚田 初太郎
 時友文之助
 ◎第一八回 (大正六年三月) 四五名
 高岡スランレン株式會社 (早大理工卒)

石田 幸亮 北足立郡片柳村南中野五四〇 農
 岩本 銓一 浦和市仲町一ノ一七 共同火災保險株式會社
 員(明大商卒)
 梅本 兼吉 大宮市七〇五 東京鐵道局大宮工場書記
 大熊 治郎 北足立郡戸田村上戸田 擦絲業
 岡崎 德衛 北足立郡田間宮村二九三〇 農
 金子 德一 青森市北片岡町一七七 安田銀行員 (安田保善卒)
 金子 實 三重縣河藝郡神戶町北新 神戸中學校
 町 (早大高師卒)
 木戸 幾久男 神奈川縣小田原町十字三 赤十字病院勤務、醫學
 博士(新潟醫專卒)
 栗原 節造 北足立郡桶川町八〇三 藥劑師(東京藥專卒)
 小枝 政之助 四日市新田町一五六二 東邦重工株式會社四
 日市工場(東高工卒)
 鈴木 格雄 長岡市學校町三丁目 長岡高等工業學校
 (東高工卒)
 鈴木 武義 朝鮮江原道春川郡春川邑 春川公立高等普通學校
 丹陽町二五 (東高師卒)
 田代 久 靜岡縣志太郡島田町幸町 島田高等女學校
 (早大高師卒)
 田中 弘治 東京市大森區堤方町六四 品川健康保險出張所長
 高橋 精一郎 東京市王子區赤羽町一ノ 鋼鐵販賣及輕合金研究
 二九六 高橋商會經營
 武井 武 東京市目黒區榊ノ木坂六 東京工業大學教授、理
 四五 學博士(東北大理卒)
 角井 源司 大宮市四〇五七 會社員

戸山 仙二郎 大宮市大砂土一五七七 農
 西原 彦雄 橫濱市神奈川區白幡町一 鐵道省經理局屬
 三二三 (中大經卒)
 萩原 正一 北足立郡野田村上野田一 北足立郡片柳小學校
 七八 (塙師二部卒)
 林 彰 大宮市並木二〇三一ノ一 醫師 (慈惠醫專卒)
 林 匡 北支山西省太原第一中學校教員 兼陸軍特務機關(早大高師卒)
 原 龍 北埼玉郡笠原村一七六 第三十六銀行大宮支店長
 藤村 勉 長野縣北佐久郡御代田村 醫師(慈惠醫大卒)
 星野 金之助 東京市世田谷區玉川與澤町三ノ三 東美術專
 細田 市郎 橫濱市中區睦町一ノ一 海軍航空廠飛行機部々員
 海軍技師(早大理工卒)
 本間 得次郎 橫濱市神奈川區表高島町 工務省橫濱土木出張所
 内務省官舎 職務掛(東京工科卒)
 宮崎 博 浦和市岸町一ノ七六 三越吳服店廣告部 (慶大經卒)
 武笠 敏 浦和市瀬ヶ崎三〇 大宮高等女學校(早大高師卒)
 山口 卯三郎 東京市荒川區尾久町富岡 藥劑師(東藥專卒)
 吉田 貢 東京市芝區三田町一ノ四 東京帝國大學技師 (東大工卒)

松本 芳次 吉田 幸七

不明會員 瀧 福太郎 豊田 直 中村 肥太郎
 死亡會員 青木 政治 大畑 春雄 岡村 藤次 高塚 得之助
 高師 武 根岸 榮一郎 早船 健之助 前田 榮吉
 第一九回

◎第一九回 (大正七年三月) 五七名
 相澤 靜治 北足立郡小室村一三四 農
 荒井 方平 東京市蒲田區御園町六 滿洲自動車製造株式會社
 一六 (北米ソシエトン大工卒)
 飯島 彰 浦和市岸町六丁目 第一銀行員 (拓大卒)
 飯島 千里 北足立郡戸田村一四三三 鐵道省官吏(明大商卒)
 石塚 岩雄 廣島市河原町二二三 山陽木材防備株式會社
 廣島出張所(東大農實卒)
 岩井 眞一 京都市左京區下賀茂岸本町六二 (明大商卒)
 岩崎 健三 東京市淀橋區澁橋町七二六 報知新聞經濟部
 尾熊 滋三郎 川口市本町一ノ八九 實商
 大熊 一雄 東京市下谷區二長町一六 神奈川電氣株式會社
 八 (東商大卒)
 大畑 正男 北足立郡朝霞町藤折一八 鐵鋼製延引拔工場主
 四八 (早大理工卒)
 金子 鏡 大阪府住吉區阪南町中三 大阪府立泉尾高等女學
 一四 (廣高師卒)
 小島 保佐 大宮市土手宿三二 浦和高等女學校
 (國大卒)
 道祖士 鯛治 東京鐵道局總務部經理
 課調度掛(日大法文卒)
 齋藤 宗憲 南埼玉郡黑濱村城荒元 農、村會議員
 眞田 健一 千葉縣香取郡佐原町七〇 東京朝日新聞佐原支局
 〇 記者(明大政經卒)
 澁谷 長治 入間郡南畑村二〇六三 農
 三一

仙田 一 大宮市八〇一 東京鐵道局工作部機械課 (電機學校卒)

高石 平四郎 川口市本町二ノ八八 金物卸商

高橋 哲 浦和市仲町二ノ七 大日本人造船株式會社王子日產化學工業會社員 (農大卒)

玉井 利吉 北足立郡馬室村四〇九一 酒造業

角井 勝次 大宮市大宮四〇五七 埼玉縣農林主事補

寺尾 忠作 大宮市上小村田四三 岩國中學校 (國大高師卒)

中島 定規 山口縣玖珂郡岩國町若宮 小島 (國大高師卒)

中村 喜一 北足立郡與野町一七 榮養食糧製造株式會社三益興業株式會社日大中退

中村 桂太郎 北足立郡與野町小村田八 埼玉縣立圖書館司書

永井 三三 大宮市下町三〇六三 第百銀行淺草支店 (高千穂高商卒)

永久 一雄 東京市王子區下十條町一四九 日本海上保險株式會社員 (早大商卒)

永堀 文司 北足立郡土合村庵手袋二六七 東京鐵道局上野保線事務所 (日大卒)

西川 勇 北足立郡上尾町五二 東京鐵道局總務部經理課調查掛 (日大專政卒)

西野 憲太郎 川口市神根一〇八 醫師、醫學博士、日本赤十字社埼玉支部外科部勤務 (東大醫卒)

橋本 安太郎 大宮市二二二 醫師、醫學博士 (東大醫卒)

濱野 秀作 大宮市仲町 鐵道省官吏

原田 進 浦和市高砂町四ノ七二 長生中學校 (東物理卒)

福田 賢藏 千葉縣長生郡茂原町榎町 長生中學校 (東物理卒)

星野 幸息 浦和市領家六九一ノ一 東京鐵道局秋葉原驛 (早大商卒)

松田 義作 北足立郡廣町四三五七 東京鐵道局尾久檢車庫助役

松本 貞司 東京市王子區上十條町五ノ三一ノ二 松本駐在員 (東外語卒)

水野 松男 松本市西堀町二五〇 千代田火災保險株式會社

岸 宗正 北足立郡美谷本村美女木 北足立郡宮原小學校 (埼玉二部卒)

橫内 正司 東京市目黒區下目黒三ノ五二六 日本加工織物株式會社 (東亞同文卒)

田中 甲子藏 川口市本町一ノ三五 鑄造業

不明會員

上野 梅藏 榎本茂兵衛 須賀信二郎 鈴木 重久

松下 悟郎 村磯 賢隆

死亡會員

新井 津芳 榎本 武義 北澤 和夫 中田重三郎

中村 源三門 長島 元次 長谷川藤三 増田篤之助

三宅 二郎 渡邊 智

◎第二〇回 (大正八年三月) 五九名

秋葉 保廣 東京市板橋區常盤台一ノ 厚生省勞動局指導課長 (東大法卒)

新井 潔 東京市王子區豊島町一〇 齒科醫 (日本齒科卒)

井口 憲治 哈爾濱市馬家溝小戒街第三號 吉林省下九台稅捐局副局長

飯田 耕作 茨城縣行方郡小高村小高 小高小學校

飯田 四郎 外務屬、條約局第一課 (東外語卒)

飯野 榮一 北足立郡植水村佐知川二二三 醬油釀造業

家里 周 東京市芝區三田四國町二ノ三 醫師 (慈惠醫大卒)

石岡 利武 弘前市百石町二八 齒科醫 (東京齒科卒)

石村 敏藏 北足立郡廣町三九九〇 (慶大經卒)

遠藤 隆策 浦和市本太六五七 東京電燈會社熊谷出張所 (早大理工卒)

大里 忠二 東京市大森區池土德町四八六 農林省畜産局 (東大法卒)

大島 隆一 朝鮮黃海道金光町 日東拓殖農林株式會社金郊派出所長 (早大文卒)

大津 隆紹 朝鮮咸鏡北道明川郡阿間面總督府種羊場長官會 產業技師、種羊場長 (東大農卒)

大野 徹 大宮市大宮三八一五 醫師 (新潟醫大卒)

岡田 武 東京市芝區愛宕町 梁議院囑託醫、醫學博士、慈惠醫大附屬東京病院内科勤務 (慈惠醫大卒)

加藤 房吉 北足立郡浦川町桶川一九〇 米穀肥料商

加藤 政雄 廣島市巴斐町三六〇 廣島鐵道局工務部庶務課 (專大經卒)

小林 謙次郎 大宮市四〇八二 安田銀行小舟町支店 (東京市日本橋區小舟町) (日大商卒)

野 芳太郎 浦和市常盤町一ノ一三二 川口市芝區常高等小學校 (埼玉二部卒)

清水 流吉 朝鮮仁川花房町三 東洋紡織仁川工場技術員 (東高工卒)

柴崎 一雄 川口市鳩ヶ谷二二九四 醫師 (慈惠醫大卒)

島崎 一雄 盛岡市天神下 盛岡中學校 (日大高師卒)

島崎 治平 川口市本町一ノ一〇 金物商

白井 長四郎 大宮市大宮五九三 鐵道省新小岩工場

須賀 龜之丞 浦和市岸町六ノ五八 浦和商業學校 (慶大經卒)

鈴木 長七郎 大宮市大砂土四三三 農

關根 義治 比企郡松山町材木町二ノ四二二 齒科醫 (東京齒科卒)

土肥 政美 兵庫縣武庫郡甲東村神呪社 千代田火災保險株式會社 (慶大經卒)

冨家 彰 浦和市大谷場八 住友生命保險株式會社

永井 藤左衛門 東京市杉並區阿佐ヶ谷六ノ二〇一 西村建築事務所勤務 (東京市駒形區丸ノ内海上ビル八階) (早大理工卒)

中島 精二 橫濱市中區本牧町三ノ七 醫師、醫學博士 (慶大醫卒)

中村 友輔 朝鮮平壤府東町一〇 醫師、醫學博士 (東大醫卒)

中村 善政 大宮市高鼻四二 齒科醫 (日本齒科卒)

日坂 盛太 北足立郡戸田村一三 米油肥料商

原 義男 北足立郡上尾町一九七 醫師 (東北醫大卒)

宇田 勳 栃木縣鹽谷郡阿久津村寶積寺 農 (早大理工卒)

比留間 重郎 東京市淺草區馬道町一ノ一 貸家業

引間 茂 兵庫縣武庫郡本山村 大阪商船株式會社臺灣航路營業九事務長 (東外語卒)

深谷 昌 浦和市仲町三ノ七九 齒科醫 (日本齒科卒)

福田 勝藏 東亞同文書院教授 (東亞同文卒)

逸見方茂 兒玉郎東兒玉村沼上六〇〇 農 (早大商卒)
 網井良助 北足立郡茨木町四〇一九 金田味喃株式會社
 增田德二 兵庫縣朝來郡生野町一九九 兵庫縣立生野高等女學校 (早大高師卒)
 武笠孝悌 東京市芝區白金三 日刊工業新聞社東京(東京市橋區銀座西二)中大商卒
 安川喜一郎 浦和市常盤町五ノ四三 浦和第一小學校 (埼玉二部卒)
 渡邊和夫 北葛飾郡靜村伊坂一〇四五 醫師(慈惠醫大卒)
 渡邊總一郎 浦和市仲町二ノ一〇九 安田銀行本店
 永瀬藤隆 川口市壽町三〇 鑄物業
 不明會員

死亡會員

碓井春雄 北村清 齊藤文男 鈴木壽慶
 矢崎東五
 會田彌平 青羽勇二 江連盛雄 道祖士一磨
 根岸二郎 水野俊雄

◎第二一回 (大正九年三月) 六九名

淺井博 浦和市岸町六ノ三 三井物産株式會社員(東外語卒)
 淺子茂助 神奈川縣三浦郡浦賀町大 浦賀船渠株式會社員 (明大商卒)
 井上彦二 北足立郡安行村安行六二 醫師、醫學博士 (慈惠醫大卒)
 五十嵐忠之助 浦和市仲町一ノ三八 酒類商

石井重光 鶴子市本通一ノ二 醫師、醫學博士(千葉醫大卒)
 石井正雄 大宮市一六六 東京鐵道局經理課 (專大經卒)
 石塚一郎 浦和市本太四八 メリヤス製造業
 今泉政吉 浦和市仲町三三 川口市川口第一小學校 (東大修理)
 宇田川隆廣 北足立郡六辻町白幡一九九 埼玉縣林務課
 內田敬八 北足立郡志木町一六二九 醫師(千葉醫專卒)
 內田博宗 東京市荒川區臨町屋二ノ四一三 醫師(慈惠醫大卒)
 金子秀夫 浦和高砂町一八九四 土地測量業
 鎌田良賢 北足立郡白子村一〇二一 僧侶(天臺宗大卒)
 水南新一 大宮市土手宿一三五 酒造業(日大法文卒)
 熊谷信太郎 橫濱市鶴見區東寺尾町二三一三 (東商大卒)
 栗原健一 室蘭市深町 鐵道官舎七號ノ二 室蘭保險事務所
 黑澤三郎 北足立郡美谷本村美水三三三 一村名警助役
 小泉正男 東京市豊島區西巢鴨二ノ三三九 藥劑師(東藥專卒)
 古要弼郎 浦和市常盤町一ノ二一八 東京鐵道局經理部審査課書記
 佐脇祥夫 尼崎市西向島一 日本硝子株式會社技師 (東高工卒)
 齊藤弘 浦和市三室二九六七 農
 齊藤道次郎 浦和市常盤町五ノ五三 東京鐵道局電報機器課車課(日大高工卒)
 眞田健三 Edificio Kato Despacho 604/308 日本水産株式會社墨西哥出張所(水産講卒)
 20 de Novena prey Repunon del Salvador Mexico D.F. Mexico.

篠田悌一 川口市横會根一二五二 東京市王子區第二小學校(講師二部卒)
 島田利明 大阪市西區本田町通一丁 大阪府警察部健康保險課
 白鳥正次 豊橋市談合町一 陸軍少佐、豊橋陸軍豫備士官學校(陸士卒)
 關根隆藏 北足立郡植水村島根一五 東京鐵道局大宮工場庶務課書記
 田井武雄 兵庫縣伊丹町主基町五四 乾叩食料品株式會社(富山藥專卒)
 高田善之 東京市杉並區和田町六 東京府立第三中學校(東高師卒)
 戶張幸一 北足立郡大久保村白嶽四八〇 織物製造業
 長崎次郎 北足立郡鴻巣町二四五〇一 醫師(慈惠醫大卒)
 長瀬勇 京都市上京區小山西 地方農林技師、京都府經濟部農務課(東大農實卒)
 野村明長 浦和市 高等學校前
 蓮沼勝長 神戶市灘區大石 醫師、小泉製麻株式會社勤務(神二番八)一 戶市灘區新井家町(日本醫專卒)
 濱野次郎 東京市日暮區自由ヶ丘六 醫師、醫學博士(新潟醫大卒)
 原田潔 新義州府麻田洞三八五 王子製紙株式會社印刷工場(東北大丁卒)
 古橋才次郎 鎌倉市雪ノ下七〇三 海軍少佐、橫須賀航空隊隊官(海兵卒、津川海軍海平)
 星野廉 浦和市大谷場一二二 計理士(專大計卒)
 細淵柳次郎 茨城縣那珂郡里迎町北山 漢商業學校(青山學院卒)
 本多次郎 北足立郡小針村羽貫一〇二〇

前田常次郎 浦和市仲町三ノ八〇 鐵道省建設局計畫課課長(專大經卒)
 町田二郎 東京市澁谷區原宿一〇〇 遞信省官吏(日大法卒)
 松澤兼四郎 大宮市大宮二七七 埼玉縣內務部商工課
 松澤環 南埼玉郡出羽村三二二 農(明大商卒)
 松本永世 浦和市下木崎二〇〇
 宮崎亮 浦和市岸町一ノ二一九 滿鐵東亞經濟調查局(東、語卒)
 森宗一 大宮市東町四ノ三三四 東京鐵道局大宮工場
 八木原山郎 秩父郡秩父町 秩父セメント株式會社
 矢田四良 浦和市岸町三ノ一〇〇 鐵道省官房試驗所(東大農實卒)
 山岸光國 大阪府衛生課(金澤醫大卒)
 龍崎虎男 名古屋市東區大曾根町 鐵道省工作局技師(東大工卒)
 鷺尾豊一 船橋市宮本町二ノ二〇九 三德商事合資會社理事(中大法卒)
 鴛田均三 北足立郡植水村島根六九 北足立郡與野小學校(埼玉二部卒)
 ◎四年修了者
 齊藤忠康 東京市下谷區谷中初音町 海軍省教育局海軍中佐(海兵、海軍進學學校卒)
 關田保男 大宮市三六八〇 日本商科醫學專門學校(東大理卒)

不明會員

江口泰之助 岡島 盛三 木戸和喜男 薄田 敏男

死亡會員

磯部 浩 加賀崎義太郎 加藤清一郎 加藤 芳男
片野 恭平 金子 寛 栗原 猪一 齋藤 徳藏
杉山 一良 田口 有 土屋 馨爾 柳澤 武好

◎第二回 (大正十年三月) 六三名

青木 悅郎 大宮市六二〇 大宮北小學校
新井 光爾 北足立郡石戸村高尾三三三 農 (早大專政經卒)
伊藤 喜一 浦和市常盤町一〇一三一 藥局經營(東藥專卒)
池田 格次郎 浦和市岸町六〇一二二 東京府立第一商業學校
石田 大次郎 浦和市仲町三〇五〇 教諭(東美術卒)
石塚 安治 浦和市本太四四 農 (京大醫卒)
石飛 鐵太郎 大宮市三六〇七 醫師 (日本醫大卒)
市川 隆三 大宮市仲町四〇一五 醫師 (日大醫專卒)
岩田 基 東京市豊島區池袋町一〇〇〇 東京府廳(東大農卒)
宇田川 初太郎 浦和市岸町二〇九八 東京鐵道局中野驛
海老原 好雄 東京市足立區梅田町一五四 飾物製造業
江刺 眞實 大宮市五四八 (明大法卒)
澁見 慈成 浦和市針ヶ谷一五八 埼玉縣社會事業主事
(浄土宗大卒) 僧侶

大熊 充哉 吹田市千里山三七
金子 揆一 (北足立郡六辻町白幡六) 陸軍少尉(大尉)
金子 忠次郎 北足立郡六辻町二七八 農
川鍋 石雄 北足立郡宮原村加茂宮七五五 農
川村 浩之助 東京市足立區千住町五六五 (中大法卒)
北 友雄 浦和市常盤町一〇一五〇 東京日々新聞社映畫部
菊池 俊雄 盛岡市菜園龜樂町 醫學博士、日本赤十字
小泉 好一 南埼玉郡越ヶ谷町本町二 社若手支部副統
(埼玉第一師範) 南埼玉郡大袋小學校
小島 幸平 大宮市四〇五二〇二 運動用品販賣業、大宮合
佐藤 仁一郎 東京市蒲田區仲蒲田二 同運送株式會社取締役
(東高工藝卒) 東京芝浦電氣株式會社
佐藤 龍雄 名古屋市中區池下町二 醫學博士、名古屋鐵道
坂寄 恒吉 川崎市大師西町一三四 醫師 (慈惠醫大卒)
櫻井 長四郎 川崎市川越鍛冶町九一五 自專車卸、銃砲火藥販
(東高工藝卒) 青葉(東京商科卒)
澤口 剛雄 川口市元町一七 靜岡高等學校教授(文部省
篠 竹藏 東京市豊島區西巢鴨四 日産化學工業株式會社小
清水 澄 川口市里 松川工場技手(東藥專卒)
庭木花卉栽培業

須田 忠次 札幌市北六條西九〇一 北海道帝國大學農學部演
鈴木 啓 北足立郡桶川町六九 習林事務所(北大農實卒)
鈴木 敏雄 東京市杉並區高圓寺六 硝子金物類販賣業
瀨田 四郎次 大宮市砂五八二 株式會社問組
高野 孫二郎 廣島市饒町一三四 廣島第二中學校(東高師卒)
高橋 新之助 北足立郡蕨町塚越三三八 味噌製造業
高橋 寛 東京市羽町區富士見町二 横河電機製作所
瀧澤 政二 入間郡所澤町金山町二五五 齒科醫(日本齒科卒)
瀧島 彰司 兵庫縣武庫郡魚崎町三七 大阪毎日新聞社會部記
昭林 好幸 大宮市七二八 藥局開業(山藥專卒)
田頭 敏 東京市目黒區上目黒 法政大學豫科教授(東京市
町五ノ二五五八ノ二 麹町區富士見町)法大文卒)
名倉 友次郎 朝鮮江原道三陟郡三陟邑 協同油脂株式會社工場
長澤 民治 東京市板谷區元廣尾町一 東京警察病院內科
(東大醫卒)
福田 卓爾 靜岡縣田方郡中鄉村 醫師(新潟醫大卒)
船津 貞之助 川口市鳩ヶ谷町一八九九 眼科醫(日本醫大卒)
星野 助直 浦和市領家二五 農
森川 一仁 大宮市大成一五六一 鐵道省技術員
矢作 伊勢太郎 川口市根岸二二一四 第四岩淵小學校
(京大工卒)
山崎 正 東京市目黒區自由ヶ丘一 東京工業大學
(東高工藝卒)

山村 勇 浦和高砂町一ノ六二 齒科醫(日本齒科卒)
山本 桂一郎 靜岡縣磐田郡大袋町豊津 四年修了會員
岩井 良太郎 兵庫縣武庫郡本山村野崎 大阪毎日エゴノミスト
(東商大卒)
川面 隆三 東京市半込區市ヶ谷砂土 內閣情報部書記官
(東大法卒)
原田 富一 浦和市常盤町五ノ八 大藏省物資調查事務所
町田 俊一 大宮市二九五三 第一銀行員(東商大卒)
不明會員
伊藤 恭雄 岡村 芳男 野島 靜雄
死亡會員
小島 廣三 小沼 達 小谷野 孝 佐橋 勉
竹内 晃 中島 龍雄 原田 修作 肥田開幸右衛門
二味 敏 山岸 勇吉
◎第三回 (大正十一年三月) 九一名
相川 英四郎 横濱市鶴見區北寺尾町一 三菱化工機製作株式會
社(川崎市) (東大經卒)
秋元 武男 北足立郡美谷本村內谷二九二五 (文部圖書課卒)
秋本 幸平 東泰公司
(岩島市奉天路二八七)
淺田 羊一 大坂市東淀川區三國町本 ｷﾞｰｽﾄ 敬輝齋者
町五七 美富久莊內 (國民英語修)
五十嵐 幸作 浦和高砂町一ノ六九 煙草食料品商

飯田 正美 北足立郡六辻町文蔵一七四六 農
飯塚 孝司 川口市前川町一〇二一五 飯留織物株式會社事務
池田 新一 東京市豊島區駒込町五ノ一 大川合名會社
石井 正徳 北足立郡戸田村上戸田二 川口第三小學校
石塚 光太郎 浦和市岸町三ノ一〇〇 藥劑師 (東藥專卒)
今井 正藏 浦和市大谷場九 武州銀行板橋支店 (明大商卒)
今泉 榮政 川口市芝小谷場三八 農
白倉 米次郎 川口市新井宿四 農
内田 彦二 大宮市大成五一四 東京鐵道局書記
小高 武雄 北足立郡桶川町一四〇三 米穀商
小花 悖 熊谷市筑波區富士見町 秋葉原驛(明大法卒)
柳沼 三郎 浦和市常盤町五ノ一三八 東京市役所水道局
金子 吉衛 北足立郡蕨町一三 厚生省保險院社會保險局 (東大經卒)
鎌倉 竹三 六 東京市足立區千住橋戸町 局
木村 泰夫 岐阜市長良區有明町三 岐阜縣視學官(東大文學)
栗田 千穎 滿洲國奉天總通遠堡驛青 滿洲礦山株式會社
栗原 光次 北足立郡鴻巣町二六ノ二 製綿業
小泉 勝治 東京市荒川區尾久町三ノ二 東京市役所衛生司統計課事務 (東大經卒)
小林 一郎 滿洲國哈爾濱滿鐵醫院(東京齒科卒)

佐藤 正雄 北海道苫小牧町王子製紙株式會社
齋藤 勳 浦和市仲町四ノ九一 東京少年審判所
齋藤 兼雄 大宮市下町三〇九二 東京鐵道局大宮工場用品庫
坂卷 孝策 青森縣下北郡田名部町 醫師、醫學博士、田名部病院長(青森縣田名部町) (東北大學卒)
嶋山 信之助 尼崎市昭和南通七ノ一八 日本染料株式會社 (橫濱高工卒)
櫻井 秋司 川口市壽町一九三 齒科醫 日本齒科卒
篠田 幹太 今治市宮本通一一 愛媛縣染織試驗場 (米高工卒)
澁谷 正之 大宮市大成一五八ノ一 醫師 (慶大醫卒)
澁谷 正之 北足立郡加納村一七八 農
下館 伊吉 北足立郡加納村一五二 北足立郡小室小學校
東海林 伴治 滿洲國奉天開發株式會社 (新京特別市大同大街) (東亞同文卒)
須賀 智三 浦和市仲町三九二一 會社員 (慶大卒)
杉山 胤太郎 浦和市岸町六ノ八一 東京朝日新聞記者
鈴木 俊雄 北足立郡上尾町柏屋六ノ四 酒造業 橫濱高工卒
田中 敏三 北足立郡小室村二三三七 日本郵船會社「務課技師」(中工卒)
高木 深 東京市澁谷區代々木町上 東京瓦斯會社 (東法卒)
高橋 精司 大宮市淺間三〇六九 東京鐵道局(早大專卒)
高橋 武夫 八幡小學校(岐阜縣掛妻那八幡村)

塚田 潔 瀋陽市西新町百道 縣官舍

辻 治雄 北足立郡六辻町二番台 醫學博士、醫師 (東北大學卒)
甘樂 義恭 東京市下谷區中根岸町二 僧侶 (東洋大學卒)
壺井 好一 七 東京市下谷區梅小路中町 第一工業製藥株式會社 研究室主任(米高工卒)
時友 季雄 浦和市常盤町一ノ六七 新炭商
中村 健藏 北足立郡日村二二 農
中村 勝治 北足立郡土合村田島三七 撥絲業
中村 達之助 北京西交民巷中街五號 中華民國國民政府建設總署都市局(日大高工卒)
双木 重藏 浦和市本太二九二 鐵道省官吏(日大高師卒)
西野 章 川口市神根一〇八 (桐生高工卒)
野口 義雄 東京市本所區錦糸町三二 齒科醫(東京齒科卒)
長谷川 忠一 浦和市巾尾二七九 雜貨商(千葉高商修)
原 武正 東京市世田谷區北澤町二ノ二〇八 醫師、醫學博士、日本赤十字社病院(慈惠醫大卒)
原口 通安 高崎市成田町八 醫師(日本醫大卒)
原田 力藏 岡山市島田八三 日清製粉株式會社岡山工場 (東大工卒)
半田 陸夫 東京市豊島區千早町三ノ一六 日本放送協會技術局 (東大法卒)
平井 孝雄 大連市清水町一 關東廳地方法院判官 (京大法卒)
深井 一郎 大連市蓬萊町一四 滿洲麻袋組合 (慶大高卒)
古澤 健一 大宮市三七八四

喜八 川口市鳩ヶ谷町一八八三 會社員 (東大經卒)
星野 徳次郎 大宮市三七五七 材木商
網井 右三郎 南埼玉郡河合村馬込四云 農
網口 吉太郎 北足立郡小室村四一七四 桐タンス製作卸商
松澤 茂 大宮市大宮二二五 齒科醫(東京齒科卒)
三宅 第三郎 東京市豊島區千早町一ノ四四 地方道路技師、埼玉縣土木課(東大工卒)
水村 恒三 北足立郡美谷本村內谷四 農林省官吏 (東大農實卒)
村田 恒治 北足立郡上尾町三ノ一 上尾郵便局
山路 平八郎 大宮市三八七三 材木商
吉澤 倫太郎 東京市下谷區上野櫻 日本發送電株式會社(川崎市潮田發電所) (二高理卒)
吉田 龜治 大宮市下野六二七 東京市「務局地理課」(日大法修)
吉田 菊之助 北足立郡與野町下落合 埼玉縣廳衛生課 (東藥專卒)
米田 眞次 京城市初音町一三五 總督府通信局通信書記
伊藤 泰助 東京市澁谷區向山町二九 海軍少佐 (海大卒)
不明會員 遠藤 虎雄 小出 隆次 中村 謹治 矢作 幸吉 死亡會員 青木 信武 飯島 泰輔 市川 廣光 内田 秀彌

第二四回

草柳 義治 佐藤 岩藏 齊藤 正二 本多 侍郎
松澤 孝一 松村 勝壽 松本 榮造 矢島 寅松
矢部 平八郎 山本 壽郎 寄田 辰

◎第二四回 (大正十二年三月) 八十七名

秋元 貞三 (東京市杉並區高圓寺) 華中市公共汽車股份公
司員(上海東味齊舍支路
七) 號記(慶大高卒)
秋山 知三 30 Church Street, New York, N.Y. U.S.A. 大倉商事會社組育支店
員(東高工卒)
淺子 勝二郎 慶應義塾大學理科 (慶大文卒)
東京市目黒區上目黒五ノ
二六四二
新井 玉作 旭川市五條通九丁目左九
市立高等女學校 (早大高師卒)
新井 保男 浦和市針ヶ谷中山東二三
了真師、東京官費專門
學校教授(東寫眞專卒)
有賀 康雄 東京市京橋區新富町二ノ
五ノ三 醫師(東醫專卒、海
軍) 醫學士
井上 藏六 東京市目黒區原町一二六
簡易保險局(明大商卒)
石井 正恒 北足立郡植水村島根四二四 東京鐵道局大宮工場
共同機械製作所
市川 幸得 京都市左京區北白川仕伏 醫師(東大法卒)
岩崎 良平 東京市麹町區一番町一六 彫塑家 (東美術卒)
一ノ三井家別邸内 浦和商業學校 (明大商卒)
岩本 武雄 浦和市岸町四ノ一四八ノ
大宮西小學校 (明大商卒)
宇田 平 大宮市土手宿三五九 (埼師二部卒)

四〇

上木 榮一 金澤市横山町二番丁七 金澤第三中學校(東高
師範教卒、東高師如卒)
日木 榮男 北足立郡土合村元宿一 行田足袋被服工業組合
〇一
小川 信太郎 北足立郡戶田村七九四ノ一 瓦製造業
尾崎 太郎 浦和市常盤町一〇ノ七三 廣巾織物製造業
大熊 季雄 浦和市本太二四三 第八十五銀行板橋支店
大島 圭宇 北足立郡片柳村中丸五五 醫師(日本醫大卒)
大 中 俊夫 橫濱市中區鷺山二〇 橫濱地方裁判所判事
大野 祐 南埼玉郡相模村 四五六 醫師(東大法卒)
加藤 貞良 北足立郡桶川町七五八 肥料官鹽元寶棚
加藤 貞良 北足立郡桶川町七五八 簡家具荒物商、埼玉縣師
柏浦 德三 北足立郡桶川町七七〇 醫師(東北醫大卒)
木內 恒藏 北足立郡大久保村宿一九 大久保小學校校長
木原 六郎 浦和市常盤町七ノ一 齒科醫(東京齒科卒)
北西 卯三郎 大宮市益裁村 齒科醫(東京齒科卒)
黑澤 好治 大宮市三八一六 北西酒造合名會社(北足
立郡上尾町)(東大法卒)
小島 晴吉 大宮市仲町一區三八二二 市役所 (東高職卒)
駒崎 保胤 橫濱市鶴見區平安町二ノ 京濱電氣自動車修繕部
一ノ七 員
齋藤 司馬男 大宮市 鐵道官舍三四 東京鐵道局書記、大宮
齋藤 俊介 哈爾濱市馬家溝土庫街八ノ二 滿鐵社員(東大法卒)

澤田 芳治 川口市芝五一六 (拓大豫卒)
杉浦 幸太郎 北足立郡鴻巣町二七三一ノ一 紙荒物木石炭商
鈴木 治助 東京府北多摩郡立川町仲 齒科醫(日本齒科卒)
町三一七
鈴木 平八郎 北足立郡上尾町下上尾 農
田島 要次郎 東京市杉並區水福町二〇 梁瀨自動車株式會社
田中 繁之助 浦和市岸町六ノ七 賣商
田部 非誠 大里郡深谷町本町一一 藥劑師 (東藥專卒)
田邊 竹雄 神奈川縣足柄上郡清水村 警察官
田村 救四郎 茨城縣猿島郡古河町南新 古河商業學校 (東大經卒)
高瀬 虎藏 東北振興パルパ株式會社工場(石卷 市門脇後山一七)(早大理工卒)
出窪 平八郎 大宮市宮町大通 洋服商
戶所 勝人 大邱府東雲町三八六ノ 金融組合聯合會參事(慶
尚北道支部)(京大經卒)
富田 嘉吉 東京市王子區志茂町二ノ一三七〇 (早大專商卒)
奈良岡 弘 新潟市關屋田町一ノ八五 日本勸業銀行新潟支店
(大倉高商卒)
永島 恒茂 東京市澁野川區中里町五五 淺草松屋
永島 義一 北足立郡大谷村向山五四九 農
西村 淑 川越市南町八三四 東京放送局員(慶大理財卒)
額賀 大興 山口縣豊浦郡勝山村 住吉神社宮司 (神宮皇卒)
野本 正雄 東京市下谷區金杉下町三 日本大學齒科 (日本齒科卒)
八 東京市下谷區金杉下町三 日本大學齒科 (日本齒科卒)
祀島 巽 北足立郡馬宮村二ツ宮四 東京通信局工務課 (通信官親卒)
七四ノ一

第二四回

四一

武治 大宮市吉鋪町三三 美術雕人形製造販賣業
藤田 宣雄 福島縣白河郡白河町番町四ノ 醜造業(東大農卒)
船津 雄 群馬縣山田郡大間々町六 渡良瀨水電株式會社
一四四四 (早大理工卒)
保坂 忠次郎 川口市金山町七一 鑄物工業
堀内 藤武 北足立郡六辻町別所一一 國際汽船株式會社
二 (東大經卒)
町田 職三郎 一一一七 大日本製糖株式會社東
京工場(慶大農卒)
松本 博 大宮市高鼻五六ノ二 東京鐵道局運輸部庶務
課(福島高商卒)
丸岡 三郎 上野中鐵道株式會社 務部貨物係(明大法卒)
宮下 宣清 大宮市櫻木町七八四 東京鐵道局大宮工場 (明大專商卒)
宮本 佐次平 東京市京橋區小田原町二ノ一九 鐵工業
宮本 弘道 千葉縣東葛飾郡松戸町三 商工技師(東大經卒)
一三四七
武笠 正雄 茨城市古亭町二二一 臺北女子高等學院 (早大高師卒)
大宮市三橋三五六
茂原 武雄 滋賀縣經濟部經濟更生 滋賀縣經濟部經濟更生
森田 榮三 浦和市高砂町二ノ八六 醬油食料品販賣業
安田 清臣 東京市四谷區番茶町三 株式會社赤木商店常務
取締役、蓄財部所長
安田 政雄 拓務省技師、南洋總土本課(南洋 群島) 技師(東大工卒)
横田 新之助 川口市宮町三 川口第五小學校(埼師專卒)

横田 隆敬 川崎市新城三 僧侶兼川口市役所吏員(智山六卒)

四年修了會員

井本 豪吉 東京府北多摩郡武蔵野町 東京刑事地方裁判所檢事局檢事(東大法卒)
大野 捷助 東京市牛込區市ヶ谷山伏 醫師、醫學博士、東京警察病院勤務(東大醫學卒)
新藤 知義 佐世保市折橋二二一 (東大文學卒)
富永 龜太郎 東京市中野區中野驛前一 陸軍少佐、陸軍省情報部(陸十卒、陸大卒)
寄田 豊 廣島縣西三津田町五九〇 吳海軍工廠砲頭部技師(東大工学卒)
萩島 傳吉 川口市横曾根町五五〇 農
西川 信治 川口市下青木町二五三 機械業
永瀬 吉五郎 川口市本町一〇〇〇 鑄物業
濱田 長十郎 川口市金山町四一

不明會員

加藤 定吉 松本 勝三

死亡會員

麻生 弘 淺井 清 石原 敬義 小川 義清
川口 武辰 河合 廣 澤野小次郎 武市 猛
野崎健太郎 野崎伸太郎 長谷川元之助 波多野幸太郎
比留間勘造 古谷 一郎 星野 良平 松本 直彦
矢内 真一

◎第二五回 (大正十三年三月) 八四名

赤松 重助 東京市板橋區上板橋六四 日本ヒストリソング株式會社(慶大法卒)
秋池 潤 大宮市八九五 鐵道省新小岩工場
淺子 英 滿洲國國島省延吉街大和區大和路八〇一四八 務科長(東大法卒)
淺見 信愛 栃木縣芳賀郡真岡町臺町 真岡中學校(第一隨教卒)
井上 義正 大宮市砂四五 農
伊藤 駿一 東京市足立區千住中居町八八 東京紙業會社(東大法卒)
飯島 孝 奉天市千代田通四〇 東京府商工主事補、東京府立東京商工獎勵館長、天出張所長(東外語卒)
五十嵐 健次 德島市下助任町西分五三 德島縣經濟部林務課勸務、農林技師(東大農卒)
石川 惣隆 浦和市大谷場一六七〇 鐵道省東京改良事務所(青山學院卒)
磯崎 節郎 平塚市新宿一八八四 醫師(東大醫學卒)
榎本 莊平 武洲銀行廣支店員(北立郡野田村)
遠藤 孝一 大宮市大宮二九六二 北足立郡野田小學校(北足立郡野田村)
小高 信道 (北足立郡桶川町) 陸軍大尉、滿洲國牡丹江省軍部便所湯口部隊小隊長
大野 左夫 比企郡明覺村大附 商
大野 英二 北足立郡美谷本村內谷田 美谷本小學校

大原 万平 兵庫縣川邊郡西谷村花屋 東洋經濟新聞關西支局(早大政經卒)
織本 剛一 東京市牛込區山吹町八一 藤森方 吳服商店員
龜井 俊耶 東京市荒川區日暮里町四一〇四 三菱商事株式會社船艙部(慶大醫學卒)
黑澤 巖 陸軍大尉、滿洲國牡丹江省軍事郵便所湯口部隊黑澤部隊(慶大高卒)
小池 博 東京市小石川區高田老松 森友貿易商店(慶大高卒)
小島 義元 北足立郡大石村九三八 大石小學校 埴師二部卒)
小沼 十寸穂 浦和市常盤町四ノ六 醫學博士、日本勞動科學研究所(慶大醫學卒)
小山 義一 北足立郡內間木村下內間木七八四 農
木場 貞人 浦和市常盤町四ノ四五 國考東京職業紹介所職業主事補、社會學部、尾木小學校(埴師二部卒)
櫻井 武雄 浦和市常盤町五ノ一〇二 浦和市尾木小學校(埴師二部卒)
澁谷 光保 川越市久保町五八五 カフエー・ライト 經營須賀 勇助 北葛飾郡幸手町幸手三二四四 製絲業(早大高師卒)
鈴木 武男 大宮市下町三一四四 立教中學校(早大高師卒)
仙田 倉雄 東京市荏原區中延町五四 藥劑師、友田製藥株式會社勤務(東大醫學卒)
瀧上 猛男 浦和市常盤町五ノ四四 鐵道省經理局調查課普通統計課(早大政經卒)
平 正夫 福岡市地口東町二八八 修猷館中學校(東外語卒)
塚越 甫次 北足立郡與野町下落合一 中京鐵道局上野運輸事務所(中大經卒)

鳥海 喜平 浦和市三空四二二 農
永瀨 勝美 川口市本町一〇二二 鑄物業
永田 昌吉 大宮市七三六 日立製作所(明大法卒)
鯨江 四郎 (京城府苑西町三〇) 徵文中學校
西村 春雄 浦和市常盤町四ノ五四 浦和市役所
萩原 考二 東京市瀧野川區田端町二〇六 瀧野川小學校(埴師專卒)
早川 進 東京市豊島區西巢鴨町三ノ八五八 醫學博士、東京市養育院醫局(東醫專卒)
原島 榮一 東京市王子區上十條町二ノ三ノ二 東京文理大學(中大專法卒)
原田 正永 小樽市綠町一ノ一一 齒科醫(日本齒科卒)
原田 實 浦和高砂町四ノ七二 東京高等工學校(早大理工卒)
平山 常時 愛知縣西加茂郡舉母町樹木七四 トヨタ自動車工業株式會社(慶大高卒、日大文學卒)
廣田 英二 北足立郡浦川町七八八 社會員(慶大高卒)
星野 幸藏 札幌市南十一條西一ノ四 浦和市第一小學校(埴師專卒)
星野 正一 浦和市仲町二ノ一四〇 (埴師專卒)
細井 榮吉 川口市橫曾根八反目三三 (早大文學卒)
細井 敏夫 北足立郡谷塚村二七三 日華萬歲生命保險株式會社員(東大法卒)
松崎 武男 長野縣上伊那郡伊那富村 齒科醫(日本齒科卒)
松澤 正二 北足立郡野田村 野田小學校(埴師專卒)

- 松本重三 大宮市三八六九 實商
- 水谷光榮 八王子市千人町九〇 東京市杉並區商工青年學校
- 水村 實 大宮市中小村田三〇六 武陽實業學校 (早大高師卒)
- 武笠秀三 浦和市本太一〇二二 東京鐵道局秋葉原驛農
- 村田喜作 大宮市大砂土五〇八 齒科醫(日大齒科卒)
- 森田茂夫 札幌市南八條西一五丁目 北海道拓殖銀行員
- 矢島識 東京市下谷區谷中天王寺 川口第二小學校 (東大法卒)
- 山本利一 東京市下谷區上野町二 和洋紙文房具商 (琦師二部卒)
- 横内武雄 東京市下谷區上野廣小路 自營 (東外語卒)
- 四年修了會員
- 石塚啓助 東京市世田谷區代田町一 住友信託株式會社東京支店 (東大法卒)
- 大野憲司 大連市聖德街一八五 醫師、大連病婦眼科勤務 (滿洲醫大卒)
- 剏 晉 東京市本郷區曙町一三 理化學研究所(大) 醫學博士(東大理卒)
- 守屋捷一 大阪市住吉區平野町技 大阪市電氣局運輸部築港電車運輸事務所 (早大法卒)
- 不明會員
- 飯野松一 奥村敏次 柴山惣一 須浪浩治

死亡會員

- 中村 敏男 村社 保倫 若林 光秋
- 朝日 重勝 石井五十二 大熊 安治 桑田 順弘
- 杉山 昌三 關田 智男 田中 錦壽 戶賀崎宣輔
- 戸張 宗次 野崎健太郎 橋本邦之介 原 武男
- 深澤 澄人 堀越 數雄 増田 敏光 吉野 勇
- ◎第二六回 (大正十四年三月) 八三名
- 淺香 儀作 浦和市道祖土三六〇 農
- 天沼 英一郎 北足立郡浦川町桶川六七三 文房具商
- 池田 季之助 浦和市岸町七一 浦和市岸町郵便局(東大農卒)
- 石村 敬助 北足立郡巖町三九六八 機械業
- 石村 隆藏 北足立郡巖町三九九〇 醫師、醫學博士(慶大醫卒)
- 今村 二郎 浦和市常盤町四〇三 北支派遺言撫實(日大卒)
- 内田 博三 川口市本町一三〇〇 三井生命保險株式會社東京支店
- 浦元 力時 浦和市高砂町五〇一三七 醫師(東大醫學部研究)
- 大畑 仁男 浦和市岸町二〇八一 醫師(東北大醫卒)
- 岡田 勇 東京市王子區王子町三 東京工廠(大原簿記卒)
- 荻島 忠治 東京市王子區中十條町三 東京市財務局地理課 (早大高師卒)
- 加茂 國雄 茨城縣猿島郡古河町五二二〇 神職(國大文卒)
- 柿沼 四郎 浦和市仲町二〇二二 埼玉縣廳健康保險課

- 金森一雄 岩手縣岩手郡零石村 零石營林署 (東大農實卒)
- 草刈 忠 大阪府中河内郡和 紡績機械用品株式會社(大阪) 市西區新町(橫濱專商卒)
- 國谷 錦之助 浦和市井沼方九四 農
- 小島 五六 川口市青木町三〇三六〇 醫師、醫學博士 (北大醫卒)
- 小沼 義雄 川口市鳩ヶ谷一八四六 醫師(日本醫大卒)
- 小林 隆 東京市杉並區荻窪三〇五 日機鐵業株式會社 (東大經卒)
- 小山 又一 北足立郡指扇村指扇三五三一 清酒燒酎醸造
- 兒玉 幸太郎 北足立郡六辻町白幡二九 商工省物價局價格第三課 (慶大法卒)
- 齊藤 正 札幌市北十四條西三丁目 醫師 (北大醫卒)
- 齊藤 長節 橫濱市中區長者町五ノ七七 齒科醫 東京齒科卒
- 齊藤 正道 齊藤滿平藥局(東京市麹町區麹町三ノ四) 東藥專卒
- 眞田 秀雄 川口市榮町一五 日本鋼管株式會社 山梨高工卒
- 鹽味 福之助 北足立郡朝霞町清沼一〇二 農
- 島田 通男 千葉市東本町四一 東京同愛記念病院耳鼻喉科 (千葉醫大卒)
- 須賀 得四郎 東京市中野區本郷通二ノ 淀橋第七小學校 (豊師專卒)
- 鈴岡 正三 愛知縣碧海郡依佐美村國 國際電氣通信株式會社 依佐美送信所(東大法卒)
- 田口 英雄 東京市豊島區雜司ヶ谷町 河合研究所 (東藥專卒)
- 田中 慶治 浦和市常盤町五ノ九八 官吏(日大專法卒)

- 田邊 實光 東京市大森區南千束町三 新湯鐵工所浦田工場 (早大理工卒)
- 田畑 禎治 新東京市義和胡同五〇一 滿洲電氣社宅二〇ノ一 (早大理工卒)
- 高橋 章三郎 東京市葛飾區本木田須 千代田機械製靴株式會社
- 高橋 武男 北足立郡片桐村染谷六四 大宮農商學校(東農專卒)
- 高橋 行雄 北足立郡桶川町六三一 齒科醫(日大齒科卒)
- 高師 康 北足立郡谷塚村三二三 東京朝日新聞通信部整理課 (早大文卒)
- 高柳 四郎 東京市四谷區東信濃町一 三井生命保險株式會社勤務 (明大商卒)
- 竹藤 芳郎 〇the Bank of Taiwan Ltd. No. 31 Raffles Place, Singapore, S.S. 臺灣銀行シンガポール支店勤務(東大法卒)
- 千代延 豊 東京市王子區岩淵町一ノ 商工省鐵料研究所 (日大法卒)
- 塚本 健吉 北足立郡巖町一六〇 酒類商(東京高主計卒)
- 土橋 清 鶴岡市菅葉町一九 鶴岡中學校 (東大文卒)
- 照林 武保 大宮市榎木町二四 教員(東京教員養卒)
- 出井 清 北足立郡桶川町一三三三 〇ラジアル共和國ノロニスデ線ダランタン 藤サンジヨシ耕地 (東亞同文卒)
- 時友 武雄 浦和市常盤町一ノ六七 埼玉縣廳庶務課
- 仲田 英彦 浦和市大間木九〇一 鐵道省運輸局自動車課
- 永瀬 利雄 川口市金山町二三 農
- 並木 長英 川口市芝六四

西山 悠平 ○ 川口市十二月町一四 農林省水産局海洋課
務 (水産課卒)

野口 勇 東京市中野區江古 早稻田大學專門部
田一ノ二ノ七四 (早大高師卒、クロージャー神學
(ハシムルバニア大修)

林 一 郎 大宮市三橋一九四一 農 警視廳衛生部 中大法卒

林 三 郎 大宮市並木八七 昭和大災保險株式會社市內
課代理店係長 早大商卒

平井 美雄 浦和市岸町七ノ五七 岡山市縣物工業組合 (岡
山市北方) (衛生高工卒)

平田 一郎 岡山市廣瀬町二四 綿織物買繼商

藤波 柳三郎 川口市浦寺一〇二 東京鐵道局大宮工場

細田 清秀 北足立郡小室村四二二五 醫師 (北大醫卒)

細沼 富藏 大宮市大和田三五〇 日本勸業銀行浦和支店
支店 (早大商卒)

堀 杉 良 一 浦和市岸町四ノ一九七 濠澤倉庫株式會社門司
支店 (早大商卒)

増田 愛三 (東京市王子區赤羽町
一ノ一六四) (早大商卒)

松川 勇武 入間郡飯能町中山元 讀賣新聞記者 (早大高師修)

丸山 仲治 中華民國江蘇省常州縣縣署常州工場內
日本郵船株式會社船船
部 (東商船卒)

三谷 克己 浦和市常盤町四ノ二四 神奈川縣土木部道路課
(東北大法文卒)

水野 寛 橫濱市港北區南綱島町五 報知新聞編輯局
(文化學院卒)

宮崎 勝之 浦和市高砂町一ノ四七 長谷川製作所

森田 榮 浦和市仲町二ノ一 日本鋼管株式會社 (東大經卒)

安田 榮治郎 市川市警野末

安田 久雄 川口市宮町四三二 埼玉縣警察部保安課
(電機學校卒)

安見 重次 大宮市二九六七 ホルネオ・スマトラ商事
株式會社員 東外語卒

山崎 市郎 吹田市千里天道二九三 陸軍軍醫少佐 (慈惠醫
大卒、陸軍々醫學卒)

山田 正次 廣島市皆賀町二ノ五一九 自轉車業

吉田 勝治 北足立郡志木町二四八三 東京市荒川區第二荒川
高等小學校、東洋大卒

若海 洪 北足立郡土合村一八三四

●四年修了會員

秋山 雄太郎 三井物産株式會社船船
部 (東商船卒)

荒井 亮 浦和市常盤町五ノ一三九 東京市立第二中學校
(東大文卒)

石川 正夫 浦和市常盤町四ノ一〇六 浦和商業學校
(東大法卒)

稻澤 修 東京市中野區沼袋町五 會社員 (京大法卒)

榎本 桃太郎 東京日日所出社

小口 靜夫 東京市中野區沼袋町北一ノ五〇八 (明大政經卒)

尾住 秀雄 東京市板橋區下石神井町 智山專門學校
(東大文卒)

眞木 昌夫 大宮市吉鋪町三八九九 東京開成中學校
(東大理卒)

松岡 清 臺北市文武町四ノ四 臺灣總督府事務局保安
課 (東北、法文卒)

山崎 富雄 東京市世田谷區上馬町一 一等機關士、三菱商事
船船部 (東商船卒)

清宮 信吉 浦和市大谷場七八三

農林省馬政局資源課 (明大法卒)

不明會員

高橋 藤綱 武井 昇 福山 靜雄

死亡會員

秋葉 福藏 飯塚 賢三 井山 省三 入江 龍夫
大室 莊作 小宮惣太郎 向坂 拾三 柴田 孝平
利根川秀吉 渡邊 直

◎第二七回 (大正十五年三月) 八八名

青山 榮一 新京特別市興安胡同一〇 東邊道開發株式會社經
理部 (東大法卒)

秋松 宗久 滿洲國吉林省敦化縣敦化 日滿パルプ製造股份有
限公司工務課 (東高工卒)

秋元 圭之助 北足立郡美谷本村美女木 埼玉縣警署 (東高工卒)

秋本 昇 北足立郡片柳村八五九 農 (早大法卒)

新井 堅二郎 北足立郡植水村飯田二 植水郵便取扱所長
(早大商卒)

井澤 良作 北足立郡野田村寺山三七 川口市芝小學校
(坊師專卒)

飯塚 正治 川口市根岸二九二五 川口市根小學校

飯野 富雄 浦和市高砂町二ノ五 醫師、醫學博士、慈惠會醫科
大學內科勤務 (慈惠醫大卒)

石井 利治 浦和市本太二三五一 藥劑師 (東藥專卒)

石川 貞一 北足立郡與野町一七四 町役場吏員

今泉 彰 鎌倉市腰越町津堀之内二 南滿洲鐵道株式會社

白倉 吉三 東京市大森區北千束三九 東京勸業火災川崎出張
所 (早大商卒)

内村 太郎 橫濱市中區境ノ谷一 橫濱第一中學校
(東物理卒)

榎本 善行 東京市大宮小學校 (坊師專卒)

榎本 善行 東京市大森區新井宿五ノ 東京市總務局文書課
(東大法卒)

小川 洋 北足立郡西皇城根甲 興亞院調查官、華北連
絡部 (東北、法文卒)

小野 友博 北足立郡片柳村中川四二 內務省地方局行政課
務 (中大法卒)

小田 倉正 甲府市日向町六 日昭館 甲府工業學校
(第一、陸教卒)

大井 俊夫 東京市澁谷區代官山十月 東京鑛山監督局
(東大法卒)

大井 光一 東京市王子區志茂町一ノ 東京鑛山監督局
(早大高工卒)

大熊 健三 北足立郡與野町七二六 金物商

大熊 善四郎 東京市王子區志茂町一ノ 鶴見石川島造船所船物
部

大熊 初太郎 奉天市大和區東亞街三 滿洲國中需官、軍需本
廠 買取長 (早大商卒)

大島 貞雄 大宮市高砂二七九 大宮市大砂土小學校
(東洋大卒)

小杉 宗平 大宮市土手宿七 醫師、醫學博士
(千葉醫大卒)

岡田章雄 東京市板橋區志村町志四 史料編纂所 (東大文卒)
 加藤勝二 北足立郡桶川町一三九〇 石炭商 (明大法卒)
 柿沼平衛 北葛飾郡靜村一三六八 農 (明大法卒)
 金子禮爾 入間郡宗岡村四四二五 農
 鴨田正治 (北足立郡上平) 醫師、滿洲鐵道株式會社附屬病院(滿洲國鄭家屯) (滿洲醫大卒)
 岸 嘉信 北足立郡宮原村吉野原三三 (早大法卒)
 岸川鐵太郎 鋼路市外大樂毛官舎 鋼路種馬所(東大農卒)
 小寺安明 北足立郡内間木村濱崎一〇三〇 東京市住居第四小學校 (醫師二部卒)
 小林正雄 浦和市常盤町六ノ三五 浦和商業學校(東物理卒)
 古要桂次 (浦和市常盤町) 海軍大尉、臺灣其隆野便氣附屬門根陸地隊古要部隊(海兵卒)
 孤田惟信 東京市世田谷區玉川奥澤町二六六九 東京橫濱電鐵株式會社 (京大法卒)
 櫻井春治 川口市壽町一九三 醫師 (日大醫卒)
 里見達夫 東京市地方專賣局書記 (東商大專卒)
 清水正三郎 浦和市高砂町三ノ三 埼玉縣學務課 日大高師卒
 新藤彌平次 (大宮市上小村田) 哈爾濱鐵道局總務課 (早大法卒)
 須崎三四 北足立郡内間木村上内間 銘竹問屋
 須田俊 北足立郡内間木村濱崎三三三 農
 須田方一 松坂洋行(天津日本租界須磨街一六ノ二)

須藤春雄 茨城縣猿島郡古河町古河六四六八 製糸業
 高石昌五郎 川口市榮町一ノ二〇八五 金物卸商
 高德勝之助 川口市本町三ノ一〇二 鐵工業 (中大商卒)
 高橋良箇 橫濱市鶴見區馬場町二一 芝浦工作機械株式會社 (東大工卒)
 辻村重良 北足立郡與野町下落合一〇六四 (明大經卒)
 土屋申一 浦和市仲町四ノ一八 拓殖大學助教、拓大商卒
 常見常天 浦和市高砂町四ノ五〇 藥劑師、日本赤十字社 埼玉支部(東醫專卒)
 德丸平一 北足立郡巖町三〇八九 藥劑師 (東醫專卒)
 中川清 東京市神田區松永町一八 藥劑師 (東醫專卒)
 永堀善作 北足立郡六辻町別所一二九七 醫師、醫學博士
 新島勉夫 千葉市登戸五ノ二二二 東京高等齒科醫學學校解剖學教室(千葉醫大卒)
 野口東一 臺中市木下町一ノ四 帝國製糖株式會社工務部技手(東工大卒)
 野原松之助 北足立郡大谷村地頭方四一 農 (埼玉二部卒)
 平井靜夫 大宮市大宮四〇九五 醫師 (慈惠醫大卒)
 平野義雄 東京市目黒區三谷町五ノ五一 榮進社營業部(荒川區日暮里町六ノ二五六) (折大商卒)
 深田一男 (大宮市下大成二六) 農林省畜產試驗場中國支場(島根縣安渡郡川合村)
 細田朗 東京市本郷區森川町七七 東京市城東區大島青年學校(東洋大專卒)
 細沼浩 大宮市大砂土一四六七 北足立郡與野小學校 (埼玉二部卒)

納淵平三 北足立郡六辻町沼影三三 高崎板紙株式會社東京工場 (東農大卒)
 本間義夫 滿洲國熱河省建平縣公署 滿洲國熱河省建平縣公署副參事官(東大卒)
 町田壽衛男 大宮市二九三六 拓務省南洋課 (文化學院卒)
 松本三夫 南埼玉郡三箇村臺一四九 南埼玉郡相間小學校 (埼玉二部卒)
 三須信安 北足立郡中丸村北本宿五〇 大宮市日進小學校 (埼玉二部卒)
 水谷浩 浦和市岸町四ノ五一 藥劑師、埼玉縣農會(東大農專卒)
 森茂夫 浦和市本太四四七 埼玉縣農會(東大農專卒)
 矢部一郎 北足立郡桶川町桶川一四〇二 米雜穀問屋、運輸業
 山崎平三 浦和市本太八三二 藥劑師 (東農專卒)
 横尾政治 東京市淺草區南元町四九 東京市水道局給水課 (日大高工卒)
 吉川捷 浦和市常盤町四ノ六 浦和第一小學校 (埼玉二部卒)
 力村晃太郎 浦和市仲町二ノ一四三 拓務省管理局 (東外語專卒)
 渡邊牛之助 北足立郡朝霞町臺五七一 農 (日大文卒)
 ●四年修了會員
 長村利綱 大阪府濱寺町船尾八五四 住友信託株式會社 (東大經卒)
 熊井迪朗 新東京市特別市和光路一三二〇 滿洲探金株式會社企畫課 (新東京市大同大街(明大商卒)
 重田光晴 靜岡市泉町三ノ三 靜岡民友新聞社政治部 (東大法卒)

高久謙次郎 浦和市本太二四四二 (東大法卒)
 松澤藤一郎 浦和市高砂町二ノ六七 藥劑師 (東農專卒)
 龍崎立 岩國市川下町車一七八 帝國人造絹絲株式會社 (東大下卒)
 飯塚直次 川口市前川町一ノ三三 飯留織物株式會社取締役 株式會社富島組東京支店 (日大法文卒)
 引間三雄 浦和市岸町六ノ八五
 不明會員
 伊藤貞嘉 石井光三 稻葉松次 里見達夫
 武井弘 田代常三郎 島海滋
 死亡會員
 今井字之助 大津隆文 荻島滿之助 瀧澤之幸
 竹内忠孝 長谷川順一 萩原正司 平田清一
 平野坦 本多三郎 山本朝光 吉田美代司
 渡邊新二
 ◎第二八回(昭和二年三月)一〇九名
 相川宗治 浦和市高砂町 雜穀商
 赤松則英 東京市王子區岩淵町二ノ二〇〇 東京光學機械株式會社 技師(橫濱高工卒)
 秋本房雄 北足立郡六辻町辻二五六七 農
 淺子雄 奉天市橋立町一八 電機商會支那人
 淺子又男 北足立郡野田村大崎二四二六 園藝業
 雨森浩 東京市大森區大森町二ノ一七三 東京無線電機株式會社 (日大工卒)

五十嵐 仁三郎 浦和市仲町一ノ三八 酒商
 井上 伊三郎 大宮市高島四區一六〇 北足立郡指扇小學校
 井原 文次郎 京都市左京區北白川別當町九一 (京大醫學卒) (講師二部卒)
 伊藤 信彦 上海施高〇路〇照里二三 大日本麥酒株式會社出
 飯塚 正哉 浦和市高砂町四ノ六九 張所 (早大醫學卒)
 石田 海彰 北葛飾郡栗橋町三五八七 東京府立第十二高等女
 市川 伊三郎 東京市豊島區高田本町一 學校 (日大高師卒)
 市之瀬 昂 入間郡宗岡村二一七四 僧侶 (大正大史卒)
 入江 晴一 門司市大里東大門五丁目 齒科醫 (日大齒科卒)
 高橋方 (大倉高商卒)
 岩月 章 東京市王子區稻付西町六 陸軍省經理司主計課
 岩野 十郎 南埼玉郡越ヶ谷町彌生町 南埼玉郡依島小學校
 内木 英二 北足立郡土合村西堀 酒造業 (東高主計卒) (講師二部卒)
 梅澤 九十九 北足立郡土合村西堀一六 東京市清水小學校
 小川 平義 浦和市高砂町四ノ一九 (講師二部卒) 早大法卒
 小高 岩夫 大宮市大宮二九八六 縣南水道書記
 小花 四郎 大宮市二八八五 (早大專政經卒)
 本田 耕 横須賀市中里一〇二 海軍大尉 横須賀防備隊 (仙高工修)

大 中 健 三 東京市雑谷區幡ヶ谷町二 日本放送協會調查部
 大 貫 清 衛 北足立郡内間木村下内間木七九二 農 (市大文學卒)
 岡 村 國 男 川口市壽町九六 蕪炭問屋 (早大專商卒)
 金 井 尚 夫 新京特別市豊島南胡同 滿洲炭礦株式會社理事長
 一〇五 滿炭代用社宅 宇人事務 東北大法文學卒
 金 森 康 次 浦和市仲町二ノ九 日本郵船株式會社シヤトル航
 路照國丸機關士 (東函船卒)
 金子 今 一 北足立郡上尾町三五〇 北足立郡川谷小學校
 (講師二部卒)
 神山 裕 一 東京市杉並區西田町一ノ 實業之日本社 (女苑)
 四二八 朝局 (早大文學卒)
 神 口 梯 樹 浦和市岸町四ノ一六二 大藏省官吏 東北大一卒
 河 邊 武 士 浦和市上木崎四二〇 東京市日暮里第四小學
 校 (講師專卒)
 木 下 剛 北足立郡六辻町別所一八 合資會社佐藤製粉所
 三五 (罷工謀修)
 北 澤 怡 佐 雄 大宮市仲町二九九七 大宮工業學校 (國大卒)
 熊 谷 德 己 北足立郡桶川町榮町七八 大宮南小學校 (講師二部卒)
 熊 木 重 雄 北足立郡戸田村上戸田二七 農、戸田郵便局長
 暮 田 治 東京市小石川區白山御殿 東京市瀧野川各端小學
 校 (立大文學卒)
 黑 須 政 之 助 (浦和市高砂町二ノ六〇) 中支派遣製粉部隊黑須
 長谷川方 隊
 小 林 平 七 北足立郡荻目村四七〇五 野田小學校 (北足立郡
 野田村) (東洋大卒) 川口市第四小學校 (講師二部卒)

小 峯 清 南埼玉郡平野村高島二二 南埼玉郡指扇小學校
 小 峯 長三郎 (浦和市高砂町五ノ二八) (東大法卒) (講師二部卒)
 駒 崎 正 胤 千葉縣松戸町三ノ一〇八 東京市中央青果株式會社 (拓大卒)
 近 藤 昇 一 浦和市針ヶ谷四六 農 (東洋大卒)
 酒 井 澄 新潟縣中津原郡五泉町三ノ二 醫師 (新潟醫大卒)
 澤 井 隆 一 台北帝國大學醫學部解剖教室 醫師 (昭和醫學卒)
 砂 田 茂 浦和市仲町二ノ二四
 鈴木 靜 三 浦和市岸町三ノ四五 日本ヨムローラー商會員
 鈴木 達 北葛飾郡吉川町平沼二五 吉川小學校 (講師二部卒)
 關 口 貞 雄 廣島縣比婆郡庄原町庄原 庄原實業學校 (國大高師卒)
 關 根 三 郎 浦和市仲町二ノ四〇 齒科醫 (日本齒科卒)
 田 中 増 一 北足立郡六辻町辻二五五 織物業 (桐生高工卒)
 田 畑 新 川口市鳩ヶ谷一九三 (東大醫學卒)
 高 橋 一 世 北足立郡野田村大崎二二五五 農 (東大醫學卒)
 高 橋 恒 平 浦和中尾四二六 米穀商
 高 橋 忠 德 浦和市常盤町六〇一ノ一 米穀商
 高 橋 八太郎 北足立郡蕨町五九五〇 東京高等農林學校助教
 授 (東大農學卒)
 竹 内 威 東京市淺草區雷門町一ノ三三 關東廳外事課本部
 塚 越 昇 大連市臥龍臺四ノ二 (日大法卒)
 名古屋 富 雄 川口市青木町二ノ一八七 運送業 (國立音樂修)

永 島 武 雄 北足立郡大谷村 (慶大經卒)
 永 瀨 好 二 滋洲縣安曇郡通遠保驛前 滋洲鐵山株式會社青城
 子鑛業所 (大倉高商卒)
 永 瀨 利 直 川口市元郷町三ノ二二八六 鑄物業造業
 永 久 正 志 東京市王子區中十條町一 (東大理卒)
 永 堀 恒 治 北足立郡美谷本村曲本一四四九 農
 野 島 利 一 北足立郡内間木村上内間木三 商
 原 田 光 治 北足立郡與野町七七五 東京鐵道局運輸部庶務
 課 (法大專附卒)
 針 谷 忠 浦和市仲町二ノ七一 東京市王子區王子第四
 小學校 講師二部專卒
 平 柳 誠 東京市目黒區上目黒五ノ 拓務事務官 (東大法卒)
 二五八五
 藤 井 一 五 郎 東京市板橋區板橋一ノ 東京府立第十一中學校
 二四三九 (東高師卒、東文理大卒)
 船 津 弘 治 北京内一區寶院西大街六號 大倉土木株式會社北
 京出張所 早大理工學
 星 野 丑 三 浦和市三室二一九 農 (東洋大文修)
 星 野 知 次 北足立郡植水村島根六三六
 細 淵 清 藏 北足立郡六辻町沼影一三二 農
 細 淵 美 代 治 浦和市仲町四ノ七六 産業組合中央會
 間 山 秀 己 (浦和市常盤町) 日本電興株式會社 (山形縣西置
 六ノ六七) 賜那小國醫院前 (明治醫學卒)
 町 田 路 加 大里郡寄居町五八六 大里郡折原小學校 (講師二部卒)
 松 井 富 士 雄 東京市王子區十條仲原町 オリエントル寫真工業
 二ノ一一 技師

- 丸 秀夫 大宮市三〇三九 大宮北小學校(群師專卒)
- 宮崎 鐵也 (浦和市高砂町一ノ四七) (版大醫卒)
- 持田 庄三郎 浦和市常盤町二ノ五 埼玉縣廳庶務課
- 森田 盛藏 臺北市幸町一四五 總督府官房外事課(東外語卒)
- 守屋 弘 海軍々醫大尉、横須賀海軍航空隊(東北大醫卒)
- 矢澤 長太郎 川口市榮町三ノ一五七 歸物鑄造業
- 矢部 金藏 大宮市二七〇一ノ一 大宮工業學校
- 山岡 靜雄 北足立郡蕨町 機業 (東洋大專卒)
- 山崎 光夫 大宮市蕨野川區西ヶ原町「ダイヤモンド」記者 (早大商卒)
- 山田 肇 大宮市三七四二 省練秋葉原驛貨物係 (日大商卒)
- 横山 太郎 東京市王子區十條銀座通 齒科醫(日大齒科卒)
- 吉川 忠雄 滿洲國濱洲縣安達鐵路局農事試驗場(東大農實卒)
- 吉田 倫恒 浦和市岸町六ノ九二 建築技手、警視廳保安部建築課技術係(東大工卒)
- 吉田 正儀 大宮市下町三區三一四九 東京鐵道局運轉部列車課 (日大法卒)
- 若山 美知 新潟市寺浦通二ノ二六 醫師、新潟醫科大學眼科教室副手(新潟醫大卒)
- 四年修了會員
- 河野 敏雄 北足立郡鴻巣町二七三五 大宮尋常高等小學校 (埼玉縣)
- 清村 達郎 南埼玉郡蒲生村 農 (東北大理卒)

- 佐藤 純夫 (南埼玉郡久喜町五六〇) 三井礦山株式會社日黑研究部(東工大卒)
- 齊藤 義廣 浦和市岸町八ノ一七二 日蓮宗專任教師(立正大文卒)
- 齋藤 勉 札幌市南二條西三丁目一七 醫師(北大醫卒)
- 能谷 馨 東京市世田谷區若林町二〇七 齒科醫(日本齒科卒)
- 原 誠助 川口市根岸一八九〇ノ一 東京市王子區第四岩淵小學校(埼玉師二部卒)
- 眞木 眞澄 東京市中野區大和町四四 陸軍大尉(陸大在學)
- 淺倉 康太郎 川口市本町一ノ六六 理髮業
- 殿木 康之 川口市青木町二四八一 日本火災保險株式會社 (早大商卒)
- 山崎 肇 川口市金山町一九七 機械業
- 死亡會員
- 東 正雄 池田仲次郎 大成 恭 佐藤 春郎
- 島村 省三 添田 信夫 田口 進 土橋 眞
- 中野 小一郎 服部 孝吉 星野 弘作 町田 四郎
- 町田 徳治 水村 修爾 山崎 捷治
- ◎第二九回 (昭和三年三月) 一一〇名
- 赤尾 省三 北足立郡蕨町和樂備神社々務所 神職
- 秋庭 尚次 千葉縣新田町六〇 菊川小學校(東京市本所區) (埼玉師專卒)
- 秋山 定雄 山形縣西田川郡温海町戊 新潟鐵道局温海驛助役
- 淺子 俊一 北足立郡野田村南郡領辻三四一六 農

- 新井 喜四郎 南埼玉郡岩槻町二六四八 恩給局
- 新井 保亮 大宮市西本郷 大宮農商學校(東洋大卒)
- 新井 文司 大宮市西本郷 南埼玉郡岩槻小學校 (早大政經卒)
- 井上 堅太郎 大宮市三七二五 浦和中學校(國大高師卒)
- 石井 誠次郎 日立市會瀬沼田一五〇〇 株式會社日立製作所日立工場(青山學院商卒)
- 石井 正男 川口市水會呂八〇三 酒類雜貨商
- 石井 隆次 神戶市林田區寺池町三ノ八ノ五 會社員(土木建築請負業山形組) (日大高工卒)
- 岩田 正三 東京市本所區向 鋼鐵商岡田菊次郎商店(東京市島須崎町三一五 本所區兩國橋係) (東商大專卒)
- 内田 登巳久 北足立郡六辻町白幡七五 東京市下谷區高等小學校 (日大高師卒)
- 榎本 四郎 入間郡宗岡村四九九 農
- 遠藤 盛一郎 東京市豊島區池袋町三ノ一四三四 會社員(淺野物産株式會社) (早大商卒)
- 小川 良平 大宮市高鼻四三 工場經營(東工大專卒)
- 大泉 米吉 鹿兒島縣田置郡伊作町中 伊作高等女學校 (東美術卒)
- 大瀧 桂作 大宮市大和田一五六四 酒造業
- 岡野 松五郎 北足立郡上尾町八ノ一 藥劑師 (東藥專卒)
- 岡村 繁 川口市本町一ノ二 東京市下谷區役所戸籍兵事課兵事係(早大政經卒)
- 加藤 藤藏 川口市鳩ヶ谷町一八九九 農 (東大醫卒)
- 笠原 友彦 川口市鳩ヶ谷町一八二八 航空試驗所大阪出張所 (山梨高工卒)
- 金井 庄一 大宮市吉區田邊町一ノ七ノ三五 (山梨高工卒)

- 金子 幸治 (北足立郡蕨町) (東大農實卒)
- 金子 力 北足立郡志木町二四五 浦和商業學校(東外語卒)
- 金子 贊雄 北足立郡與野町鈴谷三三 東京市王子區赤羽小學校 (東京教諭卒)
- 金田 幹雄 大宮市三一七〇 東京市第一日暮里小學校 (豐師二部卒)
- 上林 義郎 吹田市旭町 旭園方 會社員 (日大法卒)
- 柄澤 越夫 名古屋陶磁器製造組合(名古屋市東區白鷺町二一) (東商大卒)
- 河野 重治 大宮市二七五九 東京鐵道局工務部係線課 (教專卒)
- 木村 延秋 浦和市高砂町三ノ三二 千葉醫科大學附屬外科 教室(千葉醫大卒)
- 北澤 喜作 大宮市仲町五區高登 三立運輸株式會社
- 草間 幹夫 浦和市岸町五ノ五〇 東京遞信局工務課 (遞信官練卒)
- 黑澤 忠治 大宮市三八三二 大宮農商學校 (東高造園卒)
- 小島 三五郎 東京市神田區三崎町二ノ一七 旅館業 (東洋大卒)
- 近藤 信一 秩父郡秩父町本町 醫師 (東北大醫卒)
- 近藤 好尚 浦和市針ヶ谷三六 醫師 (日大醫卒)
- 佐野 良治 大宮市盆裁村 吳服商
- 齊藤 增雄 浦和市本太二一六九 官吏(會計檢査廳) (中大法卒)
- 阪 修 北足立郡與野町下落合 南埼玉郡越谷小學校 (東洋大修)

笹口芳郎 大宮市五二八 鐵道省大宮工場事務掛
 里村千秋 浦和市針ヶ谷三八 醫師(昭和醫學卒)
 志村正作 北足立郡大久保村七一三 農
 清水基夫 名古屋市外新川町須ヶ口 愛知農林技手
 (千葉高園卒)
 鹽味常吉 (北足立郡朝霞町一一〇) 日本郵船株式會社二等
 運轉士(東商船卒)
 鎮目利春 都城市片倉製絲紡績株式
 會社都城工場(早大法卒)
 東洋精機株式會社
 島田光鷹 川崎市田尻町四六一 (東大工卒)
 島村裕一 大宮市大和田六七 入間郡農會技手
 (農事試驗場修)
 白石謙吉 (北足立郡土合村) 淺野スレト株式會社門司支
 店員(門司市白木崎)(東大經卒)
 助川 瀧 大宮市七八四 醫師(阪大醫學卒)
 鈴木方一 浦和市仲町二ノ二六 埼玉縣廳土木課土木技手
 兼道路技手(日大工卒)
 高柳昭次 東京市品川區大井庚塚町 自動車工業株式會社
 四七〇二 (慶大經卒)
 竹園 勝 (浦和市岸町七ノ二三) 東京市下谷區山伏小學
 校(埼玉師二部卒)
 丹下幸雄 南埼玉郡平野村根金六三二 村書記
 塚本韓治 北足立郡蕨町一六〇 計理士、川口商工會議
 所事務局長(專大計卒)
 寺元覺順 北足立郡新倉村二六六 僧侶(東洋大、智山專門卒)
 時友信雄 浦和市常盤町一ノ六七 薪炭商
 島海 島 北埼玉郡元和村北下新井 北葛飾郡靜小學校
 (埼玉師二部卒)

所 春雄 比企郡小川町大關町一一 小川高等女學校
 (東農大卒)
 名尾良憲 浦和市仲町三ノ三三 東京遞信病院內科
 運送業(千葉醫大卒)
 名古屋信雄 川口市榮町二ノ五六
 中村清照 (浦和市岸町四ノ六) 愛知縣總務部都市計畫
 局都市計畫課(東大工卒)
 永瀨政雄 北足立郡六辻町白幡野 笹日小學校(北足立郡)
 富山商船學校
 永堀喜美藏 高岡市定塚町西通リ (東商船卒)
 長尾利一 北足立郡六辻町別所一九 理化學研究所
 八四 (日大專工卒)
 並木隆 上海市濟甯路五二二號 東北製冰會社
 野崎正雄 東京市小石川區雜司ヶ谷 陸軍醫科官學校
 一四四 (東文理大醫學卒)
 野村春雄 浦和市高砂町五ノ四九 柏壁中學校第一臨教卒
 長谷川 茂 浦和中尾一八八 農
 濱野元介 大宮市盆裁村 然裁業、支那鉢業
 鐵道省官吏
 林 泰助 大宮市大成三四二 (專修大經修)
 東角井光臣 大宮市高島一 氷川神社主典(國大文學)
 福留 實 撫順市松岡町四ノ六一 滿洲輕金屬會社機械課
 (日大工卒)
 星野賢一 千葉縣東金町田間 成東中學校(東物理學)
 細井達也 北足立郡蕨町四三六四 齒科醫(東京齒科卒)
 細淵卓造 北足立郡六辻町沼影 日本鋼管株式會社(東京
 市麹町區)(中大法卒)

眞木 照

眞木 照 大宮市吉鋪町三八九九 新聞廣告代理(東京市
 麻布區六本木町竹皮屋
 ビル)(東大農卒)
 附田 昇 第七高等學校造士館(東大理卒)
 町田一男 大宮市四〇五四 庶民金庫貸付課
 (東大法卒)
 三浦 高 東京市王子區王子町一〇 醫師、東京慈惠會醫院
 六七 (慈惠醫大卒)
 三上重恭 北足立郡安行村一〇五二 園藝業(東高造園卒)
 三宅 第四郎 朝鮮咸鏡南道咸興府大和 咸鏡南道總監
 町二ノ二八河内彦吉方 (明大專商卒)
 水村康三 北足立郡川田谷村四〇九 (東北大法文學卒)
 宮崎 良輔 東京市麻布區藤元町一 赤羽小學校(東京市芝
 田區赤羽町)(專師專卒)
 宮野 弘一 川口市浦寺一〇五 川口第四小學校
 (埼玉師二部卒)
 村上 一 北足立郡原市町 鶴見瓦斯株式會社
 常習小學校(東京市日本
 橋區)東教講卒(日大卒)
 森田 金藏 一ノ七 合資會社三五公司順成農場
 (宇都宮高農卒、九大農卒)
 矢野 武 一三八 福和市荒戸町二番町 (宇都宮高農卒、九大農卒)
 山崎 修二 四ノ一 東京市足立區千住仲町四 東京鐵道局田端驛
 (拓大卒)
 山田 久 浦和市岸町二ノ一〇八 醫師、高崎鐵道診療所
 (東醫專卒)
 柳 久 東京市深川區住吉町二ノ二〇 齒科醫(日大齒科卒)
 吉田長之 大宮市下内野二三七五 味噌醸造業
 渡邊大祐 北足立郡戶田村一三九三 僧侶、淨土宗務所庶務
 部(大正大專卒)

渡邊 英敏

渡邊 英敏 川口市鳩ヶ谷町一六四三 慶應義塾大學醫部病理
 學教室(日大醫學)
 ◎四年修了會員
 大庭 弘 浦和市仲町三ノ八〇 第一生命保險株式會社
 (東大法卒)
 倉田 春三 日本帝國總領事館(在桑港)(日大法文學)
 關根 喜久松 (陸士卒、陸大在學)
 網島 正雄 (川口市石神七二八) 僧侶 (立正大卒)
 濱田 治雄 川口市仲町三三五九 米穀商
 林 清 大宮市並木一九四一 (明大法卒)
 村勢 一郎 松本市幸町九三七 松本高等學校(東大理卒)
 矢部 俊夫 北足立郡片柳村中丸九九九 (北大農卒)
 矢島 忠實 川口市榮町三ノ一七一 醫師 (日大醫學)
 不明會員
 河野 弘 木村 史郎 和氣 洋
 死亡會員
 石堂 明信 岩井 武夫 大島 宇一 小林 敏雄
 五島 良徹 島田 重藏 白崎喜代治 星野 太郎
 正木 智 松村 巖 矢部 西三 山崎 誠之
 横尾 浩雄 渡邊宗一郎

◎第三〇回 (昭和四年三月) 一二三名
 會澤 富雄 浦和市岸町六ノ九五 王子第四小學校(東京市
 王子區)(埼玉師二部卒)

網野 一郎 (法大修、サンマテ、オ・ジ・ニ・ノ・コ、ツチ卒)
 雨宮 輝吉 (東京市江戸川區小松川町一ノ九、教員(埴師二部卒)
 新井 武夫 (北足立郡大石村小泉、鐵道省經理局審査課)
 新井 武雄 (東京市荒川區三河島町三三六、齒科醫(日本齒科卒)
 井原 達三 (北足立郡與野町七一、米穀商)
 伊藤 讓一 (北足立郡野田村大崎一八三三、農)
 飯塚 修 (東京市王子區王子町五ノ一、王子製紙株式會社、(桐生高工卒)
 池上 俊輝 (大宮市三七八二、商工省燃料局、(早大專政經卒)
 池田 潔 (大宮市柳引二二八、(京北齒科卒)
 池田 俊夫 (滿洲國北安省北安北門外、滿洲國協和會北安省本部庶務科長(拓大商卒)
 池田 伸太郎 (浦和市岸町七ノ六、(東大經卒)
 石井 一臣 (大宮市三〇八九、北足立郡指扇小學校、(埴師二部卒)
 石井 幸 (東京市東區北砂町三ノ三八五、日糖社、(浦和市本太二四〇四)、大日本製糖株式會社東京工場(早大理工卒)
 石川 夏吉 (川口市壽町九七、齒科醫(日大齒科卒)
 石川 安造 (奉天市商埠地、陸軍官舎、陸軍航空廠滿洲支廠、(山梨高工卒)
 石塚 寛 (東京市板橋區中村町、日本ビクター蓄音器株式會社、(東大專政經卒)
 市川 城 (東京市淀橋區澁橋町三三五、社文藝部洋樂部(日大藝卒)
 稻村 香二郎 (東京市豊島區池袋町二ノ一七七、橫濱税關鑑査部、(廣濱高工卒)

今井 守之 (浦和市仲町四ノ一五)、橫須賀砲術學校、(海兵卒)
 入江 敏雄 (浦和高砂町四ノ五八)、會社員(早大文卒)
 内木 精一 (北足立郡土合村西堀一五)、第一生命保險相互會社、財務課(高千穂高商卒)
 海野 幸夫 (浦和市本太七九九)、藥劑師(東藥專卒)
 遠藤 丈四郎 (長野縣北安曇郡陸郷村六五六)、(浦高文卒)
 小川 勇司 (大宮市土手宿三七九)、川口工業學校、(國大高師卒)
 小澤 誠一 (栃木縣上野郡足尾町五、古河合名會社足尾鑛業、所庶務課(日大專卒)
 大隅 眞 (北足立郡桶川町本町一四二六、自轉車業)
 落合 慎 (浦和市仲町、華北交通株式會社(濟南市三太馬路大、(五ノ一三七)槐樹濟南鐵路工廠經理(東大專卒)
 折原 正 (浦和市前地二二九)、農林省畜産局畜政課、(東大農實卒)
 加藤 勝治 (北足立郡與野町一三四三)、第八十五銀行練馬支店、(早大專商卒)
 加藤 總一 (大宮市三橋二〇三七)、荒物商、(東美術卒)
 鹿取 一男 (東京市本郷區彌生町三)、川口重工業指導所、(東美術卒)
 柿山 哲夫 (北足立郡六辻町白糠二二)、織物製造販賣業、(東醫專在學)
 笠井 信治 (北足立郡廣町一五二)、三鷹中島飛行機製作所、(明大專政經修)
 笠井 正武 (浦和市仲町四ノ一一)、鐵道員、(關西)
 金子 一郎 (北足立郡片柳村三九九)、鐵道員、(東鐵教卒)
 金子 安太郎 (川口市青木町三五二〇)、鐵工業

柄澤 季雄 (東京市豊島區雜司ヶ谷町二ノ四九四)、東京市土木局、(日大工卒)
 河合 央 (東京市王子區岩淵町三三三)、會社員(日大專工卒)
 河本 英一 (大宮市大和田七三七)、鑛物工場(川口市本町一ノ一二)中大專法卒)
 木下 不二磨 (北足立郡内間木村五七七)、東京陸軍二軍造兵廠技、術課(東物理卒)
 岸 武信 (大宮市宮原二四一七)、日本アスベスト株式會社、(桐生高工卒)
 岸 澤武雄 (川口市本町一ノ一三六)、(東美術卒)
 倉木 英 (川口市三四五八)、器械業
 黒田 榮藏 (北足立郡志木町二五五)、(東藥專卒)
 小池 剛 (大宮市日進一六六)、總武鐵道柏壁電所電工、(慶大醫卒)
 小沼 好四郎 (北足立郡戸田村一六五〇)、醫師、慶應義塾大學醫、學部産婦人科教室助手、(慶大醫卒)
 駒崎 利治 (北足立郡大門村)、(東大工卒)
 坂田 今朝三 (嘉義市新宿町三ノ七五)、嘉義高等女學校、(第一陸教卒)
 坂田 佐久一 (東京市杉並區高圓寺一ノ四四)、藥劑師(東藥專卒)
 鈴木 秀吉 (北足立郡上尾町上尾宿一八)、埼玉縣師範學校附屬、小學校(埴師專卒)
 關 武次郎 (浦和市神明台八三)、東京物理學校(東物理專卒)
 關 井滿次郎 (N. Minamind Co., Inc., 223 F. 5th Av. nyc, New York City, N. Y., U. S. A. 南信吉、商店)
 關 口重平 (東京市澁谷區幡ヶ谷笹塚、東京市本所區江東小學、校(豊師專卒)

關口 英朗 (川口市金山町五三)、新興キキマ株式會本社、社宣傳部、醫師、日本醫科大學皮、膚科教室(日本醫大卒)
 高木 越作 (浦和市常盤町一ノ八〇)、醫師(千葉醫大卒)
 高田 進 (前橋市神明町四九)、群馬縣國體經濟部警務課、(東高醫卒)
 高橋 昌 (中澤義久方)、浦和第一小學校、(埴師二部卒)
 高山 敏一 (北足立郡小室村七九四三)、大場設計事務所、(日大工卒)
 鷹木 信雄 (浦和市常盤町四ノ八二)、(東大專)
 武井 與一郎 (北足立郡與野町大戸二六一)、農
 塚田 恒治 (大宮市三六〇七)、染色業
 土屋 重祥 (川口市芝四四)、(浦高理卒)
 鳥海 濟 (北埼玉郡元和村北下新井九五五)、帝國人絹株式會社三原、工場(東商大卒)
 中村 正節 (浦和市岸町四ノ四四)、花咲小學校(横濱市中、區花咲町(埴師二部卒)
 長澤 久平 (横濱市神奈川區上反町三六)、醫師、東京醫藥病院内、科(昭和醫專卒)
 西原 良之 (大宮市三八三〇)、陸軍理學校生徒隊附、(陸士卒)
 野澤 統司 (浦和市仲町三ノ五九)、陸軍大尉(陸士卒)
 野間 寛一 (南埼玉郡岩槻町一三)、埼玉縣商工課(中大專法卒)
 羽部 與一 (浦和高砂町二ノ一七一)、菓子商
 原口 金五 (浦和高砂町五ノ一四九)、藏橋稅務署庶務課
 原口 太一郎 (大宮市三橋一〇四七)、農

坂東 順 北足立郡片柳村二六六 北足立郡野田小學校 (婦師二部卒)

林 義雄 大宮市並木一九九八 陸軍軍醫學校 (早大專卒、日大齒科卒)

平田 福壽 東京市日本橋區濱町二ノ六六 海運業

平野 壽 浦和市仲町一ノ六三 醫師(日大醫卒)

福島 靜雄 浦和市高砂町四〇七七 川口市職業紹介所 (日大文修)

福田 正雄 大宮市三六九二 日本機械製造工業組合聯合會(東大法卒)

藤井 三郎 北足立郡土合村田島一九 東洋海上火災保險株式會社(明大專商修)

藤森 千代丸 大里郡深谷町 昭和銀行川口支店 (大倉高商卒)

星野 靜二 浦和市常盤町一ノ一三三 甘藷問屋大文商店 (大倉高商卒)

前島 好文 北足立郡桶川町六四一 工藝家(東美術卒)

堀田 三男 浦和中尾二〇六 報知新聞社

松本 憲司 大宮市日進三一五八 本庄消費組合事務員

丸山 靖文 北足立郡七里村猿ヶ谷戸 農

三友 次郎 兒玉郡本庄町三九九五 接骨業

見富 宗平 北足立郡片柳村中丸 接骨業

宮崎 英夫 兵庫縣武庫郡魚崎町 日本生命保險相互株式會社(東大法卒)

宮本 好敏 東京市本郷區根津西須賀 醫師(慈惠醫大卒)

矢部 文雄 南埼玉郡日勝村六三九 醫師(慈惠醫大卒)

山崎 馨士男 北足立郡桶川町八一二 北足立郡清光小學校 (婦師二部卒)

山田 由太郎 東京市浦野川區中里町一九一 敎員(婦師二部卒)

吉岡 正夫 北葛飾郡栗橋町三五五六 忍商業銀行久喜支店 (立大經卒)

吉田 利次 川口市石神一八〇 乾物商

渡邊 武男 東京市淀橋區下落合一ノ四一五 合名會社渡邊組 (東高經卒)

●四年修了會員

明司 弘夫 蒲洲安東北二條通四ノ二 安東中學校(東大文卒)

足立 良舜 浦和中尾一四一〇 僧侶 (大正大修)

稻葉 彌之助 浦和市常盤町一ノ一七三 東京帝國大學航空研究所化學部(東大工卒)

大橋 榮俊 京都市上京區衣笠殿九二 京都帝國大學經濟學部 (京大經卒)

木戶 光男 東京市本所區堅川町二ノ二一〇 (中大卒)

柴田 茂 北足立郡六辻町別所一 鐵鋼證券株式會社 (東大法卒)

塚越 和男 中華民國天津市朝鮮銀行天津支店 (東大法卒)

土屋 道三 中央銀行ハルビン分行(滿洲國ハルビン道裡)(東商大卒)

米山 雄治 (浦市和常盤町五三七) (東大文卒)

不明會員

村 昌夫 大熊 秀彦 木村 憲治 新藤 柳一

高橋 博 中島 典太 中西 和宣 村田 一郎

死亡會員

飯島 丈夫 尾上一男 大野 信行 大塚 俊一

岡村 實 河合秀三郎 川田 卓郎 櫻井 道雄

杉浦 寛 鈴木 精一 高橋 市郎 辻本 眞一

徳丸 次平 田口佐武郎 松尾 高明 中村 雄一

野原 律 松本 勇 山中頼太郎

◎第三一回 (昭和五年三月) 一二三名

安倍 博 浦和市本太四五七 (東大工卒)

阿佐見 正一 北足立郡六辻町二〇五一 北足立郡大石村大石小學校(婦師二部卒)

天沼 次郎 濱松市廣澤町三三九 濱松第一中學校 (東大文卒)

雨森 雅忠 茨城縣結城郡水海道町 會社員

新井 宗男 東京市王子區東十條町二 三菱重工株式會社營業第二課(高工卒)

井上 良正 浦和市大谷場一〇 油化學工業株式會社 (國大文卒)

井原 泰次 北足立郡與野町四七 (東京齒科卒)

伊藤 貞雄 東京市芝區芝公園四號地 鐵道省官吏 (法大法卒)

伊藤 秀晃 川口市木曾呂三五五 僧侶 (大正大專卒)

五十嵐 勝爾 新潟市學校町天神小路 角田方 (新潟醫大在學)

飯田 節 北足立郡飯町四五二四 印刷業

石井 英 川口市木曾呂三 株式會社石井鐵工所(龜町區有樂町一ノ一一)(早大專商卒)

石井 敏夫 北足立郡六辻町白鶴 藥劑師(東藥專卒)

金子貞吉方

石井 利幸 浦和市本太二三七一 農

石井 義治 北足立郡戸田村上戸田 會社員(早大商卒)

石田 秀文 京都市東山區五條坂五 (東大文卒、京大經卒)

石村 直助 北足立郡飯町九三五 機業(桐生高工修)

宇賀神 茂磨 川口市幸町二ノ二八 (日大專工卒)

宇田 敏夫 輸出絹織物岩崎精練工場(桐生市清水町五三六)

上原 裕 東京市日野區下日野 陸軍兵器本部東京出張所浦田監督班無線掛(京大工卒)

植西 賢一郎 北葛飾郡栗橋町三四二七 酒類商

内田 一郎 入間郡所澤町五七三 齒科醫(日本齒科卒)

遠藤 周雄 甲府市伊勢町七六甲府南 蛇籠工業所經營(山梨高工修)

小川 泰一 橫濱市中區西戸部町一ノ三八 三菱重工株式會社

小熊 正吉 大宮市三六八八 大宮八百物問屋蒲部市場(大倉高商卒)

淡見 悠雄 浦和市針ヶ谷一五八 久喜高等女學校(大東文卒)

大作 茂 川口市本町四ノ七 鐵道省大臣官房研究所(桐生高工卒)

大谷 保治 大宮市二二四 東鐵秋葉原驛(日大專卒)

大田 垣弘 浦和市常盤町三丁目 (日大專卒)

大成 明 東京市本郷區根津八重垣町六一 鐵道大臣官房河野方(大宮市三橋九七四) (東大文卒)

大倉商事株式會社 (早大商卒)
 加藤重治 北足立郡大石村一七 農業兼算製造業
 加毛良 東京市澁谷區原町一〇 海軍技術研究所會計課
 川邊博 橫濱市中區東ヶ丘三五 醫師 (慶大醫卒)
 柏木知一 (浦和市岸町) 南樺太炭鐵道株式會社塔路製業
 (七ノ九〇) 所(樺太惠須取町)東北大法文卒
 金谷敏郎 南洋サイパン島サイパン サイパン支廳
 支廳官舎(大宮市一〇八二) (早高工卒)
 栗原欣一 大宮市三橋七四一 (東大法卒)
 久保村茂 (大宮市二八〇六) 在上海、會社員(大倉高商卒)
 小暮正一 (浦和市常盤町五ノ一) 海軍大尉(大日本帝國軍)
 (四) 艦能登呂砲術長(海兵卒)
 小島豊義 札幌市北十八條西三丁目 會社員(東商大專卒)
 小作忠治 川崎市渡田一〇二六 日本鋼管株式會社扇町
 工場 (日大工卒)
 小室敏治 千葉縣君津郡木更津町九 木更津中學校
 三六 (東物理卒)
 小森谷勇 東京市世田谷區與澤町二 日本宗ノプ及水軍製造
 ノ二六五 月花莊 工業組合(高松高商卒)
 小谷野元七 浦和高砂町二ノ六八 武州銀行本店 (明大法卒)
 小山正一 兵庫縣武庫郡本山村 西貢丸乘組(大阪商船
 中野鍛冶屋二一五 株式會社神戶支店兼附) (東商船卒)
 瀧田浩 大宮市三三四 東京鐵道局大宮工場機關區
 北足立郡與野町下落合四 浦和商業學校 (帝國美術卒)
 近藤博之 五〇

西東昇一 大宮市東町三〇四五 東京日々新聞校正部
 齋藤修 (浦和高砂町一ノ九) 醫師(福岡縣澁谷郡寶珠
 岩師救護所(東醫專卒)
 澤野久雄 都新聞政治部(東京市麴町區內幸町)(早大文卒)
 重田光正 東京市深川區門前仲町一 石川島造船所
 ノ六 橋本方 (日大高工在學)
 澁谷一男 靜岡市川合町三六 清水水産株式會社千代
 田工場長(東農大卒)
 島根光 浦和市三笠芝原四二 浦和第一小學校(埼玉專卒)
 白石仁 北足立郡土合村田島一 日立製作所(早高工卒)
 二〇 (日大法卒)
 諏訪忠三郎 東京市野區野方町一ノ六三四 辦炭商
 杉本象士 東京市王子區袋町一 森永製菓株式會社(東京市
 一四五八 芝區田町)(明大專商卒)
 關榮市 浦和市岸町六ノ一一 酒商
 田中庄一郎 浦和高砂町一ノ一〇〇 J.O.A.K.技術合格會社北部委
 員N.B.A.會員(日大工卒)
 田村進 大宮市櫻木町七七六 東京電燈株式會社川越支社
 浦和出張所(電機學專卒)
 高井正雄 東京市澁谷區角管町三ノ 日本火災保險株式會社
 二一 一 (東醫醫修)
 高橋庄次郎 北足立郡蕨町五九五〇 埼玉縣學務課
 高橋敏男 浦和市岸町六ノ一一八 通信書記、大宮郵便局
 竹村亥代三 大宮市仲町二八八五 三共製菓株式會社品川
 工場第五科(東藥專卒)
 武井正 東京市王子區中十條町一 帝國人造絹糸株式會社
 ノ一四 武內方 布町(橫濱高工卒)

谷口次郎 大阪府東淀川區十三東ノ 大阪府警察部建築課
 町一ノ一三二 (東大工卒)
 網島竹治 臺南市桶盤淺五二ノ八 臺南師範學校 (東高師卒)
 富澤襄 南埼玉郡黑濱村笹山五六二 農
 友光恒 北足立郡大石村一九六 難波鐵工場大宮工場
 (日大法卒)
 名古屋邦房 川口市青木町二ノ一八七 運送業
 內藤甲一 浦和市針谷一 問組(府立園專卒)
 中井川正 浦和市岸町北六ノ七三 三井物産株式會社金物
 部(東商大專卒)
 中村一雄 明石市大藏谷小辻二五二 協濟町(神戸市聯合區
 七 助濟町)(長岡高工卒)
 中村喜平 川口市本町三ノ一四 プリツヂシステムイマ株式
 會社(東物理卒)
 並木庄兵衛 北足立郡大和田町野火止 帝國生命保險株式會社
 三五 東京支店(早大專商卒)
 實井千明 北足立郡六辻町別所三番 農
 根岸正三 浦和高砂町一ノ六一 富國徵兵保險相互會社
 外事課(早大商卒)
 波多野伴 大宮市一四四八 簡易保險局 (專大專經卒)
 馬場俊平 名古屋市中區區中道町 名古屋鐵道病院耳鼻喉
 二ノ八〇 科鐵道醫(日本醫大卒)
 龍島武夫 滿洲國興安南省公署(白河 線王爺廟)(東大農實卒)
 肥田好 浦和市道祖土五四 農業
 平川博明 〇〇Japanese Y.M.C.A.1409 (トウラン北イ
 〇〇San Francisco, Calif, U.S.A. ーオ、ヒルノ)
 (早大農實卒)

藤村達 奉天市大和區宮島町四番陽 滿鐵奉天鐵道局工務
 寮三二(北足立郡上尾町三番) 課改良係(九大工卒)
 細淵民司 (浦和市仲町四ノ二) 津上製作所兵器計畫部
 (日大工卒)
 堀口正吉 浦和高砂町二ノ一七八 埼玉縣工場課 (明大專商卒)
 町田政男 北足立郡六辻町別所八六 農
 松尾博厚 東京市板橋區板橋町 三菱電機株式會社
 三ノ二八 藤倉工業株式會社 (東大法文卒)
 松澤明 北足立郡片柳村一三三九 藤倉工業株式會社 (東大工卒)
 松永信義 浦和市仲町三ノ八五 會社員 (東外語卒)
 松本英彦 東京市下谷區谷中天王寺 町元(天王莊アパート) (秩父郡秩父町大宮二六九) 若生方 東北帝大病院 (東北大醫卒)
 三上正 仙臺市北三番町八七 宇部鐵工所(東高工藝卒)
 三隅文吾 宇部市御町一四〇一 宇部鐵工所(東高工藝卒)
 見留正三 北足立郡與野町下落合一 東京府齒科醫師會健康
 七〇一 保險部(横濱專卒)
 綠川瑞樹 岐阜縣惠那郡中津町 會社員(東大農實卒)
 王子製紙中津出張所
 武藤泉一 浦和市仲町五ノ八一 東京動産火災保險會社
 村井竹雄 山形市東原町一八二 東京高等齒科醫學校副
 手(東高商卒)
 村山一夫 北足立郡志木町二四四四 武州銀行京橋支店 (東農高商卒)

- 茂木 松 東京市澁谷區原町一七 海軍技術研究所
 - 望月 正名 大阪府豊能郡中豊 東京芝浦電氣株式會社特殊硝子大阪分工場(長岡工卒)
 - 守谷 勝治 大宮市三八〇四 田中航空機設計器製作所(法大高商卒)
 - 森田 義治 大宮市八九五 東京鐵道局新橋通信區(東鐵教卒)
 - 森永 俊夫 浦和市高砂町一〇四五 齒科醫(東京齒科卒)
 - 矢島 三千男 東京市世田谷區玉川 東京鐵道株式會社(麹町區丸の内昭和七、八、九) (東專商卒)
 - 山本 武夫 東京市下谷區龍 帝國農會經濟部(東京市赤坂區泉寺町四九 瀧池三會堂內) (東農大專卒)
 - 柳 實 德島縣那賀郡富岡町東神 那賀川改修事務所(日大工卒)
 - 柳田 藤吉 橫濱市中區西仲町三 三菱重工株式會社(橫濱船渠造船設計課(東高工藝卒))
 - 山田 彦三郎 大宮市三七九 藥劑師、藥局經營(明治藥專卒)
 - 渡邊 竹二 北足立郡朝霞町四六四五 陸軍造兵廠東京工廠精器製造所(東物理卒)
- 四年修了會員
- 青羽 英五 大阪府住吉區松虫通リ 淺野物產株式會社大阪支店輸出部(立大經卒)
 - 田中 忠雄 秋田市二 岡部方 大阪住友本社(東大法卒)
 - 西川 武吉郎 北足立郡志木町一五九六 內外食品株式會社(京大法卒)
 - 瀧澤 雄 川口市本町二〇七八 鑄造業

- 松本 喜一 北足立郡廣町塚越一八八四 機業
 - 不明會員 石井 達 岡 義俊 松村 常吉
 - 死亡會員 海野 幸正 金子 清 小峰 正一 清水 正一
 - 鹽野 正男 鹽谷周太郎 篠原 正 白井政之助
 - 千葉 正 蓮見 博司
- ◎第三二回 (昭和六年三月) 一三八名
- 阿部 正一 浦和市常盤町七〇七八 埼玉染織株式會社(立大豫修)
 - 青木 圭太郎 東京市中野區昭和通三 古河電氣工業株式會社(京大經卒)
 - 赤嶺 泰士 浦和市常盤町六〇二五 東京遞信局書記補
 - 秋松 正一 北足立郡與野町四二四 (浦高理卒)
 - 新井 勉 仙臺市北七番丁八五 阿部方 (東北大醫在學)
 - 新居 忠男 浦和市岸町一〇一二 都市計畫神奈川地方委員會(神奈川縣廳內) (日大工卒)
 - 井上 眞治 入間郡飯能町二二 清酒釀造業(大原簿記卒)
 - 伊藤 喜久雄 東京市芝區芝公園四號地 鐵道省官更(沼津) (明大政經卒)
 - 飯島 俊雄 東京市四谷區東信濃町一 三共株式會社品川工場(東大品川工場)
 - 石井 重嘉 浦和市本太一三八三 埼玉縣經濟部商工課(早大專商卒)
 - 石岡 晃武 浦和市本太二四〇〇 廣島縣比婆郡山内東村格致中學校(東高師卒)
 - 石川 正二 國際運輸株式會社營業所(北支那山西省榆次)

- 石川 俊元 川口市壽町一三四 鐵工業
- 石村 健輔 北足立郡廣町九三五 南支派遣北島部隊早川部隊(陸士卒)
- 坂垣 正明 浦和市常盤町五〇六 宮崎縣立延岡中學校(東大文卒)
- 市川 喜一 浦和市岸町四〇一七七 東京鐵道局日暮里驛
- 市川 定彦 北足立郡上平村一四二二 北支派遣篠塚部隊小林部隊(陸士卒)
- 出井 旭 大宮市七七六 上野車掌區(早大專政經卒)
- 稻田 耕作 浦和市岸町五〇五二二 大藏省(浦和市岸町五〇五二二) 主計局(法卒)
- 今井 義和 浦和市木崎四五 米穀商
- 今村 全 新宮特別市日本橋通二〇 康徳製粉株式會社
- 内田 正二 浦和市本太一〇 日東鐵業汽船會社(神戸市海岸通商船ビル內) (東商船卒)
- 技松 敏邦 宇都宮市川向町鐵道官 鐵道官更(京大工卒)
- 遠藤 德世 浦和市常盤町六〇二〇 大日本印刷株式會社榎町營業所(早大專卒)
- 大熊 正三郎 東京市向島區寺島町七〇一九九 清岡方 實商
- 大島 英夫 北足立郡六辻町別所二〇 三菱藥業研究所(東北大理卒)
- 大谷 英仁 大宮市二二四 公吏(電機學校卒)
- 大塚 俊夫 東京市芝區三田小山町一 辯理士(東北大法文卒)
- 大野 三郎 大宮市土呂六七 農(日本農士卒)
- 大加 平 浦和市岸町二〇八二 久保田生精工場(東京市板橋區志村町) (京大)

- 岡武 知己 浦和市常盤町四〇一四四 海軍機關中尉、木更津航空隊(海機卒)
- 押田 平八郎 北足立郡與野町二四二二 陸軍被服本廠計畫課(電機學校卒)
- 落合 兼一 神戸市湊區湊山町二四七 三菱重工製作所(東高工藝卒)
- 折田 兼完 新宮市與仁大路四〇七 滿洲糧穀株式會社總務部(早大專)
- 折原 量平 大宮市四〇一三〇一 酒類商(千葉醫大在學)
- 恩藏 一郎 川口市本町一〇四一 農林省(日大專商卒)
- 金勝 久雄 川口市錦町一五四 農林省(日大專商卒)
- 神山 晃一 東京市中野區打越町一九 石油化學工業株式會社(春日社)
- 神田 惠吉 浦和市岸町四〇一六二二 (東北大法文卒)
- 北島 重治 東京市淺草區向柳原町一〇五 竹材商
- 北島 猛 東京市王子區赤羽町一〇 特殊電氣製作所(日大專工卒)
- 久米 信雄 浦和市常盤町一〇九 埼玉染織株式會社(東京Y.M.C.A. 國際ホテル學校卒)
- 熊木 昂 昭和米肥株式會社(千葉縣山武郡橫芝驛前) (早大專政經卒)
- 栗原 隆治 南埼玉郡河合村馬込一八一 米穀商
- 黒住 一夫 東京市品川區大井北濱川 東京芝浦電氣株式會社(東高工藝卒)
- 小林 啓一郎 神戸市下山手通六〇四二 大正海上保險株式會社(鷺尾方)
- 籠宮 横次 大宮市一〇九 加藤物産株式會社(日大專卒)
- 齋藤 喜 浦和市岸町二〇九 會社員(麹町區丸ノ内) (一〇六) (浦高文卒)

齋藤 茂樹 立教學院基督教傳道師(立大宗卒)
 齋藤 初衛 大宮市高鼻一〇ノ一
 齋藤 龍明 北足立郡野町下 大日本セルロイド株式會社營業部東京出張所(東商大專卒)
 阪 健 大宮市北袋五三ノ二 日立製作所(東大專卒)
 里見 正 東京市芝區二本榎本町二 陸軍航空技術研究所附陸軍中尉(東大工卒)
 柴多 俊雄 浦和市岸町一ノ六〇 逓信省電務局視察課(逓信官練卒)
 白坂 熹 浦和市常盤町四ノ七五 東京第二陸軍造兵廠(明大政經卒)
 杉浦 章 川口市鳩ヶ谷町一八四六 (慶大在學)
 鈴木 正光 琴平市紅梅町 滿鐵青雲寮南寮
 關根 健次 北足立郡志木町一五八八 大北火災保險株式會社(慶大高卒)
 千田 恒三郎 大分中學校(東高師卒)
 田島 良平 東京市本郷區五ノ二〇 清和莊 東大文學部大學院(東大文卒)
 高島 貞 東京市世田谷區北澤町三ノ九九〇 共同漁業株式會社(水産講卒)
 高田 誠 浦和市常盤町一ノ八〇 津書家
 高野 平八 北足立郡六辻町根岸八九 大醫院民事部庶務(中大法卒)
 高橋 時夫 北足立郡野田村二一八六 園藝

瀧上文男 神戸市林田區片山町三ノ一 三菱重工工業株式會社神戶造船所(東大商卒)
 竹村 寅吉 大宮市仲町二八八五 日本齒科醫學會外科學教室(日本齒科卒)
 立野 靜治 靜岡縣磐田郡中泉町東町三二八ノ二 專賣局中泉酒造工場(東農大卒)
 塚本 旭男 東京市下谷區元黑門町五 堀江方 酒悅商店
 辻 邦彦 東京市杉並區和泉町七六 櫻護謄株式會社(法大專法卒)
 常見 正富 浦和市高砂町四ノ五五 滿洲國官吏(間島省公署企畫科)(法大高商卒)
 寺田 菊郎 岩手縣二戶郡福岡町裏小路 國香總太郎方 福岡中學校(東物理卒)
 寺山 輝雄 大宮市大宮四〇六〇 全日本足袋工業組合聯合會(統計職養卒)
 戶塚 光一 北足立郡麻町三九七五 葬具商
 德丸 應四郎 北足立郡麻町三〇八九 織物業
 飛田 育男 東京市京橋區高等家政女學校(東物理卒)
 中島 利平 奉天市大和區京和街四七號 雄風探(浦和市仲町二ノ六四)
 中根 正克 浦和市岸町七ノ四八 (山形高理卒, 東工大在)
 中村 清綱 東京市品川區大井倉田町三三三第一ノ二一號 海軍省屬託(明大專商卒)
 中村 乃木雄 東京市葛飾區金町一ノ九六六 野口方 靑小學校(東京市葛飾區)(農師二部卒)
 並木 芳夫 浦和市本太八六三 齒科醫(東高齒科卒)

成澤 光夫 浦和市高砂町四ノ三四 東臺灣電力藥業株式會社(東鴨高商卒)
 四村 武文 兵庫縣武庫郡本山村田中 大阪商船(東商船卒)
 萩原 正雄 大宮市土手宿四九五 日本醫大附屬第二醫院松倉外科教室(日本醫大卒)
 蓮見 太郎 浦和市高砂町四〇三〇 會社員(神田簿記卒)
 羽鳥 喜平 東京市淺草區壽町一ノ二 外務省東亞局第一課(衆議員速記練習生卒)
 濱野 正男 大宮市五七六 (立大商卒)
 林 種矩 大和市住吉區田邊本町四 日本マニラ麻綢株式會社大阪支店(早大法卒)
 林 政時 東京市大森區大森町一ノ六六 富士航空計器株式會社(早大理工卒)
 深谷 昌次 浦和市仲町三ノ八二 農林省農事試驗場(東大農卒)
 福田 健雄 北足立郡鴻巣町二八三八 池田方 田沼屋吳服店(日本赤十字病院藥室)
 星野 勇 浦和市常盤町一ノ一三三 日本赤十字流谷區代官(東藥專卒)
 星野 久次 八間郡越生町上町七二九 (千葉醫大卒)
 細田 友雄 姫路市新在家北垣八一三 農林省農事試驗場中國小麥試驗地(東農大卒)
 堀田 榮助 西宮市分銅町一七 株式會社日本製鋼所大阪出張所(東商大專卒)
 本田 長吾 大宮市吉備町三九一 (慶大醫在學)
 牧田 正雄 北足立郡桶川町七七五 東京鐵道局上尾驛

見富 八郎 北足立郡片柳村南中丸三四 日本水産株式會社經理部(東京市芝區)(東商大卒)
 南澤 鐵郎 北足立郡六辻町根岸四九〇 教員(東大文卒)
 宮本 勤 南埼玉郡久喜町四八八 醫師(日本醫大卒)
 村岡 達雄 仙臺市定禪寺通三 大同生命保險株式會社仙臺支店(早大政經卒)
 森 正武 浦和市常盤町五三九 東京電氣會社工務所(早大政經卒)
 八木 新吉 福島縣磐城郡內郷村宮竹ノ内社宅 磐城炭礦株式會社(早大專法卒)
 矢作 深 浦和市針ヶ谷五九 簡易保險局員(東京市芝區赤羽町一)(中大專法卒)
 矢部 泰助 東京市目黒區東町二六 警視廳巡查部長、目黒警察署(法大專卒)
 山口 豐太郎 浦和市岸町二ノ九八 富士生命保險株式會社契約課(早大專法卒)
 山口 芳三郎 浦和市高砂町一ノ一二三 (日本醫大在學)
 山崎 貞三 大宮市仲町三五八八 內務省地方局庶務課(日大高師卒)
 山本 正三 浦和市仲町四ノ七四 農林省水産局(水産講卒)
 横溝 光博 浦和市本太八一二 齒科醫(日本齒科卒)
 吉田 昇一 (南埼玉郡太田村) 滿鐵上海事務所調查課(上海黃浦灘二四號)(東亞同文卒)
 吉野 宏 浦和市高砂町四ノ五五 東京鐵道局(早大法卒)
 吉村 克己 浦和市常盤町五ノ一六 齒科醫(東高齒科卒)
 渡邊 正 愛知縣知多郡旭村日長新舞子松濱園 三菱重工工業名古風航空機製作所、技師(名古屋市中港區大江町)(東高工專卒)

渡邊忠博 浦和市仲町四ノ一〇四

●四年修了會員

- 伊藤英次 (浦和市岸町七ノ七三) 醫師(大阪帝大醫學部今村内科)(阪大醫學部)
- 大矢 節 (浦和市仲町二ノ八九) (立大卒)
- 笠原義一 (秋田縣鹿角郡尾去澤郷井 尾去澤嶺山) (東大法卒)
- 河上 茂 (東京市牛込區早稲田 鶴巻町三) 西北館方 武州銀行日本橋支店 (早大商卒)
- 菊地 盛 (東京市本郷區森川町一五) (東大經卒)
- 小林正雄 (浦和市岸町六丁目) (東大工卒)
- 笹川泰藏 (北足立郡上尾町一九三ノ一) 酒造業
- 千代倉 俊夫 (浦和市仲町四ノ五一) 醫師、杏雲堂醫院腸科 (千葉醫大卒)
- 照林 正直 (大宮市一四八) 岩田製作所(東京市澁谷區向山町三七)(明大隆修)
- 永橋 文英 (南洋ホナベ島ヤタヅニトム 南洋興發株式會社住宅) (慶大經卒)
- 不明會員
- 石井 喜助 (長瀬) 野尻 了 細井 陽吉 森田 寅次
- 死亡會員
- 小山 永久 小林 正一 佐久間吉夫 清水 宏徳
- 篠崎 寅夫 杉本 正雄 山口 恒明 水谷 充
- 八角 高充 吉田喜八郎

◎第三三回 (昭和七年三月) 一五九名

- 安倍 勳 (Ambas. de du Japon, 24, Rue Greuze, Paris (16e), France) 佛國巴里日本大使館 (浦和市本太四五七)
- 秋庭 正三 (大宮市三五九四) 東京容器罐頭株式會社 (東大法卒)
- 淺 香 榮 一 (東京市豊島區要町三ノ一 下澤方) 長崎第五小學校 (醫師專攻卒)
- 淺野 四郎 (北足立郡與野町圓阿彌六九八) (第二早高修)
- 雨森 武雄 (東京市澁野川區田端町三八〇) (弘高理卒)
- 新井 賢作 (大宮市四三ノ二) 新炭商
- 新井 眞也 (北足立郡川田谷村五三七〇) (早大商卒)
- 新井 廣 正 (大宮市大門町四區三八〇) 藤倉工業株式會社浦和工場(汽機士)
- 井 岡 鐘 (東京市本郷區金助町七二 東京市役所水道局) (東物理在學)
- 伊藤 公夫 (東京市王子區稻付町三ノ五七) (慶大法在學)
- 家里 正治 (北足立郡原市町瓦葺三) 大阪市立惠美實業學校 (國大文卒)
- 池田 榮次 (北足立郡六辻町文藏六六) 川口市役所
- 池田 善次郎 (浦和市岸町七ノ六) 張家口蒙古聯合自治政府 (東北大法卒)
- 石井 秀治 (浦和市本太二三九六) 農
- 石井 正利 (川口市本會呂二二九) 大阪商船會社熱河丸乘組 (東商船卒)
- 石川 喜夫 (三原市 帝國人造絹糸株式會社三原工場寄宿舎内) 社員 (米高工卒)
- 石 田 道 尙 (浦和市常盤町七ノ壹 新潟市立中學校(東美術卒))
- 笠井 時 治 (朝鮮平壤府船橋里九四 鐘紡アパ115ノ二三〇) 鐘紡研究所員
- 片岡 文 三 (北足立郡原市町原市一〇) (早大商卒)
- 金森 誠 (浦和市岸町三六二〇) 埼玉縣社會課
- 金子 正 三 (浦和市本太二四七八) 大宮市北小學校 (講師二部卒)
- 金子 堅太郎 (北足立郡與野町四五〇) 大宮市北小學校 (講師二部卒)
- 金子 三郎 (滿洲國官吏消費組合(新京市興安大路)) 東京鐵道局御徒町驛
- 神尾 勝 正 (浦和市本太四五七) 東京鐵道局御徒町驛
- 川田 一 男 (北足立郡與野町上落合七 立區) (醫師專卒)
- 川 鍋 呈 吉 (大宮市仲町 七ノ一一七) 陸軍々醫中 (日本醫大卒)
- 川村 正 信 (浦和市仲町) 日本曹達株式會社大島製鋼所 (東大工卒)
- 梯 茂 (東京市芝區高 濱口銀行上海支店) (上海市 警政町三〇) (東北大法卒)
- 吉川 靖 (東京市大森區調布領町二 王子製紙株式會社) (早大經卒)
- 經塚 忠 男 (川口市幸町二ノ五〇) 機械業
- 小池 高之進 (浦和市岸町三ノ三六) 東京光學機械株式會社 (電機卒)
- 小島 正 雄 (東京市赤坂區青山町六) (早大文卒)
- 小針 司 (浦和市神明臺七六) 中外商業新報社 (早大政經卒)

- 市ヶ谷 金兵衛 (北足立郡美谷本村內各二) 東京府中川改修事務所土木技手(日大工卒)
- 石鍋 米 壽 (大宮市大成七) 鐵道職員(東京鐵道局田端驛) 海軍中尉、軍艦飛龍乘組 (海兵卒)
- 今宿 滋一郎 (浦和市高砂町四) 東京電燈株式會社澁川出張所(早大理工卒)
- 岩井 榮 一 (群馬縣澁川町下ノ町 山田屋) (日本醫大在學)
- 岩崎 敏 一 (北足立郡原市町原市二二 四三) 油商
- 岩崎 寛 一 (北足立郡與野町七〇七) 仙臺鐵道局工務部庶務課 (早大法卒)
- 岩田 鎌 三 (慶大經卒)
- 岩瀬 春 雄 (浦和市仲町二ノ六八) 日産自動車販賣株式會社總務部人事課 (慶大法卒)
- 宇佐美 節 (浦和市常盤町四ノ七〇) 滿洲帝國協和會 (早大專商卒)
- 植木 秀 太 (北足立郡上尾町柏座六) 日本油脂株式會社東京營業所(早大法卒)
- 小川 照 次 (浦和市岸町一ノ三一) 貴金屬時計商
- 小川 正 二 (大宮市大門町四〇五三) 會社員(桐生高工卒)
- 大島 治 雄 (川崎市磯本町二ノ一〇) 東京鐵道局上野驛從業員(東鐵教習卒)
- 大谷 義 夫 (大宮市加茂宮) 東京市通信局
- 岡村 干 雄 (東京市牛込區東五軒町 一九 中田方) 東京市通信局
- 奥田 安喜藏 (北足立郡六辻町白幡五二 農)

小山安雄 北海道後那泊村東湧村 茂世呂鐵業株式會社瀧石鐵業所專大計卒

古峰 郭 栃木縣上都賀郡今市町三ノ七一六 荒物雜貨商

後藤 泰治 川口市本町三ノ二一 矢崎方 飾物販賣業

近藤 知之 北足立郡與野町下落合四五〇

齋藤 正三 (浦和市高砂町一ノ九一) (慶大法卒)

齋藤 猛夫 川口市根岸二七六七 日本パルプ製造株式會社 (慶大法卒)

齋藤 鐵熊 新潟縣中魚沼郡吉田村小 鐵道省信濃川電氣事務所小泉詰所 (慶大法卒)

坂部 太郎 北足立郡桶川町一〇三八 新宿鐵道病院 醫師 (日大醫卒)

清水 一郎 浦和市仲町一ノ一三五 日魯漁業株式會社 (日大法在學)

清水 加保太郎 北足立郡志木町二四四七 陸軍藥劑中尉 (東大醫卒)

清水 正夫 二 東京市坂橋區板橋町二ノ二 陸軍藥劑中尉 (東大醫卒)

清水 環 大宮市土手宿一六〇 北海道炭礦汽船株式會社 (早大商卒)

篠 鉦一 東京市品川區北品川一ノ二三 八ツ山アパート 日本人造絹織物工業組合聯合會(中大法卒) 大阪地方專賣局 (早大商卒)

柴崎 正雄 (浦和市岸町三ノ一三一) (法大經卒)

島村 幸三 大宮市高鼻一〇三 赤土小學校 (東京市荒川區尾久町) (醫師二部卒) (東高商卒)

島村 太郎 大宮市宮原加茂宮一七〇 赤土小學校 (東京市荒川區尾久町) (醫師二部卒) (東高商卒)

下村 喜久雄 北足立郡桶川町一四二二 通信從事員、通信書記 (東大專修)

進藤 謙一 浦和市高砂町五ノ二六

須賀 是美 京都市吉田下大路町一五 京都帝大法醫學部助手 (昭和醫專卒)

須田 公二 (北足立郡上平村南七一) 武州銀行本店 (早大商卒)

須田 大三 東京市淀橋區橋本三ノ三 二六 鈴木方 エル・レイボルト商店 (早大專商卒)

諏訪 彌太郎 福岡市地行東町 田村方 福岡縣醫學部、體育運動主事補(東高師卒)

杉田 敬一 北足立郡蕨町蕨三九九 醫師、東大附屬青洲小兒科 (東大醫卒)

鈴木 一郎 東京市瀧野川區上中里一八四 三菱鐵業株式會社制定係 (東物理卒)

鈴木 國雄 北足立郡與野町八三五 東京中央郵便局 (立大際修)

鈴木 四郎 浦和市常盤町七ノ五七 千代田生命保費相互會社 (慶大經卒)

關根 琢哉 浦和市常盤町四ノ一三 東京市電氣通信工務出張所(電氣通信工卒) 東京鐵道局運輸部機關車課 (大倉高商卒)

關根 保雄 浦和市高砂町二ノ一九四 富國鐵兵保險相互會社 (大倉高商卒)

田原 幹一郎 東京市王子區上十條町四一四 鐵道從業員(池袋) (鐵道教習在學)

高木 彌一郎 北足立郡與野町一〇六九 深川郵便局通信書記補 (鐵道教習在學)

高橋 尉光 北足立郡大谷村中新井一 二六 深川郵便局通信書記補 (鐵道教習在學)

高橋 敏作 北足立郡野田村大崎二四五 農、花卉栽培業

高山 政勝 新東京特別市日本橋通八五 木材商 (早大商卒)

竹ノ谷 光一郎 川口市本町一ノ九二 酒商 (早大商卒)

築根 一進 北足立郡大谷村三九八 醫師(日本赤十字會) 支部病院 (日大醫卒)

土屋 常次郎 北足立郡美谷本村三二五六 埼玉縣廳社會課 (日大工卒)

常木 利次 浦和市高砂町四ノ一六四 東京府廳土木部道路課 (日大工卒)

寺内 重次 浦和市常盤町五ノ一三 埼玉縣經濟部土木課 (東大專修)

寺田 光壽 大宮市高鼻一三〇四 東京朝日新聞社販賣部 (東大專修)

照山 久 新東京北路四〇九 借拓寮九號 滿洲拓殖公社 (京大農卒)

富田 正三 川口市元郷町一ノ一九二 海軍技術研究所造船部 究部記録工 (東大專修)

島海 武 東京市王子區袋町三ノ五 池貝自動車株式會社 (興亞工學卒)

名尾 良章 浦和市仲町三ノ三五 醫師、わかりや醫院 (昭和醫專卒)

中島 壽雄 東京市王子區稻付西町二ノ一二 (東大理在學)

中村 岩雄 浦和市三九七二ノ二 東京鐵道局赤羽驛 (早大高師卒)

新島 通弘 東京市中野區鷹宮町四ノ九四五 早稻田實業學校 (早大高師卒)

野島 美勝 北足立郡土合村田島八〇 東京株式取引所員 (日大專卒)

野原 正二 大宮市大成三一二五 理研興業株式會社 (滿洲醫大卒)

畑 正雄 浦和市仲町一ノ七〇 (東大經卒)

島山 國夫 秋田縣南秋田郡富津町下 秋田縣南秋田郡山下町 小學校(秋田師二部卒)

林 健夫 浦和市常盤町四ノ七七 (慈惠醫大在學)

林 博一郎 北足立郡上尾町二七五 (東大法在學)

畫間 仲右衛門 川口市鳩ヶ谷一八五〇 陶器銘茶商

福島 愷之助 浦和市上木崎四九五四 蕨炭商

福田 莞爾 北足立郡與野町一八五 (千葉醫大在學)

福田 寛太 川口市飯塚三ノ五八五 第二營造所(川口市本町四ノ二三) (早大專商卒)

福永 友一郎 札幌市北一條西四丁目二ノ二 會社員 (慶大經卒)

藤野 侃宣 北足立郡六辻町白幡 陸軍中尉、臨時東京第一陸軍病院(昭和醫專卒)

藤本 憲司 浦和市岸町三ノ二四 醫師(東大醫學部) 醫院整形外科 (東大醫卒)

船津 正三 川口市鳩ヶ谷町一八六六 會社員(東大經卒)

船津 利助 北足立郡安行村 日光自動車株式會社(東京市本所區小梅町) (東大專修)

星野 新助 大宮市三七五七 材木商

細井 定正 東京市板橋區練馬向山町 會社員(大倉土木、京橋區三ノ四) (東大法卒)

細沼 芳幸 東京市荒川區尾 旭電化工業株式會社研究所(東久町三ノ二五六) 京市荒川區尾久町(東高工卒)

前川 浩 川口市鳩ヶ谷町一七五九 (東大醫在學)

町田 正信 北足立郡六辻町別所一九八〇 (東大醫在學)

松岡 光男 浦和市本太三三八 東洋拓殖株式會社(慶大經卒)

松澤 正次 浦和市高砂町二ノ六七 (明大法卒)

松川 倉三 北足立郡蘇町四三五七 (東大法在學)

- 松永忠直 浦和市常盤町五ノ二〇六 東亜石油協會(東京法卒)
- 松永信順 浦和市仲町三ノ八五 昭和工業(社員)
- 松本正二 北足立郡與野町下落合一 鐵道員(東京鐵道教習)
- 松本義助 北足立郡與野町圓阿爾六八八 所生徒(東京鐵道教習)
- 三浦太郎 南埼玉郡蓮田町蓮田三見 齒科醫(東京齒科卒)
- 箕田 幸 南埼玉郡野村駒崎一 醫師、陸軍醫(日大醫學)
- 宮下一男 馬來半島ジョホール州シガポール 會社員
- 宮澤清一 浦和高砂町五ノ二〇六 東京鐵道附經理部
- 宮野三郎 川口市青木町三ノ二四七 合資會社建設社設計部
- 望月 敏 浦和市常盤町四ノ八八 東京府立第十高等女學校
- 矢作 松之助 浦和市仲町五丁目 菓子商
- 矢部 弘 北足立郡原市町原市二二五三 醫師(日大醫學)
- 山口正二 東京市豊島區駒込二ノ一八四 (日大醫學)
- 山田時美 (東京市杉並區阿佐ヶ谷) 三井物産株式會社名古屋支店(橫高商卒)
- 柳澤明治 大宮市大和田一四二五 農
- 柳田昌彦 川口市本町二ノ三〇一 (慈惠醫大在學)
- 柳本 守 浦和市岸町一ノ四八 浦和商業學校(早大高師卒)
- 吉岡英男 東京市本郷區元町二ノ三三 醫師(日本第一醫院耳鼻咽喉科教習)(本醫卒)
- 吉川孝男 川口市壽町七三 (日大專工卒)

- 淺見隆次 入間郡吾野村坂石二九 東北振興株式會社
- 荒井 勇 大宮市土手宿四七〇二 鐵道省(大倉高商卒)
- 荒尾善雄 內務省多摩川工場(東京市蒲田區古市町三〇) (政工社工卒)
- 新井康久 大宮市西本郷五三三 東京鐵道局 專大經卒
- 伊藤秀吉 川口市本町四ノ一四〇 東洋精工株式會社
- 伊藤元博 哈爾濱市南崗區洲里街二九 トロロコン方 滿鐵哈爾濱鐵路局自動車工(日大專工卒)
- 飯島四郎 北足立郡土合村新開二六 日本車輛製造株式會社
- 飯田猛也 岡山縣淺口郡玉島町字乙 太陽レヨン株式會社
- 飯塚 昭 川口市前川町四ノ一六 機業
- 飯塚隆雄 川崎市上平間町三七〇 東洋精機株式會社
- 飯村 繁 東京市下谷區北稻荷町三 三共製藥株式會社
- 池田英次 北足立郡志木町二四四四 金物商
- 石井亮三 群馬縣太田町中島八幡寮 中島飛行機株式會社
- 石原正彌 大宮市大門町三六五三 計課(廣大經卒)
- 市ヶ谷 孝 北足立郡美谷本村內谷三 日本信託株式會社
- 今村 功 八二五 京都市立第三商業學校(昭和高等卒)
- 遠藤五郎 浦和市三笠二二六 中島航空金屬株式會社
- 小笠原龍男 東京市澁野川區田端三二五 田無製造所(東大工卒)

- 吉田 喜八郎 (入間郡吾野村北川九四三) 奈良縣農會
- 吉田 正次 名古屋市東區西二葉町一 名古屋鋼材株式會社
- 鷺宮 雄四郎 東京府北多摩郡武藏野町西窪英 (東商大在學)
- 四年修了會員
- 島田 淑雄 三菱商事株式會社奉天出張所(奉天市大和區源通二八) (東大經卒)
- 永井 靖 廣島縣豊田郡高根島村 第一生命保險相互株式會社(東商大卒)
- 宮崎 一彌 浦和市仲町四ノ三二 會社(立大文卒)
- 瀧澤 義輝 川口市本町二ノ七八 綿物業
- 不明會員
- 中島 康二 福留 哲 齊藤 信一 日井 啓
- 梅澤 壽 大津 隆武 奥村 道彦 桑原 成二
- 鈴木 宏祐
- 死亡會員
- 榎本 忠孝 萩島 見江 小島 寛人 駒崎 物吉

- 小川 博久 北足立郡上尾町上尾宿三三四ノ二〇二
- 小高 茂 浦和市針ヶ谷三三 東京貯蓄銀行兩國支店
- 小野澤 哲夫 北足立郡六辻町別所一八四 (大倉高商卒)
- 大井 秀夫 浦和市常盤町四丁目 東京鐵道局
- 大木 健二郎 北足立郡上尾町三二五 大日本製藥株式會社東京支店工場(千葉醫大藥卒)
- 大久保 松彦 南埼玉郡篠津村篠津一八六二 農
- 大谷 武雄 大宮市土手宿五〇三 東京鐵道局大宮檢車區
- 大成 功 大宮市土手宿四四〇ノ二 關東中學校(國大史卒)
- 大成 博 大宮市並木九七八 東京市水道局王子營業所
- 岡野 博邦 大宮市土手宿一一九 東京鐵道局大井工場
- 岡田 謙 東京市中野區水川町三 商工省貿易局第一部
- 萩島 傳一郎 川口市仁志町一ノ八七七 (東大經卒)
- 加藤 克己 浦和市仲町二ノ一四〇ノ一 (國大文卒)
- 加藤 武夫 川口市前田四八二 岩淵高等小學校(東京市王子區)(豐師二部卒)
- 加藤 達男 北足立郡中丸村北中丸八六 農
- 鹿取 豊彦 幕南州東石郡東石庄彦子 明治製糖會社
- 柿山 健 北足立郡六辻町白幡一二 (東農大卒)
- 片野 正一郎 浦和高砂町五ノ四四 大日本電力株式會社工務部(明治學院商卒)
- 金森 敏 浦和市岸町七ノ四五 東京電燈株式會社大宮出張所(電機高工卒)

金勝敏雄 川口市錦町一五四 埼玉縣醫學務課 (日大專卒)
金子恭三 鎌倉市小町一六六 海軍造船機小尉候補生 (米高工卒)
金子東三郎 北足立郡藤町一五五 織物業 (米高工卒)
川田早苗 東京市澁野川區上中里一六七 海軍水路部第四課 (機高商卒 物理在學)
河野壽 大宮市櫻木町七七三 醫師 (若手醫學專卒)
河邊源之助 浦和市上木崎六一〇 浦和市尾間木小學校 (講師二部卒)
木下明 北足立郡六辻町一八三五 (陸豫士在學)
木原元孝 川越市通町一三〇二 (浦高文修)
岸川正文 平塚府船橋里鐘紡アパ一五ノ二三〇 鐘紡平壤工場研究科 海軍技術研究所
清宮榮一 浦和市高砂町二ノ一五五 (東大文卒)
久保宇一 浦和市高砂町二ノ一八六 (慶大法在學)
栗原周治 北足立郡六辻町別所二〇二四 千葉縣林務課 (宇高農卒)
桑原辰夫 浦和市仲町四ノ一四〇 中島飛行機製作所 (東大工卒)
小池久武 浦和市高砂町一ノ五七一 京橋區役所 (東大工卒)
小泉勝彦 浦和市高砂町二ノ八八 藥劑師 (千葉醫大卒)
小暮達次郎 浦和市常盤町五ノ一四一 横河電機製作所 (東高工藝卒)
小沼文彦 浦和市常盤町四 ラボリア國リガ市日本領事館外務省留學生 (慶大文修)
小林一雄 北足立郡六辻町別所一八二四 (東大經卒)
小林健志 大宮市高鼻五〇 國產精機株式會社設計課 (東大工卒)

小林道夫 浦和市仲町五ノ四〇 (慈惠大在學)
小降績 浦和市仲町三ノ四 (慈惠大在學)
木場宗次 浦和市常盤町四ノ四 柏壁稅務署 (日大專商修)
古要恒三 浦和市常盤町一ノ二二八 (東物理卒)
兒島光雄 大宮市土呂二〇九〇 (早大商在學)
越場武士 浦和市仲町五ノ六四 三伸就機製作所 (吳專商卒)
齋藤清次郎 北足立郡朝霞町壘二八 農 (福島高商在學)
齋藤善次郎 東京市世田谷區代田二ノ八一八 (早大文在學)
茂見義高 千葉縣我孫子町二八〇五 齒科醫 (日本齒科卒)
清水宗之助 大宮市吉野原一四一 東京市淺草區日本堤小學校教員
清水正三 東京市深川區三好町三ノ一 宇野方 (日大高師修)
清水武嘉 東京市深川區三好町三ノ一 宇野方 (日大高師修)
白田信忠 浦和市岸町三ノ一〇一 浦和第五小學校 (講師二部卒)
東海林孝佑 滿鐵社員 (北安省北安鐵路監理所)
須藤高文 東京市王子區稻付町西町六ノ三三 東京市選信局囑託醫 (東京齒科卒)
鈴木辰男 浦和市岸町三ノ四五 浦和第五小學校 (講師二部卒)
鈴木千代吉 浦和市常盤町三ノ八五 (東大醫在學)
關正久 前橋縣工務局養食共同配給組 今井方 (養食改善指導員 (養食學校卒))
關口登 川口市根岸二九六〇 機業
關口吉孝 浦和市仲町五ノ一九一 (東商船在學)

相馬幹郎 浦和市高砂町四ノ五一 日本無線電信電話株式會社 (日大專工卒)
染谷喜與司 浦和市高砂町一ノ八三 菓子商 (日大專在學)
田村昌次 茨城縣筑波郡北條町三九 吳服本物商 (千葉醫大卒)
高田典 浦和市常盤町一ノ八〇 (千葉醫大卒)
高田秀 川口市下青木町一ノ四一 機械製作業 (東大專修卒)
高橋勝一 北足立郡内間木村宮戸七四八 農 王子小學校 (東京市王子區) (豐師二部卒)
高橋清 東京市王子區中十條町一ノ一八ノ六 (東大專修卒)
高橋重治 北足立郡片柳村染谷八一 織物業 (早大專卒)
高橋泰雅 入間郡古谷村古谷上 內務省築橋土地收用事務所
瀧上忍 (浦和市常盤町五ノ一四四) (東商大專在學)
瀧瀬孝之 東京市杉並區西高井戸二ノ三 (日大醫在學)
竹内榮一 北足立郡上尾町三四一 教員 (國大文卒)
館野軍二 東京市芝區西久保八幡町六 水谷方 (東醫專在學)
長南博夫 (東京市王子區赤羽町四) 滿洲國錦州鐵道局人事課 (拓大商卒)
圓谷茂郎 北足立郡六辻町白幡番場 商工省鐵道工業試驗所 (桐生高工卒)
德丸喜一 北足立郡藤町四五一五 織物業
富永守之 神戶市林田區片山 三菱重工株式會社神戶造船所 造船機設計課 (桐生高工卒)
豊田豊次 川口市鳩ヶ谷一八一八 東京海上火災保險株式會社 (慶大經卒)

豊田篤信 南埼玉郡八幡村二〇一 大日本麥酒株式會社 (慶大經卒)
鳥海晃 北足立郡六辻町文藏一八九二 (早大商在學)
鳥海正之 北足立郡六辻町文藏一八九二
名尾良忠 浦和市仲町三ノ三三 旭電化株式會社 (慶大法卒)
中川秀雄 浦和市常盤町六ノ二七 農事試驗場 (農機學) 電氣係 (電機卒)
中村一郎 北足立郡土合村南元宿九九 逓信省電氣試驗所第一課
永井常雄 北足立郡戸田村下戸田一七三六 秀工社事務員 (東京市浦和區北尾谷町二四八二) (中大第二學在學)
永田庄一 北足立郡馬宮村土屋五三ノ八八二 (慈惠醫大在學)
長島宏介 東京市品川區西品川町三ノ八八二 東興社 (大倉高商卒)
西田寅雄 浦和市常盤町五ノ一〇五 (武藏音樂卒)
西野次郎 東京市澁谷區代々木西原町九六七 東京市石川島造船所營業部 (日大高工卒)
野崎幸久 浦和市本太七九二 東京同愛記念病院 (東大醫在學)
萩原敏秀 浦和市岸町三ノ六四 (千葉醫大卒)
橋村秋雄 浦和市岸町四ノ一〇九 (東大醫在學)
蓮見典雄 浦和市本太三四二三 (浦高在學)
濱島正夫 (浦和市常盤町) 大會事業會社 (滿洲國新京市大宮市米ヶ袋區銀川屋前町五) (同大與ヒル) (明治學院商卒)
濱田隆資 仙臺市米ヶ袋區銀川屋前町五 本間喜一方 (浦和市高砂町四ノ二七) (東北大在學)
原博 北足立郡上尾町一九七 (日本醫大在學)

- 原田 政治 北足立郡與野町七七八 米穀商
- 半田 忠雄 東京市王子區王子町一〇六二 (早大政經在學)
- 平井 允 北足立郡加納村小針領家 川口市第六小學校 (坊師專政卒)
- 平野 勝義 (浦和市仲町三) 三九 (陸七卒)
- 福島 俊次 大宮市二八六八 (慶大醫在學)
- 福島 尚道 北足立郡六辻町別所一 三菱重工業種戶支店 (早大理卒)
- 古畑 弘 浦和市岸町七ノ八七 (東大專卒)
- 古澤 勝 浦和市前地三三七 東京市麻布區役所 (早大法卒)
- 別所 弘 東京市板橋區上石神井一 智山 研究生 (智山專卒)
- 細田 良一 東京市本郷區森川 通信士(日本郵特務株式會社大丸通信士)(日無電通卒)
- 細瀨 亮二 北足立郡六辻町沼影三三 六辻町役場(日大法卒)
- 堀口 正三 浦和市常盤町三ノ六 商工省監理局 (日大商卒)
- 眞取 正二 北足立郡土合村西堀 農 蒙古新聞社員
- 増子 諒夫 蒙羅張家口山西 西口六號 伊藤合名會社員(川口市元郷町二三三三)
- 増田 清 北足立郡六辻町根岸八三 日本青年館編輯部 (早大法卒)
- 町田 保行 大宮市土手宿四〇四 (早大專卒)
- 松本 英夫 浦和市常盤町六ノ三 (千葉醫大專卒, 東大在學)
- 松本 政典 (東京市瀧野川區) 清水食品株式會社(清水市築地町二ノ二二) (水産講卒)

- 松本 守義 大宮市並木一六七八 東京市財務局地理課
- 三澤 千勝 大宮市三〇二 (東大法在學)
- 見富 保之 北足立郡片柳村南中丸三 日本光學工業株式會社 大井工場
- 水谷 董 浦和市岸町六ノ三八 千葉醫大佐々内科 (千葉醫大卒)
- 茂手木 利一 大宮市下町三九七六 (日大專卒)
- 望月 保男 浦和市常盤町六ノ一二 佐久間工業會社(京橋銀座三ノ一)(早大商卒)
- 本橋 次夫 南埼玉郡河合村馬込二九七七 農
- 守屋 榮 北足立郡片柳村片柳一七〇五 農
- 守屋 寅雄 大宮市堀之内二六四五 (早大專政經卒)
- 森 信雄 浦和市常盤町七ノ二八 東京電氣株式會社經理部會計課(慶大法卒)
- 森 憲正 川口市根岸三〇五一 機業 (慶大文卒)
- 森田 敬司 東京市王子區上十餘町一八六 商 (帝國美術修)
- 矢鳥 健三 東京市小石川區小日向水道町二八 久世山ハタ 畫家
- 矢部 克己 防本縣尾尾町古河鐵業所渡良瀬合宿所(北足立郡片柳村南中丸) (慶大法卒)
- 矢部 武 奉天市大和區協和街五號 同和自動車工業株式會社(橫商專卒)
- 山岸 四郎 浦和市高砂町五ノ一〇 永瀬物機機業會社(日大商工在學)
- 山崎 正雄 東京市王子區稻付町三ノ二 第二荒川尋常高等小學校 (坊師二部卒)

- 山崎 悠紀夫 東京市杉並區馬橋町二ノ五ノ八七五 春社 藥劑師(杉並區馬橋町二ノ三ノシヤ藥房(東大專卒)會社)
- 吉田 良治 東京市麻布區斧町一六八 石塚方 國際電機株式會社
- 義隆 啓佑 東京市王子區稻付町四一 鐵道省工作場工場課(中大法卒)
- 横田 成美 川口市領家町三八一五 川口市増平工場
- 横溝 定之 大宮市下内野七一九 (東工大在學)
- 横溝 順之助 浦和市本太八二 (東大經在學)
- 渡邊 俊雄 浦和市常盤町七ノ六七 日本飛行機會社 (東工大卒, 專大經在學)
- 渡邊 英世 八〇〇 不動莊 (東工大卒, 專大經在學)

●四年修了會員

- 磯部 昌一 (大宮市二九二) 滿洲國安東省桓仁縣第二區七七號庶務科長公館 (東大法卒)
- 今井 良夫 (浦和市仲町四ノ一一五) (神商大卒)
- 金子 喬 (浦和市大谷場一六三) 大阪商船株式會社彰北丸無線局長(無線電講卒)
- 志賀 隆二 福岡縣糟屋郡宇美町三菱鐵業職員(會宿所) 三菱鐵業株式會社勝田鐵業所(東工大卒)
- 須加 是武 東京市佐原區中延町旗ノ壱二四五 野村銀行 (東大法卒)
- 高山 淨 浦和市岸町八ノ一五八 昭和産業株式會社 (東大經卒)
- 野口 邦雄 大宮市仲町二九一六 川越中學校(立大文卒)
- 松本 稔 浦和市常盤町六ノ三一 東京帝國大學附屬傳染病研究所(東大醫卒)
- 子健 藏 川口市金山町四三 機業

不明會員

- 小谷野信太郎 戶倉 正彦 芳井 芳萬
- 榎本 勝治 大野 登 長澤 俊臣 日吉三七次
- 本田 正明 丸山 正男

死亡會員

- 阿部 正五 浦和市常盤町七ノ七八 (東商大專卒)
- 青木 茂 浦和市岸町二ノ六三 (浦高理在學)
- 秋山 勉 北京市西四牌路大紅羅廠 滿鐵北支消費組合 (東大經在學)
- 龜山 通太郎 浦和市常盤町四ノ八一 (日大專卒)
- 荒井 巖 北足立郡藤町四三三七 池田方 (東大專卒)
- 有江 一雄 東京市澁橋區角管一ノ一 池田方
- 伊藤 三郎 札幌市北七條西十七 三菱重工業株式會社名古屋發動機製作所(北大卒)
- 伊藤 長邦 浦和市岸町二ノ三三 東京市電氣局電燈部 (日大專卒)
- 伊藤 英雄 東京市芝區芝公園四號地 御成門官舎二 (千葉醫大在學)
- 飯田 晶 北足立郡藤町四五二四 (東大醫在學)
- 飯田 寅松 北足立郡六辻町文藏二四七
- 飯塚 一二 東京市王子區岩淵町二ノ二九二 (慶大法在學)
- 池田 辰男 北足立郡内間木村濱崎一 富士航空計器株式會社 (東物理卒)
- 池田 俊之 中華民國天津市河北二經路四五號華北交通株式會社 華北交通株式會社 (東外語卒)

◎第三五回 (昭和九年三月) 一六六名

- 池田 俊之 中華民國天津市河北二經路四五號華北交通株式會社 華北交通株式會社 (東外語卒)

石井一彦 浦和市高砂町一ノ四六 大藏省專賣局 (早大專商卒)
 石井克己 浦和市前地二一〇 (東大法在學)
 石井 亨 大宮市大成四一四 (東大在學)
 石川久次郎 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 石川 彪 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 石田文夫 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 磯部俊三 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 市川 惠士 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 稻田 繁 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 今井利弘 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 今泉周 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 梅澤 保 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 海野幸秀 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 江口眞弘 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 小野澤元治 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 小花鐵夫 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 尾崎保次 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 尾住 秀 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查
 大熊壽平 秩父警察署警察科 秩父警察署警務課巡查

大澤一郎 浦和市岸町二ノ五〇 理化學研究所
 大隅健次 大宮市一二二四 東京鐵道局大宮工場
 大塚正苗 大宮市豊島區駒込六ノ八三六 (東高工卒)
 大野五郎 大宮市土呂六七 千葉縣我孫子町神戶商店 (東高醫科卒)
 岡田佐吉 浦和市常盤町二ノ五七 三井礦山株式會社鐵礦部鐵礦所 (北海道空知郡浦和町) (東高工卒)
 萩島睦巳 大宮市上大成一三八四 浦和第一小學校 (培師二部卒)
 押兼正廣 浦和市常盤町七ノ一三 海軍少尉、大日本帝國軍艦隅田 (海兵卒)
 金子章吾 東京市王子區志茂町二四〇四 (東高醫科卒)
 金子七五三 北足立郡戸田村下戸田五六 (日本商科卒)
 金子德衛 北足立郡廣町一三 (東美術在學)
 金子仁三郎 北足立郡片柳村三九九 (東美術卒)
 川口俱武 浦和市岸町五ノ四四 南洋海運株式會社 (東商船卒)
 木内五郎 北足立郡大久保村宿一八 東京鐵道局大宮工場 (東商船卒)
 北島龍之介 三鱗無煙炭株式會社 (栃木市外新栃木驛前) 遞信官吏
 熊木良平 浦和市高砂町一ノ一三五 (桐生高工卒)
 栗本 璋 秩父郡秩父町一五四九 蓮田小學校 (培師二部卒)
 黒須一郎 北足立郡原市町瓦葺森一 東京鐵道局運輸部庶務課
 桑原 弘 浦和市岸町二ノ六六 東京鐵道局運輸部庶務課
 小河原 修 北足立郡六辻町根岸一 簡易保險局 (明大專商卒)

小林健次郎 東京市足立區千壽第五小學校 (培師二部卒)
 小林次郎 天龍製鍊所分拆係北海道上川郡上川村天幕 陸軍中尉、滿洲國牡丹江省富田部隊後隊隊長 (帝國美術修)
 小峰友吉 大宮市大宮九〇六 浦和第五小學校 (培師二部卒)
 駒井武司 浦和市太田蓮八八四 浦和第五小學校 (培師二部卒)
 駒崎友治 北海道空知郡美瑛町二〇六〇 三菱美瑛製鍊所 丘合宿 (慶大鋼卒)
 佐々木新一 北足立郡六辻町別所二〇 日本機械會館庶務部 (帝國美術修)
 西東勇三郎 大宮市東町三〇四五 ジャパン・ツリスト・セユーロー銀座案内所 (電機學校在學)
 齋藤 博 東京市芝區芝公園内四號 地鐵道官舎五ノ二 (電機學校在學)
 鹿野忠男 北支那河北省塘沽新村三號官舎内 華北鹽業股份有限公司吉江工場建設事務所 (水産課卒)
 眞目正敏 東京市王子區稻付町四ノ七二八 東京市王子區稻付町四ノ七二八 (桐生高工卒)
 篠原 節 東京市大森區調布嶺町一ノ一七三 日立兵器株式會社 (桐生高工卒)
 島根柳治 川口市芝五〇二四 (專大專商在學)
 島村武二 大宮市櫻木町南二區七七六 (明大商在學)
 島村保雄 北足立郡上平村上 (日大文在學)
 新藤忠男 北足立郡土合村關三二一 日本光學工業株式會社大井工場 (東大工在學)
 須之部 量寬 浦和市常盤町八ノ四 (東大工在學)
 諏訪 一此 川口市芝六三〇三 宮田方 僧侶 (日大宗卒)

鈴木園夫 浦和市仲町一ノ九五 齒科醫 (東京齒科卒)
 鈴木辰郎 浦和市本太七七三 外務省大臣官房文書課 (國大文卒)
 鈴木隆次 大宮市立扇町商業學校 (大阪市北區西扇町) (東商大商教卒)
 鈴木 隆 東京市本郷區弓町一ノ八 朝陽館別館 (慶大醫) (入間郡越生町六九八) (在學)
 關口正一 大宮市大宮二九三一 北足立郡片柳小學校 (培師二部卒)
 田口哲也 大連市山縣通一三三三 三菱商事大連支店 (東大在學)
 田中芳平 浦和市岸町二ノ二九 内閣官房記録課 (日大專商卒)
 田邊幸藏 川口市本町一ノ三七 日本ヒストリオン社株式會社事務員
 田幡義勝 浦和市仲町四ノ七八 (東大在學)
 田村正吾 大宮市大宮五二二 鐵道省官吏 (米高工卒)
 田村夏男 大宮市下町三區三一二一 東京鐵道局田端機關區
 高田宗男 東京市北多摩郡三鷹町幸禮三三六 (大倉高商在學)
 高橋 一男 浦和市常盤町一ノ四七 東京鐵道局田端驛 (東鐵教習卒)
 高橋貞次郎 北足立郡廣町廣四七八六 (東鐵教習卒)
 高橋房男 北足立郡片柳村染谷八一四 (日大高折卒)
 高橋克種 大宮市高島七一 商
 高宮 彌 浦和市岸町四ノ五四 (慶大醫在學)
 高森武一 北足立郡六辻町別所一三三一 (早大商在學)
 武井男二 北足立郡與野町大戸二六 武州貯蓄銀行 (東鴨高商修)

武内龍彦 浦和市仲町四ノ七九 (日大商卒)
 種倉友直 東京市杉並區阿佐ヶ谷三 (東商大專卒)
 近田 裕 蒲洲國齊々哈爾濱送局 (中大專法卒)
 手島立男 (浦和市岸町二ノ一八一) 各務原航空廠 (中大專法卒)
 照山守三 大宮市五五八 (東工大卒)
 戸張良作 北足立郡大久保村白嶽四八〇 織物業 (水産師卒)
 遠山孟平 北埼玉郡原道村九六一 日本人機株式會社 (早大理工在學)
 藤堂良知 浦和市高砂町四ノ一八〇 (早大理工在學)
 富田圭一 浦和市仲町二ノ一〇 (早大理工在學)
 富田四郎 札幌市南八條西七丁目 兵務方 (北大在學)
 友部正伸 北足立郡六辻町別所四ノ壹 (東大法在學)
 名尾良孝 浦和市仲町三ノ三三 (中大在學)
 内藤大吉 (川崎市大島町四ノ五二) (新高理在學)
 中川哲男 東京市牛込區山吹町二二三 (東農在學)
 中川芳春 東京市王子區袋町三ノ五八九 (慶大醫在學)
 中原英典 浦和市常盤町二ノ一六一 (東大法在學)
 中村利美 大宮市上小村田五〇八 (東京鐵道局大宮工場計
 算課(明大專政經卒)) (東美術卒)
 永田春二 北足立郡馬宮村土屋五 (東美術卒)
 永見昌司 大宮市大宮一ノ九三 内務省計畫局(東大法卒)
 西堂昇 北足立郡六辻町別所一ノ八二 (青山學院神卒)

野口一郎 浦和市前地二四五 協同油脂株式會社(日大經卒)
 野口忠正 浦和市高砂町五ノ九 會社員
 野原晴雄 大宮市大宮三七八〇 醫師、三榮商店 (東醫專卒)
 龍島 康 北足立郡植木村佐知川五 (中大經卒)
 針田 實 川口市仲町三ノ三一 帝室林野局東京支局 (三重高農卒)
 林 春二 北足立郡上尾町二七五 東京市浦山工業學校 (青山學院文卒)
 平野榮三郎 浦和市岸町八ノ一九〇 (橫商專卒)
 東角井良臣 大宮市高鼻一 (東高工機卒)
 深谷四郎 大阪府北河内郡守口町土 (加藤物産株式會社大阪支店) (東外語卒)
 福田 清 浦和市高砂町二ノ五五 日滿商事株式會社 (日大工在學)
 福永友二郎 新東京特別市日本橋通日滿 商務 東光寮 (東外語卒)
 藤井五郎 (浦和市高砂町二ノ一七〇) 上海楊樹浦(五四〇)號 紡公大第二廠(慶大經卒)
 古田守彦 東京市尾橋區柏木一ノ八 (理研養藥株式會社) (東大法在學)
 古谷浩造 浦和市常盤町七ノ六八 (東大法在學)
 間山 勇 浦和市常盤町七ノ六七 片倉製絲紡績株式會社 (東高醫經卒)
 増成正哉 東京市王子區王子病院 醫師(高崎市多町五〇 綿貫病院)(日大醫卒)
 松澤一郎 北足立郡七里村猿ヶ谷戸二五

松永 操 北足立郡上尾町七 (東大法在學)
 松永信和 浦和市仲町三ノ八五 (慶大醫在學)
 松村 豊 浦和市高砂町四ノ一五七 (中大專法卒)
 三浦 穰 名古庫市昭和區五軒家三 (中大專法卒)
 三角義敏 (浦和市岸町三ノ一五) 滿鐵東亞經濟調查局 (東外語卒)
 見富清治郎 北足立郡片柳村南中九三 北支井出部隊本部 (慶大醫)
 見留康八 (北足立郡片柳村御藏三七) 岡田方 (在學)
 箕田 升 (東京市豊島區椎名町一ノ八元) 岡田方 (在學)
 宮木俊雄 浦和市高砂町五ノ一三三 第一生命保險第一料金課 (東大經卒)
 宮崎正道 (北足立郡六辻町別所二) 陸軍中尉、習志野騎砲兵聯隊 (陸士卒)
 宮澤 勉 浦和市高砂町四ノ一八二 (早大政經在學)
 村山英雄 大宮市大門町三六八一 (東高師文卒)
 本橋三郎 南埼玉郡河合村馬込二九七七 農 (東高師文卒)
 守谷正造 大宮市三八〇四 商 (東高師文卒)
 森島博吉 (仙臺市水ヶ袋上丁四〇) 富田方 (東北大法文)
 矢作 陸 (北足立郡大久保村日嶽) 織維帶給調整協議會 (京高醫經卒)
 矢部一郎 北足立郡片柳村南中九三〇 東京鐵道、秋葉原驛 (東商船在學)
 矢部岩自 (浦和市三宮二七二) 海軍航空廠飛行機部 (日大專工卒)
 部 博 橫須賀市浦郷一〇六四 (日大專工卒)

山岸久雄 大宮市櫻木町五五八 (東大法在學)
 山口貞三 浦和市岸町二ノ九八
 山下行衛 北足立郡上尾町三三六
 山田金太郎 大宮市宮町一ノ二九三 (東美術在學)
 山田時正 (東京市杉並區區) 東洋棉花株式會社(大宮市東
 佐ヶ谷ノ六區) 區高體橋(三)(阪商大專卒)
 柳 唯一 大里郡深谷町鐵道官舎内 東京鐵道病院眼科 (東醫專卒)
 湯澤啓次 浦和市高砂町二ノ四〇 米穀商
 吉岡和彦 浦和市常盤町四ノ四九 大阪商船株式會社 (東商船卒)
 吉田定一 南埼玉郡蓮田町一三三 (東商船卒)
 吉田利治 大宮市高鼻二七三三 東京鐵道局沙留用品庫 (東美術卒)
 渡邊武夫 浦和市常盤町九ノ一八三 大宮高等女學校
 桃木健治 神奈川縣三浦郡逗子町櫻 海軍造兵中尉、海軍航
 空技術廠兵器部 (東大工卒)
 不明會員 阿久津美奈 平井 雄
 死亡會員 石村 泰造 篠田 勝夫 鈴木 信雄 館野 政雄
 野澤 剛三 星野嘉一郎 山口 裕 山本 靖彦
 ◎第三六回(昭和十年三月)一七六名
 相島直一 北埼玉郡加須町一四

會田 康二 北足立郡大門村大門二五九一農
 青木 泰 浦和市高砂町四ノ二五 (山高工卒、早大理工在學)
 赤嶺 剛 朝鮮嶺南浦府麻山里、理 理研金屬會社
 秋庭 敏助 大宮市仲町三五九四 (大倉高商卒)
 淺香 榮 浦和市道祖土三六〇 (慶大在學)
 天谷 麟一郎 東京市野區富士見町六〇 (早大商在學)
 新居 浩 橫須賀市田浦町深浦三三石渡方 海軍航空廠
 (浦和市岸町三三四) (高等精密工卒)
 安藤 利男 浦和市常盤町六ノ二九 (東高工藝在學)
 井原 綠三 北足立郡與野町四七 (日醫大在學)
 五十嵐 信夫 浦和市仲町二ノ八五 印刷業
 伊地知 弘毅 京都市左京區北白川西町一七 (京大經在學)
 (浦和市岸町六ノ三六)
 伊藤 信一郎 北足立郡野田村大崎一八三三農
 伊藤 長次郎 川口市元郷町三三二五 東洋精工業株式會社
 (桐生高工卒)
 石井 賢一 東京市荏原區中延町一〇三一 (橫濱高工卒)
 石岡 浩武 浦和市本太二四〇 陸軍中尉、千葉陸軍歩
 兵學校學生、(陸士卒)
 石貝 登 (川口市横濱) 理研ホストンリソング工場(新潟
 町並木二七番) 縣神崎町仲町(高等精密工卒)
 石田 隆二 川口市里三四二 大倉高商卒
 石塚 保 橫須賀市道祖町三ノ一四 橫須賀海軍工廠
 七六 遠藤方
 石村 真助 北足立郡麻町九三五 (日大專工卒)
 板橋 正雄 大宮市小村田 北足立郡大門小學校

市川 功 北足立郡大石村井戸木二五、園藝業(府立園藝卒)
 市來 乙純 郡山市虎丸町七〇 (橫濱高工卒)
 稻垣 治郎兵衛 京都市王子區稻荷町五ノ 關東機械製作所
 九七〇 (武藏高工卒)
 犬飼 信親 八王子市平岡町一五 八王子小學校
 今村 了 仙臺市北七番丁六一 藏電方 (東北大工在學)
 白木 信雄 北足立郡土合村南元宿一 東京鐵道局總務部人事
 〇一 (早大專卒)
 内田 成徳 (浦和市本太三七五) 齒科醫、上田齒科醫院(室
 潤 大宮市榎木町七〇二 蘭市大町)(日大齒科卒)
 (高等精密工卒)
 内田 恒治 浦和高砂町三ノ三七 (埴師二部卒)
 内原 雅 (千葉縣東葛飾郡二川村) (埴師二部卒)
 上原 雍 京都市左京區吉田神樂町二〇 築地方 (京大醫
 在學)
 江口 爲藏 川口市金山町一五〇 (東工專在學)
 遠藤 鑑三 浦和市仲町三ノ七三 東京合同運送秋葉原支店
 遠藤 健吉 北足立郡大辻町文藏一九九八 (東大理在學)
 小島 秀夫 大宮市土呂一〇二 埼玉縣總務部會計課
 小沼 一郎 大宮市大宮一〇七一 (濱松高工卒、東工大在學)
 大川 洋 浦和市岸町一ノ一四 第一工業製藥株式會社
 (米高工卒)
 大澤 俊一 浦和市領家四五五 (橫高工在學)
 大野 善敏 釜山府榮町三ノ六三 朝鮮鐵道局釜山列車區
 大森 三郎 So Toka Iain, Hadjong 加藤長商店
 34, Semarang, Java. (海外高實卒)
 (大宮市大宮二七九〇)

柏 實 北足立郡與野町下落合云袋 藥劑師(明治藥專卒)
 木南 昌之 大宮市上小村田 日立製作所 (橫高商卒)
 木村 庄吉 北足立郡草加町 陸軍被服本廠計課(東京市王
 四〇〇) 子區赤羽町(日大高工在學)
 菊池 惇 東京市本郷區森川町一一 山之内藥品商會
 五 (東高工藝卒)
 岸田 正 東京市港橋區戸塚町一ノ 早大文在學)
 五六二 齋藤方
 熊井 九二也 東京市豊島區雜司ヶ谷七ノ九三五 橋本方
 熊谷 永直 大宮市上天沼二五四 東京鐵道局大宮驛
 栗原 忠道 浦和市太田窪二九番 東京地方通信局川口電話局
 黒澤 理一 浦和市常盤町五ノ一二〇 富士航空計器會社
 (東高工藝卒)
 黒須 春雄 大宮市仲町五區 株式會社東光商會(電機學校卒)
 小池 源吉 (浦和市常盤町五ノ三五) (京大經在學)
 小樽 辰夫 浦和市岸町四ノ五一 (慶大經在學)
 小島 喜八郎 浦和市太田窪二二六六 第八十五銀行川口支店
 (法大高商卒)
 小島 晉一 (東京市王子區音淵町一ノ三八八) (東大法在學)
 神奈川縣大磯町南下町 熊谷方
 小島 嘉基 上海施高塔路施高塔大樓二〇八 上海大使館中支
 (北足立郡春岡村深作四一九二) 警務部
 小島 嘉幸 川口市下青木四ノ一 昭和製鋼所(滿洲國鞍
 山) (桐生高工卒)
 小林 信助 浦和市仲町一ノ九六 昭(桐生高工卒)
 小林 三男 北足立郡笹目村笹目四七 日本マクネンシウム株式
 〇五 會社(東京板橋區志村)
 小室 造 茨城縣鹿島郡野村石神

太田原 宏 鎌倉市長谷一三三 (東大工在學)
 岡 光衛 浦和市岸町三ノ九五 (慶大在學)
 萩島 福夫 大宮市上加三三三 川口市新郷小學校埴師二部卒
 加藤 俊平 浦和高砂町四ノ一六九 (東大法在學)
 加藤 春男 東京市世田谷區代田町二 東京市役所土木局測量
 ノ六八二 倉間方 班
 加藤 秀雄 川口市本町四ノ一 松澤方 米穀商集鶴高商卒
 梅沼 美清 大宮市土手宿四六八 (日大醫在學)
 笠井 睦夫 北足立郡麻町三九八二 (日大醫在學)
 笠井 康男 北足立郡麻町仲町二五 小穴製作所(山梨高工卒)
 勝浦 壽太郎 浦和市岸町六ノ一五ノ一 千代田生命相會社
 金久保 茂 浦和市常盤町四ノ二二 (東大理在學)
 金子 三四吉 北足立郡片柳村三九九ノ一 東京鐵道局
 金子 良平 北足立郡戸田村下戸田一八一〇 (早大法在學)
 蒲山 和雄 川口市金山町二一、鑄物業(法大高商在學)
 鴨澤 二郎 北足立郡長友橋新市民第五號室 新民會員
 (浦和市常盤町六ノ七七) (東亞同文卒)
 川田 健次 東京市麩町區富上見町二 海軍水路部第五課
 ノ七ノ三 高桑方
 河崎 吉郎 浦和市岸町七ノ七八 (東大經在學)
 神戶 禎一 大宮市土手宿三七四 (東高師文卒、東文理在學)
 兒山 宏共 浦和市常盤町六ノ六九 (東大法在學)
 駒宮 敏郎 (北埼玉郡原道村彌兵衛) 陸軍中尉、久留米陸軍
 佐野 敬三 東京市杉並區天沼町三ノ九四七 豫備士官學校

齊藤嘉顯 大宮市大宮八八〇 日本ロストリソング株式會社(與野町)

阪 初彦 (大宮市大宮四〇二二) 陸軍中尉、久留米陸軍豫備士官學校(陸士卒)

坂卷謙二 東京市澁谷區代々木上原 日本タイプライター株式會社 (東外語卒)

笹間恒雄 東京市中西區江古田二ノ七七 白木屋 東京鐵道局

澤田 茂 大宮市櫻木町九〇七

澤村勸一郎 浦和市大谷場五五五 吉原方(千葉醫大藥專在學)

清水久次 (北足立郡與野町) 昭和製鋼所(滿洲國鞍山北五條町八ノ三)(海外高實卒)

清水次儀 浦和市仲町一ノ一三五 日管漁業株式會社

篠原幹太郎 東京市蒲田區原町一〇〇 橫濱ゴム株式會社

澁谷尚男 東京市目黒區上目黒町六 酒類商店員

澁谷英夫 北足立郡大久保村宿二八 大宮市三橋小學校 (婦師二部卒)

澁谷良雄 (大宮市北袋二四四) 陸軍中尉、陸軍通信學校(陸士卒)

島田直治 北足立郡大谷村地頭方一九二 日産自動車販賣株式會社

島村泰久 東京市葛飾區金町四ノ一 日産自動車販賣株式會社

白石正三郎 北足立郡土合村田島一ノ二〇 (象崎高商在學)

新藤一郎 北足立郡與野町下落合 (青山學院在學)

新藤 潔 北足立郡六辻町辻九三 (大倉高商卒、慶大經在學)

須田宜夫 東京市麻布區霞町一七 鈴木方 (東農大在學)

須藤弘毅 東京市王子區稻付西町六ノ三 (早大專政經在學)

杉崎榮吉 浦和市仲町二ノ一二四 東京日立製作所 (橫商專卒)

鈴木四郎 東京市澁野川區田端町六三 東京鐵道(駒田川驛)

鈴木又三 南埼玉郡譽春村毛丸 浦和第三小學校(婦師二部卒)

鈴木通夫 浦和市尾間木一八八九 (東高商在學)

關口周一 浦和市常盤町二ノ一七〇 東京鐵道局上野運輸事務所 (東北學院卒)

關口滿紀 浦和市仲町五ノ一九一 讀賣新聞社(東京真專卒)

芹澤茂雄 北海道雨龍郡深川町森元 深川中學校 (東高師文卒)

田口恒太郎 北足立郡與野町大戸四〇三 東京工廠(工業學校卒)

田口俊夫 浦和市岸町三ノ二〇〇 (小樽高商卒)

田中秀房 東京市中西區鷺宮一四三一 (東高商在學)

高橋七郎 川口市木町一ノ一五二 圖案家(帝國美術卒)

高橋秀雄 北足立郡野田村大崎三〇七〇 農

高山克三 岡谷市新屋敷五四五 岡谷青年學校 (東商大教養卒)

塚本信之 東京市小石川區大塚辻町一 富士電機製造株式會社 (昭和高鐵道卒)

堀良 清(大宮市堀ノ内三區二六九七 茨城縣猿島郡古河町六〇七七)

富岡 義 東京市芝區三田小山町七 柳田方(慶大在學)

富山 清 浦和市仲町三ノ四九 大宮市大谷上小學校 (婦師二部卒)

友道 諒 富山市美能町四三 富山市上市保健所 (學養學校卒)

豊永 宏 浦和市岸町三ノ九三 (早大商在學)

中島敏夫 長崎市八幡町五六 三菱重工工業株式會社社長 崎造船所(東商大專卒)

中村 歲男 北足立郡廣町上町四〇〇 東京光學機械株式會社 (高精密工卒)

長井 正 南埼玉郡岩槻町二四四三 (日大醫在學)

丹村啓吉 東京市世田谷區赤堤町一ノ三〇 (慶大法在學)

西野利男 大宮市大宮五二二 千代田生命保險相互會社 (青山學院卒)

西原廣之 浦和市岸町四ノ一一〇 (橫濱高工卒)

野口壽滿敏 浦和市岸町二ノ一七〇 (東農大在學)

野口富司 北足立郡與野町一七二九 十河方 (早大理工在學)

野澤林三 東京市本郷區弓町三ノ六 鈴木方 (東大農卒)

野村管一 東京市下谷區上根岸町三 三和銀行員 (青山學院卒)

野村 豊彦 三和銀行小阪支 川崎航空機工業株式會社 社岐阜工場(仙高工卒)

長谷川 正男 (浦和市尾間木一九五) 市役所書記

橋本重信 大宮市大宮三九〇五 埼玉縣廳人事課

蓮見武雄 浦和市本太二四二三 全聯聯東京支所 (早大專商卒)

濱島良夫 浦和市常盤町三空 日産自動車會社(橫商專卒)

伴 長治 浦和市高砂町三ノ六五 (早大專商卒)

林 弘典 東京目黒區上目黒町三ノ二 北見方 (東農大在學)

林 博 東京市王子區志茂町三ノ一 東京計器製作所 (高等精密工卒)

肥塚行藏 浦和市常盤町四ノ五二 齒科醫(日本齒科卒)

平柳三郎 浦和市仲町三ノ三 三井生命保險會社(慶大高卒)

廣瀬宗夫 浦和市岸町六ノ九〇 (早大在學)

福井 清 大宮市大門町三八〇三 (東大法在學)

藤沼貞邦 東京市蒲田區御園町二ノ二六 富士電機製造株式會社 (昭和高鐵道卒)

古澤厚良 浦和市前地三三三 日本ロストリソング株式會社

別所規一 臺北市川端町三〇六 窪川方

邊見慎一郎 北足立郡廣町三七六二 橋本方 (東大法在學)

細田鳳一 北足立郡六辻町白幡二八 (東高農卒)

星野謙二 北足立郡與野町七三三 (東京齒科在學)

益岡久雄 浦和市高砂町五ノ一七 (早大商在學)

町田 勝 浦和市常盤町九ノ一九四 (東大理在學)

町田 一二三 北足立郡六辻町別所一八 東京鐵道局 (東鐵教習卒)

町田 實 浦和市針ヶ谷六七五 同盟通信社通信調査會 (早大專商卒)

松永千秋 浦和市常盤町五ノ一〇八 (千葉醫大在學)

松村喜三郎 川口市芝園ノ爪九三二 工員

松本 光 新東京市羽衣町一ノ二二 北滿洲礦業開發株式會社 (福島高商卒)

松本秀雄 浦和市岸町六ノ五九ノ一二 (慶大法在學)

丸山光俊 浦和市太田窪一三七五 (東大醫在學)

三阪儀一 (北足立郡六辻町白幡六〇) (海兵在學)

宮部謙一 奉天市大和區青葉町四七 中滿洲航空株式會社 村方(浦和市仲町三ノ一六) (學養高商卒)

矢島德美 (浦和市岸町) 日本アルミニウム株式會社(高雄市) 市藏甲四三〇ノ三(電機學校卒)

矢部 徳治 (北足立郡片柳村中丸) 富士通信機株式會社 (慶大高卒)
 山岸 義司 滿洲國吉林省公署長官官房地政科
 山崎 文一 北足立郡與野町下落合一六六八 (日大豫修)
 山田 英雄 浦和市高砂町三ノヤ 日浦商事株式會社 東商大專卒
 吉澤 貞之助 東京市世田谷區北澤町四ノ三二二 內務省人夫
 吉村 正人 浦和市常盤町五ノ一六
 渡邊 忠 豊中市常盤通り 常盤ア 日浦鐵鋼販賣株式會社 (横濱高卒)

●四年修了會員

大内 芳郎 浦和市岸町三ノ壹 大關齒科醫院內 (東大法在學)
 須之部 量三 (浦和市常盤町) 外務省海外研究員(在ロンドン) (東大法在學)
 高橋 卓郎 (北足立郡朝霞町岡) 海軍中尉 大日本帝國 (海兵卒)
 土屋 春久 (浦和市仲町四ノ一八) 陸軍中尉 (陸士卒)
 永瀬 勝敏 川口市本町一ノ一〇〇 鑄物製造業(立大經卒)
 細淵 正氣 北足立郡六辻町沼影二七〇 (法大在學)
 渡邊 直治郎 浦和市本太八三一 三菱銀行本店(東大法卒)

不明會員

武藤 傳 山口 巖 吉江 眞澄

死亡會員

上村 秀太 細川 保彦 森谷 兵衛

◎第三七回 (昭和十一年三月) 一五二名

今泉 浩 浦和市岸町六ノ七七 (慶應豫在學)
 今淵 泰次 浦和市岸町四ノ六二 東京鐵道局日原驛 (東洋大在學)
 岩井 清 大宮市大門西側五ノ (東大在學)
 上原 馨 千葉縣東葛飾郡二川村 東京芝浦電氣株式會社芝浦支社營業部(葛飾區有樂町一ノ一〇)(東商大專卒)
 植西 繁三 東京市大森區馬込東 日東製粉株式會社(葛飾區有樂町一ノ一〇)(東商大專卒)
 内田 駿一 浦和市高砂町三ノ三七 (東大在學)
 内田 亨 浦和市本太一〇三四 (東大在學)
 江口 禎彦 北足立郡笹目村下笹目三三〇七 (東大在學)
 遠藤 陽三 東京市荒川區日暮里町九ノ一四 (東大在學)
 大井 正夫 浦和市常盤町四ノ五九 (東大在學)
 大河原 良雄 東京市澁谷區代々木初臺 谷本方 (東大法在學)
 大木 啓雄 東京市王子區神谷町二ノ四七 (東大法在學)
 大熊 郁 浦和市仲町二ノ一二 酒類商 (東大法在學)
 大澤 純一 東京市王子區稻付西町六ノ三一 (日大專在學)
 大野 用博 横濱市中區西戸部町二ノ二二二 赤井方 (東農大專在學)
 青鹿 衆治 浦和市高砂町二ノ二四 山田方 (東農大專在學)
 岡上 孝 入間郡高麗村臺九八 (早大專政經在學)
 岡田 喜八郎 浦和市常盤町二ノ五七 三井物産株式會社(横濱高工卒)
 岡村 敬介 浦和市高砂町五ノ一七〇 (東大在學)
 奥田 重次郎 北足立郡茨戸町四七六四 辦炭商
 押田 越夫 大宮市高鼻一八九
 押田 義章 北足立郡安行村原一六二九 僧侶、南光院住職

青木 孝二郎 大宮市二七一八 (大倉高商在學)
 青木 玲次 東京市本郷區湯島天神町ア六 (大倉高商在學)
 赤松 幹美 北足立郡六辻町根岸一〇 芝浦工作機械株式會社 (東高工藝卒)
 樋山 光男 (浦和市常盤町四ノ八一) (東商船在學)
 天沼 鏡一 東京市大森區新井宿二ノ一五〇〇 池貝自動車製造株式會社(横濱高工卒)
 新井 士郎 滿洲國鞍山市北五條町赤 鞍山製鋼所(横濱高工卒)
 有賀 陽一郎 靜岡縣大宮町淺間神社(大宮市高鼻) (神宮皇卒)
 五十川 義彦 東京市王子區稻付町四ノ七三六 (東醫專在學)
 井口 操 大宮市櫻木町五五一 鐵道從業員(東鐵教在學)
 伊田 恭 浦和市仲町二ノ七六 (東高工藝在學)
 伊藤 進六 北足立郡新倉村三五〇七 (東商船在學)
 伊藤 英男 浦和市岸町三ノ八三 (早大商在學)
 伊藤 弘完 水戸市元山町三區 市川方 (北足立郡桶川町七四六) (水高理在學)
 池田 豊 浦和市本太一二七五 農
 石井 良一 浦和市常盤町九ノ一二七 (明大專在學)
 石垣 秀光 北葛飾郡栗橋町二九一七 (明大專在學)
 石塚 松司 浦和市本太四八 東京鐵道局日原驛(東鐵教在學)
 市川 汪 浦和市岸町二ノ七〇 淀橋稅務署
 稻葉 榮治 浦和市本太三七五 (浦高理在學)
 今井 武成 浦和市仲町四ノ一一五 (浦高理在學)

笠原 輝雄 川口市鳩ヶ谷町一七七八 海軍技術研究所造船研究室(東京市日原區三田町一三)
 金井 隆治 北足立郡春蘭村丸ヶ崎七四 大宮市大砂上小學校(講師二部卒)
 金子 秋藏 浦和市岸町七ノ四五 (大專文在學)
 金子 一雄 浦和市本太一四一 (東商大專卒)
 金子 活二 北足立郡殿町一三 (東音樂卒)
 金子 襄 大宮市大宮四〇八八ノ七 拓務省東西第二課(三重高農卒)
 鎌田 充夫 京都市左京區北白川西町七七 渡邊方(京大經)(浦和市仲町四ノ九三)
 神山 徹四郎 北足立郡志木町一七七 (東藥專卒、東醫專在學)
 神山 吉雄 浦和市常盤町五八一 商
 川井 利勝 浦和市岸町四ノ一七一 (東高工藝在學)
 柏 計助 桐生市小曾根町三ノ一六八〇 古澤方(桐生高)(北足立郡與野町六六五)
 清宮 末吉 浦和市大谷場七八三 (明大商在學)
 小坂 秀治 新潟市二葉町一ノ八二一 本間方(新醫大)(浦和市本太前地三〇二)
 小島 龍一 浦和市常盤町三ノ九六 (東大法在學)
 小沼 勇 浦和市常盤町四ノ三七一 (高理在學)
 小沼 清 浦和市高砂町四ノ一八七 明治火災保險株式會社(東商專卒)
 小林 憲夫 北足立郡與野町下落合三五三一 (東高工藝卒)
 小林 眞夫 浦和市仲町五ノ四〇 (拓大商在學)

見玉一 耶 浦和市岸町一ノ五 板橋稅務署(中大法在學)
 兒山 董 浦和市常盤町六ノ六九 (陸士在學)
 後藤 治 耶 川口市本町三ノ三 南洋興發株式會社(東外語卒)
 越場 主計 浦和市仲町六四 日本タイプライター株式會社 (明大商卒)
 齋藤 達也 浦和市高砂町一ノ九一 (日本神學校在學)
 齋藤 博文 浦和市本太二ノ六九 (日本醫大在學)
 坂井 周道 北足立郡片柳村南中丸 浦和稅務署
 澤田 浩 大宮市大成一五〇 (東藥專在學)
 堀野谷 健爾 大宮市櫻木町四六三 浦和稅務署
 堀野谷 正三 北足立郡植水村島根七三一 (東商大專在學)
 鎮日 忠信 東京市王子區稻付町四ノ七二八 (東京市王子區岩淵町二ノ一七四)
 鎮日 廣一 大宮市土手宿三二 東京市保險局衛生課 (東京市王子區岩淵町二ノ一七四)
 柴田 忠男 浦和市岸町一ノ六〇 東京鐵道局上野車掌區 (中大在學)
 新藤 博 浦和市高砂町三ノ五七 東京鐵道局田端驛 (中大在學)
 神保 茂長 浦和市岸町二ノ七七 (東商船在學)
 須永 勝正 大宮市大成三二五 (日高工卒)
 鈴木 早苗 浦和市仲町二ノ一〇 寫眞業
 鈴木 貞一 北足立郡與野町一七二三 吳眼商 (道徳科學專攻整別科卒)
 鈴木 時雄 浦和市大谷場八二 山崎方 陸軍少尉、中支派遣平林部隊
 鈴木 正明 大宮市下町三區 陸軍少尉、中支派遣平林部隊
 關根 修 (南埼玉郡久喜町四一八) 海軍少尉、大日本帝國海軍少尉、大日本帝國海軍少尉、大日本帝國海軍少尉

關根 駿 東京市王子區王子本町三ノ三 (日本商科在學)
 關根 順六 南埼玉郡河合村川島七六 新和小學校 (琦師二部卒)
 錢場 卓司 大宮市宮町二區
 田口 讓 東京市大森區調布橋ノ木町五五五 小出方 (慈惠醫大預在學)
 高橋 治 耶 名古屋千種區田代御柵妻丸山アパルト 機曾社 (東外語卒)
 高橋 登 北葛飾郡八木郷村德島 東京鋼材株式會社 (武藏高工卒)
 武井 友三 大阪府西淀川區塚本町五〇二 小林方 大阪電氣學校 (大東文卒)
 武石 圭 東京市世田谷區玉川泉澤町三ノ一〇五二 (擴高工在學)
 武內 靖彦 浦和市仲町四ノ七九 (東高工藝在學)
 網島 榮一 浦和市高砂町三ノ三 (東高工藝在學)
 寺尾 英一 北足立郡與野町中里一三三 商工省燃料研究所
 遠山 正一 北足立郡上尾町四三 米穀商
 中里 久夫 北葛飾郡幸手町六四二四 (東大法在學)
 中村 紀郎 大宮市大宮三八二二 東京鐵道局下十條電車區 (東物理在學)
 中村 善隆 浦和市岸町二ノ一三 (日大工在學)
 永瀨 不二夫 川口市飯塚町一七八 東京鐵道局古河驛
 長尾 由夫 北足立郡大谷村西宮下登 東京鐵道局大宮驛
 長島 正人 大宮市今羽 東京鐵道局大宮驛

西山 健三 川口市十二月田町一四〇
 西山 正夫 浦和市高砂町二ノ一八二 東京鐵道局浦和驛
 貫井 豊治 東京市北多摩郡武藏野 中島飛行機株式會社武藏野製作所(早大專政卒)
 野口 重彦 浦和市大谷口三四〇 (日大工在學)
 野本 久治 北足立郡上平村西門前三七二 (中大在學)
 長谷川 臥三 東京市杉並區下井草町六〇 (早大專政經在學)
 長谷川 喜之 北足立郡笹目村七五〇 (早大專政經在學)
 龍島 正雄 北足立郡植水村佐知 株式會社日立製作所資材部調査第二課(東大專卒)
 蓮見 尚 大宮市大宮三七四九 (東醫專在學)
 花俣 晃 北足立郡與野町下落合一六六六 (日本齒科在學)
 半藤 重治 北足立郡大門村二三七 農
 廣羽 秀夫 浦和市常盤町五ノ一〇三 通信士、日本郵船株式會社(日黑無電講卒)
 福島 泰藏 大宮市下町三區三三七二 東京鐵道局赤羽驛
 福島 英夫 北足立郡六辻町別所一六〇 (第一早高在學)
 福永 一好 東京市板橋區板橋町二ノ六七八 (東外語在學)
 藤田 弘昌 浦和市常盤町七ノ三九 (日大醫在學)
 星野 啓三 北足立郡植水村島根二五三 (早大法在學)
 細井 寛二 北足立郡戸田村新會七一 (早大法在學)
 堀田 章夫 大阪府住吉區西今川町四ノ四〇 旭莊アパルト内住友金屬工業株式會社
 本莊 勳 (浦和市岸町一ノ四三) (東商大專卒)
 本多 祥二 浦和市常盤町二ノ八七 (橫專商卒)
 町田 文男 東京市下谷區龍泉寺町一三八 (東商船在學)

松浦 嘉彦 下關市日和山丸子通り湖心莊内 (浦和市常盤町五ノ九六) 日本通運株式會社下關支店(高千穂高商卒)
 松澤 靖 北足立郡七里村猿ヶ谷戸 大宮西小學校 (琦師二部卒)
 松永 明 東京市板橋區板橋町二ノ二四 (早大政經在學)
 水村 金彌 (北足立郡美谷本村內谷四九) (山形高文在學)
 綠川 春美 浦和市鹿島臺二〇一七 (浦高理在學)
 南澤 茂樹 北足立郡六辻町根岸四九〇 (浦高理在學)
 守屋 金次郎 (北足立郡片柳村片柳一七二九) 上海興亞院華中連絡部文化局
 森田 亮 浦和市常盤町一ノ五 東京鐵道局尾久檢車區 (東鐵教卒)
 矢島 和夫 浦和市高砂町四ノ一〇七 東京營林局利用部土木係(東高農林卒)
 山本 武雄 浦和市仲町四ノ一〇八 (橫專法在學)
 柳田 憲助 川口市本町二ノ三〇一 (日醫大醫在學)
 柳本 直貞 高知市實町一〇七 古味方 (高知高文在學)
 橫江 雄二 浦和市岸町二ノ一四 三菱重工株式會社營業第二課(慶大高卒)
 吉岡 進 川口市元郷町二ノ二〇七一 (東物理在學)
 吉岡 徳 浦和市仲町四ノ四一 (武藏野音學在學)
 吉見 正仁 大阪府北區中ノ島三ノ三島藤作方 (明治學院卒)
 吉村 昌 浦和市常盤町五ノ一六 (日大醫在學)
 米澤 松一 東京市足立區千住絲町一 芝浦工作株式會社經理課(東商大專卒)
 力丸 俊男 大宮市下町三區三〇九四 (東商大專卒)

第三、八回

六城 雅彙 浦和市仲町四ノ八九 (東大醫在學)
 渡邊 健一 (浦和市高砂町四ノ二三) (陸士在學)
 渡邊 忠守 浦和市仲町四ノ一〇四 (國大豫在學)
 綿貫 十郎 浦和市常盤町五ノ二二四 (横高工在學)
 不明會員
 上林 駒治 竹内 行正
 死亡會員
 千綿 健一 渡邊 忠明
 ◎四年修了會員
 本多 宇喜久郎 (南埼玉郡鷺宮町下) 陸軍中尉、滿洲國チ、ハル (新井三八五ノ一) 喜多部隊高山部隊(陸士卒)
 ◎第三八回 (昭和十二年三月) 一七四名
 阿佐見 嘉男 北足立郡六辻町二〇五一 (東醫專在學)
 我妻 元雄 浦和市岸町八ノ一九四
 青木 寛 浦和市高砂町四ノ一九二 (慈惠醫大豫在學)
 青山 保男 北足立郡六辻町別所一六 笹目小學校 (婦師二部卒)
 後子 龍次 北足立郡六辻町別所一〇九一 (青山學院在學)
 姉崎 徹郎 川口市壽町五八九 東京鐵道局隅田川驛
 荒井 盛光 浦和市太田窪八一二 日本電氣株式會社玉川
 栗木 正民 五 東京市荏原區下神明町五 前工場(東工專修卒)
 井上 靜二 茨城縣猿島郡古河町西鷹匠町五 (浦高文在學)
 飯山 哲雄 浦和市高砂町四ノ一一 (早大理工在學)

池上 隆夫 浦和市岸町七ノ五八 (浦高文卒)
 石井 久雄 大宮市大宮三三六一 圓池製作所(大倉高商卒)
 石井 彦久 浦和市本太二三九五
 石川 裕 浦和市常盤町四ノ三九 (日大專工在學)
 磯貝 安雄 川口市本町二ノ二 千代田火災保險株式會社
 今田 行俊 浦和市岸町三ノ八四 (東京高等誠醫在學)
 岩泉 惟人 浦和市岸町三ノ一三 (浦高文在學)
 岩崎 巖 上海市閘北新民支路南林里二八號
 岩田 邦太郎 浦和市仲町四ノ一四五 (慶大豫在學)
 宇治 達郎 大宮市高鼻四六 (東大醫在學)
 植野 晴一 北足立郡戸田村下戸限二二二 (東商大在學)
 磨田 寛之 北足立郡植水村飯田三六〇 (日大醫在學)
 内田 安太郎 横濱市中區大岡町二一八一 淺沼 (横濱高工在學)
 梅垣 清一 南埼玉郡蓮田町四三四五 通信士(中野無線卒)
 遠藤 英六 浦和市三室二二六 (東京商大專在學)
 遠藤 丈吉 大宮市中大成一一一
 小川 薫 浦和市下木崎五七〇 (明大商在學)
 小島 隆二 大宮市土呂一一〇二 浦和稅務署
 大川 昌 浦和市岸町一ノ一一四 (青山學院在學)
 大熊 勇 浦和市高砂町五ノ一六〇
 大馬 義治 大宮市大宮二九〇四ノ一
 大野 諒介 (北足立郡六辻町別所一七五) (陸士在學)
 大畑 專一郎 浦和市高砂町五ノ一三九 陸軍製鐵廠

長田 泰彦 宇治山田市神宮皇學館精華寮 (神宮皇學館在學)
 折原 勤治 東京市瀧野川區田端新町三 (東高醫絲在學)
 恩田 禮二 浦和市岸町二ノ一〇一
 加藤 操 浦和市常盤町一七八
 加藤 義雄 東京市小石川區上富坂町三ノ六 日獨學館寄宿舎 (日本醫)
 (北足立郡小針村小針内宿二六六)
 鍵 憲一 浦和市本太七三 浦和郵便局 (大東文在學)
 笠原 謙二 浦和市本太五五三 (大東文在學)
 川島 哲郎 北足立郡廣町塚越三一 臺灣拓殖株式會社東京支店 (中大專卒)
 川島 盛 東京市荒橋區諏訪町一七三 太陽館方 (早大專)
 (茨城縣猿島郡古河町六軒町五二八〇) (在學)
 川村 正孝 (浦和市仲町四ノ一〇五) (東大農在學)
 片倉 達郎 東京市杉並區天沼町二ノ三三三 (青山學院在學)
 片倉 敬一郎 浦和市常盤町三ノ七五
 勝 正一 浦和市常盤町六ノ一 (浦高理在學)
 金谷 精二 大宮市大宮一〇八二 (武藏高工在學)
 上關 彦司 (大宮市高鼻三三八ノ二) (米高在學)
 岸 久由 (大宮市大宮三七一一) (函館高等水産在學)
 岸井 孝次 (北足立郡大石村中分五三) (東商船在學)
 草刈 和 浦和市常盤町三ノ九二
 黒澤 正彦 横濱市中區大岡町六一五 (横高工在學)
 桑原 通夫 浦和市仲町四ノ一四〇 (東大法在學)

小暮 義治 東京市荒川區日暮里町八 鐵道員 (鐵道教習在學)
 小島 知行 桐生市宮本町一三五 (桐生高工在學)
 小島 幸雄 大宮市並木一八三〇 植水小學校
 戀田 稔 (浦和市常盤町一ノ六四) 日本曹達株式會社直江津製鋼所(機高工卒)
 佐藤 弘二 東京市中野區野方町二ノ二二三 灘谷孝 (早大理)
 佐藤 俊彥 (平塚市西海岸三四六五) (弘高理在學)
 佐藤 廣雄 東京市豊島區長崎南町四 航空局航空試驗所 (機高工卒)
 佐藤 義夫 浦和市常盤町七ノ六五 (第一早高在學)
 齋藤 進 北足立郡植水村飯田四一七 (明大商修)
 酒井 康雄 (浦和市仲町五ノ二三八) (陸豫士在學)
 櫻田 尚 北足立郡六辻町白鷺五五 (第二早高在學)
 澤井 豊 東京市牛込區馬場下町四七
 篠崎 禎男 大宮市大宮六二九
 島崎 信二 北足立郡六辻町別所一六五七 (大東文在學)
 島田 吉藏 浦和市本太一〇二四 志賀和多利方
 白田 博 浦和市岸町二ノ一〇一 (浦高理在學)
 須賀 定雄 北足立郡與野町下落合 東京鐵道局上野電力事務所(早大專卒)
 助川 勇 大宮市櫻木町七八四
 鈴木 勤夫 浦和市仲町一ノ九五 (東京齒科在學)

第三八回

鈴木泰雄 浦和市仲町一ノ六三 (慈惠醫大在學)
 關利雄 北足立郡土合村西堀九六八 (浦高文卒)
 關井金五郎 浦和市岸町五ノ二二六 (函館水産)
 相馬秀郎 (函館市宮前町二二七) 山田イヨヲ (在學)
 田口健治 兒玉那本庄町 (東京青年教員養成) 鐵道官舎 (在學)
 田口鐵男 東京市小石川區大塚久堅町九〇 (東物理在學)
 田中正雄 大宮市高鼻一區五二二 (東鐵教習所專門部) (在學)
 田中 實 北足立郡六辻町別所二〇二四 (水産講在學)
 田中 實 大宮市土手宿三九〇 (東外語在學)
 高井義助 北足立郡六辻町別所二九四二 (水産講在學)
 高澤博 浦和高砂町五ノ三六 東京市王子區上十條二ノ一四八 (米高工修) 日本化成工業株式會社 研究所 (米高工修)
 高橋義三 東京市王子區岩淵町一ノ五二二 (横濱高工在學)
 瀧武常 浦和市仲町二ノ七六 (日大豫理在學)
 竹井要 北足立郡與野町大戸二五 (明治藥專在學)
 武川寛一 北足立郡與野町一ノ二九一 (水産講在學)
 塚原貞三郎 (大宮市大宮七四二) (水産講在學)
 土屋太郎 (茨城縣猿島郡古河町觀音寺町六四三) (陸豫士在學)
 土橋弘 浦和市仲町四ノ五五 (東高文卒)
 常木三郎 浦和高砂町四ノ一六四 (東商大在學)
 常松重男 東京市荒川區日暮里町九ノ一〇五四 (背師二部) (在學) (浦和市本太一三八〇)

手島篤二 浦和市常盤町七ノ一五八 (東大法在學)
 寺尾光溪 北足立郡與野町中里一六二 農
 遠山和善 川口市北町二ノ一三九六 (東高工在學)
 富永吉三 桐生市横山町二五四 長谷川シモ方 (桐生高工) 在學
 中野 公 (浦和市本太二四〇六) (水産講在學)
 中野 泰 (浦和市駒場八五) (松高文在學)
 中村泰一郎 名古屋市中区和區中山町四ノ一五 (東大法在學)
 中村 蓋世 北足立郡六辻町白幡五三 (東大法在學)
 永見哲也 大宮市大宮二九三 商
 永山菊次郎 (川口市元郷町) 陸軍少尉、中部第九十九部隊 (一八四六) 岐阜縣稻葉郡那加村(陸士卒)
 成田 一 北足立郡大和田町七二五 (日大豫理在學)
 西川 浩 大宮市櫻木町鐘塚 鐵道官舎二三號ノ三
 西崎廣直 八〇 鐵道官舎七號 東京鐵道局
 西原允之 (浦和市岸町四ノ一〇) (陸士卒)
 沼崎 一 (浦和市常盤町五ノ五一) 陸軍少尉 (陸士卒)
 沼邊 愛一 浦和市常盤町六ノ四 (東大法在學)
 沼口鐵雄 川口市幸町一ノ三六〇五 福祿商會(應大高卒)
 野口清治 大宮市仲町二九一六 (早大在學)
 野崎直彦 (北足立郡六辻町別所二一七八) (陸士卒)
 野尻康之助 浦和高砂町二ノ一六九 (早大法在學)
 野中吉五郎 浦和市針ヶ谷三七七 東京鐵道局駕籠谷驛
 野中重雄 大宮市大宮三一五八 (日大專在學)

長谷川 美智男 浦和市仲町四ノ六七 (成城高理在學)
 長谷川 博 (東京市豊島區長崎町四ノ二八) (陸豫士在學)
 橋口友吉 浦和市常盤町六ノ七〇 (浦高文在學)
 初見 颯 浦和市仲町五ノ九九 (浦高在學)
 早船一夫 北足立郡戸塚村西立野九二九 花卉園藝 (中大專在學)
 原 邦男 浦和市岸町七ノ八七 (東外語在學)
 原 信之助 浦和市本太九一一 (大倉高) 兵庫縣武庫郡本屋村青木大同貿易店 舍大同寮内(浦和市前地四一三七) (商卒)
 原 恒男 大宮市仲町二區三五九六 (遞信官練在學)
 人見 賢治 大宮市仲町一ノ一〇七 埼玉縣廳學務課 (遞信官練在學)
 平賀岩雄 茨城縣古河町鐵道官舎 東京鐵道局大宮工場 (海兵在學)
 平久江 朗 (南埼玉郡岩槻町岩槻二三八八) (海兵在學)
 平野貢吉 北足立郡茨木町仲上町 商工省貿易局 (中大專卒)
 廣田進一 東京市麻布區飯倉町六ノ一七 石田方 日本發送電株式會社 建設部 (横高工卒) 商工省總務局生産課充 課 (中大法卒)
 福田健太郎 大宮市高鼻三區三六八六 日本發送電株式會社 建設部 (横高工卒) 課 (中大法卒)
 藤井 潔 浦和市本太二〇〇 (東高工藝在學)
 藤橋 正美 浦和市常盤町六丁目 (東高工藝在學)
 細田 登喜雄 北足立郡六辻町白幡二八 日本ホストンソノ川 工場(興亞工學院卒)
 細沼久雄 川口市本町一ノ二二六 鹿橋稅務署 (浦高文在學)
 增田 進 南埼玉郡蓮田町二八九七 鹿橋稅務署 (浦高文在學)
 增永 宏 浦和市岸町六ノ九六 (浦高文在學)

松井久夫 浦和市岸町五ノ二八 東京地方遞信局浦和出張所
 松江一郎 東京市本郷區駒込助坂町三七五 (東大文在學)
 松尾常久 東京市板橋區板橋町三ノ二二八 仙臺市米ヶ袋中丁五 佐藤方 東北大金屬材料研 究所(武藏高工卒)
 松尾敏雄 東京市王子區志茂町三ノ一一七 小穴製作所
 松崎 義信 (北足立郡志木町二二二〇) 究所(武藏高工卒)
 丸山 亨 浦和市岸町二ノ八二 (早大專工在學)
 丸山 清人 大宮市仲町三三五九四 (早大專工在學)
 三角 教明 (北足立郡大和田町野火止二四) 商
 水村健助 大宮市中小村田 (遞信官練在學)
 宮野 靜夫 (川口市浦寺一〇五) (東亞同文在學)
 茂木 元次郎 浦和市本太七番 品川稅務所(東京市品川區) 品川稅務所(東京市品川區)
 桃木欣二 浦和高砂町四ノ八七 (東大工在學)
 守屋 羊吉 浦和市常盤町四ノ二七 (陸航士在學)
 森島 賢一 北足立郡上平村平塚二三 (陸航士在學)
 八角 宏 北足立郡六辻町白幡七二
 矢部 徹 大宮市高鼻一七三
 谷中 賢一 大宮市土手宿三二 東京芝浦電氣株式會社マツ 支社技術部(東高工藝卒)
 山岸直友 大宮市櫻木町五五八 (中大豫理在學)
 山崎 國男 川口市伊刈六一 東京市王子區第四區淵 小學校(大泉師二部卒)
 山崎 皎 浦和市常盤町六ノ八〇 (拓大商在學)
 山崎 仲二 浦和市上木崎三〇一 通譯官 (浦裝學校卒)

第三九回

- 山下二郎 北足立郡大久保村在家一三二 (大倉市上天沼二三三四) (海機在學)
- 山本忠之 大宮市土手宿五區三五二 (慶大高卒) (大倉高商在學)
- 山本廣太郎 浦和市常盤町一〇八 (法大豫在學)
- 吉岡一雄 浦和市岸町三〇二〇 (明治藥專在學)
- 吉川五郎 浦和市岸町七〇五二 (函館高水産卒) (北大豫在學)
- 吉田清 下關市彦島老町町洗心寮 (早大理工在學)
- 吉野康彦 浦和市常盤町九〇一八二 (東美術在學)
- 吉羽金三郎 北足立郡原市町原市一六九 (武藏高工在學)
- 吉見正晴 浦和市仲町三〇八一 (早大政經在學)
- 市川義光 東京市淀橋區澁橋町五四 (東洋汽船株式會社) (中野無電卒)
- 笠原剛三 浦和市本太五三三 (東大工在學)
- 阪達 (大宮市大宮四〇二二) (京城府外水色第二十八部隊陸軍中尉) (陸士卒)
- 澁川忠 (浦和市高砂町三〇二三) (仙臺師團司令部附陸軍少尉) (陸士卒)
- 土屋陸雄 東京市豊島區池袋町三六三 (日大在學)
- 三尾正豊 浦和市本太一八八一 (東美術修)
- 不明會員 太田 稔 小林 勇 郡山 武信 菅野榮太郎 細田 哲生 脇屋 秋夫

◎第三九回 (昭和十三年三月) 一七九名

- 阿部吉男 仙臺市第二高等學校六如寮 (二高理在學)

九二

- 相澤親雄 (大宮市上天沼二三三四) (海機在學)
- 青山一雄 浦和市岸町三〇一三三 (大倉高商在學)
- 朝比奈一耶 浦和市高砂町二〇一六一 (法大豫在學)
- 荒井重幸 浦和市岸町四〇二二九 (明治藥專在學)
- 新井義夫 札幌市北六條西七丁目 ヤマト館 (北大豫在學)
- 荒川尙男 金澤市櫻島町九〇九 龍澤方 (四高文在學)
- 井澤正一 浦和市高砂町警察教習所側 東日浦和支局 (東商科在學)
- 伊藤春城 浦和市高砂町二〇一七六 (東京商科在學)
- 伊藤光臣 東京市下谷區御徒町四〇四〇 (浦和市仲町一〇三〇)
- 猪野剛 川口市榮町一〇四八 (中大豫在學)
- 飯田啓造 大宮市堀之内三區二七一五 (東京鐵道局大宮工場用品庫)
- 飯田史郎 川口市前川町一〇二二五四 (浦高文在學)
- 石井周一 浦和市高砂町一〇一六〇 (浦高文在學)
- 石井清 川口市榮町三〇一一一 (浦高文在學)
- 石川幸一 川口市壽町九七 (東商船在學)
- 石田一耶 川口市鳩ヶ谷町一八〇六 (慶大豫在學)
- 石田實 川口市鳩ヶ谷町一四二二 (慶大豫在學)
- 石原健一 北足立郡朝霞町台七八三 (中野無電在學)
- 磯部秀雄 北足立郡六辻町別所一三六六 (中野無電在學)
- 市田幸彦 米澤市花園町八二 湯澤孝三郎方 (米高工在學)
- 今泉良政 川口市芝三八 (大宮市高農一七)
- 今西誠一 千葉市榮町南郡鐵道官舎七 (明大豫在學)

- 岩崎政晃 (浦和市岸町七〇四四) (山梨高工在學)
- 一木秀之 浦和市本太四五二 (中大豫在學)
- 上村元太 大宮市大宮三八三五 (二高理在學)
- 浦上輝彦 (仙臺市北六番町二二〇) (二高理在學)
- 漆原日出雄 浦和市岸町四〇一九〇 (東京鐵道局上野警察事務所(中大專法在學))
- 梅津庄造 東京市池野川區池野川町二三〇六 (慶大豫在學)
- 蕙藤仁三 浦和市岸町三〇一三一 (慶大高在學)
- 榎本福壽 北足立郡土合村山久保六五 (慶大高在學)
- 小川義春 浦和市針ヶ谷八八四 (東商大專在學)
- 小川麟太郎 (北足立郡廣町四六五八) (海兵在學)
- 小川俊明 北足立郡與野町上落合八六九 (桐生高工在學)
- 小高一成 大宮市大宮四〇五三 (早專在學)
- 小野里公伸 浦和市岸町七〇一七 (早專在學)
- 大野富司 大宮市仲町四〇〇五 (丸高ストア)
- 大原浩 浦和市常盤町七〇一四 (野村證券東京支店)
- 岡上和雄 浦和市常盤町七〇一四 (中大專在學)
- 岡村俊夫 浦和市常盤町四〇一三 (日大藝在學)
- 勝信次 浦和市常盤町六〇一 (慶大豫在學)
- 門井四行 (浦和市常盤町四〇六七) (弘前高等學校北真寮) (弘高文在學)
- 金倉剛敬 (新潟市二葉町一丁目 小島茂方) (新高文在學)

第三九回

九三

- 金子幸司 大宮市大宮三二五二 (東京鐵道局淺草橋驛) (中大專卒)
- 金子博 浦和市仲町一〇一 (中野無電在學)
- 川島侑二 東京市世田谷區成城町八八〇 (聖寮内) (成城高) (理在學)
- 木内哲朗 (浦和市常盤町一〇四七) (海兵在學)
- 木村圭助 北足立郡鴻巣町二三八六 (明治學院在學)
- 熊谷駿 東京市豊島區椎名町三〇一九七六 (橫商專在學)
- 倉田敏郎 東京市日本橋區兩國二二〇一 (大倉高商在學)
- 栗原靜雄 浦和市高砂町一〇六二 (東商船在學)
- 小泉又彦 浦和市高砂町二〇八八 (盛岡高工在學)
- 小島一馬 大宮市土手宿一五二 (日黑無電在學)
- 小林文雄 北足立郡六辻町別所一二〇三三 (早大商在學)
- 小林道夫 (浦和市本太一三八八) (陸豫士在學)
- 小鮎隆昌 (浦和市岸町六〇八七) (陸豫士在學)
- 小宮賢三 東京市日本橋區馬喰町三〇三 (東外語在學)
- 鴻巣茂 浦和市高砂町三〇三七 (早大專在學)
- 後藤國一 浦和市高砂町五〇一〇 (日大理在學)
- 後藤博 川口市本町三〇二二 (歸物販賣業)
- 駒井清 北足立郡與野町大戸七二 (東藥專在學)
- 早乙女敏雄 浦和市上木崎四八七二 (機高工在學)
- 佐藤榮一 (東京市王子區王子町二〇二二) (米高工卒)
- 佐山秀一 浦和市岸町七〇一六 (第一早高文在學)
- 坂本正太郎 川口市青木町三六八七 關東鋸鋼所(專大豫在學)
- 酒井建雄 水戸高等學校鐵道寮内 (茨城縣猿島郡古河町六一二) (水高在學)

第三九回

- 志賀 惟夫 (横濱市神奈川區白幡町) (二高在學)
- 清水 日出雄 (長岡市一區弓町五二九) 林トメ方 (長岡高工) (北足立郡與野町大戸四三)
- 靜間 申如 (東京市王子區上十條町一三三六) (海兵在學)
- 柴崎 堯 (川口市前田三六八) 國際電氣通信株式會社小室受信所 (北足立郡小室村) (東高無線卒)
- 島田 誠 (東京市足立區島根町七〇二) (早大法在學)
- 須關 憲一 (浦和市本太一〇八八) (桐生高工在學)
- 杉浦 佳祐 (浦和市宮本町 雄山塾內) (桐生高工在學)
- 杉本 貞雄 (北足立郡大久保村在家一三九) (仙臺高工在學)
- 鈴木 靖明 (茨城縣多賀郡多賀町後谷) (拓大在學)
- 鈴木 令夫 (浦和市仲町一〇九五) (海外高等實務卒)
- 勝 猛 (滿洲國新京天寶街三二四 滿洲國拓通公社) (厚生寮一五) (海外高等實務卒)
- 關 幸二郎 (東京市中野區中野舞前二五 南天莊) (明治藥) (北葛飾郡栗橋町三四一七)
- 關 錄 (東京市杉並區天沼三〇七九四) (陸士豫在學)
- 關 武 (南埼玉郡岩槻町二五二五) (早大豫在學)
- 田口 善三郎 (北足立郡廣町四四六六) (慶大豫在學)
- 田口 甚兵衛 (浦和高砂町五〇一六七 海軍水路部技生)
- 田口 孝文 (東京市王子區稻付西町六〇三五) (慶大高在學)
- 田沼 祥 (川口市本町三〇一〇八) (東大附屬臨醫在學)
- 高木 泰 (南埼玉郡清久村子清久) (東大附屬臨醫在學)
- 高瀬 晋二 (秋田縣山本町五〇一八) (秋田鐵在學)

九四

- 高瀬 一 (札幌市北七條西十二丁目米澤寮) (北大豫在學)
- 高田 操 (大宮市大宮二八七八) (法大豫在學)
- 高橋 和美 (浦和市常盤町五〇三六) (日大專在學)
- 高橋 文三 (東京市王子區稻付町五〇八七二) (慶大豫在學)
- 竹入 勝 (大宮市大宮三八二七) (慶大豫在學)
- 竹野 公一 (東京市荒川區日暮里町八〇八八八) (南大附教養在學)
- 武井 直 (川口市幸町三〇一八) (早大專在學)
- 武田 武四郎 (浦和市岸町三〇一三〇) (早大專在學)
- 月岡 和夫 (北足立郡桶川町桶川一三〇四) (早大政在學)
- 土屋 五郎 (浦和高砂町四〇一六五) (東商大豫在學)
- 照山 四郎 (大宮市櫻木町五五八) (水産講在學)
- 戶井田 清 (北足立郡小針村大針五九九) (山口精機株式會社)
- 利根川 榮 (市川市八幡一三三八) (日大豫在學)
- 村窪 一 (北足立郡六辻町別所一〇九二) (商大豫在學)
- 飛田 正雄 (南埼玉郡藤津村白岡九一四) (海軍飛卒)
- 富澤 勇 (浦和市常盤町三〇四) (海軍飛卒)
- 富澤 一 (米澤市北各地小路町 尻高方) (米澤高工在學)
- 中里 芳 (浦和市本太二四〇六) (拓大專在學)
- 中島 義一 (浦和市仲町二〇六四) (司法省) (早高工卒)
- 中島 芳男 (東京市葛飾區金町四〇一七三六)

- 中島 圭二 (茨城縣猿島郡古河町) (日大豫在學)
- 永見 定一 (大宮市大宮三七四一) (大日本相撲協會力士)
- 長澤 清 (浦和市岸町五〇四九) (陸豫士在學)
- 西川 博夫 (北足立郡志木町一六一五) (早大專在學)
- 新澤 直衛 (浦和市常盤町七〇四三) (中大豫在學)
- 野島 迪雄 (北足立郡志木町一六三一) (中大豫在學)
- 野中 信 (東京市足立區小臺町五七一) (秋田鐵專在學)
- 野原 宏 (千葉縣安房郡富崎村二八九) (千葉醫大附醫在學)
- 羽生田 早苗 (北足立郡六辻町別所三三三) (埼師二部在學)
- 橋口 敏幸 (浦和市常盤町六〇七〇) (東高齒在學)
- 橋野 旭 (東京市王子區上十條町四六六) (明大商在學)
- 橋本 梅太郎 (桐生市宮本町一四四六 櫻井雄四郎方) (桐生高工在學)
- 原田 宏 (秋安郡秋安町二四四四) (工在學)
- 大宮市並木一三〇 (東京鐵道局)
- 番場 修三 (浦和市針ヶ谷八〇〇) (新醫大臨) (新醫大臨)
- 新沼市 中浦原郡大形村松崎 (瀧澤方) (醫在學)
- 林 彌之助 (浦和市常盤町四〇七七) (一高在學)
- 林 良四郎 (北足立郡與野町下落合一〇三六) (慶大在學)
- 林 哲夫 (室蘭市輪西町大澤社宅 北村保太郎方) (室蘭高工在學)
- 平野 光郎 (北足立郡與野町下落合一六四五) (工在學)
- 廣田 正克 (川口市榮町三〇四一) (大倉高商在學)
- 廣田 正克 (北足立郡六辻町別所一九九) (日大豫理在學)
- 富士 岳 (盛岡市天神横町一 野村清吉方) (盛高工在學)
- 深谷 泰雄 (浦和市上木崎一〇六) (盛高工在學)
- 北足立郡與野町上町一〇四 (明治學院在學)

第三九回

九五

- 福原 平八郎 (北足立郡與野町下落合三〇〇) (日大豫在學)
- 藤原 禮彦 (浦和市仲町四〇一〇〇) (建國大學在學)
- 藤井 剛 (浦和市常盤町九〇一九七) (善隣高商在學)
- 別所 弘望 (北足立郡與野町大戸四一六) (早大專在學)
- 星野 幸男 (浦和市岸町四〇九一) (早大專在學)
- 星野 久 (浦和市仲町四〇一七) (早大商在學)
- 細川 正人 (浦和市本太四六〇) (浦高文在學)
- 細井 泰治 (北足立郡與野町與野七〇七) (海軍甲種飛行) (豫科練習生)
- 堀田 邦夫 (北足立郡與野町大戸四四一) (陸豫士在學)
- 眞木 照 (大宮市吉舖三八九九) (浦高在學)
- 益田 太郎 (宇都宮市大宮町二二九九) (早大專在學)
- 增永 榮一 (浦和市岸町四〇一四七) (早大專在學)
- 松下 清 (岡崎市谷地頭二二〇三 堤方) (函館高水在學)
- 松永 千里 (浦和市常盤町五〇一〇八) (東京齒科在學)
- 松本 伸一 (浦和市岸町四〇一二三) (二松學會在學)
- 松本 康次 (北足立郡六辻町根岸三五) (第二早高在學)
- 松元 越夫 (浦和市常盤町四〇四二) (明大專在學)
- 丸井 敏夫 (浦和高砂町四〇一九一) (第一早高在學)
- 丸山 哲也 (浦和市本太二二七六) (慈惠醫大豫在學)
- 三角 清雄 (浦和市岸町三〇一五) (東高工藝在學)
- 峰 幸博 (南埼玉郡岩槻町三三三五) (日大醫在學)
- 宮崎 盛一 (大宮市大宮四七八) (二高在學)
- 宮澤 盛一 (浦和市岸町二〇七二) (橫高工在學)

第三九回

- 宮部 英也 (浦和市仲町三ノ二六) (浦高文在學)
- 宮田 芳郎 (東京市神田區東神田六) (東京通信局ノ内工務出張所(通信官線在學))
- 村上 元彦 (浦和高砂町四ノ三八) (浦高文在學)
- 村田 文夫 (東京市王子區稻付西町二ノ四) (慶大豫在學)
- 茂木 茂雄 (東京市本郷區駒込富士前町三八) (豊師二部卒)
- 森谷 又四郎 (大宮市土手宿一〇七〇) (山洋商會)
- 本橋 健作 (大宮市土手宿三六三)
- 本木 昇 (東京市下谷區眞島町一) (東外語在學)
- 諸澤 三期 (長岡市長町一丁目 佐藤ミヤ方) (長岡高工在學)
- 矢崎 敬三 (浦和市常盤町七ノ三〇) (浦高理在學)
- 矢作 哲治 (川口市里一五五) (浦高理在學)
- 山之内 一彦 (東京市大森區北千束町七六二) (武藏高工在學)
- 山田 俊一郎 (大宮市榎木町北區一三三) (日大豫在學)
- 山野 一雄 (浦和高砂町五ノ七八) (中大豫在學)
- 山本 史郎 (室蘭市御前水町一九) (室蘭高工在學)
- 弓削田 正明 (浦和中區弘明寺二二六) (横濱高工在學)
- 行岡 良一 (仙臺市靈屋下一〇) (仙臺高工在學)
- 横井 孝之 (東京市澁野川區上中里町一三) (日大豫理在學)
- 吉澤 章 (浦和市仲町三ノ六四) (日大豫理在學)
- 吉田 正敏 (京都市左京區下鴨東塚本三) (立命館豫在學)
- 米田 甫 (川口市榮町一一七) (東京高工在學)

九六

- 六城 雅愷 (浦和市仲町四ノ八九) (電機學校在學)
- 渡部 榮二 (川口市榮町三ノ一三七) (米高工在學)
- 渡邊 武 (北足立郡與野町下落合一六五二) (不明會員)
- 竹内 俊夫 (永安 寛 外賀 純夫)
- 四年修了會員
- 有瀧 孝之助 (北葛飾郡栗橋町三六三五) (陸士卒)
- 飯島 敏光 (東京市牛込區市ヶ谷 左内町九) (富山東部第四十八部隊北川隊陸軍少尉(陸士卒))
- 内野 治嘉 (浦和市常盤町六ノ二九) (陸士卒)
- 大澤 富太郎 (浦和市常盤町二ノ七七) (陸士卒)
- 川田 均 (東京市澁野川區上中里町一六七) (陸士卒)
- 古積 正彦 (浦和市針ヶ谷中山西八) (陸士卒)
- 白井 謙吉 (東京市中野區新井町三七〇) (陸士卒)
- 菅井 清 (大宮市大宮三〇五五) (陸士卒)
- 立澤 登 (大宮市土手宿三二四) (陸士卒)
- 甘樂 正 (北足立郡加納村加納四一九) (陸士卒)
- 長谷川 薫 (浦和市仲町四ノ六七) (慶大豫在學)
- 細 淵嘉之 (北足立郡六辻町沼影) (中大豫在學)
- 松村 茂 (浦和市尚地三七五) (浦高理在學)
- 三阪 八郎 (北足立郡六辻町白幡六〇) (陸士卒)
- 彌富 國南雄 (東京市王子區東十條町四ノ一) (陸士卒)
- 横江 吾一 (大日本帝國軍艦能登乘員室(横須賀海航甲卒)) (陸士卒)

渡邊 敏夫 (浦和高砂町一ノ一六五)

◎第四〇回 (昭和十四年三月) 一七三名

- 足立 利夫 (東京市下谷區上野花園町一五) (第一早高在學)
- 龜山 武七 (浦和市常盤町四ノ八一) (第一早高在學)
- 新井 啓給 (北足立郡植水村飯田) (早大專卒)
- 新井 利春 (浦和市常盤町二ノ一) (第二早高在學)
- 天野 浩平 (大宮市榎木町南二區五五六) (第二早高在學)
- 天野 富士彦 (東京市芝區芝公園鐵道官舎) (東京外語在學)
- 天野 美男 (北足立郡新倉村二八九〇ノ二) (第一早高在學)
- 赤松 積美 (北足立郡六辻町一〇二六) (第一早高在學)
- 伊田 信 (浦和市仲町二ノ七六) (東京外語在學)
- 伊藤 芳郎 (浦和市岸町三ノ八〇) (明大專在學)
- 井原 哲 (北足立郡與野町四七) (長岡高工在學)
- 石關 秀爾 (長岡市學校町(須藤方)浦和市仲町三ノ七) (大倉高商在學)
- 石井 桑次 (大宮市土手宿一六六) (大倉高商在學)
- 石原 尚 (浦和市常盤町七ノ八二) (弘高文在學)
- 入野 正彦 (東京市王子區袋町三ノ五九八) (第一早高在學)
- 池上 保 (浦和市岸町七ノ五八) (藤原工大在學)
- 池本 洋一 (北足立郡六辻町別所二〇五〇) (東外語在學)
- 板倉 茂男 (浦和市仲町五ノ九七) (第二早高在學)
- 岩田 弘 (東京市荒川區南千住町一ノ一五) (東高工藝在學)
- 岩田 精一 (浦和市仲町一ノ九二) (東高工藝在學)

第四〇回

九七

- 今井 久人 (東京市牛込區市谷砂土原町三ノ一八) (第二早高在學)
- 内田 駿 (浦和市仲町四ノ一三〇) (北大醫專在學)
- 上田 伸也 (奈良市般若寺町羽務所官舎) (拓大豫在學)
- 梅原 一誠 (靜岡縣田方郡伊東町小學校下) (保險簡易保險局)
- 小河原 勉 (北足立郡六辻町根岸一) (明大專在學)
- 小口 浩一 (浦和市常盤町九ノ一八二) (本多方(東外語在學))
- 小篠 輝雄 (東京市世田谷區成城町二七二) (第一早高在學)
- 小沼 敬祐 (北足立郡戸田村元蔵) (浦高在學)
- 小野 拓章 (北足立郡與野町大戸四一八) (早大專在學)
- 大泉 平八郎 (川口市金山町五五ノ二) (東鐵教在學)
- 大久保 光秋 (大宮市大宮二八九八) (成城高商在學)
- 大野 宗太郎 (浦和高砂町一ノ六六七) (八高在學)
- 大野 壁吾 (東京市日本橋區兩國五〇ノ五) (大宮市土田六七)
- 大瀧 進 (浦和市岸町二ノ一九四) (東高工藝在學)
- 大森 正三 (浦和市岸町四ノ三九) (東高工藝在學)
- 大林 博 (浦和市常盤町七ノ六二) (第一早高在學)
- 及川 組一 (浦和市岸町四ノ四) (浦高文在學)
- 岡田 久平 (南埼玉郡蓮田町) (横濱高商在學)
- 岡本 潤一 (東京市澁野川區諏訪町一七三) (多賀高工在學)
- 恩田 邦太郎 (浦和市常盤町三ノ一七一) (多賀高工在學)
- 加治 照 (茨城縣多賀郡多賀町結川濱 島崎館) (工在學)

第四〇回

- 加藤 浩 川口市鳩ヶ谷町一八一七 (早大專在學)
- 加藤 徳成 大宮市高島三七一 (明葉在學)
- 加藤 新一 (宮城縣遠田郡不動堂村素山三) (慶大豫在學)
- 甲斐 璋 浦和市仲町四ノ二一
- 神谷 敬一 千葉縣君津郡青堀町三六 安室清方 鐵道職員
- 笠原 一美 東京市淺草區山谷二ノ九ノ三 (陸豫士在學)
- 河合 勳 浦和市常盤町三ノ一九九 (浦高在學)
- 川井 正信 大宮市高島二ノ二三一 東京鐵道局上野驛
- 川田 弘 浦和市常盤町四ノ一〇六 (中大專在學)
- 鴨澤 愛三 浦和市常盤町六ノ七七 (浦高在學)
- 金井 塚和夫 北足立郡春岡村丸ヶ崎一四 (大泉師在學)
- 片倉 安雄 浦和市常盤町三ノ七五 (第二早高在學)
- 柏 茂 北足立郡與野町下落合一六六六 (東鐵勤務)
- 桂 次郎 (浦和市岸町四ノ一七七) (仙臺高工在學)
- 菊野 和夫 北足立郡六辻町別所二〇六五 (日醫大在學)
- 木村 洋一 東京市神田區松枝町一三 (仙高工在學)
- 日下部 成組 (浦和市岸町二四) 池田方 (東美術在學)
- 久保田 博 東京市瀧野川區田端町三四四 (東美術在學)
- 窪田 正 浦和市本太三二五 (東美術在學)
- 倉田 浩 千葉縣松戸町千葉高等園藝學校浩氣寮内千葉高 (東京市豊島區目白町三ノ三三 柳下方) (園在學)
- 栗原 秀二 浦和高砂町一ノ三〇 (第二早高在學)
- 黒谷 千代三 東京市北多摩郡小平村 東商大豫科 (東商大) 一橋寮(八間郡高麗川村下鹿山一四) (豫在學)

九八

- 小林 公夫 北足立郡與野町下落合 海軍水路部
- 小林 三郎 浦和市岸町六ノ六 (名高商在學)
- 小林 盛道 名古屋高等商業學校鳴鳴寮中寮 (北足立郡廣町仲町三八)
- 小林 守利 浦和市前地二七一
- 小山 永邦 浦和高砂町四ノ一五四 (慶大豫在學)
- 駒崎 信造 千葉市芝山町二三〇 (千葉醫大)
- 近藤 昇 浦和高砂町五ノ一三三 (藥在學)
- 佐藤 安正 東京市荒川區日暮里町今八八八 (第一早高在學)
- 佐藤 恭禮 橫濱高工第一寮與風館内 (橫高工在學)
- 佐藤 健彦 浦和市本太一〇四五 (大宮市大宮九〇八ノ三)
- 佐々木 竹之 浦和市高砂町四ノ一九六 (陸豫士在學)
- 齋藤 喜一 川口市本町二ノ一四 (陸豫士在學)
- 齋藤 力夫 北足立郡六辻町白幡四八〇 (府立五中補在學)
- 坂本 肇 浦和市仲町四ノ九一 三省堂
- 酒井 英一 浦和市本太二四六八 (拓大豫在學)
- 鹽脇 幸四郎 北埼玉郡東村旗井二〇五四 (大東文在學)
- 島村 浩 浦和市岸町二ノ一四三 (東京外語在學)
- 白子 榮二 浦和市針ヶ谷六七五 三菱健心寮 (三菱製業技) 衛員養成所 (衛員養成所)
- 柴田 省之 大宮市大宮三六一〇 (一高在學)
- 下山 侃 浦和市常盤町五ノ一三九 (一高在學)

- 新藤 幸嘉 浦和中尾六元 中大第豫科東京鐵道局大井工場
- 須賀 正雄 浦和高砂町一ノ一五 (東京高藝在學)
- 鈴木 和信 浦和高砂町四ノ一三七 (慶大豫在學)
- 隈田 昌弘 東京市本郷區駒込四片町十番地 (第二早高在學)
- 關根 弘利 浦和高砂町四ノ一二〇 (東京高商在學)
- 關根 善次郎 南埼玉郡岩槻町市宿二二七 (浦高文在學)
- 關口 久光 東京市淀橋區東大久保二ノ二 (城北豫備在學)
- 田村 富博 川口市本町三ノ三三 (日大豫工在學)
- 田村 誠 浦和市仲町四ノ一四 (慶應豫在學)
- 田中 紀義 東京市日本橋區馬喰町四ノ九 (慶應豫在學)
- 田中 三男吉 大宮市北袋一三 (一高在學)
- 田代 徹 北足立郡六辻町二四〇八 (浦高在學)
- 高田 裕 浦和市常盤町一ノ八〇 (浦高在學)
- 高橋 郁三 北足立郡廣町二八八八 (前高工在學)
- 高水 幹男 弘前市富田大野三六 對馬方 (橫濱高) (大宮市大宮二八七八) 奥山方 (工在學)
- 高瀬 和夫 橫濱市中區大岡町岸ヶ谷三三三 (東高藝在學)
- 高宮 學 浦和市岸町四ノ五四 (浦高在學)
- 竹内 仁 浦和市常盤町七ノ五三 (東高藝在學)
- 竹内 昇 浦和市仲町五ノ一〇三 (浦高在學)
- 谷崎 淑身 東京市蒲田區今泉町四八 (府立東京高校在學)
- 武村 守義 東京市世田谷區太子堂三一三 (秋田嶺山在學)
- 月岡 邦郎 浦和市岸町五ノ七七

第四〇回

九九

- 常木 茂 浦和高砂町四ノ一六四 (高大豫在學)
- 圓谷 泰 北足立郡六辻町七六
- 佃 二郎 北足立郡與野町大月四七五 (水高在學)
- 友部 浩 北足立郡六辻町別所一八七
- 仲田 寛 浦和高砂町八八四
- 中島 敬致 (浦和市常盤町七ノ一〇八) (奉天技術院在學)
- 中島 秀則 桐生高工務員寮内 (東京市葛飾區龜有町五ノ一三八) (桐生高工)
- 中川 増太郎 東京市荒川區尾久町三ノ三三 日本光學大井工場
- 中臺 裕 千葉縣印旛郡八街町山田臺 (日大工在學)
- 中村 三郎 浦和市岸町四ノ六 (浦高在學)
- 中村 公一 (浦和市常盤町六ノ三) 高校學寮内 (山形高在學)
- 仁平 章夫 新潟市松波町四四一 伊藤方 (新潟醫大在學)
- 西野 嵩 浦和市岸町一ノ九二
- 西野 康光 東京市小石川區大塚坂下町一〇三 (日大豫在學)
- 錦島 正一 東京市本所區東兩國二ノ二 (第二早高在學)
- 野口 宣一 浦和市仲町三ノ九九
- 野中 是一 東京市王子區王子町一二八八 (東京市王子區王子町一) 齊藤方 (第一早高)
- 長谷沼 泰 浦和市常盤町五ノ一五 (齊藤方) (理在學)
- 蓮見 俊永 大宮市西本郷四七三
- 原田 清 南埼玉郡岩槻町一九三五 (藤原工大在學)
- 半田 進 浦和市常盤町五ノ一〇六 (東高商船在學)
- 匹田 重鏡 浦和市常盤町九ノ一二八 (日大豫在學)

第四〇回

- 比田井 七郎 東京市豊島區池袋三ノ一三六 (商大豫在學)
- 平井 卓 北足立郡加納村一八三五 (陸士豫在學)
- 平田 榮一 川口市芝五三三六 (日大專工在學)
- 福田 博 東京市澁野川區上中里町一六〇 (第一早高在學)
- 福田 喜男 浦和市高砂町四ノ三五 (東高工藝在學)
- 伏見 次郎 北足立郡六辻町大字別所三〇四 (米澤高工在學)
- 古谷 隆二郎 浦和市常盤町七ノ六八 (米澤高工在學)
- 星野 芳秋 大宮市並木一五六
- 星野 紗一 浦和市仲町四ノ一三
- 前島 明 浦和市常盤町一ノ一八
- 前野 吉晴 北足立郡戸塚村 (埼玉師二部在學)
- 松澤 康一朗 浦和高砂町二ノ一五六
- 松本 直 大宮市三橋
- 松本 清 浦和市下木崎四二二 (浦和市役所)
- 松本 重雄 滿洲國四平街北四條通黎明寮 滿鐵社員
- 松本 恭一 東京市芝區新樓田町一七 (二高理在學)
- 丸井 勇 (浦和高砂町四ノ一九一)
- 水澤 正雄 大宮市大宮三六〇五 (藤原工大在學)
- 水澤 敏雄 浦和市岸町六ノ三一 中島方 (日本神學授在學)
- 水野 守 浦和市常盤町五ノ九七
- 宮崎 秀雄 浦和市仲町四ノ六一 (北大豫在學)
- 宮野 美宏 浦和市本太一五一一 (海機在學)
- 宮之原 周作 北足立郡六辻町別所一四七二

一〇〇

- 武笠 隆壽 浦和市三室一〇六一 (第二早高在學)
- 浦井 弘 浦和市仲町四ノ九六 (弘高理在學)
- 村浦 公二 浦和市常盤町六ノ二五 (一高理科在學)
- 室岡 一 (浦和市常盤町九ノ二一〇) (化粧品問屋)
- 目黒 靖淳 東京市日本橋區濱町二ノ八八 (一高理科在學)
- 桃木 弘三 浦和高砂町四ノ八七 (中大在學)
- 森 謙 北足立郡六辻町別所一〇一七 (鑄物製造業)
- 山岸 健盛 川口市幸町三ノ一〇五
- 遊澤 卓二 大宮市大門町七區 (第一早高在學)
- 横尾 獎 東京市澁谷區鶯谷町二五 (鐵道省經理局審查課)
- 横溝 健夫 大宮市上小村田六一四 (鐵道本省工作局)
- 横溝 龍夫 大宮市上小村田五二四
- 横山 正立 浦和高砂町三ノ四一
- 吉川 太郎 浦和市仲町四ノ三三 小原敬博方 (成城高校在學)
- 吉田 博 橫濱市中區清水丘三四 深道方 (橫濱高商)
- 吉野 敏夫 東京市豊島區集鴨六ノ一三三〇 (秋田鐵專在學)
- 若山 廣 大宮市大宮二七五八
- 渡邊 勉 東京市王子區中十條三ノ一七一 (慶大豫在學)
- 渡邊 久 大宮市大宮四〇八八 海軍技術研究所實驗員 (松本高校在學)
- 渡邊 龜彦 浦和市岸町五ノ三七 (明大法在學)
- 渡邊 英彦 浦和市仲五ノ五五
- 阿部 達 (浦和市前地一四三) (陸士卒)
- 石岡 能武 (浦和市本太二四〇二二) (陸士卒)

四年修了會員

- 藤澤 太郎 (大宮市大宮二八七七) (陸士卒)
 - 矢作 武三 (川口市根岸二五) (陸士卒)
 - 山田 鏡 (大宮市土手宿三四六) (陸士卒)
 - 内田 昭次郎 (浦和市岸町四ノ一七) (陸士在學)
 - 鹿取 泰衛 北足立郡六辻町白鷺番場二五 (浦高在學)
 - 杉金 西二 平塚市桃濱町三四二九 (海機在學)
 - 富田 治邦 大宮市土手宿五〇九 (第一高無線在學)
 - 針ヶ谷 和男 (茨城縣猿島郡古河町六二六六) (陸士在學)
 - 比留間 忠夫 (北足立郡朝霞町關五七七) (陸士在學)
 - 平柳 育郎 (浦和市仲町四ノ五二) (海兵在學)
 - 別府 正夫 北足立郡六辻町 (浦高在學)
 - 柳澤 滿 (浦和高砂町四ノ二二) (陸士在學)
- ◎第四一回 (昭和十五年三月) 一六五名
- 青木 弘 浦和市岸町三ノ六三 (早大專工在學)
 - 青野 文彦 川口市鳩ヶ谷町一六五四
 - 青山 正男 浦和市岸町三ノ一三三
 - 赤羽 滿 (族順市札幌町旅順工大豫 興亞寮内 (旅順工大) 豫在學)
 - 赤羽 滿 (浦和市仲町四ノ二九)
 - 淺野 安世 (大宮市大宮三七八一) (東外語在學)
 - 相澤 哲夫 大宮市上天沼二三四 (早稻田豫在學)
 - 荒井 豊 北足立郡歲町四三三七 (早稻田機製作所)
 - 有賀 大八郎 浦和高砂町三ノ一二 (第二早高在學)
 - 安藤 登 北足立郡六辻町別所一七八三 (五中補在學)

第四一回

- 石井 清 川口市石神一六六六 (東京帝大臨醫在學)
- 石川 重賢 浦和市針ヶ谷天王臺九八八ノ一 (浦高在學)
- 石田 行仁 浦和市仲町三ノ五六 (慶大豫在學)
- 市川 博保 東京市板橋區板橋町六ノ三五六九 (城北補在學)
- 市川 文聰 北足立郡六辻町別所二〇二七 (浦中補在學)
- 一木 正夫 浦和市本太四五一
- 伊藤 清助 川口市金山町六八 (第一早高在學)
- 稻川 衛 北足立郡與野町大戸四七六 (城北補在學)
- 井上 弘三 茨城縣古河町西邊匠町五三〇〇 (五中補在學)
- 岩崎 清 茨城縣古河町石町八八九 (第一高補在學)
- 岩田 俊 (川口市本町一ノ一一) (目黒補在學)
- 井原 彌一郎 北足立郡與野町與野一三二七 (浦中補在學)
- 飯島 春洋 北足立郡歲町御殿町四四五〇 (浦中補在學)
- 飯田 岩佐 北足立郡六辻町文藏一六二〇 (日本水産株式會社)
- 今井 茂 大宮市大宮四〇五九 (目黒補在學)
- 今泉 清一 浦和市本太一五九九 (浦中補在學)
- 内木 義一 北足立郡土合村西堀一八四六 (中大豫在學)
- 上床 秀夫 東京市神田區同朋町一五 (東府立高在學)
- 上村 牧夫 北足立郡六辻町別所三〇四〇 (第一早高在學)
- 江田 國孝 東京市杉並區荻窪一ノ一五三 (大久保補在學)
- 惠藤 智四郎 浦和市岸町三ノ二三一 (第一高補在學)
- 岡崎 隆明 浦和市本太一九三 (目黒補在學)
- 岡崎 晴典 北足立郡植水村植田谷五〇四 (智山專在學)

小笠原 裕 東京市本所區錦糸町一ノ六 (日土在學)
 小川 雅也 浦和市前地九八 (浦中補在學)
 岡村 忠 浦和市大岡木五八八 (中大在學)
 小高二郎 浦和市針ヶ谷三三 (東商大豫在學)
 落合 信 東京府北多摩郡小平村 (東商大豫科一橋寮内)
 小沼 義久 大宮市大宮一〇七一 (多賀高工在學)
 小野里 公守 浦和市岸町七ノ一七 (浦中補在學)
 小畑 博 東京市板橋區練馬南町四六一〇四 田中方 (浦中補在學)
 大川 三郎 浦和市岸町一ノ一一四 (浦中補在學)
 大久保 敏 浦和市岸町七ノ一〇四 (浦中補在學)
 大澤 誠一 浦和市岸町五ノ八二 (浦中補在學)
 大島 正喜 東京市王子區中十條町三ノ六ノ二 (城西補在學)
 大野 行太郎 浦和市大田窪七〇六 (第一高補在學)
 片岡 志郎 大阪府旭區赤川町四丁目大阪アパルト (浦和市岸町)ノ六二二 株式會社河野 鑄工所 (浦中補在學)
 金久保 萬藏 浦和市常盤町四ノ二二 (浦中補在學)
 川上 武彦 東京市櫻木町南三區五四三 (多賀高工在學)
 川田 龍彦 東京市世田谷區下代町二六五 (浦中補在學)
 川村 一則 川口市鳩ヶ谷町一七二九 (浦中補在學)
 川村 秀夫 東京市王子區赤羽町四ノ二二一八 (早大專在學)
 冠木 清一 川口市榮町三ノ二三ノ二 (浦中補在學)
 神谷 行雄 浦和市岸町五ノ七八 (東物理在學)
 神山 壯六 北足立郡志木町一七七 (第一早高在學)

岸 敬 大宮市下町三區三一七七 (大倉商在學)
 岸上 丘 浦和市岸町三ノ一二 (青山學院在學)
 北見 重弘 東京市目黒區上目黒町五ノ二四六 (日黒補在學)
 内藏 秀雄 浦和市仲町五ノ八九 (東京府立高工在學)
 倉持 正一 (大宮市上小村田三二七) (新湯高在學)
 小泉 三郎 浦和市仲町一ノ一五七 (浦高在學)
 小西 忠正 浦和市常盤町四ノ三七 (早大專在學)
 齋藤 榮二 川口市本町二ノ一四 (桐生高工在學)
 齋藤 直久 北足立郡六辻町別所一四九二 (早大專在學)
 齋藤 義明 滿洲國錦州省黑山縣大虎山滿鐵社宅二ノ二 (早大專政經在學)
 阪 清 北足立郡與野町七七三 (早大專政經在學)
 佐川 秀逸 東京市大森區大森五ノ九八 (大倉商在學)
 櫻井 敏雄 浦和市仲町三ノ四二 (浦中補在學)
 佐々木 滋 浦和市針ヶ谷一ノ二〇一 (浦中補在學)
 佐野 圭司 浦和市常盤町一ノ一三二 (城西補在學)
 重政 克夫 北足立郡與野町下落合一六七七 (城西補在學)
 島地 謙 浦和市常盤町六ノ八三 (城北補在學)
 島村 敬次 大宮市仲町三八二六 (第一高補在學)
 清水 翰 浦和和常盤町七ノ一〇五 (城北補在學)
 下山 瑛二 浦和市常盤町五ノ一三九 (浦高在學)
 白濱 豊一 浦和市仲町一ノ一五五 武州銀行本店 (桐生高工在學)
 新藤 武男 北足立郡蕨町四〇〇三 米穀商 (目黒無線在學)
 菅沼 利昌 (大宮市大宮三六六五) (目黒無線在學)
 杉 保 浦和市仲町五ノ一七九

助川 滿 大宮市大宮七八四 (多賀高工在學)
 鈴木 三郎 浦和市本太七七三 (日大豫在學)
 關根 泰雄 浦和市高砂町四ノ一二〇 (浦中補在學)
 瀬戸 寛猛 大宮市櫻木町南二區五七八 (浦中補在學)
 高木 和民 浦和市岸町八ノ一七五 (浦高在學)
 高久 修一 浦和市常盤町七ノ六九 (城北補在學)
 高瀬 保光 浦和市常盤町三ノ七九 (浦高在學)
 高橋 正男 東京市王子區赤羽町一ノ二六〇 (浦高在學)
 高橋 賴也 浦和市大谷口四三八 (東物理在學)
 竹内 義也 大宮市高島一區七一 (駿臺補在學)
 竹園 豊 浦和市岸町七ノ二三 埼玉縣教員互助會 (城北補在學)
 田中 茂 北足立郡桶川町桶川一四六八 (東京醫專在學)
 田中 信 浦和市岸町五ノ四〇 (東京醫專在學)
 塚田 眞 浦和市常盤町九ノ五七 (東大外語在學)
 塚田 英男 川口市本町四ノ一〇〇 (浦中補在學)
 土屋 六郎 浦和市高砂町四ノ一六五 (城北補在學)
 網島 正幹 東京市世田谷區池尻町一六二 (城北補在學)
 寺田 富士郎 浦和市仲町四ノ二 三菱鑛業研究所 (構造專問在學)
 遠山 幸男 川口市北町二ノ一三九六 (構造專問在學)
 富田 信治 東京市神田區同朋町一九 (第一高補在學)
 豊田 英之助 東京市王子區東十條ノ六ノ三 (日大豫在學)
 中澤 和男 浦和市前地二六四 (日大豫在學)
 中島 眞一 栃木縣小山町第八號三戶鐵道官舎 鐵道從業員 (浦中補在學)

中島 力 東京市淀橋區下落合二ノ五七 (新宿高補在學)
 中島 幸雄 橫濱市鶴見區鶴見町二八七 (米澤高工在學)
 中西 新一 (浦和市仲町二ノ一三八) (北大豫在學)
 中野 順 浦和市駒場八五 (新潟高在學)
 中村 豪 北足立郡六辻町白幡五三 (浦中補在學)
 中山 晃 浦和市前地二六一 (研數在學)
 長島 忠恕 浦和市本太四五 (浦中補在學)
 永田 郁緒 浦和市常盤町七ノ一三 (浦中補在學)
 西山 榮一 浦和市高砂町二ノ一八一 (商大專在學)
 野口 俊雄 浦和市常盤町一ノ二二三 (東藥專在學)
 野崎 直政 北足立郡六辻町別所一七八 (浦中補在學)
 野中 孝 東京市足立區小森町五七一 (浦中補在學)
 野中 茂 大宮市東町 (浦中補在學)
 萩原 純 大宮市大宮土手宿四九五 (第一高補在學)
 羽島 榮治 札幌市北六條科惠地寮 (北足立郡六辻町白幡九六) (北大豫在學)
 橋本 健司 大宮市吉備町三九二五 (第二早高在學)
 橋本 哲太郎 浦和市岸町二ノ八七 (五中補在學)
 橋本 信夫 東京市品川區上大崎一ノ五二二 (水高在學)
 畑 文男 北足立郡上平村菅谷七四九 (研數在學)
 島山 博 東京市板橋區練馬南町一ノ二六〇三ノ二 (早大專在學)
 秦野 正 浦和市針ヶ谷四七九ノ三 (早大專在學)
 花 俊 北足立郡與野町上落合一九 (浦中補在學)
 林 修 北足立郡上尾町二七五 (浦中補在學)

- 林 瀨平 北葛飾郡栗橋町二八八八 (浦中補在學)
- 林 弘 大宮市並木一九九八 (城北補在學)
- 早津 順久 浦和市常盤町五〇一〇 (慶大豫在學)
- 原田 義雄 東京市王子區稻付西町三〇五五 (慶大豫在學)
- 半田 好雄 東京市王子區上十條一〇一〇六 (城西補在學)
- 樋口 重孝 浦和市岸町二一九七 (城西補在學)
- 平木 秀宣 東京市王子區上十條町一〇五 (研敷在學)
- 平野 節夫 川口市燃料研究所官舎 (東京高崗在學)
- 藤田 隆二 大宮市仲町五區二九三三 (東京高崗在學)
- 藤井 鐵一 浦和市岸町三〇六七〇一 (目黒補在學)
- 星野 櫻之助 北足立郡與野町仲町七三三 (米澤高工在學)
- 細田 茂生 北足立郡上尾町宮本町二六五〇一 (浦中補在學)
- 堀野 保行 大宮市高泉四區二七八 東京鐵道局大宮驛 弓道具店
- 増尾 一郎 浦和市高砂町三〇二六 (浦高在學)
- 松永 信成 浦和市仲町三〇八五 (城北補在學)
- 松永 泰輔 浦和市常盤町五〇一〇八 (浦高在學)
- 松橋 直 川口市幸町二〇五六 (浦高在學)
- 松原 二郎 東京市板橋區江古田町一八七〇 (米澤高工在學)
- 松本 廣 浦和市前地三七五 (浦高在學)
- 松本 亮 浦和市常盤町四〇一三八九 (城西補在學)
- 三尾 雄治 浦和市前地一八八〇一 (浦中補在學)
- 三浦 金之助 南埼玉郡蓮田町三八〇四〇一 (浦中補在學)
- 村勢 楠太郎 北足立郡土合村一七 第一生命保險相互會社

- 茂木 直信 浦和市前地二五九 (第二早高在學)
 - 森田 榮雄 北足立郡六辻町別所一七八四 (城西補在學)
 - 森山 宗 東京市北多摩郡府中町府中刑務所官舎九八六一 (浦中補在學)
 - 矢那 正雄 大宮市櫻木町七七三 (浦中補在學)
 - 矢作 朋夫 川口市壽町二二四 (浦中補在學)
 - 矢吹 晋一 (東京市本郷區森川町一三三) (新海高在學)
 - 山口 功 浦和市高砂町一〇三三九 (東大豫在學)
 - 山口 聖一 浦和市大谷場五 (東京高工藝在學)
 - 山野 英 浦和市高砂町五〇七八 (浦中補在學)
 - 弓削 三郎 大宮市高泉四區二八八 (東京水産在學)
 - 吉田 重康 浦和市岸町八一九五 (第一高補在學)
 - 吉田 茂 大宮市高泉二區二七三三 鐵道從業員(中大在學)
 - 義隆 昌雄 東京市王子區稻付西町一〇五四
 - 和田 文夫 川口市本町四〇一七 大塚方 埼玉縣學務課
- 四年修了會員
- 生澤 松壽 (川口市横曾根二本木二九七四) (陸豫士在學)
 - 魚住 龍男 (川口市鳩ヶ谷町二七八〇) (陸豫士在學)
 - 内田 忠彦 海軍甲種飛行豫科練習生
 - 大島 清二 (北足立郡中丸村北本宿三六六〇二) (海兵在學)
 - 小篠 暉 (東京市世田谷區成城町二七二) (成城高在學)
 - 浦原 政吉 (秩父郡秩父町熊木七三五) (關大豫在學)
 - 蒲山 久雄 (川口市金山町二二一) (慶大豫在學)
 - 川田 暎一 (北足立郡小室村六〇一六) (陸士豫在學)
 - 木村 猛 (大宮市高泉五六) (陸士豫在學)

- 木山 美智雄 浦和市仲町四〇六四 (慶大豫在學)
- 小島 博 東京市下谷區竹町一〇 (日大豫理在學)
- 駒崎 文男 霞浦海軍航空隊飛行豫科練習部 海軍甲種飛行豫科練習生
- 早乙女 紀逸 (浦和市上木崎四八七二) (陸豫士在學)
- 澁谷 忠作 霞浦海軍航空隊飛行豫科練習部 海軍甲種飛行豫科練習生
- 下田 一作 東京府北多摩郡三鷹町下連雀二七 (日大豫理在學)
- 鈴木 武彌 北足立郡内間木村 (明大豫在學)
- 高木 勇 (北足立郡與野町與野三〇七) (陸豫士在學)
- 西海 靖司 (浦和市大谷場一〇〇) (第一早高理在學)
- 西原 將之 (浦和市岸町四〇一〇〇) (陸豫士在學)
- 沼邊 喜郎 (浦和市常盤町五〇一八) (浦高文在學)
- 羽鳥 元章 (北足立郡加東村) (浦高文在學)
- 長谷川 瑛 (大宮市大宮三六八四〇一) (海兵在學)
- 馬場 道雄 浦和市高砂町四〇一八九 (藤原工大在學)
- 伊長 道 (浦和市高砂町三〇六五) (海兵在學)
- 廣兼 茂 (浦和市本太二四五六) (陸豫士在學)
- 町田 正夫 (浦和市本太一〇二二) (陸豫士在學)
- 松本 梯三 (浦和市太田三六一八) (陸豫士在學)
- 宮田 稔 東京市神田區錦町一〇一八 (目黒無線在學)
- 山根 一郎 北足立郡藤町旭町四六七四 (明大予在學)
- 吉井 正美 (浦和市前地二七六) (陸豫士在學)
- 和田 陸 (大連市老虎灘九七四) (陸豫士在學)

在校生 第五學年

◎第四二回 (昭和十六年三月卒業スベキモノ)
川島 賢三 (茨城縣猿島郡古河町) (陸士豫在學)

在校生

- ◆第五學年
- アの部
- 秋田 弘 淺香恒夫 淺見隆司 青木善吉
 - 赤松 重美 葦澤 贊 我妻吉生 有住宅藏
- イの部
- 井上 淳 石井清治 石黒 愈 石田光彦
 - 石原 正三 石村富生 石川 敏 石川忠雄
 - 石本 信 今井政司 今泉 享平 今村昌輔
 - 飯塚 完二 生澤 鶴壽 稻葉 天克 岩田 健
 - 稻垣 仁三 伊藤 建城 市川 威
- ウの部
- 宇都宮 輝彦 浦野 信保
- オの部
- 小澤 泰 小沼清志 小野澤 俣 大野芳夫
 - 大野 武吉 大澤利彦 大澤 徳三郎 大淵 力
 - 大畑 登 王大 中 岡田 勇 岡田 昭
 - 岡部 博 岡野 光夫 岡上 俊雄 奥瀬 亮平
 - 長田 泰公

在校生 第五學年

カノ部	加藤 和平	金井 恒男	金井 信夫	金田 登宜夫
キノ部	金子 修	笠原 恒雄	川上 成之	川崎 繁
クノ部	鶴澤 巖	片倉 慶一		
クノ部	木村 滋	木下 廣	木南 清	清宮 俊雄
クノ部	清宮 秀雄	北村 祐	菊地 俊男	君ヶ袋 眞一
クノ部	小松 重壽	小室 秀雄	小島 良一	小坂 橋 惣一
クノ部	小林 二郎	鴻森 勻	後藤 英一	後藤 英一郎
クノ部	近藤 武彦			
サノ部	佐藤 信	佐藤 進	佐藤 孝	佐藤 達明
サノ部	佐藤 彰	佐野 松嘉	佐波 紳夫	齋藤 益夫
サノ部	齋藤 善三郎	齋藤 哲夫	西東 清	阪 直
サノ部	阪 勉	坂部 孝	坂本 康	定形 千春
シノ部	三瓶 邦夫			
シノ部	鹽原 和夫	清水 義夫	島森 純二郎	篠崎 悌二郎
シノ部	篠原 晃三	進藤 四郎		
スノ部	鈴木 恒久	鈴木 吉雄	鈴木 斐夫	鈴木 登貴治
スノ部	鈴木 義夫	鈴木 忠雄	鈴木 洋	

關根 榮一	關根 征市	關口 尙男	先崎 元彦
ソノ部	曾根 道太郎		
タノ部	田中 稔	田中 俊彦	田中 宏談
タノ部	田村 一郎	田村 博	高桑 圭二
タノ部	高橋 達男	竹内 繁	立川 宗正
ツノ部	津吹 好則		瀧 千仞
テノ部	手島 節三		
トノ部	東川 敏	唐司 定尙	杼窪 秀夫
ナノ部	中尾 幸衛	中田 / 甲子雄	中島 大介
ナノ部	中村 豊	中津原 正	中山 章
ニノ部	永橋 文祥		中川 昌諦
ニノ部	西尾 文彦	西内 敬明	西川 眞二郎
ニノ部	野上 貢	野上 良夫	野中 武彦
ハノ部	馬場 茂	馬場 好文	原 俊一
ハノ部	長谷川 平治	原田 尙信	蓮見 滋
			長谷川 一夫
			蓮見 俊光

花俣 忠一	畑 哲雄	萩原 彌四郎	八田 靜也
番場 猛夫	林 保一郎		
ヒノ部	平田 源一郎	平野 啓一	平柳 芳郎
フノ部	藤原 亥八雄	藤田 惠一	福田 昌弘
フノ部	邊見 隆三	別府 圭二郎	古戸 惇
ホノ部	星野 猪一郎	星野 貞二	星野 遠也
ホノ部	本莊 芳男		堀 清輝
マノ部	増淵 靜夫	町田 和夫	丸山 克己
マノ部	松井 大作	松本 修	丸山 一夫
ミノ部	宮本 隆	緑川 正男	
ムノ部	村上 昭	村上 雪中富士雄	村田 道治
メノ部	目崎 信男		
モノ部	森 莊一	森 章	森 繁
ヤノ部	八角 允三	矢ヶ崎 神護	矢田 光三
ヤノ部			谷口 英一

在校生 第四學年

山岸 榮男	山菅 正	山本 賢	山本 貢
山本 俊雄	山崎 正男	大和 繁雄	
ユノ部	湯淺 滋		
ヨノ部	依田 興二	横内 英太郎	
ロノ部	六城 雅悌		
ワノ部	若林 英夫		
アノ部	安達 正義	饗庭 武文	青木 幸二
アノ部	青山 俊英	青山 保夫	赤羽 玉男
アノ部	秋山 昇	秋山 好弘	淺野 博
イノ部	淺子 由己	穴澤 雄作	天野 貢
イノ部	伊藤 達兒	伊地知 敏寛	飯島 進
イノ部	飯野 榮一	飯野 馨	池田 俊昌
イノ部	池田 實	石井 裕	石川 眞
イノ部	石塚 巖	板倉 秀男	今泉 正男
ウノ部	岩永 和彦	岩谷 松一	今田 光秋

在校生 第四學年

上野 一太	上村 民夫	牛木 興哉	牛島 孝
内田 太郎	梅津 芳郎		
江上 英夫	遠藤 嘉正		
小穴 勝太郎	小川 惠啓	小寺 正俊	小野 松造
岡 光雄	岡野 昇一	奥富 厚	落合 圭
落合 武	大澤 哲夫	大島 愛久	大谷 春吉
大本 章			
加藤 宏治	加藤 哲夫	鹿野 正彦	柿原 恭一
柿沼 博	川井 孝	川上 英二	川上 冬樹
川島 茂	川村 正俊	河口 榮一	河崎 兵治郎
神田 清			
菊地 博恭	木村 英夫		
日下部 成園	久米 道男	倉持 陽三	
小池 榮二郎	小池 猛	小池 信次	小島 勳
小島 正夫	小島 安雄	小早川 郭	小林 昭
小林 幸夫	小林 章一郎	小山 三男	神山 隆
鯉沼 正	近藤 正夫		

一〇八

早乙女 繁雄	佐々木 一衛	佐々木 順一	佐々木 秀男
佐藤 榮一	齊藤 和夫	齊藤 肇	坂部 孜
三瓶 益太郎	櫻田 祐	三條 貞治	
清水 北雄	椎名 和一	鹽野 政明	鹽谷 貞夫
鎮目 勝二	篠崎 甲子男	柴田 登	島野 光司
新藤 貞文			
杉浦 吉太郎	杉野 治成	鈴木 康之	
關根 良平	關根 榮三郎	關根 昇一	關根 武
田島 一三	田中 武夫	田中 映郎	田中 昇
田中正久	田中 幸衛	田村 浩一	代 淳吉郎
高木 明	高橋 俊郎	高橋 敏晴	高橋 安光
高山 啓	瀧澤 隆美	竹田 豊嗣	嶽山 幸一
塚田 哲	塚田 浩		
寺澤 一			
富澤 茂男	富安 亮一	友部 直	豊田 壽

内藤 裕夫	中川 三興三	中里 耕久	中島 克己
中島 讓	中山 卓雄	中村 四郎	中村 威
永瀬 弘	永田 佐敏		
仁田 三夫			
野口 管一郎	野口 順吉	野口 正武	野原 浩
長谷川 治	馬場 一夫	橋口 替三	橋本 雅彦
蓮見 敏	初野 彌一	服部 清	濱田 清次
原田 耕作	原田 參平	原田 東助	針谷 英世
半田 靖夫	林 晋	林 博	
樋口 孝照	平澤 十三夫	平野 達吉	平久江 三郎
福井 壽雄	福岡 正十三	福島 彬	福田 茂尙
福永 友三郎	藤井 敬章	藤澤 英雄	
星野 茂	星野 博	星野 文夫	程塚 孝一
前島 義治	増田 榮七	町田 健	松井 俊郎
松島 健太郎	松本源次	松本 繁	
三科 佐内	三宅 也澄	降 晋	宮澤 幸雄

在校生 第三學年

宮本 裕

茂田 洋一

矢ヶ崎 神慈

柳田 敏雄

横内 英太郎

吉田 富治

若山 善郎

青木 穰

秋山 重基

新井 利男

飯塚 惣太郎

石井 健三郎

石川 哲男

稻見 一郎

今井 忠雄

岩永 彰

桃木 茂夫

森 與志

山口 求

柳澤 輝明

横山 彬

吉井 豊

吉澤 秀博

赤松 保雄

浅野 次夫

新井 洋太郎

石内 毅

石井 文夫

石川 康二

市川 進

今宿 卓爾

岩林 義人

佐々木 一衛

佐々木 順一

三條 貞治

鹽野 政明

柴田 登

鈴木 康之

關根 昇一

關根 武

田中 映郎

田村 浩一

高橋 敏晴

竹田 豊嗣

塚田 浩

友部 直

豊田 壽

秋田 誠

厚澤 信義

荒木 正安

池田 公明

石井 正

石原 正徳

井原 貞夫

今村 元

岩井 一

秋谷 剛

穴見 薫

荒木 實

井坂 靖夫

石井 正見

伊藤 進

家近 一郎

岩井 一

在校生 第三學年

ウの部 宇田川金之助 宇都宮 敏彦 内田 鐵郎 梅谷 昇
 梅野 雅弘
 エの部 江口 晴也 江原 達男 澁老澤 英一
 オの部 大川 克 大角 一郎 大竹 大助 大西 博
 水野 一雄 大庭 聖一 小川 彬夫 小澤 忠道
 小野 政明 尾家 文彦 岡 省三 岡崎 良平
 岡田 圭二 岡庭 璋 沖島 義郎 奥瀬 林太郎
 奥田 宏治
 カの部 加藤 浩三 加藤 光芳 笠原 正五郎 金田 與男
 上島 哲也 川井 義久 川上 仁 川島 功
 河井 淳一 河井 操一 河本 雄一郎 菅野 正臣
 キの部 木戸 洗 喜田 佳良 岸 正 北西 兵造
 クの部 草地 伸勳 熊谷 勝佳 熊谷 理治 熊坂 和夫
 粟原 福治 黒須 力 桑久保 正志
 コの部 小池 月尾 小坂 清治 小島 徹 小西 正安
 小林 恒一 小林 幹雄 小林 實 近藤 惠一
 近藤 幸夫

サの部 佐々木 秀男 佐藤 英郎 佐藤 政之 齋藤 彰
 齋藤 慶一 阪 豊 坂井 義武 酒井 修二
 シの部 坂地 務
 スの部 鹽崎 健一 清水 眞澄
 タの部 杉浦 弘二 杉本 昌一 杉山 昇 鈴木 邦彦
 鈴木 幸一 鈴木 信次 鈴木 立雄
 セの部 關根 博 芹澤 正直 正村 壽雄
 タの部 田口 勝巳 田口 長四郎 田口 美佐雄 田中 愛三
 田中 功 田中 謙吉 田中 茂 高瀬 三郎
 瀧 猛 瀧田 武一郎 武井 寛 高橋 泰邦
 竹内 崇 高木 剛 高橋 一男 高橋 藤三
 チの部 千田 實留 千葉 和久
 ツの部 津島 政司 土屋 與之 甘樂 喬
 トの部 東海 龍男
 ナの部

名古屋 敏行 中尾 善一 中島 令一 仲田 祐
 中富 正 永尾 敏男 永瀬 治彦 長澤 敏弘
 夏井 清輔
 ジの部 野崎 猛夫 野崎 幸男
 ハの部 萩原 和夫 蓮沼 一夫 長谷川 啓三 長谷川 博
 花輪 那彦 早川 道夫 林 靜夫 原 弘
 ヒの部 引地 重俊 平田 拓男 平野 保 平野 正也
 フの部 藤井 壽 藤倉 芳久 藤田 敏夫 古川 勝
 古山 敬三
 ホの部 堀江 太刀男 本多 浩 本多 忠典 保條 保
 マの部 増淵 法之 松井 勇作 松永 正巳 松村 敏夫
 松本 一成 松本 哲 松本 好次 前田 孝美
 丸山 敏行
 ミの部 三科 昭 光安 小二郎 南塚 正義 宮脇 淳一
 ムの部 武笠 士郎 武藤 脩 村井 智 村岡 敬之
 村岡 勳

在校生 第二學年

モの部 森 章 森 義信 森田 扇三郎
 ヤの部 矢崎 滿 八木 正治 山口 廣 山本 俊二
 ヨの部 横田 一男 吉井 出 吉田 良平
 リの部 李 傳 心
 ワの部 若山 昌男 渡邊 恒一 渡邊 一夫
 ◆第二學年
 アの部 相澤 正敏 青山 一夫 秋山 修三 秋山 忠彦
 淺見 道雄 跡輝 輝彌 阿部 宏 安部 隆一郎
 新井 浩 有賀 壯六
 イの部 飯島 孟文 飯塚 裕 池住 勇馬 池田 眞
 池田 順二 池脇 弘 石井 貞吾 石井 健夫
 石垣 貞雄 石田 敏男 石塚 隆 磯部 二良
 一木 博 伊藤 博太 伊藤 博之 糸井 和男
 井戸 英雄 稻見 豊 稻生 隆秀 井上 幸万
 井上 英男 井上 昌樹 井原 勇
 今泉 重雄 岩葉 一 岩泉 愛人

在校生 第二學年

ウの部 上山 孝一
 エの部 海老澤 昭二
 オの部 大泉 諭平 大木 茂雄 大竹 泰一 大武 勇治
 大橋 壽男 大伴 寛 大野 正藏 大野 益彦
 小川 克巳 小川 昭一郎 小口 欣二 小沼 弘
 小濱 力 尾家 義弘 岡崎 毅 岡庭 弘
 岡野 浩宜 奥田 義雄 奥野 眞吾
 カの部 加藤 國彦 加藤 知忠 甲斐 和生 金井 章八
 金井 塚 實夫 金子 元二 龜井 義新 龜山 嘉之
 川口 玲雄 川島 俊雄 川村 正保
 キの部 木内 敏夫 木村 節郎 菊池 弘之 橋田 虎雄
 クの部 栗原 勇 栗原 登 桑原 俊雄
 コの部 小泉 一 小杉 茂 小竹 哲郎 小西 常雄
 小林 勝巳 小林 輝夫 小林 伸行 小林 賀雄
 小林 良司 近藤 喜八郎 近藤 吾郎
 サの部 佐々木 宏 佐藤 達精 齋藤 寛一 齋藤 慶一

一一一

齊藤 正太郎 齊藤 昭二 齊藤 光雄 坂井 恭正
 坂上 新一 櫻井 和雄 猿山 昭三 三條 貞三
 シの部 鹽脇 昭司 澁木 俊明 島地 純 島村 安雄
 清水 園彦 清水 東洋 莊司 剛資 白川 恵一
 白田 仁 新藤 英那
 スの部 須之部 淑男 鈴木 一男 鈴木 邦治 鈴木 清純
 鈴木 富千代 鈴木 甫
 セの部 瀬戸 一成 關 學史 關 茂敏 關口 統吉
 關口 允夫 關根 武弘 關 根保
 タの部 田口 帥秋 田口 徹 田代 浩康 田中 三郎
 田中 實 瀧谷 靜市 竹内 秀壽 高木 義長
 高窪 啓彌 高戸 虎好 高橋 健 高橋 進一
 高本 研一 高本文雄 多ヶ谷 裕一 柳岡 純春
 チの部 立川 昭二 玉貫 滋
 千野 武 千代倉 恒夫 千勝 貞美
 ツの部 塚田 昭 佃 信行
 トの部 徳田 邦夫

ナの部

中村 和雄 中村 赫 中村 正明 永田 亮吉
 永山 三郎 長島 敬助 長島 秀 檜原 景澄
 ニの部 仁尾 宗夫 新澤 省衛 西角 井 正文 西村 俊雄
 ノの部 野口 邦輝 野口 裕 野崎 公夫 野崎 實
 ハの部 萩原 宏平 橋本 眞治 蓮見 惠彦 初見 博
 ヒの部 原 昭二 原田 貞男 原田 昭二
 フの部 檜山 秀郎 平岡 末雄 平井 清作 平田 隆雄
 福田 英夫 福田 穰 福宿 光一 藤井 正和
 藤枝 幸雄 藤澤 廣 藤田 芳昌 古戸 泰
 古村 太郎
 ヘの部 別所 照彦
 ホの部 堀 初治 本多 靜雄
 マの部 増田 富士夫 町田 實 町田 義男 松浦 博
 松澤 正二 松永 疆 松山 榮吉

在校生 第一學年

◆第一學年

ミの部 三浦 太郎 三宅 俊介 見澤 長 宮下 謙二
 宮部 邦雄 宮盛 勇
 ムの部 武藤 義一 村長 利根明
 モの部 望月 清 望月 剛 本橋 嘉雄 森永 秀治
 ヤの部 八木橋 義雄 柳田 卓三 柳屋 里治 山菅 弘
 山田 健藏 山田 嘉久 山田 賀晃
 ヨの部 依田 昭三 吉田 恭二 吉田 茂 吉野 忠雄
 ワの部 若林 徹 渡邊 定男 渡邊 貞治
 アの部 相川 照光 相澤 哲也 秋元 昭二 秋本 昭榮
 秋山 達夫 章澤 弘 安積 和雄 荒井 一成
 新井 昭 新井 堅太郎 新井 敬治 新井 滿
 イの部 五十嵐 昭六 池田 耕三郎 石井 榮藏 石井 桂三
 石井 照雄 石川 正 石川 秀夫 石川 泰司

在校生 第一學年

石垣 袈裟雄	石黒 祐二	井田 博通	板橋 一夫
伊藤 章	伊藤 高光	伊藤 智次	井上 庄一郎
井原 一郎	井原 宏	井原 秀夫	家近 徹
今泉 藤助	岩崎 昭男	岩崎 輝一	
宇田川 璋仁	内田 義之	内山 喜徳郎	内山 孝夫
梅深 達雄			
額本 茂	遠藤 哲夫	遠藤 裕臣	
オの部			
大久保 光彦	大久保 利夫	大崎 清志	大島 四郎
大谷 三郎	大野 修三郎	大場 晴夫	大山 高茂
太田 一郎	小川 隆司	小川 輝雄	小川 喜也
小高 英一	尾野 秀文	岡 龍蔵	岡田 昭二
岡田 弘	岡田 守	沖田 昭三	萩原 龍昭
萩野 一	萩原 建二	折元 陽一郎	
カの部			
加藤 昭夫	加藤 喜代司	加藤 生夫	加藤 政夫
加藤 博久	金井 英男	金子 道明	金丸 和夫
金森 豊	蒲山 秀男	川岸 武文	川島 捷男
川邊 心	菅野 秀		
キの部			
木根淵 弘水	切敷 利雄		
クの部			

一一四

久保 忠	久保田 一丸	栗原 司	黒木 隆
黒澤 隆廣			
コの部			
小池 秀吉	小池 寛	小泉 桑吉	小島 晋治
小杉 昭光	小杉 保	小林 三郎	小林 嵩
小林 隆	小林 博一	小堀 文一	小森 谷 盛
古賀 輝夫	國分 秀雄	越生 晶之	駒野 壽恵夫
サの部			
佐々木 義夫	佐藤 進	齋藤 育雄	齋藤 孝
齋藤 了心	相良 浩	澤田 進	
シの部			
島澤 昭二	島田 幸雄	島村 和	清水 昭二
清水 潤二	清水 博	志水 一司	重政 文雄
下田 裕一	白石 一郎	白子 穰	
スの部			
須賀 昭一	須關 昭二	杉田 豊	杉野 富男
杉村 忠男	杉本 堯	鈴木 信也	鈴木 正義
鈴木 弘茂	鈴木 眞幸	鈴木 龍一	杉本 尙嗣
セの部			
瀬下 岩太郎	關 博史	關 政雄	關口 昭
關根 弘隆	仙石 勝義		
ソの部			
曾根 道太郎			
タの部			

田島 正光	田中 俊	田沼 敬	田原 農夫男
田村 富昭	武田 治	竹内 昭	高木 尙
高野 昌昭	高野 雄介	高橋 三朗	高橋 宏
山 功	藤取 彌太郎	辰野 雄威	玉井 朋一
チの部			
千代 桂			
ツの部			
辻 文夫	辻村 啓	角井 義明	
テの部			
手塚 敏夫			
トの部			
戸谷 順介	遠山 善秀	徳田 迪夫	富安 昭三
ナの部			
名古屋喜代治	奈良 博安	中島 巖	中島 孝太郎
中村 昭男	中村 忠純	中村 勺	永瀬 勇
永瀬 昭平	長沼 宏	夏井 次郎	
ニの部			
西野 榮一			
ノの部			
野口 謙治	野崎 博		
ハの部			
橋本 隆一	長谷川 昭	長谷川 哲司	長谷川 芳和
早船 薫	原田 昭二		
ヒの部			

在校生 第一學年

日吉 一之	樋口 光明	平井 喜八郎	平尾 浩一
平久江 博	平田 昭治	平野 一郎	
フの部			
深川 達男	藤 中 恵	船津 俊一	
ホの部			
星野 忠彦	堀江 通正	堀江 不二男	堀口 英雄
本多 定彦	本多 誠司		
マの部			
増田 忠彦	松尾 芳	松尾 昭二	松坂 賢
松下 力	松永 信達	松沼 昇	前田 泰生
丸山 正義	松角 雄介		
ミの部			
三井 徳	三上文海	宮下 義勝	宮之原 正吉
宮野 文雄	宮前 榮藏	宮盛 薫	
ムの部			
武藤 義雄	向井 俊二	村岡 英夫	村上 裕
村田 正	村本 康耶		
メの部			
目 輝			
モの部			
佐子 達雄	茂木 條二	森 岱三	森角 光男
森山 和夫	守屋 洗		
ヤの部			
矢島 榮一	矢島 徳雄	矢代 武夫	矢作 保治

總會記事 會計報告

矢部 智清 矢部 基久 矢部 利久 安樂阿 弘一
 柳澤 温 梁 久邦 山内 惠 山方 二郎
 山川 潔 山木 益 山口 盤 山口 謙
 山崎 久 山田 健二郎 山名 昇
 目部
 横山 時興 吉岡 徳治 吉田 昭三 吉野 喜八郎
 吉羽 利夫
 Wの部
 若生 昭治 若林 直一 渡邊 泰治 渡邊 薫

總會記事・其他

昭和十四年十一月三日午後一時母校博物館に第十六回總會を開催。出席者左の如し。
 今井顧問、阿武、高田、土肥、土橋、井上各常任幹事の他に、第四回畑義三君、第十一回水野辰男君、第十二回中島明君、第十五回石川清隆君、第十七回大澤禎郎君、矢部七郎君、丸山信次君、第三十五回水見昌司君、田村正吾君、第三十六回渡邊直治郎君、第三十七回藤田弘昌君等出席。
 會計報告(別紙参照)あり。本年は時局の折柄有志懇親會

は之を中止。

昭和十五年十一月三日第十七回總會を母校博物館に開く。出席會員

今井顧問、大橋幹事其他、第一回伊藤二郎君、第三回高田源八君、第十回宮崎惇君、第十一回水野辰男君、土肥政勝君、第十五回石川清隆君、第十七回矢部七郎君、第十八回岩本銓一君、第二十四回吉岡好治君、第二十七回飯田良佐君、第二十九回井上堅太郎君、第三十回鈴木秀吉君、林義雄君、第三十一回小森谷勇君、中井川正君等。會計報告(別紙参照)の後、出征會員諸君の御苦勞を感謝し、次いで今井顧問より浦中祠堂完成計畫につき報告あり。更に來年度より維持費を金五圓となすことを決定。散會。

會計報告

(自昭和十四年十一月一日至昭和十五年十月三十一日)

収入の部
 前年度繰越金 二四四・九九
 卒業生會費 五一九・〇〇
 三年修了者會費 三六・〇〇
 十五年回會員 金森有吉君寄附 五・〇〇

會計報告

(自昭和十四年十一月一日至昭和十五年十月三十一日)

五五・五〇 浦和信用組合定期預金利息
 五・八九 浦和信用組合當座預金利息
 合計 八六六・三八
 別に浦和信用組合定期預金 一五〇〇・〇〇

支出の部
 九・九四 總會費
 二〇七・四四 會報作製費
 九・七〇 會報發送封筒代
 六九・四〇 會報發送費
 一三・九六 通信費
 一一・〇〇 弔慰金
 一一・二〇 「思ひ出」別刷印刷費
 六・〇〇 慰靈祭參列遺族寫眞贈呈費
 六・二五 交通費
 一〇・〇〇 使了退職金
 二五・八六 事務費
 一〇・〇〇 小使年末手當
 一一・二九 雜費
 一三四・八〇 出征會員慰問費
 合計 五四八・四四
 來年度繰越金 三一七・五四
 會計報告

収入の部

前年度繰越金 三一七・五四
 四九五・〇〇 卒業生百六拾五人分會費
 六〇・〇〇 四年修了者貳拾人分會費
 五六・七九 浦和信用組合定期預金利息
 七・二五 同 當座預金利息
 収入合計 九三六・五八
 別に 一五〇〇・〇〇 浦和信用組合定期預金

支出の部

總會費用 一一・五〇
 通信費 四〇・〇三
 弔慰金 二四・五〇
 事務費 四三・一三
 一〇・〇〇 小使年末手當
 一〇〇・〇〇 阿武、土橋兩幹事謝禮
 一一・二九 出張費
 三六・〇五 雜費
 六四七・六一 來年度繰越金
 支出合計 九三六・五八

補遺 (會報) 編輯中ノ移動判明分)

特別會員

現職員

水庭 勉 盛岡市陸軍豫備士官學校 歩兵砲中隊第一區隊

舊職員

齋藤 次郎 陸軍省人事局臨時恩給課

波 隱 英海 陸軍省人事局恩賞課

正會員

第七回

松本 勝敏 東京市杉並區高圓寺四ノ五五六

第一一回

吉野 松五郎 宇都宮市戸祭町一六一〇

第一五回

野口 晃夫 滿洲國三江省佳木斯 手島部隊

第二一回

木戸 和氣男 米子市錦町一ノ一五八 米子裁判所判事(水高修)

山岸 光國 千葉縣東葛飾郡野田町野田四二二

第二二回

高野 孫二郎 奉天市大和區加茂町八 滿洲醫科大學(東高師卒)

第二三回

伊藤 泰介 鎌倉市由比ヶ濱五ノ二二 大日本帝國軍艦千歲司 全部

長瀬

一 東京市板橋區板橋町一〇ノ二九一四 和田方

里見 正 立川市陸軍航空技術研究所員

第三四回

茂手木 利一 大宮市下町三九七六 鐵道省官房研究所第四科

第三五回

池田 辰男 戰病死

田口 哲也 三菱商事株式會社哈爾濱支店(哈爾濱市埠頭區水道街二九號)

中川 哲男 東京市本郷區東片町一四三 大東館

宮崎 正道 千葉縣津田沼町鷺沼 東部第八十四部隊宮崎 田泉方 隊

村山 英雄 死亡

第三六回

杉崎 榮吉 奉天豫備士官學校

第三八回

細田 哲生 北足立郡上尾町宮本町二六五ノ一 陸軍少尉

第三九回

橋野 旭 死亡

第二四回

出窪 平八郎 東京市深川區平井町二ノ五

藤田 宣雄 戰病死

第二五回

細井 榮吉 川口市宮町四一二 早稻田大學演劇博物館 (早大文卒)

第二七回

須田 方一 松坂洋行(天津市須磨街一六)

第二八回

小峯 長三郎 北都防衛司令部附法務官

第二九回

細淵 清藏 明治大學教授教官

第三〇回

加藤 騰藏 東京市世田谷區北澤二ノ 東京第二陸軍病院 (世田谷區太子堂)

木村 史郎 滿洲國牡丹江市牡丹江驛 (早大文卒)

福留 實 滿洲國鹽金屬製造株式會社 (撫順市松岡町四丁目六ノ二四)

第三一回

關口 英期 東京市小石川區原町七八

第三二回

石井 達 川口市上青木町三ノ一五一四

岡 義俊 東京市麻布區六本木一六 都新聞社(明大法卒)

第三三回

市ノ川 定彦 東京市淀橋區戸塚町一ノ 陸軍砲工學校在學 (青雲館)

支那
戰死
會員
變

思

ひ

出

皇國の爲 護國の鬼となり給へる會員 十柱の英靈に對し
此處に謹んで哀悼の意を表するごごもに御靈の永に安らか
ならんことを祈り奉る

浦和中學校 同窓會



君巴克 見滔 回一一第



生先郎次武田山



君造代喜屋古名 回五一第



君明正 多本 回四三第



君夫吉間久佐 回二三第



君卓 井石 回五三第



君彦 本山 回五三第



君利重 山井 回六三第



君郎次武野片 回六三第



君正木 佐 回六三第

山田武次郎先生

先生は明治三十六年九月二十六日、茨城縣久慈町に生る。大正六年四月西方實業補習學校に入學、大正八年三月同校を卒業后近衛歩兵第四聯隊第一中隊に入隊、后昇進して昭和十二年二月十三日歩兵特務曹長に任ぜらる。次で昭和十一年十二月三十一日我が浦和中學校教練科囑託となる。先生資性濃厚寡黙にして而も俊敏、生徒を導くや極めて熱心且つ周密、教育の任を以つて畢生の事業として専念し居られしに、止むを得ざる家事上の御都合にて、昭和十二年五月二十日全校生徒等しく欽慕して止まざる中に本校を御退職、専ら家事に専念せらる。今回の事變勃發するや、勇躍應召南支方面に出征せらる。爾來各地に轉戦十五年五月二十日廣東省從北縣良口墟附近の戦闘に参加、奮戦中惜しくも敵弾のため名譽の戦死を遂げらる。誠に惜しむべき哉。直ちに歩兵中尉に任ぜらる。

山田中尉の戦死の状況

——(岡本部隊長より遺族宛の報告書参考)——

五月十日より大隊觀測掛將校として良口會戦に参加し、五月二十日良口墟附近の戦闘に當り、山田中尉は將校斥候長となり五時四十分良口墟西南方季寮頂に向ふ。八時四十分季寮

頂山脚に到達、友軍の状況及敵狀を搜索せしも得る所なく、更に前進觀察せんとせしも濃霧と前方稜線に拒まれ觀測しず。然るに突如我が位置の上方百米の山頂よりチエツコ機關銃の射撃を受く。時に九時十分なり。山田中尉は現在地面守を宣し之に應戦す。敵は完全なる重掩蓋に據り我に射撃し來り、頑強に抵抗しつゝ、あるを以て連絡兵三を熱水にある山砲隊に敵の制壓射撃を依頼す。山砲隊は直ちに協力射撃を開始す。敵は尙ほ頑強に抵抗を續く。中尉は下士官二小銃手六別に兵二を率ゐ突撃を敢行、十時三十五分高地を占領、狀況を隊長に傳令を以て報告す。同高地線には未だ多數の敵兵あり猛烈なる射撃をなす。降雨中なり。十二時卅分敵は三方より猛烈なる射撃をなし來る。依つて山砲に第二回の射撃を依頼す。十二時卅五分山砲隊の通報により該陣地に在るは射撃に不利なる由なるを以て止むなく逐次後退す。降雨は益々大となる。

敵は兵力を増加せるもの如く敵彈益々熾烈を極む。十三時山田中尉は身を起し敵狀を觀察せんとする刹那、右側方二百米稜線に敵兵進出し猛烈に銃火を浴せ來る。其の一彈は山田中尉に右大腿部貫通銃創を負はしめ、十三時〇分名譽の戦死を遂げられたり。

斥候長の斯くの如き敵彈雨飛中飽く迄任務を遂行せし、不撓不屈の攻撃精神並に旺盛なる責任觀念と、有利なる敵情報

告は爾後の部隊の戦闘に與ふる所偉大なり。

山田中尉は應召以來克く軍隊の領袖として謹嚴事に處し、内に在りては温健眞摯、又一度起たば剛毅不撓の精神を以て成して成らざるはなし。斯くて諸上の信望厚く部下尊敬の的たり。

稻見克巳君

君は明治二十四年十月十七日、茨城縣笠間町士族故稻見鐵吉氏の四男として、浦和市岸町二丁目二九二番地に呱呱の聲を聞かせられた。

明治三十八年四月、男師附屬小學校を経て本校に入學、明治四十三年三月、第十一回生として本校を卒業せられ更に陸軍士官學校に學び、帝國陸軍將校として盡忠の大節を效さんことを誓はれたのである。爾來茲に三十年、赫々たる武勳に至つては寔に枚擧に遑あらず。

昭和九年十二月、近衛歩兵第三聯隊長に補せられ、次いで滿洲事變の功により勳三等瑞寶章を授けられ、且つ歩兵中佐に進級せられた。

支那事變勃發するや君は昭和十三年二月十九日、部隊長として勇躍滿洲黑河方面に出動、共產匪賊の討伐に當り、遂に名譽の戦死を遂げられたのである。

で母と芝村の佗住ひから、浦和の調宮神社から程遠からぬ仲仙道に沿つた町外れに移つてから、稻見の「克ちゃん」も矢張りお母さんと御一緒に近所にお住ひだったので、間もなく往き來をする様になつた。毎朝の通學、私の方から、「克ちゃん」と聲を掛けるのが常であつた。

月日の経つにつれて二人の仲は益々親密になつて來た。調宮神社の秋祭、二人は「マント」にくるまつて淡い夢の様な話しをしながら、夜遅くまで「ピットコ」踊りに打興じた。春は浮間ヶ原の櫻草採りに、夏は戸田川へ水遊びに、或る時は芝村の鎮守祭にまで遠出をした事も幾度か知れ無い。何時も二人は影の形に馴染む様に組んで居つた。「克ちゃん」はいつも紺緋の袖口の太い、筒裾を着て、黒い唐縮緬の兵兒帯を横らよの方へだらつと長く結んで居つた。冬はやつぱり紺緋の、筒袖の羽織に白い糸糸で編んだ太い長い羽織紐を付けて居つたので、一見すると昔の書生肌の感があつたが、その實何と無く柔和で色の白い、幾分細面な眉毛の太い鼻の高い誰にも好かれさうな好男子であつた。文學方面も好きだつたし、繪も少し嗜んだ。平常は餘り勉強家ではなかつた様だがいざ學期試験となると懸命に頑張出し夜を徹する事も屢々と聞いた。事實さうであつた。私とは互に勵まし合つて教へたり、教つたり、周囲の目も羨む程であつたが内心互に席眼を競つて居つた。或晩試験勉強の最中に三角の筆記洩れがあ

君は資性至孝にして至純、明朗闊達にして豪放磊落、其の度量の大なる、誠に滑溜併せ呑むの風貌を備へて居られた。大正十四年、陸軍現役將校學校配屬令の公布せられるや、君は第一回配屬將校として我浦中に勤務せられ、或は慈父として、或は阿兄として専心教化に努められたのである。君は又、「孝は百行の基」の標榜を掲げて部下を指導し、常に赤心を披瀝して兵に接せるが故に、遠近君を欽仰せざる者は一人もなかつたのである。

君は孫吳縣三盆河附近の共產匪討伐に於て、自ら敵狀を偵察して孫畢拉河左岸に至り、突如對岸に迫つた敵兵と應戰中敵彈遂に君の左胸部を貫き、名譽の戦死を遂げられたのである。其の勇や以て三軍を益ふに足り、其の兵を治むるや寛猛相濟ふ。新東亞秩序の建設其の緒に就かんとするに際し、かかる帝國有爲の士を失ふ。誠に痛惜哀悼の情に堪へず。謹んでここに略歴を記し、君が武勳を偲ばんとす。

稻見克巳君を憶ふ

第十一回 佐々木 雄雄

「稻見の克ちゃん」其れは私にとつて、何んと親しみのある懐しい言葉であらう。

今から三十餘年前、私が浦中二年生の頃、私は家庭の都合つたので、家の塀を乗り越へ深夜克ちゃんの家まで「ノート」を借りに行つた。再び元の塀を乗り越え様とした刹那、大喝一聲刑事に引づり下され、厳しい訊問、斯くかくの次第と申譯を述べたが許され様も無く、泣き出しさうになつて克ちゃんに言譯を頼まうと刑事と一緒に、「克ちゃん」の家まで引返した。午前二時をとうに過ぎたかと思はれるのに克ちゃんはまだまだ一心不亂に勉強中であつた。克ちゃんのきび／＼した辯護に流石の刑事も得心してやつと私は戻された。此れで相當に時間を費したので、克ちゃんの大事な勉強時間を多分に空費させたばかりで無く、借りた「ノート」の返済も勿論約束の時間迄に間に合はなかつた。それでも、「克ちゃん」は少しも嫌な顔さへ見せず、氣持よく私の爲めに何事も忍んで呉れた。

此の一事を見ても如何に君が友情に厚いかと明はれるであらう。私は今も尙此の事に對して感謝の念を深くしてゐる。斯様やつてお互に五年の課程を了へると、私はすぐ上京して父と一緒にやつて幾月か豫備校に通つて居つた。その中克ちゃんも上京して、牛込邊に居つて受験勉強をして居る事を何かの序に知つたので久方振りて訪ねた。そのとき君は「セコハン」と思はれる様な「バイオリン」を取出して、得意さうにもう一角の「バイオリニスト」にもなつたかの様に、私には解し得ない多分名曲であらう曲を奏でてくれた。實に美

事な演奏振りに暫し聞き入った。

矢張り「克ちやん」は音楽學校か、或は早稻田の文學部にも這入る準備をしてゐるのか知ら、と私は思つて居つたのに話の途中で突然、「ねえ君、僕は陸士をやつたが落ちたよ、これからゆつくりやるさ」と聞かされたので、事の意外なのに聊か驚かざるを得なかつた。「克ちやん」の性格から、また趣味の方から見て、陸士とは餘りにもかけ離れた方面ではないかしらと私かに思つたのに、其れは稻見君に對する私の認識不足であつたのであつた。

今御健在で浦和にお住ひの君の兄さんが、當時青年將校で居られたので、其の感化と又眞の稻見君の心の奥に潜んで居つた、豪氣果斷なる御氣象とが奮然として湧き、稻見君をして陸士への志願を當然ならしめた事が穿たれた。併し「克ちやん」は陸士が落ちても些かも落膽の色も無く、悠々として迫まらざる態度は實に見上げたものであつた。

其の後圖らずも浦和で再會したとき、「君、補欠で陸士へ入學が叶つたよ、此れからうんとやるぞ」と喜色満面の内にも侵し難い語調で挨拶された。私も思はず、「克ちやん、良かったな」と君の手を握りしめて、君の前途を祝福した。もう此のとき君の性格は一變したかの様に見受けられた。陸士にそれは當時日露戦争後まだ一昔もたないで、青年將校と云へば若人の血を沸き立たせた程羨望の的になつて居つた。

を拾ひ讀みする内に、間違ひもない稻見の克ちやんの戦死、暫し茫然、いつとはなしに泪は新聞紙上に一滴二滴三滴……落つるのを感じた。

親愛なる稻見君は、ソ満國境のあの激戦で赫々たる武勳を樹てられ、遂に華と散られた事が事實であつた。嗚呼、あの優しい友情の厚い稻見の「克ちやん」は再び歸らず、英靈は永久に護國のために。然し君としては陸士入學當時殘された「うんとやるぞ」との言葉通り、現實に然も戦場で思ふ存分果された事は御本人として、洵に本懐の至りであらう。

御葬儀當日のあの御盛儀こそ、君の人となり、又赫々たる戦功を如何に雄辯に物語るであらう。謹みて少年時の君の思出の一片を英靈に捧げて筆を擱く。

(二四、二一、七)

名古屋喜代造君

君は明治二十七年一月十一日、名古屋六之助氏の五男として川口市に生れた。明治四十一年三月、川口小學校を卒業後浦和中學校に入學、大正三年三月、第十五回生として優秀な成績で卒業された。在校中、身体の頑健なるにまかせて其の勉強振りは猛烈を極め、常に優秀なる成績を保持し而も一方には野球の選手として母校の爲大いに活躍され、その天成の

私は其のとき浪人であつたが、親友稻見君の陸士への門出を心から喜んで、「健康に注意して、確かりやつて呉れ」と嬉し涙で別れた。

以來頓と音信は無つた。陸士本科に入られて多分軍曹の服と記憶して居るが、腰に長劍を下げて訪ねて來られた。久しぶりで神田邊の肉屋で談話した。もう以前の克ちやんのあの柔和な文士肌藝術家肌など微塵も無かつた。明晰なる言語、嚴然とした態度、何もかも生れ變つた見るも羨ましい立派な軍人になりきつて居つた。此の時既に今日あるの決意を濃い眉毛を一層に引きしめてあつた事で覗かれた。それつきり新發田聯隊とか、或は母校の配屬將校とか、或は麻布聯隊とかに在營とか、噂に聞いて居つたが會ふ機會が得られなかつた。三、四年前餘りに無音なので、私から中野のお住に年賀狀を差上げたたら、滿洲から少佐稻見克己とのみ自筆で簡單な年賀狀が來たので、御健在であつたか、そしてあの潑刺たる元氣で滿洲の野に御奮闘を喜しくも、又力強くも感じられた。

それから心に思ひ乍ら又お互に無音になつてしまつた。或る晩稻見君が私達の在學當時の櫻樹のあつた運動場で、君が髻ぼうくとして馬上に跨り指揮刀を抜いて、大聲を張り上げて私達に何か訓示をして居る夢を見た。其の後一週間も経たない或朝、私は何氣無く東京日々新聞を手にとると、稻見中佐の戦死、はつと思つて人違ひであれかしと祈りつゝ、活字

器用さを遺憾なく發揮された。

其の後第八高等學校を経て京都帝國大學工學部冶金學科に學び、大正十年七月、同校を卒業された。

君は資性篤實にして而も剛毅、卒業後は汽車製造株式會社に入社、東京支店に勤務された。十二月、千葉鐵道第一聯隊に入隊して軍務に服したが、除隊後は營々刻苦家業を興し、傍ら多數の名譽職を兼ね、誠心誠意市の爲に力を盡し、その不拔の精神力には誰しも驚歎措かざるものがあつた。

昭和十二年七月、支那事變勃發と同時に勇躍應召し、中隊長として唐官屯附近の戰鬪、不家莊、隆陽附近の會戰、宗哲元軍掃蕩戰、徐州會戰、隴海線の占領、及び治安維持等に參加して赫々たる武勳を樹て、更に山西省太原に轉進、寧武線の建設並に輸送に従事し、その旺盛なる意氣と強烈なる責任感とを以て日夜精勵克くその職務を完うし、就中寧武線建設作業に於ては零下三十度の酷寒に、先頭中隊長として五百餘の部下を指揮して奮闘する等心身共に過度の勤務に投じたる爲、遂に昭和十四年四月、病を得て後送を命ぜられ、同四月二十八日午前三時、藥石その効なく終に名譽の戦病死を遂げられたのである。

壯圖未だ成らざるに中道に驚る。誠に惜しむべきである。

名古屋喜代造氏を偲ぶ

第十五回 永瀬 四朗

キヨさんはムツツリ屋でした。

工兵大尉、工學士、名古屋喜代造殿を「キヨさん」と呼ぶのは失禮かも知れないが、僕は子供の時から彼が市會議員となり、頭髮が全く薄くなつて世を透して月を眺めるやうになつた後でも、やはりキヨさんと呼んで居たので、斯う呼びかけることに非常な親しみを感じ思ひ出が一層深くなるのです。ムツツリ屋のキヨさんは子供の頃は殊にそれがひどく、野球の試合に人数が足らず迎へに行くと、氣が向かなければ黙つて奥へ引き込んでしまつて、迎へに行つた僕達をかなり手こずらしたものでした。

今の跡取り息子の喜一郎(五才)君が、やはりお父さんに似て黙々として、未亡人のなみ子さんの後をついて歩いて居るのを見かけるが、父親を失つた子供が口數少なく、だまつて居るのを見ると一層怪しい氣がする。

キヨさんはそんな風だからあまり友達を多く造らなかつたが、親しく交つて見ると心からなんでも相談の出来る、本當に信頼の出来る頼もしい親友になることが出来た。

鹿島台の學校に通ふ頃は非常に勉強家でした。従つて運動もあまりやらす、あの射の丈夫にまかせて猛烈に勉強して成

績はいつも優秀でした。

怠けて居る運動も、さて選手として試合場に臨めば天成の器用さは、實に優れた選手として常に活躍してくれました。これが後になつて八高へ入學してから、むづかしい理科の學生として一方では大いに勉強しつゝ、然も一方では立派な野球選手生活を送つて行くことが出来たわけですね。

浦中生時代のキヨさんの思出はもつと書きたいのだが、學年も違つてゐたし、又當時の同級生の方が御書きになることと思ふので略さしていただきます。

僕は四高に入り、キヨさんは八高に入つた。共に野球の選手をやつてゐたが、僕の卒業後四高對八高の定期戦が始まつた。雨の多い金澤が天氣のいゝ、日のつよく名古屋に敗ける數が多いのはあたりまへだつた。然しその前に卒業してしまつた僕は、キヨさんに威張られることなく済んだことを喜んで居た。

八高から京都帝大に入つたキヨさんは角帽をかぶつて、盛んに飲み廻つたやうだが、せいゝ／＼神戸産のうまい牛鍋で、デカンショを唄つて居たらしく、肝心を京都の情緒には無感心らしかつた。これなどもキヨさんらしいと思つてゐる。

十年ばかり前、ある寒い日にキヨさんが来て、「四郎さん久し振りに學生氣分になつて、牛鍋でもやらうぜ」と言ふので、ある處で飲んだことがあつた。徳利の數でザツト二升は

飲んだと思ふ、勿論僕は飲めない方だから大部分はキヨさんが飲んでしまつたのであらう。僕はへたばつてしまつたにもかゝらず、キヨさんは充分飲み且つ喰つてしまつた後、多少フラ／＼しながら、「僕は、なみ子が待つてゐるから、御先へ歸るよ。ハハハ」と笑ひながら自轉車に乗つて歸つてしまつた。後に残つた僕は心配になつて直ちに自動車で、彼の跡を追つて御宅の前まで行つたが、無事に歸宅したらしいので、仲のよいところを見せつけられる恐れがあるので、そのまゝ引き返してしまつた。

僕が心配したのは、今でこそガードが出来てゐるが、昔は必ず階切を通らなければ家へ歸れなかつた。彼は泥酔の後漫歩飄々然としての歸途、時折線路を枕にしてころがる癖があると僕に語つたことがある。「四郎さん、線路は冷たくていゝ氣持だぜ」と笑つてゐたが、今と違つて電車がなく、汽車が時折り通過する位だつたから、機關車の警笛に驚かされる前には起き上つて、鼻歌まじりで歸つて行くことであつたらうと思ふ。

さうした剛膽さは壯年になるに及んで、益々すべての方面に發揮されて實に強い立派な兵隊さんになつてしまつた。

労働争議華やかにし頃、敢然立つて愛國労働農民同志會支部長として、勞資間の融和に重大な役割を負うて立ち上つたのも、さうした性格から最も適任のものであつた。其の後

六

衆望を負うて市會議員となり、いよく市政に参劃し、これから大いに彼の面目を發揮しようとした時に、大命は降下されたのでした。

第一線に立つたキヨさんが、鐵道隊の中隊長として軍から重寶がられたのは當然でした。

頭はよし工學士ではあり、部下の氣受はよし、然も剛毅不拔の精神力の持主であつたために、上官からは何かにつけて「名古屋、名古屋」と可愛がられる一方、かなり重用されすぎたことと思ふ。

責任觀念の強い彼が、又それに感激して精根を使ひ果してまで一心不亂に奮闘したことも當然でした。

斯うしてキヨさんは敵弾に倒れる前に、病氣で倒れてしまつたのでした。こんな死に方は恐らく戰場に於ても、さう滅多にはあるまいと思ふ。敵弾に倒れることの華々しさに較べて、かうした倒れ方は實に立派であるが氣の毒である。全く同情に堪へません。

キヨさんが第一線に赴くや、愛妻なみ子さんは、嚴寒、炎暑、一日として休むことなく、川口神社に日參して夫の武運長久を念願してゐました。

「せめて、夫が壯烈な戦死をして下さつたなら。」と、後日になつて洩された言葉にも、うなづかれるものがあります。亡くなられた報に接して直ちに御見舞に上りました時、なみ

七

子さんは只獨り廊下にあつて、目を赤くして靜に空の一方を見つめてゐました。四人の子供さんは何も知らずに表の方の庭で嬉々として遊んで居りました。一番上の歌子さんは小學校に行つてゐたらしく、外に誰れも居りませんでした。

僕は何んと言ふて慰めていゝのやら言葉に窮しました。暫く待たされましたが、やがて玄關に現れた奥さんは、もうすつかり涙をかくして居ました。そして、「子供のため、軍國の母として、しつかりやつて行きます」それだけ言ふて顔を伏せてしまひました。

それから半ケ年の月日が経ちました。なみ子さんは雄々しくも軍人遺族の方々のために立ち上りました。そして今は遺族達のため、當市奉公會で設置しましたミシン授産場を毎日出勤して遺家族相談所囑託として、其處へ集まつて来る十數人の未亡人のために裁断をやり、註文をとつたり、或は遺族達の上き相談相手として非常な活動を初めました。

キヨさんが世中の奥さんは、御嬢さん上りのたゞおとなしい人妻にすぎぬと思つてゐた私は、奥さんがかうした男勝りの方であつたことは一寸も知りませんでした。これも又キヨさんの永い間の感化によることではないかと思ふてゐます。五人の残された子供はこのしつかりした、慈愛深き母の下に皆元氣ですく／＼育つて行きます。戰場から子供に寄來した幾多の便りに、どんなにかキヨさんが子供思ひであつたか

がわかりますが、これでこそ、「軍國の母として」と、言うたなみ子さんの言葉も立派に裏書され、キヨさんも安心して靖國の社に眠れることが出来たらうと思はれます。終り
(十二月一日)

佐久間吉夫君

君は大正三年三月十八日、佐久間得三氏の長男として本縣入間郡入間川町に生れた。本縣男師附屬小學校を経て大正十五年四月本校入學、在學中成績常に優秀、資性快活明朗。運動方面でも卓球に籠球に活躍した。昭和六年四月卒業後直ちに浦高文科に入學、卒業後は東京帝大文學部英文科に學び、文學士の稱號を授けらる。ついで群馬縣立富岡中學校に奉職し、前途春秋に富む青年教師として出發された。

支那事變勃發するや、昭和十三年三月一日第一補充兵として應召、東京麻布歩兵第三聯隊に入隊、同年三月十日北支派遣軍として北支に出發された。而山下部隊、宮崎部隊平井隊に所屬保定を中心として北支殘敵掃蕩に従事、後徐州會戰に参加、更に中支派遣軍に變替、同年八月九江上陸、本開部隊に編成替、依然宮崎部隊平井隊に屬して居られたが、漢口攻略作戰に参加、中央突破軍として善後方面に進軍された。然るに昭和十三年十月一日、瑞昌縣三坪高地附近突撃前進中、

右大腿部に骨折貫通銃創を受けられ、十二月六日東京第二陸軍病院に轉送加療中であつたが、病狀俄かに悪化し同月十四日午後三時四十五分遂に戦傷死をとげられた。而同月二十四日原隊にて合同慰靈祭、同日自宅に歸還されたのである。思ふに君は教育者學者として筆執る暇も無く、銃を握つては勇猛果敢、たとへ後送戦傷死されたとは云へ、君が盡忠至誠の精神に於て何の選ぶ所が有らうか。我々は君が護國の英靈に對し、謹みて哀悼の意を表するものである。

(尙御尊父の御申出により、君が數多の藏書を本校に寄贈された。本校にてはその御好意に感謝し、之を「佐久間文庫」として永く記念せんとして居る。)

本田正明君

君は大正四年二月五日、現大宮市本田正平氏の長男として生る。昭和三年四月、我が浦和中學校に入學、同八年三月卒業す。君資性濃厚、篤實内に剛邁の氣を藏す。友に接しては友情に篤く、家に在りては誠心孝養を旨とし、成績又優秀にして全校の模範たり。父君生前君に待つところのもの大なり。君が戦死は誠に惜しむべき哉。
昭和八年十二月二十七日、東鐵大宮工場勤務。今事變勃發

村島部隊長書簡の一節

するや、昭和十〇年〇月二十四日、勇躍應召、歩兵第四十九聯隊に入隊、伊集院部隊村島部隊に屬し北支方面に出征す。爾來機關銃分隊長として山東省各地に奮戦、偶々昭和十五年五月九日、山東省定陶縣王庄附近の戰鬪に、不幸敵彈を前頭部に受け名譽の戦傷を負ふ。翌十日、鉦野部隊野戰病院に入院、爾後衛生部員の献身的努力も其の效なく、五月二十三日午後二時三十分、遂に瀕死として陣歿せり。同日歩兵曹長に任ぜらる。享年二十六歳。

(前略) 故曹長は平素部下に接するに恰も兄の如く欣然として兵又肉親以上に親しむ。共然一度戰場に臨むや叱咤激勵し、其指揮極めて峻嚴にして卒先陣頭に立ち、勇奮力闘各戰鬪毎に赫々たる武勳を樹て其の電撃的猛撃振りには常に中隊内外の絶讚の的と相成り居り候(中略) 五月九日六時三十分頃山東省定陶縣双廟附近に進撃せる頃、突如數線陣地に據れる敵約一千は數を頼みに一齊に射撃し來る。好敵を見るや部隊の攻撃急にして頑強に抵抗する敵を猛攻猛撃十時頃双廟附近陣地を抜き、更に敵主力の在る王庄に對し引續き攻撃を續行其間故曹長は終始毅然として戰場を馳驅し、其勇戦振り今尙眼前に髣髴たり(中略) 馳で突撃の機熟し友軍砲撃に和し一

齊に敵陣に突入曹長の相貌莞爾たるものあり。愛用の軍刀を翳して卒先突撃を敢行し正に陣地の一角に至らんとする刹那嗚呼憤むべし敵弾身近く雨注し、一瞬にして前頭部に一弾を受け起つ能はず、共然責任觀念極めて旺盛なる故人は苦痛を制し尙も銃火器使命たる射撃を繼續し、後退を肯せず此の急襲火の爲頭敵も遂に陣地を放棄し逐次退却を開始し友軍突撃成功の端緒を開きたり其勳功本作戦に燦たり。爾後直ちに命令を以て後送せしむるも尙部下を案じ戦鬪を氣遣ひ居りたるも、遂に人事不省となり野戦病院に收容さる。爾後極めて熱心なる衛生部員の献身的努力も遂に功なく再び起つ能はず、總て臨終の機迫るや更に苦痛の色なく端然として且明音を以て。天皇陛下萬歳を三唱し尙部隊の突撃成功を確め遂に壯烈なる名譽の戦傷死を遂げられしものに御座候。時五月二十三日午後二時五十分有之候。

右の如く故曹長の最後は眞に壯烈鬼神を泣かしむるものにして、誠に軍人の龜鑑にして克く一身を犠牲にし盡忠報國の誠を致したるものに御座候。仆れて尙止まざるの旺盛なる攻撃精神は克く友軍奮戦の緒となり、敵軍團に致命的打撃を與へ再起不能に至る迄に之を撃碎し得たるを以て英雄も嘔瀟瀟足の事と思惟せられ候。(中略)

我等又均しく同君の不滅の武勳に感激すると共に不朽の勳功を一層燦然たらしむると共に、誓つて聖戰目的完遂に盡力

今尙分隊長殿には御居間に在り我等と共にありと自ら慰め自ら勵ます愛惜の心情は、誰となく部下皆の胸に甦り分隊長殿生前の御居間に主なき夜毎のランプに灯が點され、清掃を行ひて分隊長殿生前と變りなく毎日清められてあります。想へば一昨年五月〇〇上陸以來不慣な氣候風土の戦場に御自分の身を顧りみず私共の事を我が身以上に勞り下されました。亦數多の戦鬪にも陣頭に起ち身は危きに曝し我等を被ひ下されました。冬の陣營に御自分の外套を部下に與へ身は暖をとる先に部下の事を案じ病に冒されたる部下のある毎に御自分の毛布を病兵に掛け、又自から手拭を水に浸して看護下されし事も一切ならず、私達の惜別的情志に難く今更に御慕ひする所以であります。

嗚呼分隊長殿 出來得ます事なれば颯爽として埃にまみれ土泥子の様になり乍らも元氣一杯に手を振り、遠くから呼びかけて下さるあの姿と御聲とを此の戦場にもう一度お生かし申上度いと思ひます。七生報國の忠烈なる御意志と大東亞建設目的完遂に身を以つて範を垂れし分隊長殿の、壯烈なる武徳と崇高なる人徳を讀へ奉ると共に殘された私共は、今日の日も此の北支の陣中に分隊長殿の鐵の如き意志を繼承致して奮然まじりを決して事に當つて居ります。次會は九段の花の下でと常日頃より訓されました事を胸に刻んで、私共は鐵石にも勝る固い團結の下に華々しい弔合戦をして分隊長殿と

し故人の英靈を慰むる覺悟に御座候。
武人として征地に骨を埋むるは固より木懐之に過ぐるものなしとは謂へ、速く御遺族の御心情に思ひ至る時小官等一同感慨無量想ひ半に過ぐるもの有之候。
是に取急ぎ戦死當時の概況を申述べ御通知に代ふる次第に御座候。

昭和十五年五月 日 伊集院部隊村島隊長

陸軍歩兵大尉 村島 英夫

故本田曹長
御遺族殿

分隊長一同の書簡

謹みて故本田分隊長殿の御戦死に哀悼の意を表し上げます悲しくも勇ましく分隊長殿には護國の神と成り御靈と去られました、再びあの懐しき温顔に現し世に於て接するの目を永久に失ひました。常日頃我等の受けました骨肉の情激励の聲は思出となり、敬慕の情は今更に止み難く私共は兄を失ひし弟のその如く嘆き悲しんで居ります。聖戰従軍征々の長旅に分隊長殿には私達と共に進み共に戦ひ起居を同じうして生死苦樂を共にし下され共間言語に絶する慈愛と訓育とは私共の終生忘却仕らざる處であります。

運命を共にする決心であります。

敬慕する分隊長殿の御靈前に謹みて分隊長一同哀悼の意を表し奉ると共に、分隊長殿の亡き後の敬慕止み難き部下の心情の一端を披瀝致しまして、分隊長殿の御靈の安らげくらせられます様念じ上げます。 合掌 分隊長一同拜

石井卓君

君は大正五年十二月十六日、石井利兵衛氏の三男として南埼玉郡本野村大字高虫に生れた。昭和四年四月、浦和中學校に入學、同九年三月、第三十五回生として本校を卒業後桐生高等工業學校機械科に入學、昭和十三年三月、同校卒業と同時に大志を抱いて遠く滿鐵に奉職、大いにその前途を矚目されてゐた。

昨年一月、市川市野戦重砲兵第七聯隊に入營、同年七月、應司令部近藤隊に所屬してノモンハン方面へ出動、奮戦中名譽の戦死を遂げられたのである。

君は資性温厚篤實、明朗闊達、其の堅忍不拔、勤勉努力の精神は五ヶ年間の中學生活は勿論、桐生高工在學中に於ても見るべきものあり常に友人の敬慕して措かざる所であつた。君の實家は桶川、蓮田の中間にある極めて不便な土地であつたが、君は雨の日も雪の日も二里餘の道を自轉車にて桶川へ

出で、更に桶川より本校へ通學して居たもので、其の不撓不屈の精神は天賦の才と相俟つて常に優秀なる成績をあげてゐた。又君は運動方面にもすぐれ、就中柔道、陸上競技、水泳等に於て最も妙技を發揮してゐた。

かゝる前途有無の君は昭和十四年八月二十七日午前十時、滿洲國興安北省バルシヤガル高地に於て觀測所警戒中突如左胸部に貫通銃創を受け、中道にして壯烈なる戦死を遂げられたのである。

この前途春秋に富む有爲の士を、年齒僅か二十四にして失ふとは誠に哀悼に堪へず、願くは君が魂魄永に大陸の守護神とならんことを祈念する次第である。

石井卓君を偲ぶ

第三十五回 富田 四郎

十一月廿一日、私は亡父の五年目の命日にあたるので學校よりの歸途、近くの寺にお詣りしてから家へ歸ると、丁度追悼文依頼のハガキが中原君から着いてゐた。私は瞬間妙な氣持になつた。私が畏友石井卓君戦死の報を聞いたのは九月廿六日であつた。私は其の知らせを受取つた時全然信じられなかつた。まさかと。然し更に自分の友人の一人は又石井君戦死の報を傳へた。それでもなほ確實なことが分らぬので私は

中學にある弟に詳細を調べて寄越す様頼んだ。近くに居るのなら直ぐにでも御両親の所へ飛んで行けるのであるが、何にせよ北海道の僻地にあつては思ふに委せず、唯憂愁に閉ざれて心は重るばかりでした。

折返して弟から來た手紙に依れば、「學校では校長先生も未だお話しにならないけれども、近くの村から中學に通ふ生徒に聞いて見たら、矢張り本當の様です」とあつた。私は最早石井君の死を疑ふ何物もなくなつた。山が崩れ、大地がめり込む様な氣がした。彼の戦死を確認せざるを得ない。だがあの中學時代の明朗な君の姿を思ひ浮べると、再び戦死したとは思へなくなつて來る。

地理的に遠隔の地にある爲に、私は君戦死の詳細を知る事は出来ません。私は楽しく又有意義であつた中學五年の生活に於て、彼石井君との交りに就いて記憶の絲を辿り乍ら記して見ませう。

手紙に依れば君は八月廿六日、ノモンハン方面にて壯烈なる戦死を遂げられたとのこと。八月廿六日と言へば私が勤勞報國隊員として滿洲に渡り仕事を終へて〇〇丸にて、歸國の途中丁度仁川沖あたりを航行してゐる時であつた。今も思ひ出す其の船中で隊員一同ノモンハン激戦の報に血を沸して居つたのを。然し乍ら君が炎熱焼くが如き蒙古の大平原に立ち第一線に勇戦奮闘して居つた時、自分も亦東部國境建設の

爲當時緊張の極にあつた牡丹省にあつて大陸建設の夢を追つてゐた。奇しくも我々がたとへ一ヶ月とは言へ滿洲國にあつて西と東に別れてゐたとはいへ、生活してゐたことは自分に取つて單なる偶然とは思へない。考へれば考へる程不思議でならない。

さて、私が石井君を知るに至つたのは昭和四年四月浦中入學式の日であつた。入學式の朝桶川の驛で石井君と初對面をしたのである。私の父が石井君の御尊父と識つてゐたので、我々二人は入學式の日から友達になつたことを記憶してゐる二人とも未だ洋服がなかつたので、(之は失言かも知れぬが)自分だけに關しては眞實だつた。飛白の着物を着、編上げの靴を履いてゐた。本當に二人とも田舎出の子供だつた。

それから我々の中學五年の生活が始まつたのである。石井君の生れた所は南埼玉郡平野村高畑だと言ひ、私の生地高崎線の北足立郡桶川町とは二里近くも離れてゐたし、東北本線の蓮田驛とも二里近く離れた頗る交通不便の地であつた。石井君が嘗て自分に、「俺の生れた所を聞かれたら、桶川と蓮田を結んだ線の垂直二等分線上にあると言ふんだ。」ど、語つた事がある。如何に交通の便が悪かつたかが良く分る。此の附近の者は自轉車で四里近く走れば、不動岡の中學へ通へるので皆不動岡へ行く。然るに君は此の不便を忍んで、二級上に在學中であつた御令兄と校風を慕つて浦中に投じたので

ある。雨來雨の日も風の日も二里近くの道を自轉車でやつて來て、桶川から我々と汽車に乗つた。冬の大雪の朝を自轉車も滑り勝たので、四時超をして桶川驛まで暗い途を來られたことが屢々あつた。それを見て私は君から不撓不屈の精神を教へられた。そして其の度に、「嗚呼良くやるなあ。」と本當に頭の下る思ひがした。

君は入學するや明朗闊達なる性格を以て組中の人氣者となり、常に輕妙洒脫、然も學科に於ても鋭鋒を顯はし、殊に數學に於ては非常に勝れてゐた。又何をやつても出来ないものはないと言ふ位に運動でも勝れてゐた。柔道、陸上競技、水泳等に、殊に水泳は達者で、見沼川の用水にて中學五年の暑中休暇を自分と泳ぎ暮したものであり、或る時には水泳チームを作つて遠く菖蒲の町まで出かけたことさへある。私の記憶で一番残つてゐるものは此の夏の生活であつた。魚釣に、水泳に、而して時には梨園を襲ひにも出掛けた。泳ぎに疲れて郭公の啼く聲に氣が付いて家路に歸つた事も幾度かあつた。そんな時にも彼は何時も自分の家の蔭の前まで共に自轉車を走らせて呉れた。又何時であつたか空氣銃を提げて近くの山を歩き廻り、鶯を打つたら彈丸が當らぬのに鶯が死んで落ちたと笑ひ合つたことも覚えてゐる。

かうして中學時代の共に遊び、共に學んだことが走馬燈の様に浮んで來る中で、彼、石井君の性格には實に明るいもの

があつた。嘗て彼が暗い顔をして話したことを覚えてゐない。如何なる時に臨んでも生來の大膽と、明朗とを以て其の危機を克服したに相違ない。

我々が向上の一途にある青年期の第二歩を憧れの浦中に踏み出してから、幾多の感銘を以て中學生活を終つた。昭和十年石井君は桐生高工の機械科に學ぶことになつた。入學の爲桐生へ立つ日私の家へ寄つて話して行つたが、私が北海道へ行くと云ふと何だか寂しい顔をした様だつた。事實お互ひに何百里を隔て、おまけに一年一度歸るか歸らぬかの自分は次第に彼とも會ふ機会が少なくなつた。桐生高工へ行つてからも相不變クラスを牛耳つてゐた様である。夏の休暇に來ては話して行つた。私が石井君に會つた最後は、二年前の夏である。私が所與で故郷へ歸つてゐた時、石井君が訪ねて來て呉れた。中學時代と少しも變つてゐなかつた。性格も、そしてあの素朴な姿も、其の時は滿鐵に就職の決つた話をし、「四、五十まで向ふで働いて來る」と云ひ、又自分の祖母が死水を取つてもらへないと言つて歎いたと云ふ事等も話した。我々は夕方近くまで話込んで了つた。其の時が私の石井君にあつた最後であり、而して又今生の別れとならうとは、越えて十三年四月三十日、撫順市南台町康徳寮内より赴任挨拶状が届いた。私はあの頑健な石井君が滿身勵志以て大陸に活躍する姿を頭に畫いて、君の將來幸あれと祈つて居つたのである。

の戦死をして無意義ならしめてはならない。私は何時の日か必ずや大陸建設の一翼を擔はん日の來る事を君の靈に誓ふ。來年六月上京の折は是非とも生家を訪れて香華を手向けたい。それが自分に取つては唯一つの慰めである。それにしても前途有爲の御子息を失はれた御両親の御心を推察する時は唯々に暗然として言葉もない。

國家は其の崇高なる國家目的遂行の爲に君を召した。而して君は又民族使命の達成に力闘して散つた。士規七則中の將に、「死而後已」であらう。護國の神となつた君の英靈に盡きぬ感謝を捧げ、謹んで君の冥福と御遺族の御健康を祈る。

山本靖彦君

君は大正五年四月三十日、山本杉雄氏の三男として出生、昭和五年三月、琦師附屬小學校を卒業後本校に入學、昭和九年三月、第三十五回生として優秀な成績で卒業された。次いで東京藥學專門學校を終へ、將來の發展を期して大いに努力を續けて居られた。

偶々支那事變勃發するや昭和十三年十二月、藥劑中尉の重責を荷うて勇躍北支に出征、日夜複雑なる補給業務に服して奮闘中、十四年四月、不幸急性肺炎に罹り、天津陸軍病院に入院治療中、肺壞疽となり容易に輕快せず、爾後廣島病院を

然るに其の後自分も仕事に忙しくなり、筆不精は益々たゞつて殆んど文通もなかつた。今夏上京した折石井君の工兵隊に入隊してゐることをちらと耳にした。それから私も間もなく滿洲へ渡つて了つた。遂に私は同君と二年も見えずに彼を逝かせて終つた。

かうして書いて來ると、私は追悼文を書いてゐる様な氣がしない。何處からか出てきて、「やあ。」と聲を掛けさうな氣がしてならない。又君の生前は家庭に生まれ、御慈愛深き御祖父母、御両親の下に本當に幸福であつた。そこから君の明るい性格も由來したのであらうが、君の戦死といふ人生に於ける冷厳なる事實に直面して私も死といふ事を切々として感ずる。今度の事變は幾多の人材を失つたが、君の死も亦國家的見地から實に甚しい損失であらう。級友からも、御両親からも、多幸なる將來を期待されながら、花ならば蕾といふ所、惜むべし、彼は國境の華と散つた。もつとく生かして御國の爲に働いて貰ひたかつたのは、豈自分一人のみではあるまい。悲歎に暮れて涙を流さんより、むしろ茫然自失の態で一、二日仕事の手に着かぬ自分を見出した。

かうして追悼記を書き乍らも、やつぱり又死んだことが嘘の様でならない。たゞ遠くにゐるから會へないだけだ。然したとへ君の肉体はノモンハン戰場に散華したと言へ、その魂魄は留つて大陸建設の聖業を見守るであらう。我々は君

經て東京赤十字病院に入院加療中、十月二十七日、遂に名譽の戦病死を遂げられたのである。

君は資性明朗闊達、磊落にして友情に富み、在學中は學業の成績頗る優秀にして、又運動方面に於ても或は柔道に、或は野球に、或は登山に大いに其の天分を發揮し、常に級友の敬慕する所となつた。發病後は終始父君の手篤い看護を受け幾度となく危機を脱して漸次快方に向ひつゝ、あつたにも拘らず、武運拙なく不幸十月二十七日、遂に戦病死するところとなつたのである。前途有爲の士を中道にして失ふ。哀痛の情盡くる所を知らず、こゝに、君の略曆を記して哀悼の辭となす。

追憶

第三十五回 友部 正伸

山本君と云ふと、あの何となく悠揚たる態度と、穩かな調子が思ひ出される。「君が俺の追悼文を書いてくれるのかい」と言つて、彼はにこやかに笑ひさうである。

彼とは琦師附屬で同級だつたが、中學時代は一度も同じクラスになつた事はなかつたやうだ。余り交渉の繁くない、いはゞ普通の友人であつたが、何しろ子供の時からの長い友で殊に彼の眞實な悠々たる性格の爲に、自分は何時でも信頼して

交つて居た。

小學時代の彼は、「補助」と呼ばれた。音楽會で獨唱をよくやつた。追ひかけつこと稱して、彼と組んでNとSを追ひかけた事などが記憶に甦つて来る。NもSも教室の隅を機敏に逃げ廻り、山本君は悠々と追ふのでどうしてもつかまらぬ。遂にあきれてこの鈍重な相棒を眺めて、追ひかけるのは諦めた事がある。

彼の家へ彼と共に رفتる事がある。門の戸が心張棒があつてあつて開かないので、どうするかと見て居ると、いけがきの中から竹を出して戸の間から差入れて外し、中に入つて又心張棒をして竹はもと通りいけがきの中に入れた。新聞の切抜帳など見せて貰つた。十六インチの列車砲の寫眞に、日本にこんないゝ大砲があるだらうかなどと感心したのが、何故か鮮明な印象に残つて居る。

最後に遇つたのは彼の薬事時代、電車の中であつた。「親父の昔の書類をかき廻してね、えらく叱られちやつた」等と語つた。藥劑師も法律を知らなかりやいかん話も聞いた。毎朝七時十二分の電車だと云ふので、どうして遇はぬかと思つたら、僕は上野で降りるに便利な様に最前部の車に乗る。彼は赤羽で降りるに便利な様に最後部の車に乗るのである。

出征した噂を聞いて間もなく、Mの父上が内地への手紙に「山本大佐殿とは長年御昵懇に願つて居ますが、こんな立派

な御子息のあるのは存じませんでした」とあるのを新聞で見ても、彼は圖体もでないし、實際立派な將校になつて居るだらう事を想像して居た。近頃、北浦和を發つ日の寫眞を見たのであるが、温容は更に飾らざる威容を加へて、只惜しかつたと思はれるばかりである。

危篤との報に父上が飛んで行かれた事、幸に小康を得て内地に還つて来た事を丁から聞いたのは九月であつた。復た危くなつてカンフルの打ちつゞけだと云ふ事を聞いたのが十月末、それから二日程たつて同じ丁の電話は彼の死と、遺骨が還るのを傳へた。

告別式に父上につかりなさらぬ様に申上げると、「何、軍人ですから覺悟して居りましたとも。たゞ余り長く看護して居た爲、ちつと欲がつきましてなあ」と笑はれた。

彼は、「友さん」と自分と呼んだ。こんな呼方をする古い友の一人を自分は失つた。追憶ばかりが眞の追憶ではない。自分は故人の徳を傷ける事を、いろいろの意味で恐れる者である。

(一四、一、一三三)

追憶の山本君

第三十五回 富田圭

こけた頬、頭の綱帯が痛々しい。

「やあ、よく来て呉れたね、何時頃来たの。」
ふと目を覺した彼は懐しげに私を見上げながら、思ひの外元氣でさう云つた。

「どうも天津へ行つてからは、すつかり御無沙汰しちやつてね、何やかや忙しかつたものだから、あちらへ行つてえらい目に遇つたよ。齒が余り痛くて頬がこんなに腫れたから、抜いたらどうだと云ふんでね、抜いちやつたんだ。後から考へると、これが悪かつたらしいんだね。當時は何んともなかつたけれど、暫くして同僚の藥劑少尉と、〇〇へ行つて歸りは一人だつたんだ。汽車に乗つて間もなく急にふらふらしてね。それから後は全然覺えてゐないんだ……何んでも將校が倒れてゐると云ふので、兵隊が直ぐ病院へ擔ぎ込んだらしいんだよ。今どう考へてもちつとも思ひ出せない……それから二度も死に損つてね。親父がわざ／＼天津まで来て二ヶ月も看護して呉れたよ。でも今は割合にいゝんだ。ところで桃木君が中尉になつたつてね、僕もつい此間中尉になつてね。さう此間寝ぼけて看護婦さんが、「中尉殿。」つて云ふので、「中尉つて、此室には中尉は居ないよ。」と云つたものだから看護婦さん、びつくりしてゐたよ。……どうも寝てゐると退屈しちやつてね、小説は厭きるけれど英語が何かの字引を考へながらぼつ／＼見てゐると、割合に厭きないよ。……」
彼の話方は平常と少しも變らなかつた。

前日浦和のお宅へお見舞した時、お父様は、「……で二ヶ月も天津に居りましたよ。ところが急に、死ぬか生るかの重態だと云ふのに、内地の病院へ廻はずと云ふので……随分心配しましたよ。が案するより生むは安しで、船に乗つてから海上は實に穩かで無事廣島の病院へ入り、徑過も余りによくそこから灘谷の赤十字病院へ連れて來ました。今病院へ入れて歸つたばかりですよ。汽車も随分心配しましたが、これでまあほつとしましたよ。家の者も行つてやれまし……」

と云つて居られたが、本人の思ひの外の元氣さに、安心してつゝもこんなに話をして、後で大丈夫か知らと憂へながら別れた。

其後二、三日して病勢悪化して面會謝絶となつた。何んだか私が會つて悪くさした様な氣がしてならなかつた。

× × ×

ビタビタビタ。夜の赤十字の廊下は妙に長い。
病棟の角で妹さんに會つた。一昨日以來意識不明とのこと親戚の方も病人を憂しげに看守つて居られる。看護婦さんの白い手が病人の鼻を追つて忙しく動く。酸素吸入をしてゐるのだ。一昨日大手術を受けた。何んでも肋骨二本を切斷して腹膜に膜が入らない様にし、ポンプで膿を出した。其際非常に痛んでそれ以來意識不明なのださうである。

看護婦さんに代つて吸入器を持った、時々病人の胸がグーと鳴る。痛々しい。苦痛の爲か首を絶えず右に左に動かすので吸入させるのも容易ではない。唯夜中に響く酸素気泡の、「ポツポツ」と云ふ音に何んとかく気がめいつて終ふ。「シツユシツユ」鏢の音、「ポキン」、又カンフルだ。三十分おきの注射だ。看護婦さんは將に白衣の天使だ。遠くで時計がさびしく二時を打つた。……

ふと目を覺ますと控室は馬鹿に明るい。つい寢過してしまつたのだ。お父上様が今朝の天氣の様に晴々した顔で入つて來られて、

「大成功ですよ、眼を開きましたよ、見てやつて下さい。まあよかつた〜。」と云はれた。赤子の様に如何にも珍らしさうにあたりを見てゐる。未だ意識を回復しきらない様子……ふと、お母上様の方を見てゐた人が、

「お母さん、お母さん」と呼んだ。その時のお母上様の、そして一同の喜び、これこそ、昏睡以來最初の言葉なのである。……

「増彦、お父さんだよ。わかるか、お父さんだよ。お、よし〜。」とお父上様、何んだか胸が熱くなつた。

看護婦さんが、水に濕した綿を病人の口許、持つて行くところの様に吸つて綿をも吞込もうとする。

「お兄さん、出して頂戴。吞んではいけないよ。」と妹さ

ん、牛乳が一匙づつ、やがてアイスクリームが口に運ばれた診察だ。胸の繻帯が取除かれた。大きな切開口、咳をする胸がグーと鳴つて、膿の様なものがそこから噴き出す。到底正視出來ない。ガーゼが取換へられ今度は葡萄糖注射だ。墨針の様なものが股に刺される。先生は再び脈を診て、「よしよし」と云つて出て行かれた。とにかく危機は脱したと思はれた。

「ゴトン、ゴトン」電車は空襲下の闇の中を走つてゐる。今日位電車が遅く感ぜられたことはない。やきもきする。澁谷に下りたが、自動車もなければ電車も來ない。もう到底間に合ふまい。……

病院の門は既に閉されてゐた。……長い眞暗な廊下を走る様に歩いて行く。病室の前に立つた。しんとしてゐる。息づまる様な思ひでドアを開けた。やつぱり間に合はなかつた。あんなに苦しんだのに死顔は生けるが如く穏かだつた。思はず聲をたて、泣いてしまつた。サイレンの音が犬の遠吠の様に余韻を引いた。

告別式の前日、これも今は亡き友の親友の一人の且と、おくやみに行つた歸途、しみ〜と二人で山本君の事を語り合つた。

片野武治郎君

君は昭和五年三月、浦和第二小學校を卒業し同年四月、浦和中學校に入學、昭和十年三月、第三十六回生として本校を卒業された。

君は資性温良快活にして成績優良運動を好み、陸上競技、庭球等に於て抜群の技倆を發揮した。又運動には極めて熱心にして放課後、君の姿を運動場に見ざることもなく、其の烈々たるスポーツ精神は全校の模範となすに足るものがあつた。

昭和十年四月、埼玉縣耕地課荒川左岸用排水改良事務所勤務を命ぜられ、更に昭和十二年五月には縣經濟部土木課勤務に轉じ、精勵恪勤職務に盡瘁された。

昭和十三年五月二十七日、勇躍應召し、高田市獨立山砲聯隊島田部隊近藤隊に入隊、後九月二十七日、川口部隊太田隊本部附に編入せられて征途に就き、後川口部隊小笠原隊本部附となる。

昭和十三年九月、大隊本部通信手として南支攻略の征途につき、十月十二日、バイヤス灣上陸以來、旬日に亘る炎熱惡路を克服して廣東に入城、其の後各地の警備につきや諸種の勤務に精勵して克く職責を全うし、其の功績優秀なるものが

「山本君は温和な優しい人だつたよ。軍人になつたばかりの時に、『どうも大學出た人等が一兵卒として來てゐて、余り色々やつて呉れるので、氣の毒だから禮を云はうと思つても、將校は兵隊にさう丁寧にしてはいかん、と云ふんでね。』つて云つてゐたことがあるよ。あゝそれから何時か山本君が新大久保の驛に下りた時、お母さんに連れられた白系露人と思はれる子供が、山本君を見て余り、『兵隊ちゃん失敬、兵隊ちゃん失敬。』つて云ふものだから、答禮してやつたらとても喜んでさうだが、如何にも山本君らしいじやないか。」

「さうだね……此の邊り山本君の足跡が随分残つてゐるんじやないか。」二人の眼は草で斑な道に吸付けられた。不圖、顔をあげると、白けた夕空に枝もまばらな林が寒々と立つてゐた。

さう、彼とは附屬小學校以來の親友だつた。彼は力が強いと云ふので、いたづらだつた私は、「山本勘助」と綽名を付けた。略して、「ヤマカン」と呼ばれてゐた。此の「ヤマカン」と云ふ綽名が馬鹿に懐かしく思ひ出されて何となく「ヤマカン」と呼んでみたくなつた。で林に向つて心の中で思ひ切り、「ヤマカーン」と喚んだ。が木々の枯葉が、「カサカサ」と鳴るだけだつた。……山本は死んだのだ。……

しかし、未だにどうしても彼が此の文を書いてゐる中にも「やあ。」と尋ねて來て呉れさうな氣がしてならないのであ

あつた。昭和十四年、廣東歸還後駐留地に於て警備勤務中十月十三日、腸チフスに冒され入院加療中、藥石その効なく遂に十月二十六日、野戦病院に於て永眠されたのである。前途猶春秋に富むの身を以て、邦家の爲遂に護國の鬼となる。誠に哀痛の極みである。

甲 辭 (寫)

故陸軍砲兵上等兵片野武治郎君ノ英靈ニ告グ 君ハ昨年九月大隊本部通信手トシテ南支攻略ノ征途ニツケリ 十月十二日バイヤス灣上陸以來旬日ニ亘ル炎熱惡路ヲ克服シテ青史ニ輝ク廣東入城ノ榮譽ヲ共ニセリ 其ノ間獸醫ノ當番ヲモ兼ネ疲勞困憊ノ狀況ニ於テモ克ク熱心積極的ニ其ノ任務ヲ完ウセリ 其ノ後各地ニ駐留警備間克ク諸種ノ勤務ニ精勵シ以テ衆ノ模範タリ 過グル汕頭潮州攻略戰ニ通信兼將校當番トシ參加克ク職責ヲ全ウシ其ノ功績優秀ナリキ 廣東歸還後駐留地ニ於テ警備勤務ニ精勵申賜チフスニ冒サレ入院加療中軍醫戰友ノ手厚キ看護モ遂ニ其ノ効ナク野戦病院ニ於テ十月二十六日永眠セリ 嗚呼悲シイ哉 然レドモ君が英靈ハ永久ニ靖國神社ニ護國ノ神ト祭ラレ其ノ芳名ハ永ク竹帛ニ垂レン 本日慰靈祭ニ當リ一言述ベテ弔辭トナス 英靈庶クハ來リ亨ケヨ 昭和十四年十一月七日

川口部隊小笠原部 從六位 小笠原 六 男
隊長陸軍砲兵少佐 勳五等

井山重利君

君は昭和五年三月、與野尋常小學校を卒業して本校に入學昭和十年三月、第三十六回生として本校を卒業後、本校補習科を経て東京精密高等工學校を卒へられた。

君は資性温良篤實、家庭にあつてはよく父母に仕へ、我々に於ては學徳業に秀で全校生徒の模範であつた。

昭和十三年九月十八日、勇躍應召して中支派遣軍加藤部隊岩上隊に屬し、上海、九江、岳州と各地に轉戦、日夜軍務に精勵中不幸同年十二月十四日、急性腸炎に罹り、中支方面陸軍病院に入院、極力療養に努めたが藥石効なく、遂に昭和十四年二月十七日午前三時二十四分、脚氣兼マラリヤ兼急性腸炎に依り名譽の戦病死を遂げられたのである。

天、君に齡を假さず、前途猶春秋に富むの身を以つて護國の鬼となる。哀悼の念切々として盡さず、こゝに略歴を記して以て君が面影を偲ぶこととする。

井山重利君を憶ふ

第三十六回 神戸 禎一

井山君漢口攻略戦に殉ず。昭和十四年夏、井山君の計に接す。我等同窓の驚き如何計りなりき。君は昭和十三年九月應召爾來勇猛漢口攻略戦に参加され、漢口陥落を前にして昭和十四年二月羊樓崗に於て戦死さる。その果敢なる奮闘振舞が颯爽たる英姿が、眼前に髣髴として唯我等をして泣かしむる許りである。

唯々君が武運の彌久しからん事を祈りしに……。
今や君が英姿を見るに由なく、君が護國の神となれる羊樓崗の地に思ひを馳せ、遺影を偲びつゝ拙き一文を君の忠魂に捧げ以つて君が冥福を祈らんとす。

思へば今は昔……忘れんとし忘れる事の出来ないのは中學時代の追憶である。君は當時大宮から汽車で通學して居られた。元來資性温好、時にすると口數の少かつた君は獨り孤獨を樂しむといふ風があつた。一面温好な君の風貌は友達の誰彼なく温順に交はつて居られた。今でも君が汽車の中で鞆を下の方に下げて、打ち興じてゐる姿が目の前にうかんで何ともいへぬ氣持になる。

君は主に大宮から通つてゐた橋本君、熊谷君、澁谷君と仲好くして居られた。後になつて橋本君から聞いた話だが、中

學四年の三學期であつたとか。學期試験の準備で君の家の一室で四人が頭を揃へて試験の對策をした事がある。三君は勉強にも飽きて外へ出たのに、君は獨り軟弱な意志に負けず頑張り通した。君が温好な風貌の中にもかくの如き頑張り強い一面が窺はれる事は、何といつても君の眞の性格の躍如たるものがあると思はれた。この強き意志を以てしたら他日必ず爲す所あらんと期したりしに、かへすがへすも惜しい事をしたと残念に思ふ。

又ある時は君は非常に禮義正しい一面があつた。「親しい中にも禮義あり」との格言は君の場合によく當てはまる言ではなからうか。

中學時代の追憶は限りがない。君の追憶を緝けば緝く程涙が止めどなく流れ、ありし日の君が面影は忘れる事が出来ない。昭和十四年の夏、私は橋本熊谷の二君と共に君が母校たりし與野小學校の分校の町葬に行く。與野町は君が靈の爲に町葬の禮を以つてした。陸軍大臣の花環を始めとし、數々の君が武勳を飾る花環の中に、君の姿は埋つて居られた。君の姿が花環の向ふにある様な氣がして、どうしても君が死んだとは思はれなかつた。

祖國の爲に汨羅の鬼となる事は男子の本懐とするところである。君が忠魂の皇國の礎石となれることを言を俟たない。

今君が追悼文を草するに方り、萬感交々至り云ふべき事を

草しえないが、唯々君が御冥福を祈ると共に御家族の御健康を願ひつつ拙き筆を拙く次第である。

(十四年十一月二十三日)

佐々木正君

君は昭和十年三月、第三十六回生として本校を卒業後、逓信省管船局船舶試験所に勤務し且つ日本大學高等工學校に通學す。

君は資性剛毅闊達にして明朗快活、在學中は水泳部選手として我校の爲大いに活躍し、又成績優良にして常に朋友間に思慕せらる。

昭和十三年九月、勇躍應召、同十四年五月、渡支、ついで同十五年一月二十日、山西省長治縣東掌村南方約一杆閉鎖曲線高地の激戦に参加奮戦中、不幸敵迫撃砲彈炸裂の爲名譽の戦傷を負ひ、一時は経過良好なりしも遂に同年二月二十七日午前二時、潞安第一野戦病院に於て永眠せり。

君は其の東掌村の戦闘に於て敵銃砲火の一齊射撃、手榴彈の炸裂を物ともせず敢然先頭に立ちて進み、眞先に敵陣地に躍込み、之が占領の端緒を開きしといふ。其の大膽無雙、豪勇絶倫なる、誠に部隊の模範たり。

噫、茲に有爲の士を喪ふ。哀悼極りなし。

う信じるであらう。

あれを思ひこれを想ひ浮べると、君が戦傷死したとは信じられず、今でも手紙を出せば返事が来さうな気がする。浦和へ歸れば、町でふと會へさうな気がする。

「今度會ふ時は靖國神社で。」笑つて云つた君の言葉が、今でも聞える。

佐々木正君を偲ぶ

第三十六回 河崎吉郎

佐々木正君北支山西の激戦に殉ずの悲報を受けた時、あの元氣な姿が先に浮びどうしても信ぜられないのだつた。そして今も尙事實を否定したい氣持が先に立つ。

浦和の驛頭に無言の凱旋を迎へた時、兵の胸に抱かれたあの元氣な寫眞に對面した時、出征前より遙に太つて而も、これから支那兵をやつつけるぞといつたあの氣概ある表情に接した時、よくやつてくれた。よくやつてくれた。自分は只感涙に胸がせまるばかりだつた。

身を鴻毛の軽きに置き、東亞新秩序建設の聖戦に護國の鬼と化するは、大和男子の常とは云ひ乍ら、あまりにも慌しい人生であつた。無知蒙昧頑迷なる山西の一支那兵の爲に、一共產匪の一彈に斃るとは。個人としての悲憤は盡きない。

追憶

第三十六回 矢島徳美

佐々木君は生來明朗にして濃厚な又着實なる人であつた。過去長い間學びの友として親しき君を他界に送つた事は悲しむべき事ではあるが、しかし君一人ならず、一度日本男子とし此の聖戦に召された以上戰場に捨てる命は已に覺悟せねばならぬ。

君は中學を終へた時滿洲の地に職場を求めた事があつた。しかし病を得わずが一月たらずして歸つて來た。その時君は「友人に會はせる顔がない。」と云つてゐた。「病氣では仕方がないではないか。」と、僕は君を慰めた。

それも今は、はかない夢となり、立派に國家の御役にたち異國の地に、多くの戦友に見守られながら其の立ち昇る白煙と共に、遠く故郷へ歸つたであらう。君の英靈はさぞ満足であらう。

中學へ入學して最初、僕の家を訪問してくれたのは君だつた。

一緒に繪友達として遊んだ事もあつた。

應召前の或る夜家に來て、「僕ももう召集令が来さうなものだ。」と云つた事があつた。「その時は君の事だから、何時も眞先に突込むだらうな。」と僕は答へた。

君の性質を思ふ時、君の活潑な言葉を聞く者は、誰でもさ

今は昔、共に學び、共に楽しんで中學時代の回想の一文をあの淋しい凱旋の英姿を偲びつつ、山西省長治縣閉鎖曲線高地に眼する君が英靈に捧ぐ。

君は昭和六年の夏、中學二年の時、大日方先生が初めて浦中に競泳の爲の水泳部を創設された時、眞先に入部された一人だつた。その當時の浦中水泳部には六、七名の少數しかゐなかつた。君を知つたのは翌年のシーズンの初め、私が入部した時からである。爾來浦中水泳部の爲君は部員一同と全く涙ぐましくも、その搖籃時代を建設し母校の名譽の爲戦つて來たのだ。

君は明朗快活にして、圓滿なる人格の所有者であつた。水泳に於ては君は短距離が得意であつた。そして中學三年の若輩の時から既に相當な記録を續出してゐた。これは天才的な素質が第一にものを云つてゐた證據であらう。三年の夏初めて信州野尻湖で大日方先生のもとに競泳の爲の第一回の合宿練習が行はれた。浦中の水泳部が競泳の世界にデビューしたのもこのシーズンからであつた。又浦高のブルーの都合が悪く大日方先生初め、自轉車で廠の車輛工場の池、(當時は工場の指定地として現在の様に工場はなく原つぽであつたが)の兩岸に簀子板を張りターニングの練習をやつたり、又兩岸五十米を麻のロープでコースを作りクロールストロークで五千米のロングを毎日やつたものだつた。當時は耐暑修業週

間の時だつた。午前の授業が終ると、あの鹿島台の舊校舎から當時出来たばかりの國道を皆で自轉車を連れ、あの大プールにたどりつく。日蔭一つない原つばに着物を抜き、皆でロープを張つては毎日太陽が傾く迄泳いだものだつた。佐々木君、小杉君、森谷君（今は三人共に故人となつてしまつた次第だが）浦山君あたりは、この時代に猛烈に鍛へ上げたものだつた。浦中水泳部が北關東の競泳界に頭角を現す様になつたのも、この年の一回の苦しい痛々しい程の精進のお蔭であつたのだ。小杉君初め藤橋、山崎兩君が伸びて行つたのもやはり佐々木君の先天的備つたすばらしいクロール泳法と毎日くぐりの精進と、常に水泳部の楽しい團結の生活をリードしてくれた快活さのお蔭であつたのだ。あれ程無理な程の苦しい猛練習をやりながらも、誰一人として不服不平なく自主的な指導が行はれて行つたのを想起すれば、君の明かなる人格の力がどれ程支配的であつたかが判ると思ふ。

翌年、即ち我々が五年になつて覇權を遂に掌握する事の出來たのも、この融和の精神力のお蔭であつたと考へる時、精神的に君のレゾナントールが如何に尊く且つ偉大なるものであつたかが示されるであらう。

桐生高工主催の北關東中等學校撰手權大會には、前年の讐敵の高崎中學を制し、浦中水泳部最初の覇權を手にし、又明治神宮プールに於て又縣下の水泳大會に於て、又高師カー

逢ふ既に別れを争む」の人間永世不易の感傷は、君を失つた現在今更ながらに痛ましいものとしてひしくと胸に迫るのである。

君への追想も今は唯私を苦しめこれ以上に筆の進まない次第である。こんな氣持を感慨無量と云ふのであらうか！

今は只君が冥福を祈るのみ！

やがて重慶も陥落するであらう。君と同窓の片野武太郎君そして井山重利君も幾多の英靈と共に、莞爾として朔風すさぶ大陸に聖戰の華と散つて行つた。或ひは既に三人の魂は共に會ひお互に戰功を自慢し合つてゐるのかも知れない。我々も亦近き將來に長期抗戰下、暴支膺懲の軍役に従ひ、或ひは三君にお會ひする様になるかも知れない。或ひは又君達の尊い努力により數年を俟ずして、東亞永遠の平和が達成されるかも知れない。

現に王精衛氏を首班とする、新國民政府が樹立され、着々と君達の努力は酬いられたのである。

我々銚後にある同窓生は君達の尊い犠牲に對して、前途尙遼遠、且多難の將來の重い責任を感ずると共に、君達の壯烈無比勇猛果敢なる盡忠報國至誠の精神と行爲を鑑とし、動もすれば弛み勝ちな驚馬に鞭つて、現在我々の前にあたへられたる使命に邁進せん事を誓ふ次第である。

この書齋の窓から見える佐々木君の家の前は、今はもう武

ニバルのリレーレースに、又浦高主催の關東中等學校の大會に、夫々優勝、或は各種目に相當の成果を擧ぐる事が出來たのも、實に大日方、三浦兩部長先生の盡力のもとに我々部員がその搖籃の時代から、一致團結して營々努力精進の結果であつた事を思ひ、今更に君の長年に亘る尊い努力純粹な愛部愛校の精神の偉大さに胸を打たれる次第である。

あの熱烈なる精神がそのままに愛國の精神となり、盡忠報國の魂として、今回の北支の奮戰に具現された次第を、西田部隊長の報告文より知り更にその感激は深い。

君のこの八年前の浦中水泳部搖籃時代から一貫して流れ來つたこの精神こそ、水泳部の精神として、同時に浦中の精神として、永久に流れて止まないであらう。近きは君と親交せし同輩の人々の胸に、そして後輩の人々の胸に、我々の「たあちゃん」として。さうだ。君はよく同輩から、又後輩の部員達から「たあちゃん」と親しまれてゐた。八年前から。そして現在も、又將來も、我々部員生活を共にした者一同からは「たあちゃん」である。永久に水泳部の「たあちゃん」であり、浦中の「たあちゃん」であり、護國の勇士「たあちゃん」である。

二月二十七日、〇野戰病院に於て遂に戰傷死されてから早くも五ヶ月の月日を過去としてしまつた。

「人生の愛しさは、よるすのもの生るる既に死を指さし、相

藏野の初夏の景觀で、丁度夕陽が國道の森の彼方に没せんとしてゐる。

水泳着やタオルを肩に、毎日一緒にプールに通つたあの國道も、相變らず自動車走つてゐる。

梅雨模様空も霽れ上つて、今日の夕陽は特別に綺麗だ。君が眠る山西の高地にも、この美しい夕陽が没してゐるだらう。今は唯君の冥福を祈るのみ！

永へに安らげく眠り給へ君が英靈よ！

昭和十五年六月三日記

第三十六回卒業生 河崎吉郎

記

以上追悼記事編輯に當りまして、種々參考資料を御貸與下さいました御遺族の方々には心から御禮申上げると同時に、編輯の都合にて材料を取捨いたしました點、幹事努力の力不十分の爲記事に多少の長短の御座います點を御詫び申上げます。

尙佐久間、本田、片野三君の追憶文はそれと同期生の二三の方々にお頼みして置きましたが御都合にて編輯の間に合はず誠に残念に思つて居ります。

末筆乍ら追悼文御執筆の會員諸君には御多忙の處を誠に有難う御座いました。厚く御禮申上げます。

索引 (正會員)

一凡例

- 一、氏名の配列は五十音に據る。
- 一、氏名の排列上使用假名遣は文字の音訓共に總て表音假名遣に従ふ。其の用例一斑は左の如し。
- イ、エ、オと發音する井、ヒ、エ、ヘ、ヲ、ホ等はア行音に屬せしむ。
- 長音はウを以て表す。
- 長拗音は凡てヨウを以て表す。
- 濁音は相當清音の次に排置す。
- 撥音(ン)を有する音はワ行音の次に置く。
- 一、氏名排列上同音異字の頭字は畫少きものを前にし多きものを後にす。
- 一、^{ワ、イ、カン}神田・神田の如く頭字同一にして頭音の同一なるものは亦同所に集録す。
- 二、氏名の頭字三音なるものは當該各部の最後に排列す。

姓名卒業回数	姓名卒業回数	姓名卒業回数	姓名卒業回数
我妻 元雄 38	安部 勳 33	安部 博 31	安部 吉男 30
安東徳太郎 14	安藤 因治 6	安藤喜一郎 10	安藤 利男 36
安藤 肇 41	足立 良瞬 30	足立 利夫 40	阿久津美兼 35
阿佐見正一 31	阿佐見嘉男 38	阿武 二郎 6	阿部 正一 32

阿部 正五 35	相澤 静治 19	相澤 哲夫 41	相川 宗治 28	相川 曹司 34
相崎徳太郎 34	相原 憲三 9	相澤 親雄 39	相島 直一 36	
會田莊次郎 5	會田平八郎 16	會澤 富雄 30	會田 康二 36	
青木 悦郎 22	青木 覺三 14	會田 彌平 20	饒庭郁之助 5	
青木 茂 36	青木 誠壽 7	青木圭太郎 32	青木孝二郎 37	
青木 寛 38	青木 政治 18	青木 昌包 34	青木 信武 23	
青木 洋 9	青木 玲次 37	青木 弘 41	青木 保男 38	
青葉 勇二 20	青野 文彦 41	青柳 包吉 11	青葉 英五 31	
青山 好藏 13	青山 一雄 39	青山 正夫 41	青山 榮一 27	
赤尾 豊秋 12	赤羽 滿 41	赤松 正夫 41	赤尾 省三 2	
赤松 稔 7	赤松 幹美 37	赤松 植美 40	赤松 則英 28	
赤嶺 剛 36	秋池 潤 25	秋庭 正三 33	赤嶺 泰士 32	
秋庭 福藏 29	秋葉 敏助 36	秋葉 保廣 20	秋葉 賢三 26	
秋松 宗久 27	秋元 圭之助 27	秋元 武男 23	秋松 正一 32	
秋元 房雄 28	秋元 富三 8	秋本 幸平 23	秋元 貞三 24	
秋山 定雄 29	秋谷 實 15	秋谷 良男 17	秋山 英一 6	
稲山通太郎 35	稲山 次郎 24	秋山 勳 35	秋山雄太郎 26	
淺井 清 24	稲山 光男 37	明田 博 31		
淺井 清 24	淺井 長康 6	淺井 武七 40		
淺香 儀作 26	淺香 榮 36	淺香利喜太郎 14	淺香 榮一 33	
淺子 薫 4	淺子勝三郎 24	淺子 俊一 29	淺子 英 25	
淺子 昇吉 9	淺子 雄 28	淺子 又男 23	淺子 肇 35	
淺子 龍次 38	淺田 洋一 23	淺野 四郎 33	淺野 信一 7	

飯塚 孝司 23	飯塚 正治 27	飯塚 正敬 28	飯塚 昭 34	石川 清隆 15	石川 久次郎 35	石川 光三郎 11	石川 幸三郎 14
飯塚 一二五 35	飯塚 隆雄 34	飯塚 史郎 39	飯塚 榮一 20	石川 貞一 27	石川 俊元 32	石川 夏吉 30	石川 信友 16
飯野 美太郎 17	飯野 富雄 27	飯野 松一 25	飯野 道 13	石川 惣隆 25	石川 彪 35	石川 誠 9	石川 裕 38
飯野 融 7	飯野 良佐 11	飯野 三郎 17	飯山 香雄 38	石川 正夫 26	石川 光三 27	石川 正三 32	石川 安造 30
飯村 繁 34	家里 周 20	家里 正信 33	池内 一郎 2	石川 喜夫 33	石川 重賢 41	石川 幸一 39	石川 登 36
池内 三郎 8	池内 茂 6	池内 弟二 5	池内 政一 17	石川 芳郎 40	飯尾 政夫 6	飯尾 彰 19	飯尾 正紀 14
池内 英次 34	池上 寛一 9	池上 長吉 8	池上 俊郎 30	飯島 泰輔 23	飯島 孝 25	飯島 文夫 36	飯島 悦 10
池田 隆一 11	池上 隆夫 38	池田 保 40	池田 榮次 28	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
池田 格次郎 32	池田 潔 30	池田 四郎 11	池田 新一 23	飯島 泰輔 23	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
池田 季之助 26	池田 善次郎 33	池田 辰男 35	池田 俊夫 30	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
池田 俊之助 8	池田 直矢 4	池田 仲次郎 28	池田 永宗之助 34	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
池本 洋一 40	石井 五十二 25	石井 英 31	石井 榮左衛門 15	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 一臣 30	石井 一彦 35	石井 勝一 15	石井 克巳 35	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 喜助 32	石井 清 3	石井 重喜 32	石井 賢一 36	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 幸 30	石井 重光 21	石井 卓 35	石井 治三郎 12	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 次郎 33	石井 敏夫 31	石井 利治 27	石井 利幸 31	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 保 6	石井 秀治 33	石井 正男 29	石井 正雄 21	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 昇 15	石井 正德 23	石井 正利 33	石井 紋次郎 14	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 正恒 24	石井 隆次 29	石井 良前 7	石井 良一 37	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 義治 31	石井 久雄 38	石井 彦久 38	石井 清 39	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 亮三 34	石井 桑次 40	石井 清 41	石川 晃武 32	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石井 周一 39	石岡 浩武 36	石岡 米壽 4	市川 功 36	飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41
石岡 利武 20				飯島 剛 39	飯島 光 1	飯島 四郎 34	飯島 春洋 41

淺野 安世 41	淺見 信愛 25	淺見 詮次 34	淺海寛太郎 9	井上 英 5	井上 良正 31	井上 義正 25	井上 幣二 38
麻生 弘 24	朝倉 省三 3	朝日 重勝 25	朝比奈一郎 39	井上 弘三 41	井岡 鐘 33	井口 憲治 20	井口 操 37
遊馬 隆治 16	厚川 周藏 19	厚川 清治 5	厚川 正身 18	井澤 良作 27	井澤 正一 39	井原 義助 1	井原 正作 4
厚澤 八郎 10	厚澤 冬吉 6	厚澤 茂吉 14	姉崎 徹郎 38	井原 誠一 15	井原 泰次 31	井原 達三 30	井原文次郎 28
天沼英一郎 26	天沼 鏡一 37	天沼 次郎 31	天野 一磨 1	井原 誠三 36	井原 省三 26	井原 哲 40	井本 盛吉 24
天野美都造 5	天野 賴義 16	天野 隆一 16	天野 正彦 34	井山 重利 36	井山 省三 26	五十嵐彦作 23	五十嵐勝爾 31
天野富士彦 40	天野 美男 40	天谷 隆一 16	雨森 武雄 33	五十嵐健次 25	五十嵐孝作 23	五十嵐作之助 7	五十嵐信夫 36
雨森 浩 28	雨森 雅忠 31	網野 一壽 1	網野 一郎 30	伊地知弘毅 36	伊地知三郎 28	伊丹 進 11	伊丹 寅雄 8
荒井 一郎 19	荒井 方平 19	荒井 亮 26	荒井 男 34	伊藤 英次 33	伊藤 公夫 32	伊田 信 40	伊藤 章 37
荒井 巖 35	荒井 益藏 9	荒井 盛光 38	荒井 重幸 39	伊藤 喜一 22	伊藤 喜久雄 32	伊藤 嘉一郎 5	伊藤 薫 7
荒井 豊 41	荒尾 善雄 34	荒川 尚男 39	荒川 峰 2	伊藤 軍治 12	伊藤 弘完 37	伊藤 嘉一郎 5	伊藤 儀作 6
新井 菊二 13	新井 喜四郎 29	新井 清衛 10	新井 潔 20	伊藤 喜一 22	伊藤 喜久雄 32	伊藤 嘉一郎 5	伊藤 儀作 6
新井 清之 13	新井 欣治 16	新井 清一 27	新井 賢作 33	伊藤 三郎 35	伊藤 治三郎 11	伊藤 貞雄 31	伊藤 眞嘉 27
新井 眞也 33	新井 土郎 37	新井 武夫 30	新井 武雄 30	伊藤 信一 36	伊藤 信彦 28	伊藤 忠吉 37	伊藤 讓一 30
新井 玉作 24	新井 勉 32	新井 津芳 19	新井 濱翁 9	伊藤 芳郎 40	伊藤 英男 37	伊藤 秀吉 34	伊藤 長邦 35
新井 廣正 33	新井 文策 8	新井 文司 29	新井 平三郎 5	伊藤 秀雄 35	伊藤 政城 39	伊藤 元博 34	伊藤 清助 41
新井 光彌 22	新井 宗男 31	新井 保男 24	新井 保亮 29	伊藤 綏治 6	伊藤 信彦 28	伊藤 政吉 14	伊藤 恭雄 22
新井 康久 34	新井 利春 40	新井 啓治 40	新井 義夫 39	伊藤 長治郎 36	伊藤 信彦 28	伊藤 政吉 14	伊藤 恭雄 22
新居 正男 32	新居 浩 36	有賀 大八郎 41	有賀 康雄 24	伊藤 芳郎 40	伊藤 英男 37	伊藤 秀吉 34	伊藤 長邦 35
有賀陽一郎 37	有賀 大八郎 41	有住床之助 14	有住誠十郎 11	伊藤 泰輔 23	伊藤 光 1	伊藤 四郎 34	伊藤 春洋 41
粟木 正民 38	東 正雄 28			飯田 耕作 20	飯田 四郎 20	飯田 晶 35	飯田 新三郎 1
井上伊三郎 28	井上啓太郎 11	井上堅太郎 29	井上賢三郎 36	飯田 節 31	飯田 寅松 35	飯田 正美 23	飯田 猛也 34
井上 眞治 32	井上 蔵六 24	井上 忠次郎 15	井上 彦二 21	飯田 啓造 39	飯田 岩佐 41	飯塚 修 30	飯塚 吉司 13

市川 義光 38	市川 文穂 41	市川 博保 41	市來 乙純 36
市之川定彦 82	市之瀨 昂 28	市田 幸彦 39	井出 旭 32
稻垣甲子郎 18	稻垣 要 16	稻垣龜五郎 10	稻垣益太郎 1
稻垣治郎兵衛 36	稻深 修 26	稻田 耕作 32	稻田 繁 35
稻葉 榮治 37	稻葉 松次 27	稻葉彌之助 30	稻見 穎雄 6
稻見 克巳 11	稻見 越城 4	稻村香一郎 30	稻川 衛 41
今村宇之助 27	今井清次郎 2	今井 武成 37	今井 利弘 35
今井 正藏 23	今井 守之 30	今井 良夫 34	今井 義輝 32
今井 行俊 38	今井 茂 41	今井 久人 40	今泉 彰 27
今泉 榮政 23	今泉 清 37	今泉 周政 35	今泉 利政 11
今泉 政吉 21	今泉 陸一 8	今泉 清一 41	今泉 良政 39
今川 義雄 10	今宿滋一郎 33	今淵 泰次 37	今村 了 36
今村 里廣 10	今村 二郎 29	今村 全 32	今村 功 43
今西 誠一 39	入江 晴一 28	入江 龍夫 26	入江 敏夫 30
入野 正彦 40	岩井 榮一 33	岩井 清 37	岩井 仁 10
岩井 眞一 19	岩井 大明 32	岩井 武夫 29	岩井良太郎 22
岩崎 健三 19	岩崎 寛一 33	岩崎 敏一 33	岩崎 米治 14
岩崎 良平 24	岩崎 清 41	岩崎 政晃 39	岩崎 巖 38
岩田 邦太郎 38	岩田 健二 33	岩田 三郎 13	岩田 三史 10
岩田 正三 29	岩田 憲雄 14	岩田 基 22	岩田 清一 40
岩田 弘 40	岩田 俊 41	岩月 章 28	岩野 十郎 28
岩淵 春雄 33	岩本 詮一 18	岩本 武雄 24	岩泉 惟人 38
大岡 信親 36			

宇尾野宗尊 11
宇田 敏夫 31
宇津木定義 10
上田 守 14
上原 秀夫 41
上原 啓 31
植木 秀太 33
植木 晴一 38
白木 榮男 24
白倉 文次郎 15
内木 英二 28
内田 潤 36
内田 一朗 31
内田 正二 32
内田安太郎 38
内田 秀彌 23
内田 博三 26
内村 太郎 27
梅澤 九十九 38
梅津 庄造 39
海野 幸夫 30
漆原日出雄 39

宇賀神茂磨 31
宇田川隆廣 21
宇治 達郎 38
上田 伸也 40
上野 梅藏 19
上村 秀太 36
植西賢一郎 31
氏原市之助 6
白倉 吉三 27
白倉 米次郎 23
内木 憲次 8
内田 成穂 36
内田 奎翔 15
内田 太一 28
内田 登已久 29
内田 博三 26
内村 信之 36
梅澤 謙 33
梅本 兼吉 18
浦元 力時 26
海野 幸正 31

宇佐美 節 33
宇田川初太郎 22
上木 榮一 24
上床 篤雄 15
上原 啓 37
上村 牧夫 41
植西 繁三 37
白井 啓 33
白倉 静造 12
確井 晴雄 20
内水 清一 30
内田 駿一 37
内田 敬八 21
内田 恒治 36
内田 亨 37
内田 博宗 21
内田 平一郎 11
梅本 兼吉 18
浦元 力時 26
漆原愛三郎 1

宇田 平 24
宇田川半五郎 10
上木 嘉雄 12
上床 雄二 17
上原 雍 36
上村 元太 39
植野賢太郎 15
白木 信雄 36
白倉 房太郎 6
磨田 寛之 38
内木 義一 41
内田 晃 17
内田 繁由 4
内田 彦次郎 5
内田 彦二 28
内田 驥 40
梅澤 保 35
浦上 輝彦 39
漆原愛三郎 1

江(工)の部

江口 泰之助 21
江田 國孝 41
江口 眞弘 35
江刺 眞實 22
江口 爲藏 36
江連 盛雄 20
江口 禎彦 37
江京 善雄 8

江本繁三郎 5	惠藤智四郎 41	惠藤 仁三 39	海老原好雄 22
技松 敏邦 32	榎本幸之助 13	榎本 四郎 29	榎本 新平 14
榎本 莊平 25	榎本 武義 19	榎本 忠 3	榎本 忠孝 33
榎本茂兵衛 19	榎本 桃太郎 26	榎本 吉英 27	榎本 喜行 27
遠藤 力蔵 11	遠藤 勝治 84	遠藤 福壽 39	遠藤 周雄 81
遠藤 英六 38	遠藤 鑑三 36	遠藤 孝一 25	遠藤 主計 6
遠藤 健吉 36	遠藤 文吉 33	遠藤 丈四郎 30	遠藤 盛一 郎 29
遠藤 徳世 32	遠藤 虎雄 23	遠藤 陽三 37	遠藤 盛策 12
遠藤 隆策 20	遠藤 五郎 34		
青鹿 衆治 37	小川 管吉 5	小川 正三 33	小川信太郎 24
小川 泰一 31	小川 照次 33	小川 洋 37	小川 薫 38
小川 平義 28	小川 勇司 30	小川 義清 24	小川 良平 29
小川 博久 34	小川 義春 39	小川 麟太郎 39	小川 雅也 41
小笠原龍男 34	小笠原 裕 41	小川 健太郎 39	小口 静夫 26
小口 浩一 40	小口 俊明 39	小島 宇一 29	小島 正吉 31
小島 友博 27	小澤 誠一 30	小島 秀夫 36	小高 岩夫 28
小高 武雄 23	小高 信道 25	小高 茂 34	小高 二郎 41
小沼 敬裕 40	小野 毅 15	小沼 一郎 36	小沼 義久 41
小野澤元治 35	小野里公晴 39	小野 拓章 40	小野澤哲夫 34
小花 悖 23	小花 四郎 28	小花 鐵夫 35	小野里公守 41
小篠 輝雄 40	尾上 一男 30	尾熊金太郎 11	小知 博 41
尾熊 殿雄 13	尾熊彦太郎 6	尾崎 金時 11	尾熊滋三郎 19

尾崎 太郎 24
淡見 啓成 22
大井 光一 27
大井 正夫 37
大川 明 10
大河原良雄 37
大久保松彦 34
大熊 勇 38
大熊 壽平 35
大熊 治郎 18
大熊 丈夫 11
大熊 充哉 22
大里 忠二 20
大澤 純一 37
大澤 誠一 41
大島 卓爾 7
大島 英夫 32
大島新太郎 40
大瀧久太郎 25
大谷 義夫 33
大谷 隆文 27
大附 左夫 25
大成 恭 28
大真 清藏 5

尾崎 保次 35
淡見 悠雄 31
大井 俊夫 27
大泉 米吉 29
大川 洋 36
大木健二郎 34
大久保 敏 41
大熊 一雄 19
大熊 正一 4
大熊 季雄 24
大熊 利太郎 27
大熊 安治 25
大熊 一郎 35
大澤 龍雄 9
大澤 圭字 24
大島 呈吉 33
大島 良徳 29
大島 健次 35
大隅 健夫 35
大隅 隆一 20
大島 貞七郎 14
大島 貞七郎 1
大島 隆一 20
大隅 眞 30
大谷 英仁 32
大谷 隆昭 20
大塚 俊一 30
大中 健三 28
大成 功 34
大野 郁三 15

尾住 秀 35
織田 正治 11
大井 弘夫 30
大泉 平八郎 40
大川 昌 38
大木 啓雄 37
大久保光秋 40
大熊 貫二 12
大熊 正五郎 12
大熊 善四郎 27
大熊 秀彦 30
大崎 忠一 11
大澤 三郎 30
大澤 禎郎 17
大澤 正七郎 14
大島 貞七郎 1
大島 隆一 20
大隅 眞 30
大谷 英仁 32
大谷 隆昭 20
大塚 俊一 30
大中 健三 28
大成 功 34
大野 英 25

尾住 秀雄 26
織本 剛一 25
大井 秀夫 34
大内 芳郎 36
大川 三郎 41
大久保清伸 14
大熊 郁 37
大熊 健三 27
大熊 正三郎 32
大熊 宗作 10
大熊 正長 1
大崎 茂 31
大澤 俊一 36
大澤 慶廣 9
大島 宗平 27
大島 治雄 33
大島 正喜 41
大田 眞弘 31
大谷 保治 31
大谷 隆武 33
大塚 隆五 1
大成 明 31
大真 清衛 28
大野 榮三 1

勝 正一 38	勝 信次 39	門屋 秀雄 10	門屋 守二 17
門井 四行 39	金井 庄一 29	金井 尚夫 28	金井 保善助 5
金井 塚隆治 37	金井 塚和夫 40	金久保 茂 36	金久保 萬藏 41
金杉 松次 14	金森 一雄 26	金森 勝三 12	金森 正三 33
金森 有吉 15	金森 敏 34	金森 剛敏 39	金森 康次 28
金谷 敏郎 31	金谷 敏二 38	金勝 敏夫 34	金谷 圓藏 17
金子 表 37	金子 秋藏 37	金子 敏 19	金子 一郎 30
金子 活二 37	金子 一雄 37	金子 揆一 22	金子 菊次郎 17
金子 吉衛 23	金子 清 31	金子 國男 28	金子 賢太郎 33
金子 幸治 29	金子 作藏 3	金子 作太郎 13	金子 三郎 33
金子 武雄 9	金子 今一 28	金子 七五三 35	金子 番 34
金子 忠次郎 22	金子 力 29	金子 恒治 15	金子 德一 18
金子 德衛 35	金子 長衛 2	金子 仁三郎 35	金子 晴信 6
金子 秀夫 21	金子 寛 21	金子 文左衛門 4	金子 實 18
金子 三四吉 36	金子 安太郎 30	金子 贊雄 29	金子 義行 7
金子 良平 36	金子 柳藏 3	金子 禮爾 27	金子 恭三 34
金子 東三郎 34	金子 幹雄 29	金子 幸司 41	金子 久 39
金子 博 39	金子 竹三 23	金子 幸司 41	金子 久 39
金子 憲一 38	金子 駒治 37	金子 充夫 37	金子 義三 34
神尾 勝正 38	神山 晃一 33	神山 義郎 29	神山 彦三 38
神山 吉雄 37	神谷 壯六 41	神谷 義郎 29	神山 裕一 28
神田 樹樹 28	神谷 敬一 40	神谷 勳 15	神田 惠吉 32
鴨田 秀次 17	鴨田 正治 27	鴨田 愛三 40	鴨田 俊郎 25

岸川 鐵太郎 27	岸 武信 30	岸 敬 41	岸 和夫 40
岸 嘉信 27	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 正文 34	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30
岸 武信 30	岸 徹 4	岸 久由 38	岸 武雄 30

大野 憲司 35	大野 五郎 35	大野 登 34	大野 善敏 36
大野 三郎 32	大野 捷助 24	大野 泰三 15	大野 坦治 17
大野 徹 20	大野 信行 30	大野 弘 3	大野 用博 37
大野 祐 24	大野 頼介 38	大野 縁一郎 6	大野 富司 39
大野行太郎 41	大野 宗次郎 40	大野 堅吾 40	大野 淳一 3
大庭 弘 28	大橋 榮後 30	大畑 平 32	大畑 春男 18
大畑 仁男 26	大畑 廣吉 10	大畑 正男 9	大畑 專一郎 38
大原 万平 25	大原 浩 39	大村 寛造 6	大室 新吉 6
大室 莊作 26	大室 彌重 9	大森 三郎 36	大森 正三 40
大林 博 40	大矢 節 32	大谷 木六郎 5	大湯 進 40
太田 耕 28	大田 稅 38	太田原 宏 36	岡 正 31
岡崎 光衛 36	岡崎 義俊 31	岡崎 十次 41	岡崎 三郎 13
岡崎 德衛 18	岡崎 晴典 41	岡崎 隆明 41	岡島 盛三 21
岡上 孝 37	岡上 和雄 39	岡田 章雄 27	岡田 勇 26
岡田 喜八郎 37	岡田 佐吉 35	岡田 武 20	岡田 長藏 12
岡田 德輔 5	岡田 光吉 4	岡田 元茂 3	岡田 義夫 10
岡田 讓 34	岡田 久平 40	岡田 知已 32	岡田 潤一 40
岡野 藤五郎 29	岡野 博邦 34	岡村 啓介 37	岡村 繁 29
岡村 藤次 18	岡村 昌夫 30	岡村 實 30	岡村 芳男 22
荻島 忠治 26	荻島 見江 33	荻島 隆正 13	荻島 滿之助 13
荻島 忠志 8	荻島 良三 8	荻島 隆一 34	荻島 榮藏 4
奥田 安喜藏 33	奥田 重藏 33	奥田 重平 30	奥田 重次郎 27
奥田 政治 27	奥富 幸祐 7	奥村 敏次 25	奥村 道彦 33

押象 正廣 35	押田 太郎 15	押田 越夫 37	押田 平次郎 32
押田 義章 37	落合 健 32	落合 信 41	折原 勳治 38
折田 兼完 32	折原 正 30	折原 量平 32	折原 勤治 38
思田 邦太郎 40	思田 禮二 38	恩藏 一郎 32	長田 泰彦 38
貢地 勇 40	貢地 敏夫 39	及川 紀一 40	
加賀崎 義太郎 21	加藤 勝二 27	加藤 勝治 30	加藤 貞良 24
加藤 重治 31	加藤 次郎 24	加藤 信一 3	加藤 清一郎 21
加藤 清治 10	加藤 俊平 36	加藤 總一 30	加藤 定吉 24
加藤 登一 13	加藤 勝藏 29	加藤 寅藏 12	加藤 房吉 20
加藤 政雄 20	加藤 芳男 21	加藤 克巳 34	加藤 武夫 34
加藤 達男 34	加藤 春雄 30	加藤 秀雄 36	加藤 浩 40
加藤 徳成 40	加藤 新一 40	加藤 義雄 38	加藤 操 38
加毛 良 31	加藤 國雄 26	加藤 義雄 38	加藤 操 38
鹿取 豊彦 34	鹿山 壽作 1	鹿取 一男 30	鹿取 一男 30
鹿取 三郎 24	鹿山 壽作 1	鹿取 一男 30	鹿取 一男 30
鹿取 三郎 24	鹿山 壽作 1	鹿取 一男 30	鹿取 一男 30
鹿取 三郎 24	鹿山 壽作 1	鹿取 一男 30	鹿取 一男 30
鹿取 三郎 24	鹿山 壽作 1	鹿取 一男 30	鹿取 一男 30

岸野 興賞 3
北 雅夫 22
北澤 和夫 19
北島 猛 32
北西 隆三 13
吉川 靖 33
清宮 信吉 26

久保 詰雄 9
久保田 博 40
草刈 忠 26
草刈 義治 23
熊井九二也 36
熊谷 徳巳 28
熊木辰太郎 5
倉田 浩 40
栗原 健一 21
栗原 周治 34
栗本 瑛 35
黒澤 三郎 21
黒須 浅右衛門 14
黒須 義松 8
黒田 誠 8

久保 忠夫 13
久米小三郎 13
草刈 轅 6
國谷錦之助 25
熊井 勉 72
熊谷 峻 39
熊木 良平 35
倉田 敏郎 39
栗原 猪一 21
栗原 脩造 18
栗原 忠道 36
暮田 治 28
黒澤 忠治 39
黒須 一郎 35
黒住 一夫 32
黒谷千代三 40

岸村 惠生 37
北川 宇吉 12
北澤 喜作 29
北島龍之介 35
北村 清 20
清宮 一郎 12
清宮 末吉 37

久保 宇一 34
久米 信雄 32
草刈 和 38
國谷 助七 6
熊谷 永直 36
熊木 重雄 28
倉木 英 30
倉持 峰吉 4
栗原 覺太郎 7
栗原 光次 23
栗原 秀二 40
栗原 巖 25
黒澤 理一 36
黒須 春雄 36
黒田 榮藏 30
桑原 順弘 25

岸井 孝次 38
北川 武保 26
北澤 正巳 15
北田 豊 4
北村 晴雄 6
清宮 榮一 34
清宮 多一 8

久保村 茂 31
日鼻次郎作 9
草間 幹夫 29
國谷 男也 5
熊谷信太郎 21
熊木 昂 32
倉田 春三 29
倉持 正一 41
栗原 欣一 31
栗原 隆治 32
栗原 静雄 39
黒澤 好治 24
黒澤 正彦 38
黒須 政之助 28
黒田 清雄 15
桑原 辰夫 34

岸上 丘 41
北澤 怡佐雄 28
北川 重治 32
北西 卯三郎 24
北見 重弘 41
清宮 三郎 15
郷塚 忠男 33

桑原 弘 35
小池 高之進 33
小池 久武 34
小泉 長六郎 16
小泉 文彦 39
小暮 義治 38
小島 愛助 11
小島 喜八郎 36
小島 晋一 36
小島 寛人 33
小島 義元 25
小島 知行 38
小西 勇 37
小沼 好四郎 30
小沼 義雄 26
小沼 啓一 32
小林 昇作 6
小林 憲夫 37
小林 芳雄 9
小林 眞夫 37
小林 文雄 39
小林 三郎 40
小峯 友吉 35

桑原 威二 33
小池 剛 30
小泉 勝治 23
小泉 雅由 21
小河原 修 35
小樽 辰夫 36
小島 嘉幸 36
小島 慶三 22
小島 鼎五 8
小島 正雄 33
小島 龍一 37
小島 一馬 39
小西 忠正 41
小沼 達 22
小沼 章之 9
小沼 謙次郎 20
小林 謙次郎 20
小林 信助 34
小林 平七 28
小林 隆福 6
小林 道夫 34
小林 守利 40
小林 盛道 40
小峰 正一 31

桑原 通夫 38
小池 源吉 36
小泉 好一 22
小泉 勝彦 34
小暮 正一 31
小坂 秀治 37
小島 嘉基 36
小島 幸平 22
小島 豊義 31
小島 正之 3
小島 隆二 38
小寺平太郎 10
小針 寛司 33
小沼 文彦 34
小沼 一郎 23
小林 次郎 35
小林 隆 26
小林 正雄 27
小林 一雄 34
小林 三男 36
小林 勇 38
小牧政之助 18
小峰長三郎 28
小峰彌三郎 4

窪田 正 40
小池 博 25
小泉七郎右衛門 6
小泉 三郎 41
小暮 達次郎 34
小崎 安藏 5
小島 覺道 15
小島 五六 26
小島 晴吉 24
小島 保佐 19
小島 幸雄 38
小寺 安明 27
小沼 清 37
小沼 十寸 越 25
小沼 邦明 11
小林 正一 32
小林 敏雄 29
小林 正雄 32
小林 健志 34
小林 道夫 39
小林 公夫 40
小峯 清 28

小峰 績 34
小室 敏治 31
小森谷 勇 31
小谷野信太郎 34
小山 傳 25
小山 安雄 33
木場 向次 29
古要 式郎 21
兒玉 一郎 37
五島 良徳 29
後藤 國一郎 39
瀧田 浩 31
國分 忠造 17
腰塚長三郎 6
駒崎 七三 18
駒崎 友治 28
駒宮 録郎 36
近藤 信一 20
近藤 昇 40

小宮 惣太郎 26
小茂島豊三郎 12
小谷野喜藏 3
小山 義士 25
小山 永久 32
小山 永邦 40
木場 宗次 34
古要 桂次 27
兒玉幸太郎 26
後藤 泰治 33
向野 顯一 7
鴻巣 茂 39
塚場 主計 37
告森 喬 1
駒崎 惣吉 33
駒崎 正胤 24
駒崎 惟信 27
近藤 知之 35
金野恭一郎 15

小宮 賢三 39
小森 寛一 12
小谷野 孝 22
小山 景三 5
小山 又一 26
小鮎 隆昌 39
古暮 専藏 3
古要 恒三 34
兒山 宏共 36
後藤 治郎 37
高塚得之助 18
肥塚 明智 8
越塚 武士 34
駒井 武司 35
駒崎 昌藏 7
駒崎 保胤 27
今野 元徳 8
近藤 博之 31
籠宮 横次 32

小室 進 36
小森 三郎 17
小谷野元七 31
小山 正一 35
小山 利一 7
木場 貞人 25
古峰 郭 33
兒山 光雄 34
兒山 董 37
後藤 博 39
後藤 縣 16
鴻田 稔 38
戀田 明 38
越沼茂利 13
駒井 清 39
駒崎 利治 30
駒崎 信造 40
近藤 昇一 38
近藤 好尚 29
郡山 武信 38

佐藤 弘二 38
佐藤 恭禮 40
佐野 政 2
佐野 圭司 41
佐野 秀逸 41
西東 昇一 31
齊藤 英 13
齊藤 貫一 15
齊藤 眞一 15
齊藤 眞六 15
齊藤 俊介 24
齊藤 次郎 7
齊藤 忠康 21
齊藤 龍明 32
齊藤 富一郎 17
齊藤 博文 37
齊藤 幹雄 12
齊藤 善次郎 34
齊藤 義明 41
阪 修 29
阪 初彦 36
坂井 一義 14
坂部 太郎 33
坂本 正太郎 39
酒井 八郎 15

佐藤 廣雄 38
佐藤 健彦 40
佐野 次郎 5
佐野 勉 22
佐山 秀一 39
西東 三郎 35
齊藤 修 31
齊藤 喜 32
齊藤 茂樹 32
齊藤 正二 23
齊藤 尊久 16
齊藤 達也 37
齊藤 長節 26
齊藤 初衛 32
齊藤 文男 20
齊藤 道次郎 21
齊藤 進 38
齊藤 喜一 40
阪 健 32
阪 靖 14
坂井 周道 37
坂卷 孝作 23
坂本 肇 40
酒井 康雄 38

佐藤 俊象 38
佐藤 榮一 39
佐野 貞一 20
佐脇 祥夫 21
道祖土一磨 20
齊藤 伊吉 23
齊藤 嘉顯 36
齊藤 喜久男 29
齊藤 司馬 24
齊藤 信一 33
齊藤 猛夫 33
齊藤 鐵熊 33
齊藤 勉 28
齊藤 弘 21
齊藤 正久 26
齊藤 宗憲 19
齊藤 榮二 41
齊藤 力夫 40
阪 正 31
阪 達 38
坂田今朝三 30
坂卷 謙二 36
坂寄 恒吉 22
酒井 達雄 39

佐藤 安正 40
佐野 敏三 36
佐野 良治 29
佐野 義夫 38
道祖土 調治 19
齊藤 勳 23
齊藤 兼雄 23
齊藤 義隆 28
齊藤 重三 17
齊藤 莊司 4
齊藤 正 26
齊藤 正三 33
齊藤 徳藏 21
齊藤 博 35
齊藤 増雄 29
齊藤 清次郎 34
齊藤 直久 41
阪 康 40
阪 勝 11
阪 清 11
坂田佐久一 30
坂本清次郎 13
酒井 澄 28
酒井 英一 40

岸野 興賞 3
北 雅夫 22
北澤 和夫 19
北島 猛 32
北西 隆三 13
吉川 靖 33
清宮 信吉 26

久保 詰雄 9
久保田 博 40
草刈 忠 26
草刈 義治 23
熊井九二也 36
熊谷 徳巳 28
熊木辰太郎 5
倉田 浩 40
栗原 健一 21
栗原 周治 34
栗本 瑛 35
黒澤 三郎 21
黒須 浅右衛門 14
黒須 義松 8
黒田 誠 8

久保 忠夫 13
久米小三郎 13
草刈 轅 6
國谷錦之助 25
熊井 勉 72
熊谷 峻 39
熊木 良平 35
倉田 敏郎 39
栗原 猪一 21
栗原 脩造 18
栗原 忠道 36
暮田 治 28
黒澤 忠治 39
黒須 一郎 35
黒住 一夫 32
黒谷千代三 40

岸村 惠生 37
北川 宇吉 12
北澤 喜作 29
北島龍之介 35
北村 清 20
清宮 一郎 12
清宮 末吉 37

久保 宇一 34
久米 信雄 32
草刈 和 38
國谷 助七 6
熊谷 永直 36
熊木 重雄 28
倉木 英 30
倉持 峰吉 4
栗原 覺太郎 7
栗原 光次 23
栗原 秀二 40
栗原 巖 25
黒澤 理一 36
黒須 春雄 36
黒田 榮藏 30
桑原 順弘 25

岸井 孝次 38
北川 武保 26
北澤 正巳 15
北田 豊 4
北村 晴雄 6
清宮 榮一 34
清宮 多一 8

久保村 茂 31
日鼻次郎作 9
草間 幹夫 29
國谷 男也 5
熊谷信太郎 21
熊木 昂 32
倉田 春三 29
倉持 正一 41
栗原 欣一 31
栗原 隆治 32
栗原 静雄 39
黒澤 好治 24
黒澤 正彦 38
黒須 政之助 28
黒田 清雄 15
桑原 辰夫 34

岸上 丘 41
北澤 怡佐雄 28
北川 重治 32
北西 卯三郎 24
北見 重弘 41
清宮 三郎 15
郷塚 忠男 33

桑原 弘 35
小池 高之進 33
小池 久武 34
小泉 長六郎 16
小泉 文彦 39
小暮 義治 38
小島 愛助 11
小島 喜八郎 36
小島 晋一 36
小島 寛人 33
小島 義元 25
小島 知行 38
小西 勇 37
小沼 好四郎 30
小沼 義雄 26
小沼 啓一 32
小林 昇作 6
小林 憲夫 37
小林 芳雄 9
小林 眞夫 37
小林 文雄 39
小林 三郎 40
小峯 友吉 35

桑原 威二 33
小池 剛 30
小泉 勝治 23
小泉 雅由 21
小河原 修 35
小樽 辰夫 36
小島 嘉幸 36
小島 慶三 22
小島 鼎五 8
小島 正雄 33
小島 龍一 37
小島 一馬 39
小西 忠正 41
小沼 達 22
小沼 章之 9
小沼 謙次郎 20
小林 謙次郎 20
小林 信助 34
小林 平七 28
小林 隆福 6
小林 道夫 34
小林 守利 40
小林 盛道 40
小峰 正一 31

桑原 通夫 38
小池 源吉 36
小泉 好一 22
小泉 勝彦 34
小暮 正一 31
小坂 秀治 37
小島 嘉基 36
小島 幸平 22
小島 豊義 31
小島 正之 3
小島 隆二 38
小寺平太郎 10
小針 寛司 33
小沼 文彦 34
小沼 一郎 23
小林 次郎 35
小林 隆 26
小林 正雄 27
小林 一雄 34
小林 三男 36
小林 勇 38
小牧政之助 18
小峰長三郎 28
小峰彌三郎 4

窪田 正 40
小池 博 25
小泉七郎右衛門 6
小泉 三郎 41
小暮 達次郎 34
小崎 安藏 5
小島 覺道 15
小島 五六 26
小島 晴吉 24
小島 保佐 19
小島 幸雄 38
小寺 安明 27
小沼 清 37
小沼 十寸 越 25
小沼 邦明 11
小林 正一 32
小林 敏雄 29
小林 正雄 32
小林 健志 34
小林 道夫 39
小林 公夫 40
小峯 清 28

須賀信二郎 10	須賀得四郎 26	須賀智三郎 33	須賀定雄 38
須賀正雄 40	須崎三三 27	須田嘉三 4	須田公二 33
須田邦太郎 11	須田俊 27	須田壬三 7	須田大三 33
須田忠次 22	須田宣夫 36	須田方一 27	須田正治 13
須藤春雄 27	須藤勇助 25	須藤高文 34	須藤弘毅 36
須永勝正 37	須浪浩治 25	須之部量寛 35	須之部量三 36
須關熹一 39	諏訪一此 35	諏訪忠三郎 31	諏訪彌太郎 33
砂田茂 28	砂浦章 32	砂浦幸太郎 24	砂浦寛 30
砂浦佳祐 39	砂崎榮吉 36	杉田敬一 33	杉谷隆成 12
杉村忠治 31	杉本糸士 31	杉本正雄 32	杉本貞雄 39
杉山一良 21	杉山庫三郎 14	杉山茂樹 12	杉山昌三 25
杉山章造 8	杉山胤太郎 23	杉森保 41	助川裕 29
鈴木清光 12	鈴木銀三 25	鈴木榮太郎 5	鈴木國雄 18
鈴木啓 22	鈴木敬治郎 16	鈴木國夫 35	鈴木國雄 33
鈴木四郎 33	鈴木四郎 36	鈴木源一 2	鈴木早苗 37
鈴木俊雄 23	鈴木治助 24	鈴木繁次郎 14	鈴木重久 19
鈴木精一 30	鈴木靜三 28	鈴木島吉 16	鈴木壽慶 20
鈴木武義 18	鈴木千代吉 34	鈴木清太郎 14	鈴木武男 25
鈴木近徳 17	鈴木敏雄 22	鈴木辰男 34	鈴木辰郎 35
鈴木信雄 35	鈴木富次 11	鈴木長七郎 20	鈴木貞一 37
鈴木齊 11	鈴木春江 2	鈴木豊蔵 4	鈴木時雄 37
鈴木方一 29	鈴木萬龜雄 16	鈴木開一 7	鈴木秀三 9
		鈴木正治 33	鈴木平八郎 24
			鈴木正光 32

鈴木又三 36	鈴木正明 37	鈴木康太郎 9	鈴木泰雄 7
鈴木隆 35	鈴木隆次 35	鈴木勲夫 38	鈴木泰雄 38
鈴木和信 40	鈴木靖明 89	鈴木令夫 39	鈴木三郎 41
強矢真 5	薄田敏男 21	菅沼利昌 41	菅野榮太郎 38
助川真 38	助川満 41		
セの部			
瀬田四郎次 32	瀬田英作 7	瀬田昌弘 40	瀬田千秋 16
瀬戸富猛 41	關榮市 31	關孔季 9	關武次郎 30
關正久 34	關龜之助 3	關利雄 38	關幸一郎 39
關鐵郎 39	關井清次郎 30	關井金五郎 38	關口貞雄 28
關正一 35	關口周 36	關口英朗 30	關口和多利 6
關和正 34	關口満紀 36	關口吉孝 34	關口久光 40
關田智男 25	關田保男 21	關田武 39	關根章 3
關根喜久松 29	關根健次 32	關根三郎 28	關根章吾 35
關根修 37	關根駿 37	關根順 37	關根健男 6
關根琢哉 33	關根敏雄 5	關根宏 9	關根正夫 33
關根基四郎 6	關根保雄 33	關根泰三 12	關根義治 20
關根隆藏 21	關根弘利 40	關根善次郎 40	關根泰雄 41
芹澤茂雄 36	千田恒次郎 32	仙田倉雄 25	仙田一 19
ソの部			
曾根不二丸 12	相馬幹郎 34	相馬秀郎 38	添田信夫 28
染谷喜與司 34			

向坂拾三 26	崎山信之助 23	笹川泰藏 32	笹口芳郎 29
笹間恒雄 36	指田敬 10	里見正 32	里見達夫 27
里村千秋 29	眞田健一 19	眞田健三 21	眞田秀雄 26
澤井隆一 28	澤井豊 38	澤田剛雄 22	澤田茂 36
澤田浩 37	澤田芳治 24	澤田小次郎 24	澤野小太郎 17
澤野久雄 31	櫻井勸一郎 36	櫻井秋司 23	櫻井武雄 25
櫻井長四郎 22	櫻井春治 27	櫻井道雄 30	櫻田尙 38
シの部			
四關浦雄 17	四關三郎 15	四關善輔 7	志賀隆二 34
志賀惟夫 39	志村正作 29	志村甚一 8	志村忠次 5
清水一郎 33	清水英太郎 11	清水加保太郎 33	清水甲子 16
清水次郎 36	清水正一 31	清水正三郎 27	清水澄 22
清水直 6	清水久次 38	清水宏衛 32	清水末生 13
清水正夫 33	清水萬吉 14	清水穰 33	清水基夫 29
清水彌太郎 4	清水流吉 20	清水正三 34	清水武嘉 34
清水輪 41	清水日出雄 39	鹿野忠男 35	清水武嘉 34
斯波秀就 12	鹽野正男 31	鹽野谷正三 37	鹽味常吉 29
鹽味福之助 26	鹽谷周太郎 31	鹽脇幸四郎 40	重田光晴 29
重田光正 31	重政克夫 41	鹽日廣一 37	鹽日忠信 37
眞目利春 29	眞目正敏 35	篠章 14	篠鉦一 33
篠竹藏 22	篠崎時篤 18	篠崎寅夫 32	篠崎貞男 38
篠田勝夫 35	篠田幹太 28	篠田省三 13	篠田梯一 21
篠原幹太郎 36	篠原節 35	篠原正 31	篠源吾 2
柴崎一男 20	柴崎啓藏 4	柴崎正雄 33	柴崎源吾 2
			柴崎清 39

柴田孝平 26	柴田茂 30	柴田省之 40	柴田忠男 37
柴多俊雄 32	柴原外男 3	柴山惣一 25	澁谷馨 28
澁谷一男 31	澁谷深 23	澁谷謙三 36	澁谷長治 19
澁谷南陽 5	澁谷尙男 36	澁谷英夫 36	澁谷正之 23
澁谷光保 25	澁谷吉郎 13	澁谷良雄 36	澁川忠 38
島崎一雄 20	島崎治平 20	島崎平五郎 8	島崎信二 38
島田重藏 29	島田俊一 13	島田武男 8	島田直治 36
島田利明 21	島田通男 26	島田光磨 29	島田保男 13
島田淑雄 33	島田吉藏 38	島田誠 39	島田保男 13
島根柳治 35	島村省三 28	島村幸三 33	島根光 31
島村武二 35	島村盛助 3	島村保雄 35	島村太郎 33
島村裕一 29	島村利平 5	島村清 40	島村泰久 36
島地謙 41	下村喜久雄 33	下山侃 40	島村敬次 41
霜田静志 10	白井三五郎 29	白石章之助 14	白石英二 41
白石謙吾 29	白石正三郎 36	白石石之助 14	白石仁 31
白子彰平 5	白子義彰 7	白子榮二 40	白坂喜 32
白崎喜代次 29	白田忠太郎 12	白田信忠 34	白田博 38
白鳥正次 21	白濱豊一 41	白田信忠 34	白田博 38
逆藤謙一 33	新藤忠男 35	進藤一郎 36	進藤澤 36
新藤光五郎 2	新藤彌平次 27	新藤知義 24	新藤博 37
新藤武男 41	宿谷好介 15	新藤柳一 30	新藤幸喜 40
神保寛長 37	靜間申如 39	東海林伴治 23	東海林孝祐 34
須賀是武 34	須賀是美 23	須賀龜之丞 20	須賀眞吾 29

竹内 榮一 34 竹内 武 29 竹内 誠 28 竹内 忠孝 72
竹内 隆吉 8 竹内 行正 37 竹内 仁 40 竹内 義也 41
竹内 昇 40 竹内 俊夫 39 竹越 太三 7 竹園 勝 29
竹園 聖 41 竹藤 芳郎 26 竹村 亥代 三 31 竹村 寅吉 32
竹ノ谷光一 郎 33 竹入 勝 39 竹野 公一 39 竹井 要 38
武井 武 18 武井 男 23 武井 正 31 武井 弘 27
武井 友三 37 武井 昇 5 武井 昇 26 武井 與一 郎 30
武井 直 39 武田 武四郎 39 武村 守義 40 武石 圭 37
武川 龍彦 35 武内 龍彦 35 武内 靖彦 37 武川 宗之助 12
武野 隆次 23 武野 隆次 23 武野 五 10 武野 靜 二 32
武野 乙彦 32 武野 軍 二 34 武野 政雄 35 武野 文 郎 31
館野 謙一 9 谷崎 淑身 40 種倉 友直 35 谷口 次郎 31
谷口 謙一 9 谷崎 淑身 40 種倉 友直 35 玉井 文藏 19
玉置 克巳 29 丹下 幸雄 29 樽田 眞 41 平 正夫 26

土屋 好 二 28 土屋 重 30 土屋 申 一 27 土屋 祐 結 13
土屋 共治 2 土屋 千 雄 33 土屋 常次郎 33 土屋 春 久 86
土屋 道三 30 土屋 陸 雄 38 土屋 太郎 38 土屋 五 郎 39
土屋 六 郎 41 筒井 清 彦 8 網島 榮 一 37 網島 竹 治 31
網島 正 雄 29 網島 正 幹 41 常木 利 次 38 常木 茂 40
常木 三 郎 38 常見 常 夫 27 常見 正 當 32 常見 重 男 38
角井 勝 次 19 角井 源 司 18 螺 良 清 36 圓谷 茂 郎 34
圓谷 泰 40 董 井 好 一 23 佃 二 郎 40 圓谷 茂 郎 34
手島 立 男 35 手島 篤 二 38 出 井 清 26 出 井 淳 三 3
出 井 平 八 郎 24 寺 内 重 次 34 寺 尾 英 一 37 寺 尾 忠 作 19
寺 尾 光 義 38 寺 田 輝 郎 32 寺 田 光 壽 33 寺 田 富 士 郎 41
寺 元 覺 順 29 寺 山 輝 郎 32 照 林 繁 16 照 林 正 直 32
照 林 好 幸 22 照 山 久 33 照 山 守 三 35 照 山 四 郎 39
田 頭 敏 22 照 山 久 33 照 山 守 三 35 照 山 四 郎 39

田井 武 雄 21 田口 佐 武 郎 30 田口 進 28 田口 武 夫 10
田口 有 21 田口 恒 明 32 田口 恒 太 郎 36 田口 貞 之 助 3
田口 哲 也 35 田口 俊 雄 36 田口 春 吉 2 田口 英 雄 26
田口 謙 37 田口 正 雄 38 田口 善 三 郎 39 田口 甚 兵 衛 39
田島 孝 文 39 田口 鐵 男 38 田島 健 治 38 田澤 操 35
田島 濟 3 田島 正 一 8 田島 要 次 郎 24 田島 良 平 32
田代 久 平 30 田代 三 郎 8 田代 常 三 郎 27 田代 久 18
田代 芳 夫 12 田代 徹 40 田中 章 9 田中 育 之 8
田中 關 蔵 16 田中 錦 壽 25 田中 康 三 2 田中 敬 治 16
田中 慶 治 26 田中 繁 之 助 24 田中 重 之 17 田中 庄 一 郎 31
田中 忠 雄 31 田中 忠 興 5 田中 保 6 田中 忠 次 8
田中 千 代 松 3 田中 敏 三 28 田中 豊 三 3 田中 秀 三 16
田中 秀 房 36 田中 弘 治 18 田中 増 一 28 田中 義 知 16
田中 芳 平 35 田中 和 夫 38 田中 實 38 田中 紀 義 40
田中 三 男 吉 40 田中 茂 41 田中 信 41 田中 禎 治 26
田畑 平 吉 9 田畑 祐 28 田畑 義 勝 35 田原 幹 一 郎 33
田邊 幸 藏 35 田邊 實 光 26 田邊 竹 雄 24 田村 敷 四 郎 24
田村 進 31 田村 章 吾 35 田村 昌 次 34 田村 夏 男 35
田村 富 博 40 田村 誠 40 田沼 津 39 高 井 正 雄 31
高 井 義 助 38 高 石 昌 五 郎 27 高 石 平 四 郎 19 高 柳 昭 次 29
高 木 起 作 30 高 木 潔 23 高 木 彌 一 郎 33 高 木 幹 男 40
高 木 和 民 41 高 木 泰 39 高 久 謙 次 郎 37 高 久 修 一 41
高 澤 俊 助 6 高 澤 博 38 高 島 眞 32 高 瀬 虎 藏 24
高 瀬 松 太 郎 12 高 瀬 和 夫 40 高 瀬 保 光 41 高 瀬 晋 二 郎 29

高瀬 一 39 高田 源 八 8 高田 眞 次 23 高田 進 30
高田 善 次 郎 2 高田 誠 32 高田 宗 男 35 高田 善 之 21
高田 典 34 高田 秀 34 高田 裕 40 高田 操 39
高野 慶 壽 19 高野 勝 治 17 高野 平 八 32 高野 孫 二 郎 22
高橋 一 世 28 高橋 市 郎 30 高橋 克 種 35 高橋 一 男 36
高橋 茂 32 高橋 治 平 9 高橋 昌 30 高橋 浩 太郎 9
高橋 章 三 郎 26 高橋 庄 次 郎 31 高橋 收 作 33 高橋 俊 平 2
高橋 精 司 23 高橋 卓 郎 36 高橋 新 之 助 22 高橋 精 一 郎 18
高橋 忠 德 28 高橋 恒 平 28 高橋 武 夫 23 高橋 武 男 26
高橋 時 夫 32 高橋 敏 男 31 高橋 貞 次 郎 35 高橋 哲 郎 19
高橋 博 30 高橋 寛 22 高橋 敏 三 4 高橋 八 太 郎 28
高橋 藤 網 26 高橋 泰 雄 5 高橋 行 雄 26 高橋 秀 雄 36
高橋 勝 一 34 高橋 清 34 高橋 義 三 38 高橋 房 男 35
高橋 大 38 高橋 頼 種 41 高橋 重 治 34 高橋 良 節 27
高水 由 太 郎 30 高宮 彌 5 高橋 郁 三 40 高橋 正 男 41
高師 武 18 高師 康 26 高宮 學 40 高橋 文 三 郎 39
高山 克 三 36 高山 淨 34 高山 昭 次 29 高橋 武 一 35
高山 政 勝 33 應 木 信 雄 30 瀧 上 敏 一 30 高柳 四 郎 26
瀧 福 太 郎 18 瀧 武 常 38 瀧 上 孝 之 34 瀧 上 敏 一 30
瀧 島 千 代 雄 16 瀧 澤 政 二 郎 22 瀧 澤 猛 男 25 瀧 貫 次 郎 3
瀧 澤 政 二 郎 22 瀧 澤 敏 二 郎 22 瀧 澤 之 幸 27 瀧 上 文 男 32
竹内 昇 22 竹内 景 22 竹内 岩 尾 8 竹内 悦 郎 16

長島 元次19 長島 宏介34 長島 山夫37 長島 正人37 長島 應陽12 長島 義雄23 長島 芳夫32 長島 光夫32
 長島 忠恕41 長島 勇21 長島 一三2 長島 應陽12 長島 義雄23 長島 芳夫32 長島 光夫32
 夏井 清亮17 雙木 康5 雙木 重藏23 雙木 英太郎9 雙木 芳夫32 雙木 光夫32
 並木庄兵衛31 並木 隆29 並木 長英26 並木 芳夫32 並木 光夫32
 檜崎 主計2 檜崎 辰久1 檜崎 敏夫11 成澤 光夫32
 成田 明治7 成田 一38 鯨江 四郎25 成澤 光夫32

二の部

仁羅山政次郎2 仁平 章夫40 丹村 啓吉36 新島 勉夫27
 新島 通弘33 新澤 直衛39 西川 勇19 西川市太郎3
 西川 健三16 西川武三郎7 西川 武吉郎31 西川 博夫39
 西野 浩38 西野 寅雄34 西野 章23 西野 信39
 西野憲太郎19 西野 次郎34 西野 昇35 西野 博18
 西野 康光40 西野 崇40 西野 利男35 西野 博18
 西野 良之30 西野 允之38 西野 廣之36 西野 彦雄18
 西村 春雄25 西村 健三37 西村 淑24 西村 武文32
 西山 榮一41 西崎 廣直38 日坂 燦平26 西山 正夫37
 西崎 廣直38 日坂 燦平26 西山 正夫37 西山 正一40

又の部

額賀 大興24 貫井 昌治12 貫井新五郎10 貫井 千明31
 貫井寅三郎12 貫井 豊治37 沼邊 喜郎41 貫井 千明31

木の部

根岸榮一郎18 根岸 正三31 根岸 二郎20 根岸 矩夫11
 ノの部

野口 甚夫15 野口 勇26 野口 一郎35 野口 三郎9
 野口 茂樹5 野口 重彦37 野口 壽滿敏36 野口 忠正35

野口 東一27 野口 富司36 野口 義雄23 野口 清治38
 野口 俊雄41 野口 宣一40 野崎 徳太郎24 野崎 伸太郎24
 野崎 正雄29 野崎 幸久34 野崎 直政41 野崎 直彦38
 野澤 剛三35 野澤 統司30 野澤 林三36 野島 靜雄22
 野島伸次郎4 野島 美勝35 野島 利一28 野島 迪雄39
 野尻 武夫31 野尻 了32 野尻 庫之助38 野々部明長21
 野原 正二33 野原 晴雄35 野原松之助27 野原 律30
 野原琳太郎3 野原 宏39 野間 寛一30 野村 晋一36
 野村 豊彦26 野村 春雄29 野村 勝11 野本 久治37
 野本 正雄24 野中 吉五郎38 野中 是40 野中 孝41
 野中 茂41 野中 信39 野中 重雄38 納口 機雄38

ハの部

羽島 義雄 羽島 元章41 羽島 榮治41
 羽島 義之助3 羽生田早苗39 長谷川 喜一12 長谷川 義助14
 羽部 與一30 長谷川 順一27 長谷川 忠一23 長谷川 正男36
 長谷川 茂29 長谷川 登美太郎12 長谷川 弘三37 長谷川 義三19
 長谷川 徳藏7 長谷川 元之助24 長谷川 喜之37 長谷川 美知男38
 長谷川 博38 長谷川 泰40 波多野 繁12 波多野 伴51
 波多野 幸太郎24 馬場 俊平31 馬場 健38 波多野 繁12
 龍島 巽24 龍島 武夫31 龍島 康35 龍島 金藏29
 萩野 正一24 萩原 考二25 萩原 憲三11 萩原 正雄37
 萩原 正司27 萩原 善造7 萩原 藤七郎1 萩原 正雄32
 萩原 敏秀34 萩原 定16 橋村 秋雄34 橋野 旭39
 橋本 喜代治4 橋本 邦之介25 橋本 善治7 橋本 秋雄34
 橋本 七良12 橋本 貞松11

一五

飛田 正雄39 富家 彰20 富岡 義36 富澤 英一6
 富澤 襄31 富澤 一郎39 富澤 勇39 富澤 嘉吉24
 富田 嘉作8 富田 四郎35 富田 正三33 富田 信治41
 富永 龜太郎24 富永 四郎15 富永 守之24 富永 吉三38
 富山 清86 友部 正伸35 友部 浩40 友光 恒31
 友道 謀85 友道 務36 友道 友三14 友道 直18
 豊田 豊次84 豊田 篤信34 豊田英之助41 豊田 宏36
 豊泉 芳男39 島海 喜平25 島海 滋27 島海 修平15
 島海 濟30 島海 武33 島海 滋27 島海 修平15
 島海 正之34 村蓮 一郎39 所 春雄29 島海 晃34

ナの部

名尾 良憲29 名尾 良章33 名尾 良孝35 名尾 良忠34
 名倉友次郎22 名古屋 代造15 名古屋 邦房81 名古屋 長藏5
 名古屋 富雄28 名古屋 信雄29 奈良 武一10 奈良岡 弘24
 内藤 甲一31 内藤 大吉35 直江 晋一郎14 中井川 正31
 中川 清27 中川 重政1 中川 大介6 中川 哲男35
 中川 秀雄34 中川 芳春35 中川 増太郎40 中里 久夫37
 中里 公38 中里 正39 中里 明12 中里 一康6
 中島 健藏28 中島 定規19 中島 精20 中島 大助10
 中島 龍雄22 中島 典太30 中島 敏夫36 中島 壽雄33
 中島 正巳20 中島 康二33 中島 美光15 中島 利平32
 中島 敬致40 中島 秀則40 中島 眞一41 中島 力41
 中島 幸雄41 中島 義一39 中島 芳男39 中島 茂5
 中田 重三郎19 中西 和宜80 中西 新一41 中根 正克32

中野 岩吉5 中野 順41 中野 泰38
 中野 岩一 中山 圭三89 中山 晃41 中原 英典35
 中野 岩雄33 中野 一雄31 中野 勝治23 中野 喜一19
 中村 喜平31 中村 清綱32 中村 清照29 中村 桂太郎19
 中村 源三 中村 達之助23 中村 茂男36 中村 德太郎14
 中村 敏男26 中村 利美35 中村 富一16 中村 友輔20
 中村 紹郎37 中村 乃木雄32 中村 平藏13 中村 政造13
 中村 政節30 中村 宗門7 中村 和6 中村 善政20
 中村 善隆37 中村 一郎34 中村 善政20 中村 善政20
 中村 三郎40 中村 公一40 中村 善政20 中村 善政20
 中村 裕40 中村 和男41 中村 泰岩41 中村 泰岩41
 中井 裕40 永井 榮一9 永井 三三19 永井 長三9
 永井 左衛門20 永井 靖33 永井 常雄34 永井 義一24
 永島 武雄28 永島 恒茂24 永島 秀之助4 永島 義一24
 永島 文英32 永島 一雄19 永島 元春15 永島 元春15
 永堀 善作27 永堀 恒治28 永堀 文司19 永堀 文司19
 永見 定一39 永見 哲也38 永見 昌司35 永見 昌司35
 永安 寛89 長尾 利一29 永山 菊次郎38 永山 菊次郎38
 長澤 清39 長澤 正36 長尾 利一29 長尾 次郎21
 長澤 民治22 長澤 清39 長尾 利一29 長尾 次郎21

古谷 浩造 35	古田 守彦 35	古川 道之助 11	船戸 俊徳 14	船津 弘治 28	船津善次郎 12	船津真之助 3	藤原 稔彦 39	藤本 憲司 33	藤野 侃直 33	藤井 剛 39	藤井 一五郎 28	福永友二郎 35	福留 哲 33	福田 健爾 37	福島 丹次 38	福田 健雄 32	福田喜之助 15	福田 勇 3	福島 守一 8	福島 勉 16	深谷 昌 20	深井 奎一 17	布鹿勝之助 5
古谷隆一郎 40	古橋才次郎 21	古川 厚良 36	古川 鋭一郎 7	船津隆之助 14	船津 雄 14	船津 頌二 4	藤本 福藏 6	藤卷欣四郎 16	藤田 弘昌 37	藤井 五郎 35	福原 千治 10	福留 實 29	福田 正雄 30	福田 博 40	福島 英夫 37	福田 清 35	福田 勝藏 20	福島 俊次 34	福島 勝之助 33	深谷 昌次 32	深澤 澄人 25	富士 岳 39	
伏見 次郎 40	古畑 健一 23	古澤 常吉 1	古川 利助 33	船津貞之助 22	船津 正三 13	船津 英治 8	藤藤千代九郎 30	藤村 達 31	藤波柳三郎 26	藤井 潔 38	福原平八郎 39	福永 一好 37	福田 松藏 16	福田 隆二 41	福田 德藏 12	福田 賢藏 19	福田 莞爾 33	福島 尚道 34	福島 靜雄 30	深谷 泰雄 39	深田 一男 27	府川 弘平 9	
	古谷 一郎 24	古澤 勝 34	船津良之助 14	船津徳右衛門 13	船津 正三 33	船津敬之助 16	藤橋 正美 38	藤村 勉 18	藤沼 貞邦 36	藤井 鐵一 41	福山 静雄 26	福永友一郎 33	福田健太郎 38	福田 喜男 40	福田 泰藏 37	福田 卓爾 22	福田 寛太郎 33	福田徳太郎 9	福島 傳 8	福井 清 36	四郎 35	深井 一郎 23	

細淵 柳次郎 21	細淵 東一 6	細淵 昌治 10	細淵 芳平 33	細淵 茂生 41	細淵 朗 27	細淵 清秀 26	細川 保彦 36	細井 敏夫 25	細井 榮吉 25	星野 紗一 40	星野 文郎 7	星野 静二 30	星野藤左衛門 1	星野 重英 14	星野 弘作 28	星野 銀五 13	星野 喜七 23	星野 榮吉 14	八角 幸三 16	逸見 方茂 20	別所 弘忍 39	逸見 慎一郎 36	別府 正夫 40															
細淵 寅雄 34	細淵 平三 27	細淵 清藏 28	細淵 久雄 38	細淵 龍雄 31	細田 眞一 34	細田 仙太郎 3	細川 正人 39	細井 陽吉 32	細井 寛二 37	星野櫻之助 41	星野 隆作 9	星野 大郎 29	星野 敏雄 28	星野 正一 25	星野 幸藏 25	星野 賢一 29	星野 義三 6	星野 鐵吉 8	保坂 喜八 23	邊見 慎一郎 36	別所 規一 36	別所 弘因 34																
細淵 亮二 34	細淵 正氣 36	細淵 卓造 29	細淵 英太郎 11	細淵 富藏 26	細田 哲生 38	細田 友雄 32	細田 市郎 18	細井 眞助 20	細井 定正 33	星野 幸男 39	星野 良平 24	星野 直一 1	星野 知次 28	星野 新助 33	星野 幸忠 19	星野 啓三 37	星野 康 21	星野 嘉一郎 35	星野 勇 32	星野 貞三 28	星野 鷹藏 9	星野 金之助 18	星野 源六 8	星野 謙二 36	星野 助直 23	星野 輝吉 30	星野 久次 32	星野 芳秋 40	細井右三郎 23	細井 傳助 29	細井 泰治 39	細田 吉太郎 23	細田 鳳一 36	細田 登喜雄 38	細淵 耕作 14	細淵 民司 31	細淵 美代治 28	堀 昇 41

中田 好雄 41	針谷 忠 28	原田 宏 39	原田 力造 23	原田 正永 25	原田 進 19	原田 進 18	原信之助 38	原 芳雄 9	原 武男 25	早津 順久 41	早船庫之助 14	濱島 良夫 36	濱野 春男 11	花俣 晃 37	濱田 龍右衛門 11	秦 弘三 15	畑 高三 4	蓮見 福夫 36	蓮見 武雄 36	蓮見 勝長 21	橋本 健司 41	橋本 佑造 1	橋本 重信 36
半田 進 40	半田 勳 20	原田 義雄 41	原田 政治 34	原田 光一 15	原田 太一郎 30	原田 榮一 25	原口 金五 30	原 義男 20	原 武治 11	原 恭一郎 6	早船健之助 18	早川 貫一 10	濱野 正男 32	花俣 宏 41	濱田熊次郎 12	服部英一郎 7	畑 忠三 8	蓮見 俊永 40	蓮見 博司 31	蓮見 宏 15	橋本 梅太郎 39	橋本 喜重 11	橋本 健 12
半藤 重治 37	針田 實 35	原田 恒男 38	原田 光治 28	原田 富一 22	原田 潔 21	原口 眞 16	原口 眞 16	原 博 34	原 武正 23	原 作藏 5	早船忠次郎 12	早川 進 25	濱野 元介 29	濱野 秀作 19	濱田 治雄 29	服部 孝吉 28	畑 正雄 38	蓮見 義三 4	蓮見 典雄 34	蓮見 四郎 16	橋口 敏幸 39	橋本 信夫 41	橋本 武治 24
坂東 順 30	針ヶ谷健治 10	原田 清 40	原田 實 25	原田 寛 16	原田 修作 22	原口 通安 23	原 邦男 38	原 眞治 7	原 誠助 28	早船 一夫 38	早船 龜雄 10	濱島 正夫 34	濱野 次郎 21	濱田 隆資 34	服部 三四 15	畑 文夫 41	畑 晋 8	蓮見 尚 37	蓮見 太郎 32	橋口 友吉 38	橋本 哲太郎 41	橋本 安太郎 10	

東角井光臣 29	廣田 進一 38	平木 秀吉 41	平柳 三郎 36	平野 勝義 34	平野 一 3	平田 文藏 2	平田 信二 12	平澤 美雄 26	引間 三雄 27	肥留間 好 31	肥留間 行藏 36	日吉三七次 36	林 良四郎 39	林 修 41	林 友平 2	林 盛次 3	林 健夫 38	林 源之助 14	林 一郎 26	林 彰 18	坂東 貞市 17	伴 長治 36
四田 重鏡 40	廣田 正克 39	平賀 岩雄 38	平柳 誠 28	平野 節夫 41	平野 壽 30	平田 榮一 40	平田 一郎 26	平井 允 34	平久江 朗 38	樋口 重孝 41	肥留間 幸右衛門 22	肥留間 勘造 24	林田 哲夫 39	林 瀬平 41	林 春二 35	林 泰助 29	林 弘典 36	林 三郎 26	林 龜治 3	林 聚昌 6	長治 36	
廣瀬 宗夫 36	畫間 敏生 28	平山 康治 8	平野 光郎 39	平野 垣 27	平野 三郎 35	平田 清一 27	平井 卓 40	平井 静夫 27	平井 賢治 38	人見 賢治 38	肥留間 廣作 1	比留間 重郎 20	初見 彌 38	林 弘 41	林 政時 32	林 匡 18	林 博 36	林 林治左衛門 4	林 謹吾 15	林 聚博 14	島山 國夫 35	
廣羽 秀夫 37	廣田 英二 25	平山 常時 25	平野 實吉 38	平野 義雄 27	平野 利友 8	平田 福壽 30	平川 博明 31	平井 孝雄 28	引間 茂 20	引間 孝雄 28	肥留間 正男 18	比田井七郎 40	番場 修三 30	林 彌之助 39	林 義雄 30	林 種矩 32	林 博一郎 33	林 四郎 14	林 賢三郎 9	林 慶 15	島山 博 41	

柳田 憲助 37	柳田 唯一 35	柳田 道政 7	谷中 賢一 38	矢部 平八郎 23	矢部 西三 29	矢部 徳治 36	矢部 七郎 17	矢部 一郎 27	矢部 和一 15	矢作 忠次郎 24	矢作 四良 21	矢島 義一 31	矢島 謙次郎 25	矢島 東五 20	矢内 良一 24	八重野 松男 9
柳田 藤吉 31	柳 實 31	柳井 喜平 16	柳下 重治 6	矢部 克巳 34	矢部 弘 33	矢部 俊夫 29	矢部 省吾 12	矢部 一郎 35	矢作 明夫 41	矢作 鶴太郎 7	矢作 伊勢太郎 22	矢島 健造 34	矢島 宣松 23	矢崎 徹三 39	矢那 瀬正雄 41	八木原 由郎 21
柳田 昌彦 33	柳澤 武好 21	柳井 正光 17	柳下 泰吉 7	矢部 武 34	矢部 博 35	矢部 俊治 2	矢部 泰助 32	矢部 岩目 35	矢作 哲治 39	矢作 松之助 33	矢作 潔 32	矢島 徳美 36	矢島 平次 3	矢澤 長太郎 28	矢吹 晋一 41	八角 高允 32
柳木 直貞 37	柳澤 明治 33	柳 寛 29	柳下 千代松 14	矢部 徹 38	矢部 文雄 30	矢部 敏三 28	矢部 達郎 28	矢部 金藏 28	矢部 愛之助 15	矢作 陸 35	矢作 幸吉 23	矢田 銀三 13	矢田 三千男 31	矢島 和夫 37	矢崎 壽衛 15	八角 宏 38

山本 利一 25	山本 武雄 37	山本 恭平 10	山之内 一彦 39	山田 仁 9	山田 藤 28	山田 金太郎 35	山田 隆 28	山田 一 11	山下 一郎 11	山崎 國男 38	山崎 光夫 28	山崎 仁治 14	山崎 正 22	山崎 近一 8	山崎 捷治 25	山崎 聖一 41	山口 正二 33	山口 功 41	山口 正三郎 9	山口 清三郎 9	山岸 直友 38	山岸 光國 21	山岸 勇吉 22	山岸 健盛 40	山口 榮太郎 13	山口 節郎 25	山口 正躬 17	山口 聖一 41	山口 捷治 25	山崎 近一 8	山崎 平三 27	山崎 啓士郎 30	山崎 俊 38	山下 卓 18	山田 茂 17	山田 正次 26	山野 一雄 39	山村 勇 22	山本 桂一 郎 22	山本 知太郎 1	山本 廣太郎 38	
山本 忠之 28	山本 壽郎 23	山本 敬事 14	山本 朝光 27	山田 俊一 郎 39	山田 久 29	山田 時正 35	山田 行衛 35	山下 二郎 38	山崎 仲二 38	山崎 正雄 34	山崎 文一 36	山崎 貞三 32	山崎 誠之 29	山崎 市郎 26	山口 裕 36	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35	山口 眞三 35
山本 史郎 39	山本 靖彦 35	山本 厚 6	山野 井 豊 14	山名 靖 11	山田 英雄 36	山田 時美 33	山下 二郎 38	山崎 隆 12	山崎 肇 7	山崎 富雄 26	山崎 升彦 14	山崎 悠紀夫 34	山崎 平太郎 23	山崎 隆 12	山口 芳三郎 32	山口 登太郎 32	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4	山口 順一 4

湯澤 啓次 35	湯澤 謹次 5	湯澤 良一 39	湯澤 卓二 40	湯澤 三郎 41	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28
湯澤 啓次 35	湯澤 謹次 5	湯澤 良一 39	湯澤 卓二 40	湯澤 三郎 41	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28
湯澤 啓次 35	湯澤 謹次 5	湯澤 良一 39	湯澤 卓二 40	湯澤 三郎 41	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28
湯澤 啓次 35	湯澤 謹次 5	湯澤 良一 39	湯澤 卓二 40	湯澤 三郎 41	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28	湯澤 啓佑 34	湯澤 昌雄 41	湯澤 松一 37	湯澤 眞次 28

力丸 俊男 37	六城 雅彥 37	和氣 洋 29	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6
力丸 俊男 37	六城 雅彥 37	和氣 洋 29	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	
力丸 俊男 37	六城 雅彥 37	和氣 洋 29	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	
力丸 俊男 37	六城 雅彥 37	和氣 洋 29	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	若山 徳 6	

昭和十五年十二月二十日印刷
昭和十五年十二月二十五日發行

浦和中學校同窓會

埼玉縣立浦和中學校內

發行人 土 肥 政 勝

浦和市高砂町一ノ二七ノ一

印刷人 金 森 三 雄

浦和市高砂町一ノ二七ノ一

印刷所 株式會社 星野印刷所

